

**TOKYO
MARATHON
2018**

東京がひとつになる日。



TOKYO MARATHON 2018

MEDIA GUIDE

平成30年2月25日[日] 開催
 兼ジャカルタ2018アジア競技大会日本代表選手選考競技会
 兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ~東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会~
 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXI



コースマップ Course Map

東京都庁
Tokyo Metropolitan Government

10km 日本橋
Nihombashi

マラソン
Marathon

東京駅前・行幸通り
Tokyo Station / Gyoko-dori Ave.

救護所 Medical Stations

- A スタート救護所** 東京都庁第二本庁舎2F入口
Start medical station Tokyo Metropolitan Gov. Bldg. No.2, 2F entrance
- B 5km救護所** 軽子坂MNビル前
5km medical station Karukozaka MN Bldg.
- C 10km救護所** 日本橋西川ビル横道路上
10km medical station Next to Nihombashi Nishikawa Bldg.
- D 10kmフィニッシュ救護所** コングレススクエア日本橋前
10km Finish medical station CongressSquare Nihonbashi
- E 15km救護所** 駒形橋交差点
15km medical station The crossing of Kamagatabashi
- F 20km救護所** 深川一丁目交差点
20km medical station The crossing of Fukagawa 1-chome
- G 22km救護所** 清澄庭園公園広場
22km medical station Kiyosumi Garden park area
- H 24km救護所** 同愛記念病院駐車場
24km medical station Doai Memorial Hospital Parking
- I 26km救護所** 浅草橋(京葉道路起点道路)上
26km medical station Keiyu road traffic origin, Asakusabashi
- J 28km救護所** 花王本社ビル横
28km medical station Head Office of Kao Corporation
- K 30km救護所** 数寄屋橋交差点
30km medical station The crossing of Sukiyabashi
- L 32km救護所** 新橋4丁目交差点東
32km medical station The crossing of Shimbashi 4-chome EAST
- M 34km救護所** バンダイナムコ未来研究所付近(住友不動産三田ビル)
34km medical station BANDAI NAMCO Mirai-Kenkyusho (Sumitomo Mita Bldg.)
- N 36km救護所** シティハイツ桂坂内
36km medical station Katsurazaka Public Apartment
- O 38km救護所** 東京都障害者福祉会館前
38km medical station Persons with Disabilities Welfare Center
- P 40km救護所** 新橋4丁目交差点西
40km medical station The crossing of Shimbashi 4-chome WEST
- Q フィニッシュ救護所** フィニッシュ地点
Finish medical station Finish Area
- R 馬場先門救護所** 馬場先門
Babasaki Gate Medical Station Babasaki Gate
- S 日比谷公園救護所** 日比谷公園
Hibiya Park Medical Station Hibiya Park
- T 大手町救護所** 東京海上日動ビルディング新館横
Otemachi Medical Station Tokio Marine Holdings Bldg. Annex
- U サンケイプラザ救護所** 大手町サンケイプラザ3F
Sankei Plaza Medical Station Otemachi Sankei Plaza 3F
- V 鍛冶橋救護所** 鍛冶橋駐車場内
Kajibashi Medical Station Kajibashi Parking
- W 京橋医務室** 東京コンベンションホール内
Kyobashi Medical Office Tokyo Convention Hall

給水所 Aid Stations

1 5km	6 17km	11 30km
2 7km	7 20km	12 32km
3 10km	8 22km	13 35km
4 12km	9 25km	14 38km
5 15km	10 27km	15 40km

S スポーツドリンク Sports Drinks W 水 Water F 給食 Foods

東京マラソン2018 沿道協力企業・団体一覧
東京マラソン2018は、コース沿道の各企業・団体様にご協力いただいております。
株式会社新宿アイランド/新宿三井ビルディング/西武新宿ベレ/大東京信用組合 新宿支店/
コスモ石油 市ヶ谷SS/米輪商事株式会社 市ヶ谷SS/中央大学/東京メトロ/学校法人法政大学/
東京理科大学/株式会社セントラルプラザ/ルコ・ネットワークサービズ株式会社/
公益財団法人特別区協議会/住友不動産株式会社/東短室町ビル/首都高速道路株式会社/
首都高速道路サービス株式会社/株式会社バンダイ/宮沢模型株式会社/ミドリ安全株式会社/
学校法人ケイ・インターナショナルスクール K. International Preschool/
社会福祉法人 同愛記念病院 同愛記念病院/日本郵政株式会社/田中商店/千歳精糖株式会社/
花王株式会社/滋養倉庫株式会社/八重洲地下街株式会社/森トラスト・ビルマネジメント株式会社/
京浜急行バス株式会社/三菱商事株式会社/環境省自然環境局皇居外苑管理事務所/
国土交通省東京国道事務所/東京海上日動火災保険株式会社 (敬称略・コース順)
©沿道区 新宿区/千代田区/中央区/台東区/墨田区/江東区/港区 2018年1月12日現在

コース高低図 Elevation Profile



2/22THU~24SAT
メディアオフィス
Media Office

2/22THU~24SAT
東京マラソン
EXPO 2018会場
ランナー受付
Number Card Pick-Up

概要
OVERVIEW

デザインコンセプト

一人一人にいろいろな想いがあって、いろいろなカラーがある。一人一人のストーリーが織り重なって、新しい物語が生まれていく。

東京マラソンとは、まさに「東京がひとつになる日。」走る人、支える人、応援する人東京マラソンに参加するすべての人を、色とりどりのさまざまなアイテムを使って表現したのが、東京マラソン2018のメインビジュアルです。

Design Concept

Each person carries within them a myriad of emotions and a plethora of color. As their individual stories are woven together, new stories spring forth.

Tokyo Marathon is “The Day We Unite.” Tokyo Marathon 2018’s main visual was envisioned using diverse and multicolored items to depict the runners, volunteers, spectators, and everyone else who participates in the Tokyo Marathon.



【参加記念品 Participation gifts】

マラソン / Marathon 車いすマラソン / Wheelchair Marathon



参加記念Tシャツ
Participant T-shirt



チャリティランナーTシャツ
Charity Runner T-shirt



アルミシート Heat Sheet



計時チップ Timing Chip



フィニッシャータオル
Finisher Towel



オリジナル防寒ポンチョ Original insulated poncho
※手荷物預けなしランナー *No-Baggage Runners



完走メダル Finisher Medal

関連イベント Related Events

ファミリーラン / Family Run



完走タオル
Finisher Towel



完走メダル
Finisher Medal



完走証
Finisher Certificates

フレンドシップラン / Friendship Run



手ぬぐい
TENUGUI



扇子 Japanese Fan

OVERVIEW

概要

コースマップ Course Map	002
大会要項 Race Information	006
参加者概要 Participants Data	010
賞金 Prize Purse	011
公式日程 Official Schedule	012
経緯 History	014
大会データ年次推移 Statistics by Year	016
東京マラソン2018に関する数字 Facts and Figures	018
東京マラソン2018オフィシャルパートナー Tokyo Marathon 2018 Official Partners	020

大会要項

OVERVIEW

大会名称	東京マラソン 2018 (英文名: Tokyo Marathon 2018) 兼ジャカルタ 2018 アジア競技大会日本代表選手選考競技会 兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2017-2018~東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会~ 兼アポット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXI		
主催	一般財団法人東京マラソン財団		
共催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞		
後援	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ		
主管	公益財団法人東京陸上競技協会		
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会		
特別協賛	東京メトロ		
協賛	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、Inc.、全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、株式会社バンダイナムコエンターテインメント、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本光電工業株式会社、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG 株式会社、株式会社ドール		
協力	国士舘大学、首都高速道路株式会社、ヒビノ株式会社、TANAKA ホールディングス株式会社、一般社団法人築地市場協会、一般社団法人新宿淀橋市場協会、一般社団法人道路清掃協会、京王プラザホテル、日本ボイスカウト東京連盟、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会		
種目	マラソン (男子・女子、車いす男子・女子) 10km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)		
開催日時	2018年 (平成30年) 2月25日 (日)	9時05分	車いすマラソン・10kmスタート
		9時10分	マラソン・10kmスタート
		10時50分	10km競技終了
		16時10分	マラソン競技終了
テレビ放映	フジテレビ系全国ネット		
コース	マラソン: 東京都庁~飯田橋~神田~日本橋~浅草雷門~両国~門前仲町~銀座~高輪~日比谷~東京駅前・行幸通り (日本陸上競技連盟・IAAF / AIMS公認コース) 10km: 東京都庁~飯田橋~神田~日本橋 (記録は公認されない・順位はネットタイムによる)		
競技規則	国際陸上競技連盟 (IAAF) 並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAF が認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAF ロードレースラベリング規定) も適用される。また、IAAF の規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics) 競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。		
制限時間	マラソン : 7時間	車いすマラソン : 2時間10分	
	10km : 1時間40分	車いす10km : 35分	
	※1 制限時間は、号砲を基準とする。		
	※2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。		

定 員	マラソン：35,500人 10km：500人
参加資格	以下の条件にあてはまる者で、主催者が出場を認めた者。 1) マラソン 大会当日満19歳以上 1-1) 一般 6時間40分以内に完走できる者 1-2) 準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」に定める推薦基準に達する者 1-3) エリート ・2017年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手（日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 1-4) 車いす一般 レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者 1-5) 車いすエリート ・2017年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ2018年IPC登録予定者で、大会当日にWorld Para Athletics国際クラス(T53・T54)を所持している者。なおかつWorld Para Athletics公認大会で、男子1時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者 ・招待選手（日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 2) 10km 大会当日満16歳以上 2-1) ジュニア&ユース 大会当日満16歳から満18歳までの1時間30分以内に完走できる者（1999年2月26日以降、2002年2月25日までに生まれた者） ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む 2-2) 視覚障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者 2-3) 知的障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者 2-4) 移植者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者 2-5) 車いす 大会当日満16歳以上 レース仕様車*で35分以内に完走できる者 ※車いすのレース仕様車とは大会当日に適用される最新のWorld Para Athletics競技規則に定められた規格の車いすのことを指す。
賞 金	マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。
参加料	マラソン：国内10,800円、海外12,800円 10km：国内5,600円、海外6,700円 ※事務手数料・消費税込み
参加受付	1) 方 法 公式ウェブサイト http://www.marathon.tokyo/ から受付 2) 期 間 2017年(平成29年)8月1日(火)から8月31日(木)まで 3) 参加者の決定 申込者多数の場合は抽選を行う。 4) 入 金 当選者は指定期日までに参加料の入金手続きを完了のこと。 ※チャリティランナーの受付は7月1日(土)から7月31日(月)まで行う。 (アクティブチャリティの受付は8月31日(木)まで。) 先着順4,000人。 ※東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO プレミアムメンバーを対象とした先行受付を7月3日(月)から7月31日(月)まで行う。定員3,000人。申込者多数の場合は抽選。 ※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」の概要は公式ウェブサイトを参照のこと。 ※エリート・車いすエリートの参加受付は12月から行う。
ランナー受付	2018年(平成30年)2月22日(木)・23日(金)・24日(土) 東京マラソンEXPO 2018会場(東京ビッグサイト)にて行う。 ※大会当日には、受付を行わない。
そ の 他	1)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 2)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

Race Information

OVERVIEW

Race Name	Tokyo Marathon 2018 also serves as Selection Trials for the 2018 Asia Jakarta Marathon Grand Championship Series 2017-2018 -Team Japan Trials for Tokyo 2020- Abbott World Marathon Majors Series XI
Organizer	Tokyo Marathon Foundation
Co-organizers	JAAF (Japan Association of Athletics Federations); Tokyo Metropolitan Government; Fuji Television Network, Inc.; Sankei Shimbun Co., Ltd.; The Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; The Tokyo Shimbun
Supporting Organizations (Provisional)	JAPAN SPORTS AGENCY; Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism; Japan Tourism Agency; Metropolitan Tokyo Mayors' Council; Japan Sports Association; Japanese Olympic Committee; Japanese Para-Sports Association; Japan Para Athletics; Nippon Keidanren (Japan Business Federation); KEIZAI DOYUKAI (Japan Association of Corporate Executives); The Tokyo Chamber of Commerce and Industry; Tokyo Medical Association; Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association; Tokyo Private Ambulance Call Center Registered Companies Liaison Council; TOKYO NURSING ASSOCIATION; Tokyo Convention & Visitors Bureau; Tokyo Federation of Neighborhood Associations; Tokyo Federation of Shopping Center Promotion Associations & Tokyo Federation of Shopping Centers; Tokyo Sports Association; Community Sport Leaders Tokyo; Sankei Sports; Yukan Fuji; SANKEI LIVING SHIMBUN Inc.; Nippon Broadcasting System, Inc.; Fuji Sankei Business I; FUSOSHA Publishing Inc.; The Hochi Shimbun; Radio Nippon Co., Ltd.; The Tokyo Chunichi Sports
Managing Organization	Tokyo Athletics Association
Operation Supporter	Tokyo Sports Association for the Disabled; Kanto Para Athletics
Presenting Partner	Tokyo Metro Co., Ltd.
Official Partners	STARTS CORPORATION INC.; Yamazaki Baking Co., Ltd.; ASICS Japan Corp.; Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.; BMW Japan Corp.; KINTETSU INTERNATIONAL; The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited; SEIKO HOLDINGS CORPORATION; Toray Industries, Inc.; McDonald's Company (Japan), Ltd.; Mizuho Bank, Ltd.; Seven-Eleven Japan Co.,Ltd.; ASAHI BREWERIES, LTD.; American Express International, Inc.; ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD; KAGOME Co., Ltd.; Photocreate Co.,Ltd; ZENROSAI (National Federation of Workers and Consumers Insurance Cooperatives); KONICA MINOLTA, INC.; SECOM CO.,LTD.; Hisamitsu Pharmaceutical Co.,Inc.; Daiwa Securities Group; Shiseido Japan Co.,Ltd; BANDAI NAMCO Entertainment Inc.; IBM Japan, Ltd.; NIHON KOHDEN CORPORATION; KOYOU RENTIA Co.,Ltd.; Shimizu Octo,Inc.; EMTG Co., Ltd.; Dole Japan.Inc.
Official Suppliers	Kokushikan University; Metropolitan Expressway Company Limited; Hibino Corporation; TANAKA HOLDINGS Co., Ltd.; TSUKIJI MARKET ASSOCIATION; YODOBASHI WHOLESALE MARKET ASSOCIATION; Tokyo Road Management Association; Keio Plaza Hotel Tokyo; Scout Association of Tokyo; The Council for Area Development and Management of Otemachi, Marunouchi, and Yurakucho
Events	1) Marathon (Men, Women, Wheelchair Men, Wheelchair Women); 2) 10km Race (Men and Women for Junior & Youth, Visually Impaired, Intellectually Challenged, Organ Transplant Recipients and Wheelchair categories)
Date & Time	Sunday, February 25, 2018 9:05 a.m. – Wheelchair Marathon and 10km Start 9:10 a.m. – Marathon and 10km Start 10:50 a.m. – 10km Finish 4:10 p.m. – Marathon Finish
Broadcaster	Fuji Television Network, Inc.
Course	Marathon: Tokyo Metropolitan Government Building — lidabashi — Kanda — Nihombashi — Asakusa Kaminari-Mon — Ryogoku — Monzen-nakacho — Ginza — Takanawa — Hibiya —Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. (This course is certified by the JAAF and AIMS/IAAF.) 10km Race: Tokyo Metropolitan Government Building — lidabashi — Kanda — Nihombashi (Results are considered unofficial. Finishing place is determined by net time.)
Competition Rules	The races will be conducted in accordance with the rules and regulations of the IAAF, JAAF and the Race Organizer. IAAF Road Race Label Regulations also apply to the Tokyo Marathon 2018, which has been certified by the IAAF as a Gold Label road race. Doping control is conducted under IAAF Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations. World Para Athletics Rules and Regulations and the competition rules of the Tokyo Marathon apply to the wheelchair marathon. Doping control is conducted under World Para Athletics Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations.
Time Limits	Marathon: 7 hours; Wheelchair Marathon: 2 hours and 10 minutes 10km Race: 1 hour and 40 minutes; Wheelchair 10km race: 35minutes (i) The time limits are based on the gun time (not on the net time). (ii) The cut-off time will be enforced at each checkpoint due to limited duration of traffic control, security operation and event operation. The runners, who fail to pass through the checkpoint before the cut-off time, will be disqualified from the race. Furthermore, runners who lag excessively behind the cut-off time pace may be asked to leave the course at anytime.

Maximum Number of Entrants	Marathon: 35,500 runners 10km Race: 500 runners																				
Eligibility	<p>Those who fulfill the following conditions, and whose participation is approved by the organizer.</p> <p>1) Marathon: Must be at least 19 years of age on the race day</p> <table border="0"> <tr> <td>1-1) General</td> <td>- Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes</td> </tr> <tr> <td>1-2) Semi-Elite Athletes</td> <td>- Athletes who satisfy the requirements set forth by the "RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018".</td> </tr> <tr> <td>1-3) Elite Athletes</td> <td>- Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2017 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF - Invited Athletes: National and international runners recommended by the JAAF</td> </tr> <tr> <td>1-4) General Wheelchair</td> <td>- Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.</td> </tr> <tr> <td>1-5) Elite Wheelchair</td> <td>- Athletes registered with the JPA in fiscal 2017, and to be registered with the IPC in fiscal 2018 - Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification - Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) -Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA</td> </tr> </table> <p>2) 10km Race: Must be at least 16 years of age on the race day</p> <table border="0"> <tr> <td>2-1) Junior & Youth</td> <td>Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours. (Runners born between February 26, 1999 and February 25, 2002 are eligible) *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.</td> </tr> <tr> <td>2-2) Visually Impaired</td> <td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours</td> </tr> <tr> <td>2-3) Intellectually Challenged</td> <td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours</td> </tr> <tr> <td>2-4) Organ Transplant Recipients</td> <td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours</td> </tr> <tr> <td>2-5) Wheelchair</td> <td>Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair</td> </tr> </table> <p>* Racing wheelchair requirements are specified in the "The latest rules and regulations applicable to the event day" set by the World Para Athletics.</p>	1-1) General	- Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes	1-2) Semi-Elite Athletes	- Athletes who satisfy the requirements set forth by the "RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018".	1-3) Elite Athletes	- Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2017 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF - Invited Athletes: National and international runners recommended by the JAAF	1-4) General Wheelchair	- Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.	1-5) Elite Wheelchair	- Athletes registered with the JPA in fiscal 2017, and to be registered with the IPC in fiscal 2018 - Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification - Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) -Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA	2-1) Junior & Youth	Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours. (Runners born between February 26, 1999 and February 25, 2002 are eligible) *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.	2-2) Visually Impaired	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours	2-3) Intellectually Challenged	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours	2-4) Organ Transplant Recipients	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours	2-5) Wheelchair	Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair
1-1) General	- Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes																				
1-2) Semi-Elite Athletes	- Athletes who satisfy the requirements set forth by the "RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018".																				
1-3) Elite Athletes	- Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2017 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF - Invited Athletes: National and international runners recommended by the JAAF																				
1-4) General Wheelchair	- Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.																				
1-5) Elite Wheelchair	- Athletes registered with the JPA in fiscal 2017, and to be registered with the IPC in fiscal 2018 - Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification - Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) -Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA																				
2-1) Junior & Youth	Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours. (Runners born between February 26, 1999 and February 25, 2002 are eligible) *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.																				
2-2) Visually Impaired	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours																				
2-3) Intellectually Challenged	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours																				
2-4) Organ Transplant Recipients	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours																				
2-5) Wheelchair	Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair																				
Prize Purse	For both the marathon, and wheelchair marathon races, the prize purse based on the results will be awarded in accordance with separate rules.																				
Entry Fee	Marathon: Japan residents- 10,800 Yen (from overseas- 12,800 Yen) 10km Race: Japan residents- 5,600 Yen (from overseas- 6,700 Yen)																				
Application	<p>1) Procedure Online entry: http://www.marathon.tokyo/en/</p> <p>2) Application Period Applications must be received between Tuesday, August 1, 2017 and Thursday, August 31, 2017.</p> <p>3) Screening Entrants will be selected by the lottery if applications exceed the maximum number.</p> <p>4) Payment Selected entrants must pay the entry fee by credit card before the deadline.</p> <p>* Applications to charity runners will be accepted from Saturday, July 1 to Monday, July 31, on a first-come, first-served basis (up to 4,000 charity runners). Applications to Active charity runners will be accepted until Thursday, 31 August.</p> <p>* Priority applications from the premium members of ONE TOKYO, the official club of Tokyo Marathon Foundation, can be submitted from Monday, July 3 to Monday, July 31 (3,000 runners) Entrants will be selected by the lottery if applications exceed the maximum number.</p> <p>* For the details on the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2018, please refer to the Tokyo Marathon 2018 official website.</p> <p>* Applications to elite runners and elite wheelchair athletes will be accepted from December.</p>																				
Number Card Pick-Up	February 22, 23 and 24, 2018 (Thursday through Saturday) Venue: Tokyo Marathon EXPO 2018 at Tokyo Big Sight * Please note that no number card will be distributed on the race day.																				
Others	<p>1) Entry fee will not be refunded in the event of the cancellation of the race if such cancellation is not attributable to the organizer.</p> <p>2) The event will be operated in compliance with all national laws and regulations.</p>																				

参加者概要

OVERVIEW

Participants Data

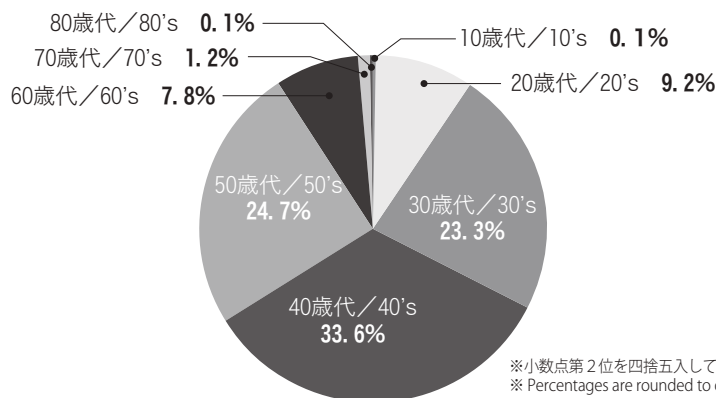
■ 申込人数 2017.9.1 / Applicants (As of September 1, 2017)

単位：人 / The number of person

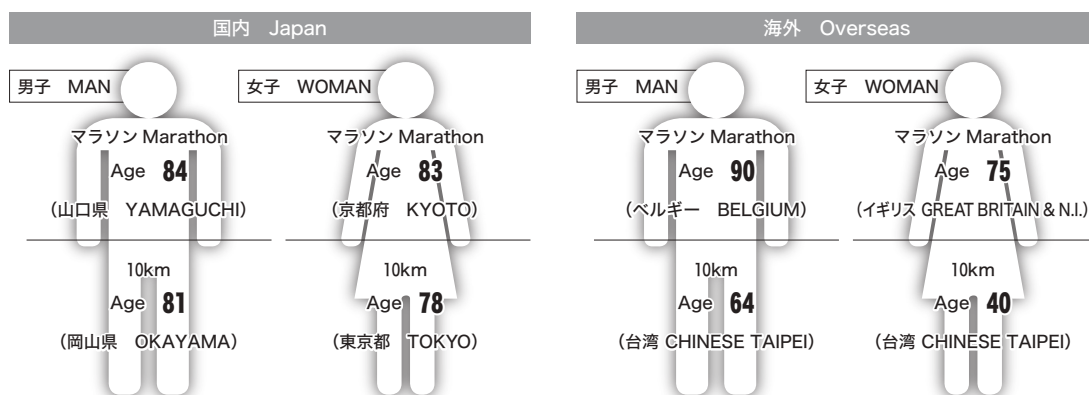
種目 Events	マラソン Marathon			10km					
	マラソン 全体 Marathon	種目別内訳 Data of the Register		10km Race	種目別内訳 Data of the Register				
		一般 General participants	車いす Wheelchair		ジュニア &ユース Junior & Youth	車いす Wheelchair	視覚障害者 Visually Impaired	知的障害者 Intellectually Challenged	移植者 Organ Transplant Recipients
定員 Quota	35,500	35,490	10	500	290	10	50	100	50
うち抽選対象 Random drawing	26,370 ^{※1}	26,360	10	400 ^{※2}	190	10	50	100	50
申込者数詳細 Applicants	319,777	319,743	34	1,017	240	10	112	483	172
申込者合計 Total	320,794 人								

- ※1 抽選対象26,370人(エリート・準エリート・車いすエリート・ONE TOKYO プレミアムメンバー・チャリティランナー除く)
26,370 runners chosen by lottery (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- ※2 抽選対象400人(復興支援ジュニア&ユース除く)
400 runners chosen by lottery (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)

■ マラソン参加者・年代別集計 / Participants by Age Group—Marathon



■ 種目別最高年齢 / Oldest Participants



賞金

OVERVIEW

Prize Purse

東京マラソン2018における賞金を定めましたのでお知らせします。なお、賞金はオフィシャルパートナーのご協力により実施いたします。

The prize purse for Tokyo Marathon 2018 has announced as described below. Please note that all prize purses will be provided by the official partners.

1 マラソン

Marathon

(1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit:円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	11,000,000	11,000,000
2位	2nd	4,000,000	4,000,000
3位	3rd	2,000,000	2,000,000
4位	4th	1,000,000	1,000,000
5位	5th	750,000	750,000
6位	6th	500,000	500,000
7位	7th	400,000	400,000
8位	8th	300,000	300,000
9位	9th	200,000	200,000
10位	10th	100,000	100,000
計	Total	20,250,000	20,250,000

世界記録 (WR)		
男子 Men	デニス・キメット(ケニア)	KIMETTO, Dennis (KEN) 2:02:57 (2014年ベルリン・Berlin)
女子 Women	ポーラ・ラドクリフ(イギリス)	RADCLIFFE, Paula (GBR) 2:15:25 (2003年ロンドン・London)
日本記録 (NR)		
男子 Men	高岡 寿成	TAKAOKA, Toshinari 2:06:16 (2002年シカゴ・Chicago)
女子 Women	野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki 2:19:12 (2005年ベルリン・Berlin)
大会記録 (CR)		
男子 Men	ウィルソン・キブサンク(ケニア)	KIPSANG, Wilson (KEN) 2:03:58 (2017大会)
女子 Women	サラ・チェプチルチル(ケニア)	CHEPCHIRCHIR, Sarah (KEN) 2:19:47 (2017大会)

(2) 記録ボーナス Record Bonuses

(単位/Unit:円/JPY)

項目 Term	記録ボーナス Record Bonuses		備考 Remarks
	男子 Men	女子 Women	
世界記録 World Record (WR)	30,000,000	30,000,000	男女1位のみ 1st place only
日本記録 Japanese National Record (NR)	5,000,000	5,000,000	男女国内1位のみ 1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	3,000,000	3,000,000	男女1位のみ 1st place only
計 Total	38,000,000	38,000,000	

2 車いすマラソン

Wheelchair Marathon

(1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit:円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	1,000,000	1,000,000
2位	2nd	500,000	500,000
3位	3rd	300,000	300,000
4位	4th	100,000	100,000
5位	5th	80,000	80,000
6位	6th	60,000	60,000
7位	7th	40,000	40,000
8位	8th	20,000	20,000
計	Total	2,100,000	2,100,000

世界記録 (WR)		
男子 Men	ハインツ・フライ(スイス)	FREI, Heinz (SUI) 1:20:14 (1999年大分国際・Oita)
女子 Women	マヌエラ・シャー(スイス)	SCHAR, Manuela (SUI) 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
	土田 和歌子(日本)	TSUCHIDA, Wakako (JPN) 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
日本記録 (NR)		
男子 Men	洞之上 浩太	HOKINOUE, Kota 1:20:52 (2013年ソウル国際・Seoul)
女子 Women	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
大会記録 (CR)		
男子 Men	クート・フェンリー(オーストラリア)	FEARNLEY, Kurt (AUS) 1:26:00 (2016年)
女子 Women	土田 和歌子(日本)	TSUCHIDA, Wakako (JPN) 1:41:04 (2016年)

(2) 記録ボーナス Record Bonuses

(単位/Unit:円/JPY)

項目 Term	記録ボーナス Record Bonuses		備考 Remarks
	男子 Men	女子 Women	
世界記録 World Record (WR)	1,000,000	1,000,000	男女1位のみ 1st place only
日本記録 Japanese National Record (NR)	500,000	500,000	男女国内1位のみ 1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	200,000	200,000	男女1位のみ 1st place only
計 Total	1,700,000	1,700,000	

3 総額

Grand Total

(単位/Unit:円/JPY)

項目 Term	賞金 Prize Purse
賞金合計 Total Prize Purse	44,700,000
ボーナス合計 Total Time Bonuses	79,400,000
総額 Grand Total	124,100,000

※金額はいずれも税込みです。

※賞金は協賛企業各社からのご協力により実施いたします。

Tax included on all prize purse.

All prize purses come from the sponsor's cooperation.

Project EXCEEDの施策である日本記録「突破」褒賞制度が適用されます。

詳細は projectexceed.com ➡ P35

公式日程

OVERVIEW

2月1日～ 28日	木～ 水		東京マラソンウィーク2018	東京都内	
2月20日	火	14:00	選手村開村	京王プラザホテル本館47F	
2月22日	木	9:15 - 10:30	東京マラソンEXPO 2018 プレスツアー	東京ビッグサイト西展示棟	
		10:45 - 11:00	東京マラソンEXPO 2018 オープニング		
		11:00 - 20:30	東京マラソンEXPO 2018 一般ランナー受付		
2月23日	金	10:30 - 15:00	プレスカンファレンス (主催者会見、車いすエリート・マラソンエリート出場選手会見)	京王プラザホテル本館5F コンコードボールルーム	
		11:00 - 20:30	東京マラソンEXPO 2018 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟	
2月24日	土	10:00 - 10:45	東京マラソンファミリーラン2018	臨海副都心シンボルプロムナード公園	
		11:00 - 11:30	東京マラソンフレンドシップラン2018	臨海副都心シンボルプロムナード公園	
		11:00 - 17:00	東京マラソンウィーク2018 オフィシャルイベント フィニッシュエリアを見に行こう!丸の内仲通りイベント	丸の内仲通り 丸ビル 1F マルクューブ	
		11:00 - 19:30	東京マラソンEXPO 2018 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟	
		13:00 - 16:00	2018ジャパンレースディレクターズミーティング (主催:日本陸上競技連盟)	ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F	
		13:00 - 16:00	車いす選手受付	京王プラザホテル南館3F	
		13:00 - 16:00	エリート選手受付	京王プラザホテル本館3F	
		16:00 - 17:00	テクニカルミーティング(マラソン)	京王プラザホテル本館44F	
		17:00 - 18:00	テクニカルミーティング(車いす)		
		21:00	開催決定会議(前日)	AP東京丸の内	
		2月25日	日	4:00	開催決定会議(当日)
6:00 - 7:00	招待選手・エリート選手スペシャルドリンク受付			京王プラザホテル本館3F	
6:30 - 7:00	車いす選手受付			京王プラザホテル南館B1F 駐車場	
8:54	スタートセレモニー開始			都庁第一本庁舎前	
8:55	大会会長挨拶・開会宣言				
8:58	国歌斉唱				
9:05	車いすマラソン・車いす10km スタート				
9:10	マラソン・10km スタート				
10:30頃	車いすマラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰			フィニッシュエリア表彰ステージ	
10:45頃	車いすマラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰			フィニッシュエリア表彰ステージ	
10:50	10km競技終了			コングレスクエア日本橋前	
11:10 - 12:10	10km表彰式			コングレスクエア日本橋2F アトリウム	
11:15頃	マラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰			フィニッシュエリア表彰ステージ	
11:35頃	マラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰				
12:00 - 12:30	選手会見・レースディレクター会見 車いす男女優勝・日本人男女トップ選手 マラソン男女優勝・日本人男女トップ選手			丸ビル 7F 丸ビルホール	
13:00 - 15:30	表彰式 贈呈式			RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 "Wild Card Award"	丸ビル 1F マルクューブ
				車いす男女表彰式	
		マラソン男女表彰式			
		アボット・ワールドマラソンメジャーズ チャリティ寄付金贈呈式			
		Next Generation Athlete Award 2018 マラソングランドチャンピオンシップ チケット贈呈式			
16:10	マラソン競技終了	東京駅前・行幸通り			
2月26日	月	11:00	選手村閉村	京王プラザホテル本館47F	

Official Schedule

February 1-28	Thu-Wed		Tokyo Marathon WEEK 2018	Tokyo metropolitan area	
February 20	Tue	2:00 pm	Opening of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 47F	
February 22	Thu	9:15 am - 10:30 am	Tokyo Marathon EXPO 2018 media tour	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall	
		10:45 am - 11:00 am	Tokyo Marathon EXPO 2018 opening ceremony		
		11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2018		
February 23	Fri	10:30 am - 3:00 pm	Press conference (Organizer's and elite athletes' press conference)	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 5F (Concord Ballroom)	
		11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2018	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall	
February 24	Sat	10:00 am - 10:45 am	Tokyo Marathon Family Run 2018	Symbol Promenade Park	
		11:00 am - 11:30 pm	Tokyo Marathon Friendship Run 2018	Symbol Promenade Park	
		11:00 am - 5:00 pm	Tokyo Marathon WEEK 2018 Official Event Marunouchi Naka-dori Event "Let's go see the Finish area!"	Marunouchi Naka-dori Marunouchi Building, 1F (MARUCUBE)	
		11:00 am - 7:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2018	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall	
		1:00 pm - 4:00 pm	2018 Japan Race Directors Meeting (Organizer: JAAF)	BELLE SALLE Shinjuku Grand, Conference Center, 5F	
		1:00 pm - 4:00 pm	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower, 3F	
		1:00 pm - 4:00 pm	Elite runner registration	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 3F	
		4:00 pm - 5:00 pm	Technical meeting (Marathon)	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 44F	
		5:00 pm - 6:00 pm	Technical meeting (Wheelchair)		
				9:00 pm	Go/no-go decision making regarding a race start
February 25	Sun	4:00 am	Final go/no-go decision making regarding a race start	Start headquarter/ Metropolitan Gov. Building No.2	
		6:00 am - 7:00 am	Registration for invited and elite runners' special drink	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 3F	
		6:30 am - 7:00 am	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower, B1F, Parking	
		8:54 am	Start ceremony	Front of Metropolitan Gov. Building No.1	
		8:55 am	Opening speech by Chairperson of Tokyo Marathon		
		8:58 am	Singing of the national anthem		
		9:05 am	Wheelchair Marathon and 10km start		
		9:10 am	Marathon and 10km start		
		10:30 am	Wheelchair Men/Winner's award ceremony	Award stage at Finish area	
		10:45 am	Wheelchair Women/Winner's award ceremony		
		10:50 am	10km finish	Front of the CongressSquare Nihonbashi	
		11:10 am - 12:10 pm	10km awards ceremony	CongressSquare Nihonbashi, 2F, Atrium	
		11:15 am	Marathon Men/Winner's award ceremony	Award stage at Finish area	
		11:35 am	Marathon Women/Winner's award ceremony		
		12:00 pm - 12:30 pm	Post-race press conference with top finishers and Race Director (Wheelchair and marathon winners and 1st Japanese finishers)	Marunouchi Building, 7F (MARUBIRU HALL)	
		1:00 pm - 3:30 pm	Awards Ceremony & Presentation	RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 "Wild Card Award"	Marunouchi Building, 1F (MARUCUBE)
				Wheelchair top finishers award ceremony	
Marathon top finishers award ceremony					
AbbottWMM Charity check presentation					
Next Generation Athlete Award 2018					
		Marathon Grand Championship ticket presentation			
		4:10 pm	Marathon finish	Tokyo Station/ Gyoko-dori Ave.	
February 26	Mon	11:00 am	Closing of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 47F	

経緯

OVERVIEW

平成16年	4月	東京都と日本陸連で平成17年度に大都市マラソンを開催することを目標に協議を開始
平成17年	2月 23日	「東京大都市マラソン開催準備委員会」を設置・開催
	10月 20日	東京都と日本陸連で「東京マラソンに関する基本合意」締結
	11月 21日	東京マラソン組織委員会を設立
平成19年	2月 18日	東京マラソン2007
平成20年	2月 17日	東京マラソン2008
	9月	IAAF ロードレースラベリング「シルバーラベル」取得
平成21年	3月 22日	東京マラソン2009
	9月 16日	IAAF ロードレースラベリング「ゴールドラベル」取得
平成22年	2月 28日	東京マラソン2010
		東京マラソンファミリーラン初開催
	6月 30日	一般財団法人東京マラソン財団設立
	12月 15日	チャリティ事業開始
平成23年	2月	東京マラソンウィーク初実施
	2月 23日	東京マラソン財団公式クラブONE TOKYO 開設
	2月 27日	東京マラソン2011
	4月 1日	東京マラソン財団事務所移転
平成24年	2月 25日	東京マラソンフレンドシップラン初開催
	2月 26日	東京マラソン2012
	10月 1日	ワールドマラソンメジャーズ (WMM)に加入 ※現アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM)
平成25年	2月 24日	東京マラソン2013
	5月 12日	ランナーサポート施設『ジョグポート有明』開設
	6月	警備救護強化プロジェクト発足
平成26年	2月 23日	東京マラソン2014
	6月 27日	スポーツレガシー事業開始 RUN as ONE - Tokyo Marathon プログラム導入
平成27年	2月 22日	東京マラソン2015
	6月 30日	大会ロゴリニューアル 車いすマラソン国際化
平成28年	2月 28日	東京マラソン2016 (10回記念大会)
	3月	新コース発表 (2017大会) RUN as ONE - Tokyo Marathon プログラムに学生を追加 (2017大会)
	10月 6日	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」発足
平成29年	2月 26日	東京マラソン2017
	3月	チャリティランナー定員4,000人に増員
	5月 14日	東京マラソン財団オフィシャルイベント シンボルプロムナード公園ランニングコース「有明・お台場リレーハーフマラソン」 開催
	10月 28日	東京マラソン財団オフィシャルイベント 東京トライアルハーフマラソン開催
平成30年	1月 13日	普通救命講習会開催
	1月 28日	危機管理講習会開催
	2月 25日	東京マラソン2018

※東京マラソンは2019大会以降、3月第一日曜日開催予定

History

2004	April		Tokyo Metropolitan Government, together with JAAF (Japan Association Of Athletics Federations) , started discussions toward holding a big-city marathon in 2005
2005	February	23	Tokyo Marathon Preparatory Committee established and first meeting held
	October	20	Tokyo Metropolitan Government and JAAF signed the Basic Agreement on the Tokyo Marathon
	November	21	Tokyo Marathon Organizing Committee established
2007	February	18	Tokyo Marathon 2007
2008	February	17	Tokyo Marathon 2008
	September		Tokyo Marathon receives "Silver Label" from IAAF Road Race Labeling
2009	March	22	Tokyo Marathon 2009
	September	16	Tokyo Marathon receives "Gold Label" from IAAF Road Race Labeling
2010	February	28	Tokyo Marathon 2010 Tokyo Marathon Family Run 2010 inaugurated
	June	30	Tokyo Marathon Foundation established
	December	15	Tokyo Marathon Charity introduced
	February		Tokyo Marathon Week introduced
2011		23	Official Tokyo Marathon Foundation "ONE TOKYO" club established
		27	Tokyo Marathon 2011
	April	1	Tokyo Marathon Foundation Office relocated
2012	February	25	Tokyo Marathon 2012 Friendship Run inaugurated
		26	Tokyo Marathon 2012
	October	1	Tokyo Marathon joined the World Marathon Majors (WMM) ※ Current:Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM)
2013	February	24	Tokyo Marathon 2013
	May	12	JOGPORT ARIAKE (runner supports facility) opened
	June		SAFE & SECURE Project inaugurated
2014	February	23	Tokyo Marathon 2014
	June	27	Sports Legacy Program started RUN as ONE – Tokyo Marathon program introduced
2015	February	22	Tokyo Marathon 2015
	June	30	New logo introduced Internationalization of the wheelchair marathon announced
2016	February	28	Tokyo Marathon 2016 (tenth anniversary)
	March		New course announced (Tokyo Marathon 2017) Students allowed to participate in the RUN as ONE – Tokyo Marathon program (Tokyo Marathon 2017)
	October	6	Tokyo Marathon Foundation's official volunteer club "VOLUNTAINER" established
2017	February	26	Tokyo Marathon 2017
	March		Charity runner capacity Mar. 2017 increased to 4,000
	May	14	Official event "ARIAKE/ODAIBA Relay Half Marathon"
	October	28	Official event "Tokyo Trial Half Marathon"
2018	January	13	"First Aid Seminar"
	January	28	"Crisis Management Seminar"
	February	25	Tokyo Marathon 2018

*The Tokyo Marathon is scheduled to be held on the first Sunday in March from 2019 onward.

大会データ年次推移

OVERVIEW

		2017 2/26 (Sun.)	2016 2/28 (Sun.)	2015 2/22 (Sun.)	
定員 Capacity	マラソン Marathon	35,500	36,500 *1	35,500 *2	
	10km	500	500 *4	500 *4	
	定員合計 Total	36,000	37,000	36,000	
申込者 Applicants	マラソン Marathon	321,459	308,810	304,825	
	10km	1,244	1,014	909	
	申込者合計 Total	322,703	309,824	305,734	
出走者 Starters	マラソン Marathon	35,378	36,173	35,310	
	10km	446	475	487	
	出走者合計 Total	35,824	36,648	35,797	
完走者 Finishers	マラソン Marathon	33,974	34,697	34,049	
	10km	439	468	478	
	完走者合計 Total	34,413	35,165	34,527	
	マラソン完走率 Marathon finisher ratio (%)	96.0	95.9	96.4	
	マラソン男女比率 Marathon M/W ratio (%)	Men 77.3 Women 22.7	78.1 21.9	78.8 21.2	
	10km完走率 10km Race finisher ratio (%)	98.4	98.5	99.2	
	10km男女比率 10km M/W ratio (%)	Men 69.0 Women 31.0	72.0 28.0	64.0 36.0	
気象 Weather (°C)	スタート Start (9:10)	☀ 11.5°C	☀ 13.3°C	☁ 8.0°C	
	トップフィニッシュ Top Finish (11:20)	☀ 14.3°C	☀ 16.7°C	☁ 8.0°C	
	(Time) かつこ内は時刻 競技打ち切り Race Completion (16:00)	☁ 14.5°C	☁ 12.1°C	☁ 9.3°C	
マラソン 完走記録 Marathon finish time	3時間未満 Less than 3hours	人数 Number of finishers	1,442	1,139	1,103
		Men	1,343	1,077	1,036
		Women	99	62	67
		全体比率 Component ratio (%)	4.2	3.3	3.2
	3時間以上 4時間未満 3hours-less 3hours-less	人数 Number of finishers	6,680	6,740	7,456
		Men	5,651	5,797	6,515
		Women	1,029	943	941
		全体比率 Component ratio (%)	19.7	19.4	21.9
	4時間以上 5時間未満 4hours-less than 5hours	人数 Number of finishers	10,130	10,362	10,840
		Men	8,192	8,498	8,773
		Women	1,938	1,864	2,067
		全体比率 Component ratio (%)	29.8	29.9	31.8
5時間以上 6時間未満 5hours-less than 6hours	人数 Number of finishers	9,780	10,055	9,493	
	Men	7,063	7,418	7,003	
	Women	2,717	2,637	2,490	
	全体比率 Component ratio (%)	28.8	29.0	27.9	
6時間以上 7時間未満 6hours-less than 7hours	人数 Number of finishers	5,942	6,401	5,157	
	Men	4,029	4,331	3,500	
	Women	1,913	2,070	1,657	
	全体比率 Component ratio (%)	17.5	18.4	15.1	
マラソン年代別集計 Marathon participants by age group (%) *7	10歳代 10s	0.2	0.2	0.2	
	20歳代 20s	10.7	10.4	11.3	
	30歳代 30s	25.5	26.4	29.6	
	40歳代 40s	33.3	33.4	33.4	
	50歳代 50s	22.4	22.0	18.3	
	60歳代 60s	6.8	6.5	6.2	
	70歳代 70s	1.0	1.1	1.1	
	80歳代 80s	0.1	0.03	0.1	
チャリティランナー出走者数 Chality runner starters	2,831	2,846	2,756		
ボランティア参加人数 Volunteers	13,369	11,469	11,611		
EXPO 来場者数 Tokyo Marathon EXPO	来場者数 Visitors	114,848	111,742	103,330	
	出展ブース数 Exhibitors	135	123	114	
外国人出走者数 International starters (Marathon/10km) (海外居住の日本、国内居住の外国など含む)	6,258	6,456	5,317		

*1 抽選対象 27,370人(エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE Tokyo Marathon(準エリート・一般)、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)

*2 抽選対象 28,400人(エリート、準エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)

*3 抽選対象 29,400人(エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)

*4 抽選対象 400人(復興支援事業除く)

*5 抽選対象 32,000人(チャリティランナー1,000人除く)

*6 都立高校生

*7 小数点第二位を四捨五入しているため100%にならない場合あり

Statistics by Year

2014 2/23 (Sun.)	2013 2/24 (Sun.)	2012 2/26 (Sun.)	2011 2/27 (Sun.)	2010 2/28 (Sun.)	2009 3/22 (Sun.)	2008 2/17 (Sun.)	2007 2/18 (Sun.)
35,500 *3	35,500 *3	35,500 *3	33,000 *5	32,000	30,000	25,000	25,000
500 *4	500 *4	500 *4	3,000	3,000	5,000	5,000	5,000
36,000	36,000	36,000	36,000	35,000	35,000	30,000	30,000
302,442	303,450	282,824	294,469	272,134	226,378	130,062	77,521
944	1,058	1,164	40,678	39,307	35,603	25,950	17,523
303,386	304,508	283,988	335,147	311,441	261,981	156,012	95,044
35,556	36,228	35,954	33,353	32,080	30,164	27,386	26,058
474	448	453	3,096	2,948	4,808	5,040	4,812
36,030	36,676	36,407	36,449	35,028	34,972	32,426	30,870
34,126	34,819	34,678	32,415	30,182	29,128	26,665	25,102
458	432	451	3,086	2,919	4,635	4,898	4,720
34,584	35,251	35,129	35,501	33,101	33,763	31,563	29,822
96.0	96.1	96.5	97.2	94.1	96.6	97.4	96.3
79.7	79.9	78.9	76.1	78.9	78.3	77.8	77.7
20.3	20.1	21.1	23.9	21.1	21.7	22.2	22.3
96.6	96.4	99.6	99.7	99.0	96.4	97.2	98.1
68.3	65.3	69.4	71.0	52.2	55.4	72.9	72.5
31.7	34.7	30.6	29.0	47.8	44.6	27.1	27.5

☁ 4.0 °C	☀ 4.6 °C	☁ 6.0 °C	☀ 11.0 °C	☁ 5.0 °C	☁ 15.5 °C	☀ 2.5 °C	☁ 5.0 °C
☁ 9.0 °C (11:16)	☀ 9.0 °C (11:17)	☁ 7.5 °C (11:22)	☀ 14.5 °C (11:22)	☁ 3.0 °C (11:20)	☁ 23.0 °C (11:20)	☀ 8.0 °C (11:17)	☁ 6.5 °C (11:19)
☀ 9.0 °C	☀ 5.0 °C	☀ 8.0 °C	☀ 18.0 °C	☀ 9.5 °C	☁ 16.5 °C	☁ 7.0 °C	☁ 10.0 °C

824	802	852	720	499	648	742	495
778	748	806	669	472	601	721	479
46	54	46	51	27	47	21	16
2.4	2.3	2.5	2.2	1.7	2.2	2.7	2.0
7,115	7,287	7,328	6,069	5,816	5,625	6,197	5,926
6,402	6,622	6,573	5,279	5,210	4,991	5,515	5,274
713	665	755	790	606	634	682	652
20.8	20.9	21.1	18.7	19.3	19.3	23.2	23.6
10,732	11,266	11,245	10,589	9,535	9,725	9,540	9,136
8,860	9,305	9,099	8,422	7,817	7,821	7,529	7,208
1,872	1,961	2,146	2,167	1,718	1,904	2,011	1,928
31.4	32.4	32.4	32.7	31.6	33.4	35.7	36.4
9,813	9,958	9,998	9,697	9,074	8,603	7,029	6,992
7,314	7,420	7,285	6,789	6,686	6,316	4,921	4,908
2,499	2,538	2,713	2,908	2,388	2,287	2,108	2,084
28.8	28.6	28.8	29.9	30.1	29.5	26.6	27.9
5,642	5,506	5,255	5,340	5,258	4,527	3,157	2,553
3,849	3,724	3,592	3,519	3,638	3,078	2,052	1,636
1,793	1,782	1,663	1,821	1,620	1,449	1,105	917
16.5	15.8	15.2	16.5	17.4	15.5	11.8	10.2

0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1
11.3	12.0	12.5	15.1	17.6	16.5	14.5	10.9
29.6	29.6	29.7	34.4	33.8	32.7	32.0	29.4
33.4	33.1	33.1	30.0	28.1	27.7	28.1	28.7
18.3	17.8	17.2	15.2	13.9	15.4	16.9	21.2
6.2	6.0	6.2	5.9	5.7	6.3	7.2	8.7
1.1	1.1	1.0	0.8	0.7	1.0	1.0	1.0
0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	0.03	0.03

2,473	2,128	1,637	694	—	—	—	—
-------	-------	-------	-----	---	---	---	---

11,003	10,888	10,726 (1,453 *6)	10,450 (1,585 *6)	9,208 (1,591 *6)	13,046 (3,100 *6)	11,915 (3,618 *6)	12,670 (2,621 *6)
--------	--------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------

96,273	81,082	83,160	85,920	80,849	83,493	74,188	51,970
108	106	102	95	96	76	69	47

5,067	2,980	2,619	2,880	2,639	2,730	1,977	1,066
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

- *1 27,370 runners chosen by lottery (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- *2 28,400 runners chosen by lottery (excluding Elite, Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- *3 29,400 runners chosen by lottery (excluding Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- *4 400 runners chosen by lottery (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)
- *5 32,000 runners chosen by lottery (excluding 1,000 Charity runners)
- *6 Number of the student volunteers from public high schools in Tokyo
- *7 Percentages are rounded to one decimal place.

東京マラソンに関する数字

OVERVIEW

★ご提供元 オフィシャルパートナー：詳細 → P20 ☆ご提供元 協力：詳細 → P6

給水等	給水所	18カ所 [コース約2.5kmごと計15カ所他スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ※給食は5カ所 [17km以降約5kmごと]
	スポーツドリンク	約310,500杯分 ポカリスエット ※1杯120ml ★大塚製薬
	水	約358,900杯分 クリスタルガイザー※1杯120ml ★大塚製薬 ※緊急時対応として11カ所 [15km以降各給水所]のバックアップ水源
	紙コップ	約906,000個 (水、スポーツドリンク用)
	バナナ	約34,500本 [スタート、17km、32km、38km、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★ドール
	ランチパック	約36,180個 [スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★山崎製パン
	一口クリームパン	約18,000個 [22km]
	トマト	約66,000個 [17km、27km、32km、38km、マラソンフィニッシュブース] ★カゴメ
	ぶどう糖	約27,000粒 [27km、32km]
	梅干	約24,000個 [27km、38km]
	チョコレート	約12,500粒 [32km、38km]
	栄養食品	約99,736本 [ポカリスエットゼリー&アミノバリュー顆粒-スタート、カロリーメイトゼリー-22km、 カロリーメイト-10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★大塚製薬
	みかん	約30,000個 [スタート、22km、38km、10kmフィニッシュ] ☆築地市場協会/淀橋市場協会
	塩飴	約22,000個 [17km、32km]
ようかん	約8,100個 [22km]	
設備・物品	仮設トイレ	82カ所 1,034基 [スタート523基、コース上469基、マラソンフィニッシュ42基]
	特設スタンド	588席 [スタート360席、マラソンフィニッシュ228席]
	足湯	6台 [マラソンフィニッシュのみ] ★スターツ
救護	救護所	25カ所 [スタート～コース上16カ所《20kmまで5kmごと、以降約2kmごと》、フィニッシュエリア 《医務室含む》9カ所]
	AED	96台 [スタート～コース救護所11台、フィニッシュ 20台、 モバイル隊24台、BLS隊40台【定点配備】、選手村1台] ★日本光電
	BLS 隊	40隊 80人 [救護所、コース上約1km間隔に37隊配置、フィニッシュエリア3隊《AED対応 メディカルスタッフ》]
	BLS サポート隊	34隊 72人 [救護所、BLS隊の間約500m付近を2人以上でサポート]
	モバイル隊	24隊 48人 [コース上を自転車で行くAED対応のメディカルスタッフ]
	ドクター等	医師70人、看護師109人、トレーナー118人、その他(東陸、ボランティア)約380人、ランドクター50人
	救護車両	41台 [スタート、各救護所1-2台、《サポートキャブ含む》]
車両	手荷物トラック	38台 [マラソン36台(10トン34台、4トン1台、エリート用4トン1台)、10km1台(4トン1台) 《予備車両1台含む》 ※1台あたり約400～1,100個積載]
	収容バス/ワゴン	83台 収容バス51台、収容ワゴン14台、車いす収容ワゴン18台
沿道対策	交通規制	銀座 5時間05分、芝高輪 6時間20分、丸の内仲通り 6時間50分(長時間の所) テレビCM、新聞出稿2回、交通規制チラシ約26万枚、交通規制チラシDM約27万戸、 ポスター約4万枚《電車・バス中刷り含む》、ラジオ告知約1,000回
ボランティア	ボランティア参加者数	13,232人 (延べ人数) 詳細→P165
EXPO	出展ブース数	115ブース 123社(団体)
マラソン祭り	会場数	25会場 (沿道会場24、祭りメイン会場1)
	出演者	約3,500人 (総出演団体数 約130団体)
競技	ペースメーカー	10人 【エリート対象】大会で定めたレースペースで選手を引っ張る役目の走者： 男子レースペースメーカー6人、女子レースペースメーカー4人
	ペースセッター	32人 【一般ランナー対象】ランナーのレース記録を目安に走る走者： 3時間<5人>、3時間30分<5人>、4時間<7人>、4時間30分<5人>、5時間<5人>、5時間30分<5人>
	完走サポートランナー	5人 【一般ランナー対象】参加ランナーを完走させるペースでサポートする走者
警備/誘導	警備員/誘導員数	約6,000人
	金属探知機台数	57台 [スタート51台、フィニッシュ6台]
その他	スタッフウェア	約19,500着(ボランティア及び大会関係者) ★アシックス/東レ

2018年1月31日現在

Supported by ★ Official Partners/ For detail → P20, ☆ Official Suppliers/ For detail → P8

Fluid & Foods	Aid Stations	18 stations (every 2.5km, Start, 10km Finish, Marathon Finish); Foods are available at (every 5km after 17km)
	Sports drinks	Approx. 310,500cups (POCARI SWEAT) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka
	Water	Approx. 358,900 cups (Crystal Geysler) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka ※11 spots of backup water sources
	Paper cups	Approx. 906,000 cups
	Bananas	Approx. 34,500 ★Dole
	Lunch Pack	Approx. 36,180 ★Yamazaki Baking
	Creampan (Bread)	Approx. 18,000 - 22km
	Tomatos	Approx. 66,000 - 17km, 27km, 32km, 38km, Marthon Finish booth ★KAGOME
	Glucose sugar drops	Approx. 27,000 (27km, 32km)
	Umeboshi (Pickled plum)	Approx. 24,000 (27km, 38km)
	Chocolate	Approx. 12,500 (32km, 38km)
	Nutrition Foods	Approx. 99,736 (POCARI SWEAT JELLY & AMINO VALUE GLANULE - Start, Calorie Mate JELLY-22km, Calorie Mate - 10km Finish, Marathon Finish) ★Otsuka
	Mikan (Mandarin orange)	Approx. 30,000 - Start, 22km, 38km, 10km Finish, ☆TSUKIJI MARKET/ YODOBASHI WHOLESALE MARKET
	Salt candies	Approx. 22,000 (17km, 32km)
Sweet bean jelly	Approx. 8,100 (22km)	
Facilities	Portable toilets	82 Locations 1,034 (523 - Start, 469 - Course, 42 - Marathon Finish)
	Temporary stands	588 seats (360 seats - Start, 228 seats - Marathon Finish)
	Foot baths	6 (Only at the Marathon Finish area) ★STARTS
Medical	Medical Stations	25 stations on the course (16 at Start, every 5km till 20km, every 2km after 20km, and 9 at Marathon Finish Medical offices area)
	AEDs	96 *AED = Automated External Defibrillator ★NIHON KOHDEN
	BLS teams	40 two - persons teams (37 teams along the course every 1km, 3 teams at Marathon Finish area) *BLS = Basic Life Support
	BLS support teams	72 staffs (34 teams of at least 2 staffs support for BLS teams deployed in between BLS teams)
	AED bike teams	48 staffs (24 teams of medical staffs on bikes, equipped with AED)
	Doctors, etc.	70 doctors, 109 nurses, 118 trainers, 50 Running doctors and approx. 380 other staffs (including Medical Station's volunteers)
	Emergency vehicles	41 (1-2 at Start and each medical station)
Vehicles	Baggage trucks	38 trucks <<including 1 backup trucks>> *36 trucks (10t x 34, 4t x 1, 4t for elite x1) for Marathon, 1 trucks (4t x 1) for 10km (400-1,100 baggages per truck)
	Buses & Wagons	51 buses , 14 wagons for runner pickup, 18 wagons for wheelchair
Traffic Control	Road closure	Primary closures: Ginza 5h 05min, Shiba Takanawa 6h 20min, Marunouchi Naka Do-ri 6h 50min TV commercials, 2 times newspaper advertising, Approx. 260,000 fliers , 270,000 fliers for direct mail Approx.40,000 posters (including ads on train/bus), 1,000 radio announces
Volunteers		13,232 For detail →P165
EXPO	Exhibiter booths	115 booths 123 exhibitors
MARATHON FESTA	Venues	25 venues
	Performers	Approx. 3,500 (130 groups)
Race	Pacemakers [Elite]	10 *The runners who runs with the designated lap time for elite runners. 6 for Men's race; 4 for Women's race
	Pace-setters [General]	32 *The runners who set the running pace for the following finishing time (wearing orange cap and bib):3hrs:5, 3hrs 30mins:5, 4hrs:7, 4hrs 30mins:5, 5hrs:5, 5hrs 30mins:5
	FINISH Support Runners	5 *The runners who support the participants to finish the race in time.
Security & Guard	Security guards	Approx. 6,000
	Metal Detectors	57 (Start area : 51 ; Finish area 6)
Others	Staff wears	Approx. 19,500 for volunteers and staffs ★ASICS/Toray

As of Jan 31, 2018

東京マラソン2018オフィシャルパートナー

OVERVIEW

Tokyo Marathon 2018 Official Partners

プレミアパートナー Premier Partner

東京メトロ
Tokyo Metro Co., Ltd.

メジャーパートナー Major Partners

スターツ
STARTS CORPORATION INC.

山崎製パン
株式会社
Yamazaki Baking Co., Ltd.

アシックスジャパン
株式会社
ASICS Japan Corp.

大塚製薬
株式会社
Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

メインパートナー Main Partners

ビー・エム・ダブリュー
株式会社
BMW Japan Corp.

近畿日本ツーリスト株式会社
KINTETSU INTERNATIONAL

第一生命保険株式会社
The Dai-ichi Life
Insurance Company, Limited

セイコーホールディングス
株式会社
SEIKO HOLDINGS CORPORATION

東レ株式会社
Toray Industries, Inc.

日本マクドナルド株式会社
McDonald's Company (Japan), Ltd.

アクティブパートナー Active Partners

株式会社
みずほ銀行
Mizuho Bank, Ltd.

株式会社
セブン-イレブン・ジャパン
Seven-Eleven Japan Co., Ltd.

アサヒビール
株式会社
ASAHI BREWERIES, LTD.

アメリカン・エクスプレス・
インターナショナル, Inc.
American Express
International, Inc.

全日本空輸株式会社
ALL NIPPON
AIRWAYS CO., LTD

カゴメ株式会社
KAGOME Co., Ltd.

株式会社
フォトクリエイト
Photocreate Co., Ltd

全国労働者共済生活
協同組合連合会
ZENROSAI (National Federation of Workers
and Consumers Insurance Cooperatives)

コニカミノルタ
株式会社
KONICA MINOLTA, INC.

セコム株式会社
SECOM CO., LTD.

久光製薬株式会社
Hisamitsu
Pharmaceutical Co., Inc.

大和証券グループ
Daiwa Securities Group

資生堂ジャパン株式会社
Shiseido Japan Co., Ltd

株式会社バンダイナムコ
エンターテインメント
BANDAI NAMCO
Entertainment Inc.

日本アイ・ビー・エム
株式会社
IBM Japan, Ltd.

サポーターパートナー Supporting Partners

日本光電
NIHON KOHDEN

コーユーレンティア
株式会社
KOYOU RENTIA Co., Ltd.

株式会社シミズオクト
Shimizu Octo, Inc.

EMTG株式会社
EMTG Co., Ltd.

株式会社ドール
Dole Japan, Inc.



ナンバーカード Number Cards

スタートブロック
START Block **B**

ナンバーの色 Colors of characters
 赤 Red ⇒ Women's Elite Athletes
 白 White ⇒ Semi-Elite Athletes (RUN as ONE - Tokyo Marathon) Charity Runners
 黒 Black ⇒ Others

ナンバーカードの色はフィニッシュエリア別
 Different colors of the Wristbands and the Number Cards indicate respective finish areas.

スタートエリア入場ゲート
 Entrance gate at the start area

手荷物を預ける
カゴ台車番号
Baggage Car Number
20-20

AbbottWMM
Six Star Finishers

■マラソン Marathon

<p>招待選手 Invited Athletes</p>	<p>ペースメーカー Pacemakers</p>	<p>エリート競技者 Elite Athletes</p>
<p>RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート Semi-Elite Athletes</p>	<p>ONE TOKYO プレミアムメンバー ONE TOKYO Premium Members</p>	<p>チャリティランナー CHARITY Runners</p>
<p>一般 General Participants</p>		
<p>手荷物預けなし No-Baggage</p>	<p>ONE TOKYO 講師 ONE TOKYO Coach</p>	

■10km

<p>ジュニア&ユース Junior & Youth</p>	<p>視覚障害者 Visually Impaired</p>	<p>知的障害者 Intellectually Challenged</p>
<p>移植者 Organ Transplant Recipients</p>	<p>伴走者 Guide Runners</p> <p>前 Pace-Setters 後</p>	
	<p>完走サポートランナー FINISH Support Runners</p>	

ATHLETES

選手紹介

エリート募集要項 Elite Race Information	024
アボット・ワールドマラソンメジャーズ Abbott World Marathon Majors	025
IAAF ゴールドラベル / アジア選手権 IAAF Gold Label / Data of Asian Game	034
MGC / EXCEED Marathon Grand Championship Series / Project EXCEED	035
エリートレース展望 Preview of Elite Race	036
エリート選手リスト Elite Athletes List	038
海外招待選手 男子 International Invited Athletes MEN	041
国内招待選手 男子 Japanese Invited Athletes MEN	053
海外招待選手 女子 International Invited Athletes WOMEN	065
ペースメーカー Pacemakers	073
RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート・一般 RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite & General	074

東京マラソン2018エリート募集要項

ATHLETES

Elite Race Information

※大会名称などその他の情報▶P6

特別協賛	東京メトロ
参加資格	(1)次の①・②・③の条件を満たす競技者 ①2017年度日本陸上競技連盟登録競技者 ②2018年2月25日現在満19歳以上の者 ③国内外の公認競技会で2015年2月1日以降申込期日までに下記の公認記録を出した者 男子マラソン2時間21分以内、ハーフマラソン1時間01分00秒以内、10km(ロード)28分00秒以内 女子マラソン2時間52分以内、ハーフマラソン1時間11分00秒以内、10km(ロード)32分00秒以内 (2)日本陸上競技連盟が推薦する男女競技者 (3)日本陸上競技連盟が招待する外国・国内男女競技者
競技規則	2017年度国際陸上競技連盟(IAAF)並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAFロードレースラベリング規定)も適用される。
定員	男女計100人
参加料	10,800円※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
参加申込	(1)期間 2017年12月11日(月)から2018年1月9日(火)17:00必着 (2)方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2018@tokyo42195.orgへ「エリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出場者決定表	1月25日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。 「東京マラソン2018」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞金	1位 11,000,000円、2位 4,000,000円、3位 2,000,000円、4位 1,000,000円、5位 750,000円、 6位 500,000円、7位 400,000円、8位 300,000円、9位 200,000円、10位 100,000円 世界記録 30,000,000円(男女1位のみ) 日本記録 5,000,000円(男女国内1位のみ) 大会記録 3,000,000円(男女1位のみ) ※1位賞金については、賞金と副賞を一本化。 ※金額はいずれも税込み。
選手受付	2月24日(土)13:00~16:00 京王プラザホテル(大会当日は受付を行わない)。 ※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。
テクニカルミーティング	※希望者のみ 2月24日(土)16:00~京王プラザホテル
スペシャルドリンク受付	※希望者のみ 2月25日(日)6:00~7:00 京王プラザホテル ※容器は各自で準備のこと(装飾物を含めたサイズ:直径8cm、高さ35cmまで) ※スペシャルドリンクテーブルは、一定時間経過後撤去する。
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者及び日本陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
その他	(1)主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 (2)主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 (3)競技者が大会参加中に被った傷害または疾病に対しては、応急処置まで行う。 (4)ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 (5)TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(http://www.playtruejapan.org/)を確認すること。 (6)未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf からダウンロード出来る。 ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 (7)大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (8)賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 (9)本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES



東京マラソンは、 世界6大マラソンのひとつです。

The Tokyo Marathon is One of the World's Greatest Six Marathons

■アボット・ワールドマラソンメジャーズについて

世界中のランナーにとってアボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM) で競うことは、非常に名誉あることです。世界最大規模の主要6大会-東京・ボストン・ロンドン・ベルリン・シカゴ・ニューヨークシティで構成されるAbbottWMMはランナーに恩恵をもたらす独自の取り組みを行っています。

- 他では出来ない経験-各大会の素晴らしい運営は、ランナーに最高のレース体験を保証します。
- シリーズ覇者決定-エリート選手は毎年、AbbottWMMシリーズ大会において、優勝賞金をかけて競います。
- マラソン競技の発展-AbbottWMMは競技としてのマラソンの発展に向け、アンチ・ドーピング規定の推進をはじめとした様々な活動に積極的に取り組んでいます。

■歴史

ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソンの各主催者が、エリートランナー及び一般ランナーが参加するマラソン大会におけるグローバルなリーダーシップを提供するという使命のもと、2006年にAbbottWMMを創設し、東京マラソンは2013年に加入しました。ランニング業界を主導する組織が一致団結し、マラソン競技の発展とエリート選手の意識向上を目指すと同時に、ランニングファンの間におけるエリートレースへの関心を高めるべく活動しています。

2014年10月、世界的ヘルスケア関連企業のアボットとワールドマラソンメジャーズ (WMM) は、新たなパートナーシップを結んだことを発表しました。アボットは東京マラソン2015から、シリーズの初タイトルスポンサーとなりました。Tim Hadzimaが2014年12月にAbbottWMMのゼネラルマネージャーに就任しました。

シリーズの新形式-東京マラソン2015から、それまでの2年周期シリーズに代わり、1年周期における対象レースでのポイント競う新シリーズとなることが、2015年2月に発表されました。さらに2015年4月には、2016年ボストンマラソンからシリーズを拡大し、車いすレースも加えてスタートさせることを発表しました。

AbbottWMMは昨年、Dalian Wanda Group (大連万達集団 (ワンダグループ))と10年間のパートナーシップを締結し、アジア (日本を除く) やアフリカを含む新たな地域の大会を追加することによるシリーズ拡大を目指していることを発表しました。シリーズへの追加大会選定に向け、AbbottWMMが定める厳しい評価基準を満たす候補レースを選定しています。

また、AbbottWMMは、2017年4月23日 (日) 開催のVirgin Moneyロンドンマラソンで幕を開けたシリーズXIにおいて、賞金体系を拡張し新たなチャリティプログラムを導入しました。この賞金体系の再構築により、マラソン、車いすマラソン双方のシリーズに関し男女上位3選手が称えられます。以前は優勝者のみに賞金が授与されていました。

新たなチャリティプログラムを通じ、AbbottWMMシリーズXIを構成する7大会 (2017年ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティ、2018年東京、ボストン、ロンドンマラソン)において、各大会の優勝者名義にて、計28万ドル (約3,127万円) が寄付されることとなります。

■About the Abbott World Marathon Majors

For runners across the globe, competing in an Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM) race is a significant accomplishment. Six of the largest and most renowned road races in the world the Tokyo, Boston, Virgin Money London, BMW BERLIN, Bank of America Chicago and TCS New York City Marathons make up AbbottWMM. The organization delivers several unique benefits to runners:

- Unparalleled experiences - operational excellence at each race ensures a premium race - day journey for runners
- Championship Series - professional runners competing in AbbottWMM qualifying events compete for a prize purse every year
- Advancement of marathoning - AbbottWMM organizers aggressively champion anti-doping protocols and other efforts to move the sport forward

■History

Organizers of the Boston, London, Berlin, Chicago and New York city marathons joined together in 2006 to create AbbottWMM with a mission of providing global leadership in elite and mass participation marathons. The Tokyo Marathon entered the collective in 2013. These industry leading organizations are now united in their effort to advance the sport, raise awareness of marathons' elite athletes, and increase the level of interest in elite racing among running enthusiasts.

In October 2014, Abbott, a global healthcare company, and the World Marathon Majors announced a new partnership. Abbott became the race series' first-ever title sponsor, effective at the Tokyo Marathon 2015. Tim Hadzima was appointed as the general manager of the Abbott World Marathon Majors in December of 2014.

A new series format-a one-year cycle of qualifying races-was announced in February 2015, beginning at the Tokyo Marathon 2015, replacing the previous two-year series format. In April of 2015, it was also announced that the series would expand to include wheelchair athletes, starting at the 2016 Boston Marathon.

Recently, AbbottWMM announced an agreement with Dalian Wanda Group Co., Ltd to develop a ten-year strategic partnership aimed at expanding the Series with events added in new regions such as Asia (outside Japan) and Africa. The organization is now in an ongoing process identifying candidate races that will be required to meet AbbottWMM's stringent criteria before selection for the Series.

In addition, AbbottWMM expanded its prize structure and introduced a new charity program for its Series XI, which began at the Virgin Money London Marathon on Sunday, April 23, 2017. The prize money is now restructured to recognize and reward the top three men's and women's finishers in both the open and wheelchair Series. Previously, only the individual champions received prize money.

Through the new charity program, a total donation of \$280,000 will be made in the name of the race winners of the seven races that make up Series XI, which include the 2017 Virgin Money London, BMW BERLIN, Bank of America Chicago and TCS New York City Marathons, and the 2018 Tokyo, Boston, and Virgin Money London Marathons.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors

■シリーズ形式

AbbottWMMチャンピオンは、1年のシリーズ期間中に開催されるポイント対象大会を通して決定され、シリーズには、かつてないほどの厳しいアンチ・ドーピング規定も導入されています。

AbbottWMMシリーズは1年周期で開催され、以下の大会が対象レースとなります:東京マラソン、ボストンマラソン、ロンドンマラソン、ベルリンマラソン、シカゴマラソン、ニューヨークシティマラソン、オリンピック/パラリンピックマラソン、IAAF/World Para Athletics世界選手権マラソン。

ポイントシステム:1年間のスコアリング期間中、対象レースで最も多くポイントを獲得した男女選手がAbbottWMMシリーズチャンピオンとなります。スコアリング期間中、最大2つの対象大会でのポイントが加算されます。シリーズタイトルを獲得するには、少なくとも2つの対象大会に出場する必要があります。3つ以上の大会でポイントを得た場合は、より良い成績を残した2大会分のみポイントが加算されます。車いすマラソンの場合には、最大4大会分/5大会分(5大会以上出場の場合、より成績の良い4大会。パラリンピックまたは世界選手権が含まれるシリーズでは、より成績の良い5大会分)のポイントが加算されます。

各大会において、下記ポイントが与えられます。

1st place / 1位	2nd place / 2位	3rd place / 3位	4th place / 4位	5th place / 5位
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

ドーピング違反:AbbottWMM 規定のもと、IAAF (国際陸上競技連盟)、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)、各国の陸上連盟および各AbbottWMM大会により定められたアンチ・ドーピング規定に違反した選手には、AbbottWMMシリーズタイトルを獲得する資格が無いものと見なします。選手はAbbottWMM行動規範を遵守するものとします。

賞金総額:AbbottWMMの賞金体系は昨年、マラソン、車いすマラソン双方のシリーズに関し男女上位3選手を称えるべく拡張され、賞金総額は110万ドルとなりました。新たなチャリティプログラムも導入され、シリーズXIを構成する各大会の優勝者名義にて、計28万ドルが寄付されることとなりました。各大会におけるマラソン、車いすマラソン優勝者は、各大会が選出したチャリティ団体に対し、アボット・ワールドマラソンの寄付金1万ドルを自身の名義にて寄付します。

シリーズ:各シリーズは1年周期で開催され、シリーズの開始と終了は同じAbbottWMM大会となります。

Series/シリーズ

Series XI	2017 Virgin Money London Marathon to 2018 Virgin Money London Marathon
Series XII	2018 BMW BERLIN MARATHON to 2019 BMW BERLIN MARATHON
Series XIII	2019 Bank of America Chicago Marathon to 2020 Bank of America Chicago Marathon
Series XIV	2020 TCS New York City Marathon to 2021 TCS New York City Marathon

PAST SERIES CHAMPIONS

過去シリーズチャンピオン

Series	Men	Women
Series I (2006-07)	Robert K. Cheruiyot, Kenya	Gete Wami, Ethiopia
Series II (2007-08)	Martin Lel, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series III (2008-09)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series IV (2009-10)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series V (2010-11)	Emmanuel Mutai, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series VI (2011-12)	Geoffrey Mutai, Kenya	Mary Keitany, Kenya
Series VII (2012-13)	Tsegaye Kebede, Ethiopia	Priscah Jeptoo, Kenya
Series VIII (2013-14)	Wilson Kipsang, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series IX (2015-16)	Eliud Kipchoge, Kenya	Mary Keitany, Kenya
Series X (2016-17)	Eliud Kipchoge, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya

■Series Format

The champions of the Abbott World Marathon Majors are determined through a one-year cycle of Qualifying Races featuring unprecedented anti-doping protocols. The Abbott World Marathon Majors Series cycles through one year of competition and consists of the following Qualifying Races: Tokyo Marathon, Boston Marathon, Virgin Money London Marathon, BMW BERLIN MARATHON, Bank of America Chicago Marathon, TCS New York City Marathon, Olympic/Paralympic Marathon and IAAF/World Para Athletics Championships Marathon.

Point System: The champions of the AbbottWMM Series are the male and female athletes who score the greatest number of points from Qualifying Races during the one-year scoring period. During each scoring period, points from a maximum of two Qualifying Races will be scored. An athlete must start in two Qualifying Races over the Series cycle to be eligible for the championship. If an athlete earns points in more than two events, the athlete's highest two finishes will be scored.

The Wheelchair Series will follow the same rules, with the only difference being the number of races that count for the title. In Series without World Championships or Paralympic Games it will be the best four of seven races to score. In years with either of those events, it will be the best five of eight races to score.

Points are allocated following each race as follows:

Doping Violations: Under AbbottWMM rules, no athlete who has been found guilty of any anti-doping rules enforced by the IAAF, World Anti-Doping Association (WADA), National Federations, or any of the individual AbbottWMM races is eligible to win the AbbottWMM championship title. Athletes must comply with the AbbottWMM Code of Conduct.

Prize Purse: The AbbottWMM prize structure was expanded for this year to reward the top three men's and women's finishers in both the open and wheelchair series, with a total prize purse of \$1,100,000. A new charity program was introduced, which will give a total donation of \$280,000 in the name of the winners of each of the races that make up Series XI. Each race winner in the open and wheelchair divisions will be honored with an Abbott World Marathon Majors \$10,000 donation in their name to a charity chosen by the race.

Series: Each series starts and ends at the same Qualifying race over a one-year period.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors



Abbott World Marathon Majors Races - Series XI

アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会 - シリーズXI

Race	Date
Virgin Money London Marathon	Sunday, April 23, 2017
IAAF World Championships Marathon	Sunday, August 6, 2017
BMW BERLIN MARATHON	Sunday, September 24, 2017
Bank of America Chicago Marathon	Sunday, October 8, 2017
TCS New York City Marathon	Sunday, November 5, 2017
Tokyo Marathon	Sunday, February 25, 2018
Boston Marathon	Monday, April 16, 2018
Virgin Money London Marathon	Sunday, April 22, 2018

Abbott World Marathon Majors Series XI Leaderboards (as of January 2018)

AbbottWMMシリーズXI リーダーボード(2018年1月時点)

Men's Runners—Top 10

1 . Geoffrey Kamworor (KEN)	25 pts.
1 . Eliud Kipchoge (KEN)	25 pts.
1 . Geoffrey Kirui (KEN)	25 pts.
1 . Galen Rupp (USA)	25 pts.
1 . Daniel Wanjiru (KEN)	25 pts.
6 . Abel Kirui (KEN)	20 pts.
7 . Guye Adola (ETH)	16 pts.
7 . Kenenisa Bekele (ETH)	16 pts.
7 . Wilson Kipsang* (KEN)	16 pts.
7 . Tamirat Tola (ETH)	16 pts.

Women's Runners—Top 10

1 . Tirunesh Dibaba (ETH)	41 pts.
1 . Mary Keitany (KEN)	41 pts.
3 . Rose Chelimo (BRN)	25 pts.
3 . Gladys Cherono (KEN)	25 pts.
3 . Shalane Flanagan (USA)	25 pts.
6 . Edna Kiplagat (KEN)	20 pts.
7 . Ruti Aga* (ETH)	16 pts.
7 . Brigid Kosgei (KEN)	16 pts.
9 . Valary Aiyabei (KEN)	9 pts.
9 . Amy Hastings Cragg* (USA)	9 pts.

*東京マラソン 2018 出場予定 / Competing in Tokyo Marathon 2018

Men's Wheelchair Racers—Top 10

1 . Marcel Hug* (SUI)	91 pts.
2 . Kurt Fearnley* (AUS)	25 pts.
2 . David Weir (GBR)	25 pts.
4 . Johnboy Smith (GBR)	17 pts.
5 . Kota Hokinoue* (JPN)	16 pts.
6 . Sho Watanabe* (JPN)	13 pts.
7 . Jordi Madera Jimenez (ESP)	9 pts.
7 . Ryota Yoshida* (JPN)	9 pts.
9 . Ernst Van Dyk* (RSA)	8 pts.
10 . Heinz Frei* (SUI)	4 pts.

Women's Wheelchair Racers—Top 10

1 . Manuela Schar* (SUI)	84 pts.
2 . Tatyana McFadden* (USA)	41 pts.
2 . Amanda McGrory* (USA)	41 pts.
4 . Sandra Graf (SUI)	16 pts.
5 . Susannah Scaroni* (USA)	9 pts.
5 . Annika Zeyen (GER)	9 pts.
7 . Madison de Rozario (AUS)	5 pts.
8 . Patricia Keller (SUI)	4 pts.
8 . Margriet Van Den Broek (NED)	4 pts.
8 . Lihong Zou (CHN)	4 pts.

*東京マラソン 2018 出場予定 / Competing in Tokyo Marathon 2018

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors

東京マラソン Tokyo Marathon



東京マラソンについて

東京マラソン財団主催の東京マラソンは、第一回大会を2007年2月18日に開催し、申込者は95,044人、参加者は30,870人となりました。優勝者は男子がケニアのダニエル・ジェンガ(2:09:45)と女子が日本の新谷仁美(2:31:01)。今では30万人を超える申込者と参加者3万6000人近くを集める大会にまで成長しました。

「東京がひとつになる日。」というコンセプトのもと、東京マラソンはランナー、ボランティア、観客をひとつにします。2011年からは独自のチャリティプログラム「Run with Heart」を導入し、寄付者は様々な事業に貢献することができます。2016大会・2017大会とチャリティランナー出走登録者が定員の3000人に達していたため、2018大会の定員を4000人に拡充しました。

10回記念大会からはロゴを一新。ランナー、ボランティア、応援する人を象徴するデザインで「東京がひとつになる日。」を表現。また、2017大会(2017年2月26日)は、東京駅前でフィニッシュする新コースで開催されました。2020年のオリンピック開催地として東京が選ばれたことにより、国内外からより注目と人気を集めています。

ABOUT THE TOKYO MARATHON

Organized by the Tokyo Marathon Foundation, the inaugural Tokyo Marathon was held on February 18, 2007, and drew 95,044 applicants and 30,870 participants. Kenya's Daniel Njenga (2:09:45) and Japan's Hitomi Niiya (2:31:01) were the first champions. Since then, the Tokyo Marathon has grown to draw over 300,000 applicants and nearly 36,000 participants.

Through its theme, "The Day We Unite," the Tokyo Marathon brings together runners, volunteers, and spectators. In 2011, the Tokyo Marathon implemented its own charity program, "Run with Heart," through which donors can contribute to various charitable activities. In 2016 and 2017, the number of charity runner entrants reached its capacity of 3,000 and the capacity has been increased to 4,000 for 2018.

From its 10th anniversary event, Tokyo Marathon 2016, the official race logo has been renewed to present the portrayed images of the runners, volunteers and cheering crowds along the course, which symbolizes the race theme "The Day We Unite." In addition, Tokyo Marathon 2017 (February 26, 2017) featured a new course that finishes in front of the Tokyo station area for the first time. As Tokyo was chosen to host the 2020 Olympic Games, the Tokyo Marathon is also gaining more attention and popularity from home and abroad.

初回開催年 / Inaugural Running	2007																								
最多完走者数 / Largest Field (total finishers)	35,501 – 2011																								
年次別完走者数 / Recent Participation	<table><thead><tr><th>Year</th><th>Finishers</th><th>Male</th><th>Female</th></tr></thead><tbody><tr><td>2013</td><td>34,819</td><td>27,819</td><td>7,000</td></tr><tr><td>2014</td><td>34,126</td><td>27,203</td><td>6,923</td></tr><tr><td>2015</td><td>34,049</td><td>26,827</td><td>7,222</td></tr><tr><td>2016</td><td>34,697</td><td>27,121</td><td>7,576</td></tr><tr><td>2017</td><td>33,974</td><td>26,278</td><td>7,696</td></tr></tbody></table>	Year	Finishers	Male	Female	2013	34,819	27,819	7,000	2014	34,126	27,203	6,923	2015	34,049	26,827	7,222	2016	34,697	27,121	7,576	2017	33,974	26,278	7,696
Year	Finishers	Male	Female																						
2013	34,819	27,819	7,000																						
2014	34,126	27,203	6,923																						
2015	34,049	26,827	7,222																						
2016	34,697	27,121	7,576																						
2017	33,974	26,278	7,696																						
観衆人数 / Estimated Number of Spectators	1,400,000																								

賞金総額 /
44,700,000円
(男子・女子優勝はそれぞれ11,000,000円、男子車いす・女子車いす優勝は1,000,000円)、記録ボーナス有

Prize Purse
JPY 44,700,000
(JPY 11,000,000 apiece for male and female champions, JPY 1,000,000 apiece for male and female wheelchair champions) + record bonuses

公式チャリティ

東京マラソン2018 チャリティ「Run with Heart」
(東京マラソンによるスポーツレガシープログラム他、14の寄付先事業)

Official Charities

Tokyo Marathon 2018 Charity "Run with Heart"
(Sports Legacy Program by Tokyo Marathon Foundation, and 14 other recipient programs)

大会記録 / Course Records	Men's Runners:	2:03:58	Wilson Kipsang, KEN, 2017
	Women's Runners:	2:19:47	Sarah Chepchirchir, KEN, 2017
	Men's Wheelchair Athletes:	1:26:00	Kurt Fearnley, AUS, 2016
	Women's Wheelchair Athletes:	1:41:04	Wakako Tsuchida, JPN, 2016

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors

ボストンマラソン Boston Marathon



ボストンマラソンについて

1896年アテネで初開催されたオリンピックに触発され、翌1897年、Boston Athletic Association (B.A.A.、ボストン体育協会)のメンバーによってマラソン大会が創設されました。ボストンマラソンは創設以来毎年開催され、(1918年度は第一次世界大戦の影響で個人レースよりも軍隊のリレーを主体に開催されましたが)今日では世界で最も歴史のあるマラソン大会です。過去何度かスタートとフィニッシュの位置は変更されましたが、当初設定されたコースのほとんどは現在も変わらず使用されています。

1924年から、ホプキントンをスタートとして、アシュランド、フレーミングハム、ナティック、そしてウェルズリーへと下るコースとなりました。ニュートンに差し掛かると、有名な“心臓破りの丘”へと徐々に上りコースとなります。ランナーは丘の頂上に到達して初めてそこから4マイル離れたボストンの街を目にすることができます。ブルックラインを走り抜けると、コースはフィニッシュとなる歴史あるボイルストンストリートに入ります。そのコースと長い歴史に加え、ランナーの、性別・年代別参加基準タイムが設けられていることも、ボストンマラソンの特徴となっています。

ABOUT THE BOSTON MARATHON

Inspired by their experience at the 1896 Olympic Games, several members of the Boston Athletic Association founded their own marathon in 1897. The race has been run every year since (though the 1918 edition featured a military relay rather than an individual race due to World War I) and is now the world's oldest annual marathon. Both the start and finish lines have moved over the years, but much of the original course remains exactly as it was originally designed.

Since 1924, the race has begun in the town of Hopkinton, and from there the point-to-point course descends through Ashland, Framingham, Natick and Wellesley. Upon entering Newton, the course gradually rises to the famous Heartbreak Hill. As runners reach the top, they can see downtown Boston for the first time, four miles in the distance. After running through Brookline, the course enters Boston where it finishes on historic Boylston Street. Runners must qualify for entry by meeting time standards corresponding to gender and age, which is another aspect—besides its course and longevity—unique to the Boston Marathon.

初回開催年 / Inaugural Running

1897

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

35,868 – 1996

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	17,600*	10,649	6,951
2014	31,925	17,582	14,343
2015	26,597	14,580	12,017
2016	26,629	14,463	12,166
2017	26,581	14,570	12,011

2013年の大会では、フィニッシュラインで発生した事象によりコース上のランナー5,633人が止められました。これらのランナーは完走者数に含まれてはいないものの、ランナー本人へ予想フィニッシュタイムが提示されています。

*In 2013, 5,633 runners were stopped on the course due to the events that occurred at the finish line. These runners were given projected finish times, though are not counted among this finishers total.

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

500,000

賞金総額 /

\$830,500ドル

(男子・女子マラソン優勝はそれぞれ150,000ドル

男子・女子車いすマラソン優勝はそれぞれ20,000ドル

Prize Purse

\$830,500

(\$150,000 apiece for the male and female champions, \$20,000 apiece for the male and female wheelchair champions)

公式チャリティ

34団体

Official Charities

34

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:02	Geoffrey Mutai, KEN, 2011
Women's Runners:	2:19:59	Buzunesh Deba, ETH, 2014
Men's Wheelchair Racers:	1:18:04	Marcel Hug, SUI, 2017
Women's Wheelchair Racers:	1:28:17	Manuela Schar, SUI, 2017

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors

ロンドンマラソン Virgin Money London Marathon



Virgin Moneyロンドンマラソンについて

1979年にJohn Disleyと今は亡きChris Brasherはニューヨークシティマラソンを走ったことをきっかけに、「ニューヨークのような大会をロンドンでできないだろうか?」と考えました。

「ロンドンにもコースはある……。しかし、世界中のランナーを受け入れるためのホスピタリティはあるだろうか?」。翌年Brasherは、1970年代後半のランニングブームが到来したばかりのアメリカを訪れ、ボストンマラソンを目の当たりにし、再びニューヨークシティマラソンにも訪れました。そこで大会の組織運営や資金調達などを学び、帰国後すぐに、BrasherとDisleyはGillette(ジレット)と75,000ポンド(約1,000万円)で3年間のスポンサー契約を締結し、チャリティの仕組みも創設、そして大会における6つの指針を定めました。

第1回大会は1981年3月29日に開催され、20,000人以上の申込みがあり、7,747人が参加しました。完走者6,255人の先頭を立て優勝したのは、男子が、手をつなぎながら到着フィニッシュしたアメリカのDick BeardsleyとノルウェーのInge Simonsen、女子はイギリス記録も更新したJoyce Smithでした。翌1982年の大会は世界中から90,000人以上の申込みがあり、18,059人が参加しました。

以降もロンドンマラソンはさらなる発展を続け、2016大会では39,000人以上が完走し、エリート選手は賞金総額313,000ドル(約3,300万円)をめぐって競い合う大会にまで成長しました。

エリートレースでは男子・女子共にロンドンで世界記録が樹立されています。2003年にイギリスの女子選手ポーラ・ラドクリフが記録した2:15:25という世界記録は現在も破られていません。レースは196ヶ国以上で視聴され、イギリスではBBC放送で400~500万人が視聴しています。

ABOUT THE VIRGIN MONEY LONDON MARATHON

In 1979, after running the New York City Marathon with John Disley, Chris Brasher questioned whether London could stage such a festival: "We have the course . . . but do we have the heart and hospitality to welcome the world?" Later that year, Brasher travelled to America, where the running boom of the late 1970s had started. He witnessed the Boston Marathon and revisited the New York City race. He studied both races' organizations and finances. On his return, Brasher and Disley secured a three-year contract with Gillette for £75,000, established the organization's charitable status, and set down six main aims for the event. The first London Marathon was held on March 29, 1981. More than 20,000 people wanted to run; 7,747 were accepted. There were 6,255 finishers, led home by American Dick Beardsley and Norwegian Inge Simonsen who crossed the finish line hand in hand. Joyce Smith broke the British record to win the women's race. The 1982 race received more than 90,000 applicants from around the world. The entry was limited to 18,059.

Since then, the London Marathon has grown to more than 39,000 starters and finishers, and elite runners compete for \$313,000 in prize money. Both the men's and women's pro runner world records have been set in the race, including the current women's mark of 2:15:25, set by Paula Radcliffe of Great Britain in 2003. The race is viewed in more than 196 countries worldwide and watched by between four and five million viewers in the UK via the BBC.

初回開催年 / Inaugural Running	1981																								
最多完走者数 / Largest Field (total finishers)	39,487 – 2017																								
年次別完走者数 / Recent Participation	<table><thead><tr><th>Year</th><th>Finishers</th><th>Male</th><th>Female</th></tr></thead><tbody><tr><td>2013</td><td>34,280</td><td>22,031</td><td>12,249</td></tr><tr><td>2014</td><td>35,800</td><td>22,608</td><td>13,272</td></tr><tr><td>2015</td><td>37,671</td><td>23,281</td><td>14,390</td></tr><tr><td>2016</td><td>39,140</td><td>24,020</td><td>15,120</td></tr><tr><td>2017</td><td>39,487</td><td>23,978</td><td>15,509</td></tr></tbody></table>	Year	Finishers	Male	Female	2013	34,280	22,031	12,249	2014	35,800	22,608	13,272	2015	37,671	23,281	14,390	2016	39,140	24,020	15,120	2017	39,487	23,978	15,509
Year	Finishers	Male	Female																						
2013	34,280	22,031	12,249																						
2014	35,800	22,608	13,272																						
2015	37,671	23,281	14,390																						
2016	39,140	24,020	15,120																						
2017	39,487	23,978	15,509																						
観衆人数 / Estimated Number of Spectators	759,000																								
賞金総額 / 313,000ドル(男子・女子優勝はそれぞれ55,000ドル)、 タイムボーナス・記録ボーナス有	Prize Purse \$313,000(\$55,000 apiece for the male and female champions)+ time and record bonuses																								
公式チャリティ Heads Together - ケンブリッジ公爵夫妻とヘンリー王子 が主導するThe Royal Foundation(王室基金)によるメン タルヘルスに関する認識を変える取り組み(2017)	Official Charities Heads Together, the Royal Foundation's campaign to change the national conversation on mental health, led by the Duke and Duchess of Cambridge and Prince Harry (2017)																								

大会記録 / Course Records	Men's Runners:	2:03:05	Eliud Kipchoge, KEN, 2016
	Women's Runners:	2:17:01	Mary Keitany, KEN, 2017 (women only)
		2:15:25	Paula Radcliffe, GBR, 2003 (mixed)
	Men's Wheelchair Racers:	1:28:57	Kurt Fearnley, AUS, 2009
	Women's Wheelchair Racers:	1:39:57	Manuela Schar, SUI, 2017

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Preview of Elite Race

ベルリンマラソン BMW Berlin Marathon



BMW ベルリンマラソンについて

ドイツで最も有名な陸上クラブの一つであるSC Charlottenburgのランナーたちが、1974年にベルリンマラソンを初開催しました。大会コースは、1981年にグルーネヴァルト(大きな森)から西ベルリンの中心街へと変更。西ベルリンを占領していたイギリス、フランス、アメリカ軍の支援もあり急速な発展を遂げた大会は、ドイツで最も大きく質の高いマラソン大会へと成長しました。1989年11月にベルリンの壁が崩壊し、新たな時代が幕を開け、ドイツ再統一3日前の1990年9月30日のベルリンマラソンから、ベルリン東西を通りブランデンブルク門をくぐり抜けるコースへと変更されました。2001年大会で高橋尚子が女子選手として初めて2時間20分(2:19:46)の壁を破りました。

BMW ベルリンマラソンは世界の中でも素晴らしいロードレースの一つとして成長してきました。2003年には平坦で高速な周回コースが大幅変更。ケニアのポール・テルガトはその新コースで、ベルリン統一の象徴であるブランデンブルク門を通してフィニッシュした最初の選手となり、また2:04:55で世界記録を更新しました。エチオピアのハイレゲブレシラシエは2007年に2:04:26、さらに翌年2:03:59と2度にわたり世界記録を更新しました。2011年大会ではケニアのパトリック・マカウが2:03:38で世界記録を更新しましたが、2013年に同じくケニアのウィルソン・キプサングが2:03:23を記録、更に2014年にはケニアのデニス・キメットが2:02:57で現世界記録を樹立しました。

ABOUT THE BMW BERLIN MARATHON

A group of runners from one of Germany's most prestigious athletics clubs, SC Charlottenburg, organized the first Berlin Marathon in 1974. In 1981, the race moved from the Grunewald (a large forest) into the city center of West Berlin. Supported by the three Western forces of Great Britain, France, and the United States, the race quickly developed into Germany's biggest and highest-quality marathon. After the Berlin Wall collapsed in November of 1989, a new era began. On September 30, 1990, three days before reunification, the course of the Berlin Marathon was redirected through the Brandenburg Gate and hence both parts of Berlin. In the 2001 race, Naoko Takahashi became the first woman to break the 2:20 barrier. The flat and fast loop course was then changed significantly for the 2003 race.

The BMW Berlin Marathon has developed into one of the world's finest road races. Paul Tergat of Kenya became the first man to cross the new finish line, passing through the Brandenburg Gate—the symbol for reunification—and setting a world record of 2:04:55. Haile Gebrselassie of Ethiopia further lowered the men's world mark twice in Berlin—to 2:04:26 in 2007 and then to 2:03:59 a year later. In the 2011 race, Patrick Makau of Kenya set another new men's world record of 2:03:38; in 2013, his countryman Wilson Kipsang lowered it again, to 2:03:23, and the current world mark of 2:02:57 was set in 2014 by Dennis Kimetto, also of Kenya.

初回開催年 / Inaugural Running

1974

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

36,549 – 2013

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	36,549	27,557	8,992
2014	28,946	22,178	6,768
2015	36,767	27,857	8,910
2016	35,999	26,771	9,228
2017	39,235	28,163	11,072

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,500,000

賞金総額 /

340,000ドル

(男子・女子優勝はそれぞれ64,000ドル)

Prize Purse

\$340,000

(\$64,000 apiece for the male and female champions)

公式チャリティ / Official Charities

The Realbuzz Group, NYRR Team for Kids, GET KIDS GOING, HelpAge Deutschland e.V., NABU - Naturschutzbund Deutschland e.V.

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:02:57	Dennis Kimetto, KEN, 2014
Women's Runners:	2:19:12	Mizuki Noguchi, JPN, 2005
Men's Wheelchair Racers:	1:21:39	Heinz Frei, SUI, 1997
Women's Wheelchair Racers:	1:42:07	Janette Janson, NED, 1992

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

ATHLETES

Abbott World Marathon Majors

シカゴマラソン Bank of America Chicago Marathon



Bank of Americaシカゴマラソンについて

1976年、ランニング愛好家の小さなグループがラサールストリート・メトロポリタンYMCAに集まり、シカゴでのマラソンを計画しました。新シカゴ市長 Michael Bilandic のスポーツへの情熱と、Lee Flaherty のリーダーシップに後押しされ、団体は1977年9月25日に構想を実現させ第1回目のシカゴマラソンを開催、地元から4,200人が参加しました。シカゴマラソンは、今では40,000人を超える完走者と約170万人の観衆を集めるまでに成長しました。平坦な高速コースは、歴史あるグラントパークでスタート・フィニッシュし、レイクビューやグリークタウン、リトルイタリー、ビルセン、チャイナタウンそしてブロンズビルを含む、29の文化的に多様な地区を通ります。周回コースであること、そして豊富な公共交通機関が利用可能であることによって、コース沿いの多くの場所で友人や家族がランナーを応援することができます。シカゴマラソンには昔から世界最速のランナーたちが集い、2度の男子世界記録 (Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999)、そして2度の女子世界記録 (Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002) 更新の舞台となっています。

ABOUT THE BANK OF AMERICA CHICAGO MARATHON

In 1976, a small band of running enthusiasts met at the Metropolitan YMCA on LaSalle Street to discuss and plan a marathon in Chicago. Backed by the athletic enthusiasm of the new Chicago Mayor, Michael Bilandic, and the leadership of Lee Flaherty, this founding group realized their vision on September 25, 1977, when they hosted 4,200 local participants in the first Chicago Marathon. The Bank of America Chicago Marathon has since expanded to more than 40,000 finishers and an estimated 1.7 million on-course spectators. The flat and fast course begins and ends in historic Grant Park, sweeping through 29 diverse and colorful neighborhoods including Lakeview, Greektown, Little Italy, Pilsen, Chinatown, and Bronzeville. The loop course and abundance of public transportation options enables friends and family to cheer their runners on at many locations along the course. The Bank of America Chicago Marathon has a long history of hosting the world's fastest runners and has been the site of two men's world records (Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999) and two women's world records (Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002).

初回開催年 / Inaugural Running

1977

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

44,341 – 2017

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	39,122	21,595	17,527
2014	40,659	22,242	18,417
2015	37,459	20,207	17,252
2016	39,313	21,638	17,675
2017	44,341	22,842	21,499

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,700,000

賞金総額 /

803,500ドル (男子・女子優勝はそれぞれ100,000ドル)、
タイムボーナス・記録ボーナス有

Prize Purse

\$803,500 (\$100,000 apiece for the male and female champions) + time and record bonuses

公式チャリティ

170団体

Official Charities

170

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:45	Dennis Kimetto, KEN, 2013
Women's Runners:	2:17:18	Paula Radcliffe, GBR, 2002
Men's Wheelchair Racers:	1:26:56	Heinz Frei, SUI, 2010
Women's Wheelchair Racers:	1:39:15	Tatyana McFadden, USA, 2017

ニューヨークシティマラソン TCS New York City Marathon



TCSニューヨークシティマラソンについて

NYRRを代表とするイベントのひとつ、TCS ニューヨークシティマラソンは、世界で最も愛され、誰しもを受け入れる大会であり、生涯またとない挑戦やスリルを求めるエリートランナーや一般ランナーを魅了するマラソン大会です。1970年にわずか127人がセントラルパークを4周走って始まったニューヨークシティマラソンは、目覚ましい成長を遂げました。今では毎年、世界中から50,000人を超える参加者が、スタテンアイランドのヴェラザノ・ナローズ・ブリッジの袂からスタートし、ニューヨーク5区全てを通過しながらセントラルパークでフィニッシュする、刺激と興奮に満ちたコースを走るため11月のニューヨークシティを訪れます。ランナーの目的は様々で、賞金のため、自慢になる思い出作りのため、チャリティあるいは自己ベスト更新のために走ります。ランナーは沿道の100万人以上の観衆から声援を受けます。

ABOUT THE TCS NEW YORK CITY MARATHON

NYRR's premier event, the TCS New York City Marathon is the most loved and most inclusive marathon in the world, attracting elite athletes and recreational runners alike for the challenge and thrill of a lifetime. The race has grown tremendously since it began in 1970 with just 127 runners racing four laps of Central Park. Now, more than 50,000 participants from all over the globe flock to New York City every November for an adrenaline-filled road tour of all five boroughs, starting on Staten Island at the foot of the Verrazano-Narrows Bridge and ending in Central Park. Some run for prize money or bragging rights, others for charity or their personal best. All are cheered on by more than one million live spectators.

初回開催年 / Inaugural Running	1970			
最多完走者数 / Largest Field (total finishers)	51,394 – 2016			
年次別完走者数 / Recent Participation	Year	Finishers	Male	Female
	2013	50,266	36,699	19,567
	2014	50,530	30,108	20,422
	2015	49,595	28,899	20,696
	2016	51,394	29,930	21,464
	2017	50,773	29,682	21,091
観衆人数 / Estimated Number of Spectators	1,000,000			
賞金総額 / 825,000ドル	Prize Purse \$825,000			
公式チャリティ 350団体以上	Official Charities More than 350			
大会記録 / Course Records	Men's Runners:	2:05:06	Geoffrey Mutai, KEN, 2011	
	Women's Runners:	2:22:31	Margaret Okayo, KEN, 2003	
	Men's Wheelchair Racers:	1:29:22	Kurt Fearnley, AUS, 2006	
	Women's Wheelchair Racers:	1:43:04	Tatyana McFadden, USA, 2015	

IAAF ゴールドラベル / アジア選手権

ATHLETES

Gold Label / Data of Asian Game

東京マラソンは、国際陸上競技連盟 (IAAF) が世界の主要ロードレースを格付けするラベリング制度において、2010 大会より最高位のゴールドラベルを取得しております。



IAAFの定めるラベリングに関する主な要件

	ゴールドラベル
競技者	過去3年間に、以下の記録を満たした競技者を少なくとも男女各5名招待 男子 2時間10分00秒 女子 2時間28分00秒
テレビ放映	全容を最低5カ国で放映
公平性	賞金、ボーナスに関しては国籍や性別で差があるてはならない
その他	上記の他に、技術的要件(計測・道路の閉鎖等)、ドーピング要件等がある

Requirements about the Labeling of IAAF

	Gold Label
Athletes	To invite minimum of 5 athletes(both men and women)that have the following qualified record within the last 3 years. Men : 2hrs 10min 00sec Women: 2hrs 28min 00sec
TV	To televise full contents in at least 5 countries
Equity	There should not be any differential of the prize money or the bonus by his or her nationality or gender.
Other	Other than the above, there are some technical requirements on measurement, road closure, doping e.t.c.

We are very proud of announcing that Tokyo Marathon obtained the "Gold Label", which ranks the highest at the IAAF labeling system for world's major road races, for the 2018 race.

ジャカルタ2018アジア競技大会マラソン日本代表選手選考要項 Selection Trials for the 2018 Asia Jakarta

※東京マラソン2018が対象となる男子に関する項目のみ抜粋



1.編成方針

東京2020 オリンピックでは、暑熱下でのレースが予想される。本大会に臨む本連盟の狙いは、本大会での活躍はもとより、東京2020 オリンピックの高温多湿の環境下でも実力を存分に発揮し、戦い抜くチームを作ること。そのためには、優れた選手と選手を取り巻くスタッフが本番さながらの体制で本大会に取り組むことを期している。こうした展望の下、東京2020 オリンピックに向けた暑熱対策等の強化施策と位置付け、メダル獲得を目指すチームを編成する。

2.選考競技会

- (1)第71回福岡国際マラソン選手権大会(2017/福岡)
- (2)東京マラソン2018(2018/東京)
- (3)第73回びわ湖毎日マラソン(2018/大津)
- (4)第67回別府大分毎日マラソン(2018/別府)
- (5)2017北海道マラソン(2017/北海道)

3.選考基準

編成方針に基づき、各選考競技会出場者の中から、下記の基準により、男女各々最大で2名を選考する。ただし、選考競技会において「マラソングランドチャンピオンシップ」の出場資格を得た競技者を優先する。

記

各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案しつつ、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

4.選考方法

全ての選考競技会終了後、選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

5.その他

- (1) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。
 - (2) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。
 - (3) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
 - (4) アンチ・ドーピング(居場所情報の提出含む)に関わる全ての基準を順守できない場合、日本代表の資格を取り消す場合がある。
 - (5) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
 - (6) 本大会は、2018年8月18日から9月2日まで、ジャカルタ(インドネシア)で開催される。
- 以上

マラソングランドチャンピオンシップシリーズ / Project EXCEED

ATHLETES

Marathon Grandchampionship Series / Project EXCEED

Marathon Grandchampionship Series

マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2017-2018- 東京 2020 オリンピック日本代表選手選考競技会 - 日本陸連は、2020年東京オリンピックのマラソンにおいてメダルを獲得するため、これまでの実績と課題を基に、オリンピックに向けた強化とリンクした新たな選考方法を実施します。



Marathon Grand Championships Series 2017-2018: the 2020 Tokyo Olympics Marathon Trials:

With the goal of winning a medal by Japanese athletes in the 2020 Olympic Games in Tokyo in mind, the JAAF has decided to adapt a new Olympic marathon team selection method, which would conform to its current athletes' development plan, based on the assessments of previous successes as well as known problems.

2017年夏より「マラソングランドチャンピオンシップシリーズ (MGC シリーズ)」をスタートさせ、「マラソングランドチャンピオンシップ (MGC)」で2枠、「マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ (MGC ファイナルチャレンジ)」で1枠 (※) の代表を決定します。

MGC シリーズは国内の男子5大会、女子4大会を指定競技会とし、2017年夏～2019年春 (2017-2018 シリーズ、2018-2019 シリーズ) で実施します。大会毎の順位と記録をクリアするとMGCファイナリストとなり、「MGC」への出場権を得られます。

東京マラソン 2018 は MGC シリーズ (2017-2018) の男子第3戦目。MGC ファイナリストとなるためには日本人男子1-3位 2:11:00 以内、4-6位 2:10:00 以内の順位と記録が獲得条件となります。

MGC は 2019 年 9 月以降に開催を予定しており、2020 年東京オリンピックのマラソン日本代表の座をかけて MGC ファイナリストが激突します。

【日本陸連 MGC 特設サイト】 www.mgc42195.jp/

※「MGC ファイナルチャレンジ派遣設定記録」を突破した男女各1名。尚、条件を満たす競技者がいない場合は MGC2 位または 3 位の競技者が内定となります。

Project EXCEED 実業団マラソン特別強化プロジェクト

「Project EXCEED®」は、一般社団法人日本実業団陸上競技連合がマラソン日本記録の「突破」及び「挑戦」という2つの目標を設定し、この目標を達成した選手と監督・チームを褒賞し、表彰を行う取り組みである。



■「マラソン日本記録突破褒賞制度」 概要

対象記録	男子 2 時間 6 分 16 秒のマラソン日本記録突破 女子 2 時間 19 分 12 秒のマラソン日本記録突破 (※日本記録が更新された場合は、その時点の日本記録突破)
褒賞金	選手 1億円 (同一レース下位での突破 1000 万円) 監督・チーム 5,000 万円 (同 500 万円) (※同一記録では、別途定める「挑戦」奨励金との重複受賞を認めない)
対象選手	(実業団登録の有無にかかわらず) 日本陸連に登録されている日本人選手
対象大会	1. 国内: 日本陸連が記録を公認する大会 2. 海外: 日本陸連が登録選手に参加を許可し、記録が公認される大会 3. オリンピック、世界陸上選手権大会、アジア大会

■「実業団選手マラソン日本記録挑戦奨励制度」 概要

対象記録	男子【設定A】 2 時間 6 分 59 秒以内 【設定B】 2 時間 7 分台 女子【設定A】 2 時間 21 分 59 秒以内 【設定B】 2 時間 22 分台 (※対象となる記録は、原則として 2 年ごとに見直しをする。)
奨励金	選手 【設定A】 1,000 万円 【設定B】 500 万円 監督・チーム 【設定A】 500 万円 【設定B】 250 万円
対象選手	実業団登録をしている日本人選手と、その所属チームが実業団においてチーム登録されている場合は監督・チームも対象とする。
対象大会	Project EXCEED 実行委員会が主催者の同意のもと指定する国内大会 (※さいたま国際、福岡国際、大阪国際女子、別大毎日、東京、びわ湖毎日、名古屋ウィメンズの計 7 大会)

エリートレース展望

ATHLETES

東京マラソンレースディレクター

Tokyo Marathon Race Director

早野忠昭

Tadaaki Hayano



東京マラソンは昨年の第11回大会から、平坦となった高速コースとなり、男女ともに日本国内最高タイムで決着となりました。東京マラソンが以前から掲げてきた「グローバル・スタンダード」と呼べるレースを展開できたのではないのでしょうか。

冬のやわらかな日差しに映る赤れんがの東京駅を背に、前世界記録保持者のウィルソン・キブサング(ケニア)が、2時間3分58秒でフィニッシュを駆け抜けるシーンは胸が熱くなりました。日本勢では、初マラソンの設楽悠太(Honda)が積極的に海外勢へと迫る走りや、ロンドン世界陸上の代表となった井上大仁(MHPS)など、新しい時代を予感させました。

今年、第12回大会は、さらにエキサイティングなレースを期待してください。2時間2分57秒の「世界記録」と2時間6分16秒の「日本記録」を狙える選手たちを招聘することができました。

男子では2年連続でキブサングが参戦します。昨年では中間点を1時間1分22秒で通過し、30kmまで世界記録更新を狙える「これぞ世界のトップ」という圧巻の走りでした。レース後には「ライバルや気象条件など条件がそろえば世界記録が出るコース」と話しています。東京にはいい印象が残っているでしょう。しかも一度経験したコースです。昨年の記録をさらに伸ばし、本気で世界記録の奪回を狙ってくるはずです。

キブサングの対抗馬となるのはテスファエ・アベラ(エチオピア)でしょう。2時間4分24秒の自己記録を持ち、面白い存在になりそうです。リオデジャネイロ五輪銀メダリストで、2016大会優勝者のフェイサ・リレサ(エチオピア)、昨年35kmまでキブサングに付いていったディクソン・チュンバ(ケニア)もいます。キブサングとともに先頭集団を形成して、世界記録を更新するペースで進んでいくのではないのでしょうか。

ペースメーカーは昨年同様、3段階に分けて考えています。第1ターゲットとなるのが「世界記録ペース」で、1km2分54~55秒。第2ターゲットは「日本記録ペース」で1km2分58秒を刻んでいきます。第3ターゲットは「2時間6分台後半から7分台」で1km3分になります。このペースで30kmまで引っ張ります。まずは、どの選手がどのペースメーカーに付いていくのか、興味のあるところです。

2時間6分台を記録した日本人は過去3人で、2002年10月に高岡寿成(カネボウ)が現在の日本記録である2時間6分16秒を樹立してから、15年以上の月日が経ちます。なかなか2時間6分台をマークする選手は現れません。しかし、箱根駅伝を見ると、学生ランナーは1km3分を切るペースで着実に20kmを刻みます。本気でオリンピックを目指す選手たちがこのペースで30kmまで行けないはずはありません。1km2分58秒は、決して苦ではないと思います。

設楽と昨年日本勢トップの井上大仁(MHPS)には

The new flat and fast course was introduced from the 11th edition of the Tokyo Marathon and last year the new Japanese all comers records were set for both men and women. Our goal was to reach the status of the "truly world class marathon," and I think we have attained it.

I have been deeply touched by the scene of Wilson Kipsang (KEN) finishing in 2:03:58, among the backdrop of Tokyo Station's red bricks reflecting gentle winter sun. Among the Japanese, Yuta Shitara, making marathon debut, has aggressively challenged the world bests runners while Hiroto Inoue made the World Championships marathon team based on his run in Tokyo. A new era for Japanese marathon runners seemed to be looming over the horizon.

Expect the very exciting race this year. The assembled field may be good enough to target the world record of 2:02:57 as well as the Japanese national record of 2:06:16.

In the men's race, Kipsang will be running the Tokyo Marathon for the second year in a row. Last year, he passed half way point in 1:01:22 and was at the world record pace until 30Km. His performance was quite impressive worthy of a "truly world class runner." After the race, Kipsang said, "With the good weather and good competitions the course is capable of producing the world record." He seemed to have a favorable impression of Tokyo. Furthermore he has experienced the Tokyo Marathon course. Kipsang may be targeting faster time than last year, perhaps even the world record.

Kipsang's main competition is Tesfaye Abera (ETH). Since he has the best of 2:04:24, the race could be interesting. Feyisa Lilesa (ETH), the 2016 Olympic marathon silver medalist and Dickson Chumba (KEN), who stayed with Kipsang until 35Km last year, are also in the field. They might form a lead pack along with Kipsang and the race might proceed at the world record pace.

Like last year, three different set of pacemakers will be provided. The first set of pacemakers will lead the runners at the "world record pace," which translates to 2:54 to 2:55 for each km. The second set of pacemakers will lead the runners at the "Japanese national record pace," which translates to 2:58 for each km. Finally the third set of pacemakers will lead the pack at 3minutes per km pace. These three sets of pacemakers will push the pace until 30km. It will be quite interesting to see who will be following which pacemakers.

Three Japanese runners have cracked 2:07 for the marathon in history. It has been more than fifteen years since Toshinari Takaoka recorded the current Japanese national record of 2:06:16 in October of 2002. However, there has not been any 2:06 runner since then. Since collegiate runners are capable of keeping up 3 minutes per km pace for 20km in Hakone Ekiden, those who wants run in the Olympics should be able to keep up 3 minutes per km pace for 30km. For them 2:58 per km should not be a tough pace.

期待が高まります。特に設楽は、潜在能力を考えると、2時間6分台、さらには日本記録の更新が視界に入っているのではないのでしょうか。私は「2時間5分50秒もあり得る」と考えています。昨年は33km付近まで日本記録ペースを保ち、一時、キプサングを追い掛けた走りは「日本人でもここまでできるのか」と希望と勇気を与えました。あれこそが世界と戦うということです。あとは残り8～9kmをどう走り切るのか。あの時に見えた課題を克服するためにこの1年間を費やしてきたのではないのでしょうか。昨年9月にはハーフマラソンで日本記録を更新しています。着実に力をつけ、今度はどのような走りを見せてくれるのか。楽しみでなりません。

井上も昨年は最初の5kmを14分31秒で入り、10kmは29分13秒で通過しました。設楽とともに果敢に攻める姿勢は大きなインパクトを与えました。結果として、2時間8分台で終わっても、世界と戦う強いメッセージが伝わってきました。志も高く、2時間7分台を出せる力は十分にあると思っています。

日本勢にとって、一つの指標となるのは昨年12月の福岡マラソンで大迫傑(ナイキ・オレゴンプロジェクト)が記録した2時間7分19秒です。このタイムは大いに刺激になったでしょう。誰もが「負けてたまるか」と意識して走るはずです。

力のある市田孝(旭化成)はニューイヤー駅伝でも調子の良さを示し、好走の雰囲気が出ています。大石港与(トヨタ自動車)も前評判が高く、日本人トップを脅かす存在になるかもしれません。福岡国際でマラソンを経験した神野大地(コニカミノルタ)、学生長距離ナンバーワンの呼び声が高い鈴木健吾(神奈川大)のマラソン初挑戦も注目の的です。

2020年東京五輪に向けて、日本実業団陸上競技連合はマラソン特別強化策「Project EXCEED(プロジェクト・エクシード)」を15年からスタートさせました。2時間7分を切った実業団登録選手には1000万円、日本記録を樹立した選手には1億円のボーナスが贈られます。

複数の日本人選手が30km地点を1時間30分切るタイムで通過すれば、「2時間6分台が出るぞ。1億円を手にできるのか?」と気持ちが高まります。そんなレースを期待しています。私は3人以上の日本人選手が「2時間6分台」を出せるようなレース作りをしていきたいと考えています。近い将来、必ずや「6分台」を実現できると信じて疑いません。

一方の女子も昨年は国内最高の2時間19分47秒で決着しました。今大会もルディ・アガ(エチオピア)ら持ちタイムが2時間20分台の選手が3人。5年連続となるベルハネ・ディババ(エチオピア)もいます。東京五輪を前に、東京のコースを体感したい選手たちが集結しています。

世界トップクラスの走りを見れば、必ずドキドキします。世界記録、日本記録が迫ってくれば、さらに胸が躍ります。コース、選手とともに世界に誇れる「グローバル・スタンダード」な東京マラソン2018を存分にお楽しみください。

Hiroyuki Inoue, last year's top Japanese finisher, and Yuta Shitara are expected to perform well. Shitara has a potential to run 2:06 marathon, and perhaps the Japanese national marathon record is not out of his reach. I think "2:05:50 is possible for Shitara." Last year Shitara was on the national record pace until 33km and he chased Kipsang aggressively. His performance gave hope and courage to people and they started thinking "Japanese can be competitive at the world level." The big question for Shitara is: how to run the final 8 to 9 km of the race. Perhaps, for the last one year Shitara has been thinking about how to be more competitive. Last September, Shitara recorded a new Japanese half marathon record. He has been steadily improving and thus it is quite interesting to see how he would perform in this year's marathon.

Last year Inoue covered the opening 5km in 14:31 and passed 10km in 29:13. Along with Shitara, his aggressive running style had great impact on Japanese marathon scene. Although his finishing time was only 2:08, his performance sends the message to other runners. Inoue has lofty goal and he has a potential for a 2:07 marathon.

For Japanese runners one of the targets in the Tokyo Marathon is 2:07:19 recorded by Suguru Osako in the last December's Fukuoka Marathon. His time must have been good stimulus for other runners. Everyone probably thought, "I could do better."

In the New Year Ekiden, Takashi Ichida has shown that he is in good form and thus he may run well in Tokyo. Minato Oishi has good reputation and thus might challenge for the top Japanese spot in the race. Daichi Kamino, who has one marathon experience under the belt in Fukuoka, and Kengo Suzuki, the best collegiate distance runner making highly anticipated marathon debut, are also worthy of attention.

With the 2020 Tokyo Olympics looming over the horizon, in 2015, Japanese Corporate Track and Field Federation has started "Project Exceed" for the Marathon. The corporate sponsored team runners who cracked 2:07 for the marathon will be awarded 10 million yen, and 100 million yen will be awarded for those who break the Japanese national record.

If multiple Japanese runners passed 30km under 1:30, fans will get excited and start to think "2:06 is possible. Who will win the 100 million yen prize?" That is the kind of race we are expecting. Undoubtedly in the near future more than three Japanese will be cracking 2:07.

Last year Japanese all-comers record of 2:19:47 was set in the women's race. This year's race features three 2:20 runners led by Ruti Aga (ETH). Berhane Dibaba (ETH) will start the Tokyo Marathon for the fifth straight years. Runners who would like to experience Tokyo Marathon course before the 2020 Olympics have gathered here in Tokyo for the marathon.

Watching the world class runners' performance excites everyone. Possible world or Japanese national records excite even more. So enjoy the Tokyo Marathon 2018, the race now can claim to be a "truly world class marathon."

エリート選手リスト—男子

ATHLETES

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・ クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
1	ウィルソン・キプサング	KIPSANG,Wilson	KEN	ケニア	35	178	59	2:03:13	2016 ベルリン	2:03:13
2	テスファエ・アベラ	ABERA,Tesfaye	ETH	エチオピア	25	192	68	2:04:24	2016 ドバイ	2:04:24
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA,Dickson	KEN	ケニア	31	167	50	2:06:25	2017 東京	2:04:32
4	ツェガエ・メコネン	MEKONNEN,Tsegaye	ETH	エチオピア	22	174	56	2:04:46	2016 ドバイ	2:04:32
5	フェイサ・リレサ	LILESAs,Feyisa	ETH	エチオピア	28	178	60	2:06:56	2016 東京	2:04:52
6	ビンセント・キプルト	KIPRUTO,Vincent	KEN	ケニア	30	179	54	2:06:14	2017 ベルリン	2:05:13
7	アモス・キプルト	KIPRUTO,Amos	KEN	ケニア	25	160	54	2:05:43	2017 アムステルダム	2:05:43
8	ギデオン・キプケテル	KIPKETER,Gideon	KEN	ケニア	25	182	59	2:05:51	2017 東京	2:05:51
9	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO,Bernard,Kiprop	KEN	ケニア	31	170	51	2:06:19	2015 アムステルダム	2:06:19
10	キプロム・ゲブレジャビエル	GHEBREZGIABHIER,Kibrom	ERI	エリトリア	31	166	50	2:09:36	2015 ロンドン	2:09:36
11	モハメド・レダ・エルアラビ	EL AARABY,Mohamed,Reda	MAR	モロッコ	28	175	62	2:09:50	2017 大邱	2:09:50
12	ファンルイス・バリオス	BARRIOS,Juan Luis	MEX	メキシコ	34	174	64	1:00:46	2015 丸亀	2:14:10
21	井上 大仁	INOUE,Hiroto	長崎	MHPS	25	165	51	2:08:22	2017 東京	2:08:22
22	設楽 悠太	SHITARA,Yuta	埼玉	Honda	26	170	48	2:09:03	2017 ベルリン	2:09:03
23	石川 末廣	ISHIKAWA,Suehiro	埼玉	Honda	38	169	56	2:09:25	2016 びわ湖	2:09:10
24	山本 浩之	YAMAMOTO,Hiroyuki	東京	コニカミノルタ	31	172	54	2:09:12	2017 東京	2:09:12
25	木滑 良	KINAME,Ryo	長崎	MHPS	27	168	53	2:10:30	2017 別府	2:10:30
26	大石 港与	OISHI,Minato	愛知	トヨタ自動車	29	162	49	2:10:39	2017 別府	2:10:39
27	宮脇 千博	MIYAWAKI,Chihiro	愛知	トヨタ自動車	26	175	55	2:13:23	2017 シカゴ	2:11:50
28	佐藤 悠基	SATO,Yuki	東京	日清食品グループ	31	179	61	2:12:14	2016 ロンドン	2:12:14
29	神野 大地	KAMINO,Daichi	東京	コニカミノルタ	24	165	46	2:12:50	2017 福岡	2:12:50
30	村澤 明伸	MURASAWA,Akinobu	東京	日清食品グループ	26	168	57	2:14:48	2017 北海道	2:14:48
31	市田 孝	ICHIDA,Takashi	宮崎	旭化成	25	165	50	27.53.59	2016 札幌マラソン	2:19:24
32	鈴木 健吾	SUZUKI,Kengo	愛媛	神奈川大学	22	163	46	1:01:36	2017 ハーフ/日本陸連推薦	1:01:36
101	佐野 広明	SANO,Hiroaki	埼玉	Honda	29	175	52	2:09:12	2015 東京	2:09:12
102	セルオド・バトオチル	SER-OD,bat-ochir	三重	NTN	36	170	59	2:11:18	2015 びわ湖	2:08:50
103	荻野 皓平	OGINO,Kohei	千葉	富士通	28	175	53	2:11:42	2015 長野	2:11:42
104	一色 恭志	ISSHIKI,Tadashi	東京	GMOアスリート	23	169	55	2:11:45	2016 東京	2:11:45
105	濱崎 達規	HAMASAKI,Tatsunori	沖縄	南城市役所	29	172	56	2:12:12	2015 東京	2:12:12
106	田中 飛鳥	TANAKA,Asuka	福岡	福岡陸協	28	175	58	2:12:17	2017 防府	2:12:17
107	石田 和也	ISHIDA,Kazuya	福岡	西鉄	33	162	52	2:12:25	2016 別府	2:11:57
108	山岸 宏貴	YAMAGISHI,Hiroki	東京	GMOアスリート	26	170	54	2:12:27	2016 東京	2:12:27
109	阿久津 圭司	AKUTSU,Keiji	群馬	SUBARU	30	176	58	2:13:26	2015 東京	2:13:26
110	近藤 秀一	KONDO,Shuichi	静岡	東京大学	22	173	53	2:14:13	2017 東京	2:14:13
111	菊池 貴文	KIKUCHI,Takafumi	京都	SGR-ルネックスグループ	26	179	61	2:14:34	2017 ゴールドコースト	2:14:34
112	酒井 将規	SAKAI,Masanori	福岡	九電工	31	174	55	2:14:52	2015 ベルリン	2:09:10
113	井上 直紀	INOUE,Naoki	東京	東京陸協	30	161	46	2:15:05	2016 勝田	2:15:05
114	松井 将器	MATSUI,Masaki	長野	東京工業大学	24	169	55	2:15:18	2017 東京	2:15:18
115	山本 憲二	YAMAMOTO,Kenji	広島	マツダ	28	165	53	2:15:19	2017 びわ湖	2:15:19
116	西山 凌平	NISHIYAMA,Ryohei	愛知	トヨタ紡織	24	171	59	2:15:42	2016 東京	2:15:42
117	滑 和也	NAMERA,Kazuya	群馬	SUBARU	30	171	57	2:15:45	2017 びわ湖	2:15:45
118	坂本 智史	SAKAMOTO,Tomonori	神奈川	プレス工業	31	166	52	2:15:56	2017 東京	2:13:49
119	森橋 完介	MORIHASHI,Kansuke	東京	ラフィネグループ	24	180	60	2:15:59	2017 東京	2:15:59
120	山崎 敦史	YAMAZAKI,Atsushi	群馬	SUBARU	31	172	58	2:16:04	2016 東京	2:16:04
121	児玉 雄介	KODAMA,Yusuke	東京	コモディイイダ	31	168	54	2:16:16	2015 東京	2:16:16
122	中村 高洋	NAKAMURA,Takahiro	鹿児島	セララ鹿児島	34	172	54	2:16:34	2016 福岡	2:16:34
123	塩川 雄也	SHIOKAWA,Yuya	群馬	SUBARU RC	35	176	60	2:16:38	2017 東京	2:14:49
124	門田 浩樹	KADOTA,Hiroki	東京	カネボウ	32	173	55	2:16:57	2017 別府	2:10:46
125	大下 浩平	OSHITA,Kohei	広島	広島経済大学	23	169	53	2:17:00	2017 東京	2:17:00
126	風見 尚	KAZAMI,Naohito	愛知	愛知陸協	34	170	55	2:17:23	2017 福岡	2:17:23
127	末上 哲平	SUEGAMI,Teppeii	富山	YKK	33	173	59	2:17:32	2015 長野	2:17:32
128	森川 翔平	MORIKAWA,Shouhei	兵庫	山陽特殊製鋼	27	173	57	2:17:41	2017 姫路	2:17:41
129	飯田 明徳	IIDA,Akinori	埼玉	埼玉陸協	29	163	55	2:17:46	2016 北海道	2:15:20

Elite Athletes List—MEN

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・ クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
130	上條 記男	KAMIJO,Norio	東京	サンベルクス	33	171	53	2:17:47	2016 東京	2:13:37
131	松藤 大輔	MATSUFUJI,Daisuke	東京	カネボウ	32	171	59	2:17:56	2016 びわ湖	2:17:56
132	齋藤 真也	SAITO,Shinya	山形	天童市陸協	25	169	53	2:17:58	2017 東京	2:17:58
133	五十嵐 祐太	IGARASHI,Yuuta	東京	東京陸協	29	173	58	2:17:59	2016 びわ湖	2:17:15
134	柱 欽也	HASHIRA,Kinya	東京	警視庁	30	171	59	2:17:59	2017 東京	2:17:59
135	秋葉 啓太	AKIBA,Keita	茨城	小森コーポレーション	38	178	61	2:18:07	2017 別府	2:10:53
136	治郎丸 健一	JIROMARU,Kenichi	東京	ラフィネグループ	33	182	65	2:18:11	2017 北海道	2:15:24
137	板垣 辰矢	ITAGAKI,Tatsuya	北海道	札幌国際大学	30	162	57	2:18:13	2017 台北	2:18:13
138	甲斐 大貴	KAI,Hiroki	東京	ラフィネグループ	23	158	45	2:18:17	2017 東京	2:18:17
139	金子 晃裕	KANEKO,Akihiro	東京	コモディイダ	23	171	53	2:18:26	2017 つくば	2:18:26
140	朝賀 勇也	ASAKA,Yuya	新潟	高田自衛隊	30	171	58	2:18:30	2017 びわ湖	2:18:30
141	岡山 春紀	OKAYAMA,Haruki	東京	コモディイダ	23	171	57	2:18:33	2017 つくば	2:18:33
142	濱崎 武雅	HAMAZAKI,Muga	山梨	南アルプス市陸協	32	182	64	2:18:37	2016 東京	2:18:37
143	平田 治	HIRATA,Osamu	奈良	TEAM奈良	40	164	54	2:18:37	2015 東京	2:18:37
144	元村 大地	MOTOMURA,Daichi	東京	日清食品グループ	26	169	60	2:18:37	2017 北海道	2:18:37
145	川内 鮮輝	KAWAUCHI,Yoshiki	埼玉	Jaybird	27	175	60	2:18:47	2017 福岡	2:18:47
146	大橋 秀星	OHASHI,Shusei	東京	小平市陸協	27	180	60	2:18:48	2017 びわ湖	2:18:48
147	土田 純	TSUCHIDA,Jun	東京	コモディイダ	28	178	60	2:18:48	2017 東京	2:18:48
148	井上 翔太	INOUE,Shota	愛知	TAHARA Racing	28	169	52	2:18:53	2017 びわ湖	2:18:53
149	槻澤 翔	TSUKISAWA,Sho	東京	警視庁	28	178	58	2:19:00	2017 東京	2:19:00
150	郡司 貴大	GUNJI,Takahiro	茨城	小森コーポレーション	26	165	51	2:19:01	2017 シドニー	2:19:01
151	藤井 祐希	FUJII,Yuki	山口	トクヤマ	25	173	55	2:19:05	2017 びわ湖	2:19:05
152	大西 淳貴	ONISHI,Junki	東京	サンベルクス	25	170	57	2:19:05	2017 びわ湖	2:19:05
153	行場 竹彦	GYOBA,Takehiko	神奈川	鳩印G&T川崎	32	171	55	2:19:12	2017 愛媛	2:19:12
154	紺野 勇樹	KONNO,Yuki	東京	コモディイダ	25	172	54	2:19:20	2015 いわきサンシャイン	2:19:20
155	益田 賢太郎	MASUDA,Kentarou	大阪	NTT西日本	29	172	54	2:19:26	2017 びわ湖	2:19:26
156	松岡 直希	MATSUOKA,Naoki	三重	三重陸協	37	169	53	2:19:29	2016 東京	2:19:29
157	村上 康則	MURAKAMI,Yasunori	東京	リスタート	34	178	64	2:19:30	2015 山形長井	2:19:30
158	平田 繁聡	HIRATA,Shigeaki	神奈川	CREST	39	179	62	2:19:30	2015 東京	2:19:30
159	前田 悠貴	MAEDA,Yuki	埼玉	埼玉陸協	27	170	55	2:19:38	2017 別府	2:19:38
160	早坂 光司	HAYASAKA,Koji	宮城	石巻RC	34	166	62	2:19:45	2017 東京	2:19:45
161	糟谷 悟	KASUYA,Satoru	愛知	トヨタ紡織	34	178	58	2:19:49	2017 大阪	2:11:17
162	熊橋 弘将	KUMAHASHI,Hiromasa	兵庫	山陽特殊製鋼	23	163	45	2:20:13	2017 姫路	2:20:13
163	石垣 弘志	ISHIGAKI,Hiroshi	神奈川	横須賀市陸協	30	168	54	2:20:21	2017 東京	2:20:21
164	内藤 寛人	NAITO,Hiroto	埼玉	岩槻アスレチッククラブ	27	171	56	2:20:24	2016 びわ湖	2:20:24
165	石原 洸	ISHIHARA,Takeru	埼玉	新電元工業	32	164	50	2:20:28	2017 東京	2:20:28
166	山崎 竹丸	YAMASAKI,Takemaru	高知	まるランニングクラブ	29	173	61	2:20:30	2017 愛媛	2:20:30
167	小泉 雄輝	KOIZUMI,Yoshiki	東京	ラフィネグループ	24	165	51	2:20:36	2017 大田原	2:20:36
168	難波 祐樹	NANBA,Yuki	京都	亀岡AC	34	168	54	2:20:37	2015 別大	2:20:37
169	小川 智寛	OGAWA,Tomohiro	山形	南陽東置賜陸協	29	176	59	2:20:42	2015 福岡	2:20:42
170	岡田 健志	OKADA,Takeshi	奈良	TEAM奈良	25	170	57	2:20:43	2017 東京	2:20:43
171	森 貴樹	MORI,Takaki	千葉	モントブラン	36	171	57	2:20:44	2017 びわ湖	2:18:17
172	山内 英昭	YAMAUCHI,Hideaki	静岡	浜松トヨタランニングクラブ	32	170	56	2:20:45	2017 大阪	2:20:45
173	黒田 雄紀	KURODA,Yuki	東京	コモディイダ	22	172	57	2:20:46	2017 大田原	2:20:46
174	利根川 裕雄	TONEGAWA,Hiroo	長野	アルプスツール	46	174	58	2:20:50	2015 東京	2:18:55
175	サイモン カリウキ	SIMON,Kariuki	埼玉	日本薬科大学	21	178	57	27:53:50	2016 八王子ロングテイスタス	27:53:50
176	下 史典	SHIMO,Fuminori	三重	駒沢大学	21	174	56	1:02:36	2017 ハーフ/日本陸連推薦	1:02:36
177	岩佐 志誠	IWASA,Issei	徳島	帝京大学	20	167	55	1:03:19	2017 ハーフ/日本陸連推薦	1:03:19
178	加藤 風磨	KATO,Fuma	埼玉	亜細亜大学	22	170	53	1:03:22	2017 ハーフ/日本陸連推薦	1:03:22
179	林 奎介	HAYASHI,Keisuke	千葉	青山学院大学	21	175	60	1:03:45	2017 ハーフ/日本陸連推薦	1:03:28

エリート選手(男子)出場者数
Total Number of Elite Athletes

103名

海外招待選手含む 12名 12 International Invited Athletes included

国内招待選手含む 12名 12 National Invited Athletes included

エリート選手リスト—女子

ATHLETES

Elite Athletes List—WOMEN

No.	氏名	Name	国/登録協名 Nation	国/チーム・クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
51	ルティ・アガ	AGA,Ruti	ETH	エチオピア	24	152	44	2:20:41	2017 ヘルリン	2:20:41
52	アリティ・チェロティッチ・リオノリポ	RIONORIPO, Cherotich Purity	KEN	ケニア	24	160	45	2:20:55	2017 パリ	2:20:55
53	シュレ・デミセ	DEMISE,Shure	ETH	エチオピア	22	159	45	2:22:57	2015 ドバイ	2:20:59
54	ベルハネ・ディハバ	DIBABA,Birhane	ETH	エチオピア	24	162	48	2:21:19	2017 東京	2:21:19
55	ヘラー・キプロブ	KIPROP,Helah	KEN	ケニア	32	164	48	2:21:27	2016 東京	2:21:27
56	アンナ・ハーナー	HAHNER,Anna	GER	ドイツ	28	165	48	2:28:32	2017 ヘルリン	2:26:44
57	エイミー・クラッグ	CRAGG,Amy	USA	アメリカ	34	162	45	2:27:18	2017 ロンドン	2:27:03
58	メセレト・デファー	DEFAR,Meseret	ETH	エチオピア	34	155	42	1:08:45	2017 フィラデルフィア	1:06:09
201	永尾 薫	NAGAO,Kaoru	東京	Sunfield AC	28	160	46	2:30:54	2016 名古屋ウィメンズ	2:26:58
202	奥野 有紀子	OKUNO,Yukiko	東京	養生堂	25	153	43	2:31:17	2016 東京	2:31:17
203	中野 円花	NAKANO,Madoka	兵庫	ノーリツ	26	156	42	2:33:00	2017 東京	2:33:00
204	早川 英里	HAYAKAWA,Eri	東京	J-BEAT	36	154	46	2:34:27	2017 名古屋ウィメンズ	2:25:03
205	木下 裕美子	KINOSHITA,Yumiko	東京	SWAC	31	154	42	2:34:38	2017 大阪	2:34:38
201	井野 光子	INO,Mitsuko	大阪	クラブR2西日本	34	166	50	2:34:39	2017 大阪	2:34:39
207	吉富 博子	YOSHITOMI,Hiroko	佐賀	メモリード	34	155	45	2:35:11	2017 東京	2:31:28
208	今田 麻里絵	IMADA,Marie	大阪	岩谷産業	28	160	44	2:35:13	2017 大阪	2:35:13
209	野尻 あずさ	NOJIRI,Azusa	東京	ラフィネグループ	35	156	43	2:35:53	2017 大阪	2:24:57
201	坂本 喜子	SAKAMOTO,Yoshiko	三重	YウエルネスC	38	152	39	2:37:36	2017 大阪	2:36:02
211	山口 遥	YAMAGUCHI,Haruka	東京	AC・KITA	30	167	52	2:38:43	2017 大阪	2:38:43
212	加納 由理	KANO,Yuri	東京	ウィルフォワード	39	152	42	2:39:37	2016 東京	2:24:27
213	廣瀬 光子	HIROSE,Mitsuko	東京	東京WINGS	43	158	48	2:40:35	2015 東京	2:30:27
214	永岡 真衣	NAGAOKA,Mai	兵庫	シズメックス	24	159	47	2:41:15	2017 北海道	2:41:15
215	田中 百子	TANAKA,Momoko	東京	NTTDコモ	31	155	42	2:42:56	2017 東京	2:42:56
216	綾部 しのぶ	AYABE,Shinobu	東京	チームアストクラブ	38	166	48	2:43:15	2017 東京	2:43:15
217	松本 恭子	MATSUMOTO,Kyoko	千葉	千葉陸協	47	158	43	2:43:21	2017 東京	2:43:21
218	俵 千香	TAWARA,Chika	埼玉	TEAM R×L	34	168	50	2:43:56	2017 大阪	2:39:44
219	藤山 あや香	FUJIYAMA,Ayaka	大阪	大阪長居AC	32	154	44	2:43:57	2017 大阪	2:43:57
220	野田 春香	NODA,Haruka	東京	コモディイダ	31	160	48	2:44:13	2015 東京	2:42:19
221	横田 知佳	YOKOTA,Chika	山口	広島大学	24	161	48	2:44:26	2017 東京	2:44:26
222	里中 志帆	SATONAKA,Shiho	東京	クラブR2東日本	28	154	43	2:44:27	2016 つくば	2:44:27
223	小柳 由香	KOYANAGI,Yuka	長崎	長崎市陸協	44	154	43	2:44:28	2017 東京	2:44:28
224	稲見 真己	INAMI,Maki	東京	AC・KITA	36	159	47	2:45:03	2015 東京	2:37:34
225	谷 舞子	TANI,Maiko	大阪	ミラクルボティAC	32	169	53	2:45:18	2016 東京	2:45:18
226	鈴木 絵里	SUZUKI,Eri	秋田	能代山本陸協	33	161	45	2:45:50	2017 勝田全国	2:45:50
227	明石 伊央	AKASHI,Io	東京	ラフィネグループ	23	158	50	2:46:02	2017 東京	2:46:02
228	下村 紫織	SHIMOMURA,Shiori	東京	コモディイダ	24	165	49	2:46:29	2016 大田原	2:46:29
229	永田 幸栄	NAGATA,Yukie	東京	ラフィネグループ	29	159	48	2:46:33	2015 大田原	2:46:33
230	安川 沙弥香	YASUKAWA,Sayaka	石川	金沢AC	35	157	48	2:46:57	2017 東京	2:46:57
231	高浜 香澄	TAKAHAMA,Kasumi	北海道	道央陸協	32	160	48	2:47:08	2016 東京	2:47:08
232	高野 美幸	TAKANOMI,Miyuki	東京	ラフィネグループ	23	148	38	2:47:33	2017 東北・みやぎ	2:47:33
233	塩塚 弘子	SIOZUKA,Hiroko	長崎	諫早市陸協	37	169	55	2:47:41	2017 大阪国際	2:44:38
234	青山 由佳	AOYAMA,Yuka	神奈川	CREST	31	155	43	2:47:58	2015 東京	2:47:58
235	菅生 晶子	SUGO,Akiko	東京	ラフィネグループ	23	163	51	2:48:32	2016 東京	2:46:15
236	大場 美加	OBAMA,Mika	秋田	鹿角陸協	30	156	43	2:48:33	2017 大阪国際	2:48:33
237	吉川 俊子	YOSHIKAWA,Toshiko	奈良	YFSC	38	160	45	2:48:37	2017 大阪国際	2:46:48
238	文村 美和	FUMIMURA,Miwa	福岡	福岡陸協	44	165	48	2:48:38	2017 大阪国際	2:48:38
239	遠藤 摩耶	ENDO,Maya	北海道	北極星AC	29	159	43	2:49:13	2017 東京	2:49:13
240	小川 夕希	OGAWA,Yuki	東京	ラフィネグループ	25	164	44	2:49:16	2017 名古屋ウィメンズ	2:48:12
241	水清田 有紀	MIZUSEDA,Yuki	千葉	千葉陸協	28	151	41	2:49:19	2017 つくば	2:49:19
242	小河 亜衣	OGO,Ai	兵庫	姫路市陸協	44	173	51	2:49:22	2017 大阪国際	2:49:22
243	久保倉 美里	KUBOKURA,Misato	三重	東海大学	22	160	46	2:49:28	2017 大阪国際	2:49:28
244	小川 ミーナ	OGAWA,Mina	東京	アスリートコンクラブ	43	163	45	2:49:32	2016 大阪	2:28:47
245	鈴木 遥	SUZUKI,Haruka	東京	ランビッツ	35	158	43	2:49:52	2016 つくば	2:47:29
246	河口 恵	KAWAGUCHI,Megumi	福岡	福岡陸協	22	160	47	2:49:53	2016 愛媛	2:49:53
247	石本 恵里香	ISHIMOTO,Erika	福岡	福岡市消防局	25	165	53	2:50:02	2017 福岡	2:50:02
248	椎名 永果	SHIINA,Haruka	富山	ほたるいかAC	23	169	49	2:50:02	2017 富山	2:50:02
249	富田 光江	TOMITA,Mitsue	愛知	富士松AC	41	157	44	2:50:45	2017 名古屋ウィメンズ	2:50:45
250	平賀 恵子	HIRAGA,Keiko	千葉	ウイングアスリートクラブ	36	163	46	2:50:45	2017 つくば	2:50:45
251	山下 サヤカ	YAMASHITA,Sayaka	福岡	福岡陸協	39	160	45	2:50:46	2017 下関海峡	2:50:46
252	海老原 美保	EBIHARA,Miho	東京	内田治療院AC	44	160	47	2:51:10	2017 つくば	2:51:10
253	吉村 美香	YOSHIMURA,Mika	山口	下関市陸協	36	158	48	2:51:34	2015 東京	2:51:34
254	大庭 知子	OTA,Tomoko	東京	霞ヶ丘AC	44	154	41	2:51:53	2015 大阪	2:51:53
255	松栄 モモ子	MATSUE,Momoko	東京	ラフィネグループ	23	156	48	2:51:56	2017 大阪国際	2:48:06

エリート選手(女子)出場者数
Total Number of Elite Athletes

63名

海外招待選手含む 8名 8 International Invited Athletes included

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – International MEN

No. 01

ウィルソン・キブサング (ケニア)

KIPSANG, Wilson (KEN)



DOB : 15 Mar. 1982
AGE : 35
Height : 178cm
Weight : 59kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	58:59	-2009
Marathon	2:03:13	-2016

▶ International Championships Highlights

Half marathon	
4th in 2009 World Half Marathon Championships	
Marathon	
3rd in 2012 Olympic Games	
DNF at 2015 World Championships	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		/28:26		2:03:58
2016		/27:59	1:02:16	2:03:13
2015			1:02:09	2:04:47
2014			1:00:25	2:04:29
2013		/27:53	1:01:02	2:03:23
2012		28:41.3	59:06	2:04:44
2011			1:00:49	2:03:42
2010				2:04:57
2009			58:59	
2008			59:16	

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:10:56	New York	2nd	5 Nov 2017
	DNF	Berlin	DNF	24 Sept 2017
	2:03:58	Tokyo	1st	26 Feb 2017
Personal Best	2:03:13	Berlin	2nd	25 Sep 16
	2:07:52	London	5th	26 Apr 16
	2:12:45	New York	4th	1 Nov 15
	DNF	World Championships – Beijing	DNF	22 Aug 15
	2:04:47	London	2nd	26 Apr 15
	2:10:59	New York	1st	2 Nov 14
	2:04:29	London	1st	13 Apr 14
	2:03:23	Berlin	1st	29 Sep 13
	2:07:47	London	5th	21 Apr 13
	2:12:31	Honolulu	1st	9 Dec 12
	2:09:37	London – OG	3rd	12 Aug 12
	2:04:44	London	1st	22 Apr 12
	2:03:42	Frankfurt	1st	30 Oct 11
	2:06:13	Otsu (Lake Biwa)	1st	6 Mar 11
	2:04:57	Frankfurt	1st	31 Oct 10
	2:07:13	Paris	3rd	11 Apr 10

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Nov	New York City Marathon	Marathon	2nd	2:10:56
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF	DNF (1:27:26 at 30K)
3 June	Mattoni Ceske Budejovice Half marathon	Half marathon	DNF	DNF (injury)
28 May	Great Manchester 10K	10Km	5th	28:26
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:03:58

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:03:13
25 June	Unive Stadsloop Appingedam	10Km	2nd	27:59
22 May	Great Manchester Run 10K	10Km	2nd	28:15
26 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:07:52
12 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	11th	1:02:16

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	New York City Marathon	Marathon	4th	2:12:45
20 Sept	Dam tot Damloop – Amsterdam to Zaandam	10 Mile	7th	46:42
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	DNF	DNF
20 June	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half marathon	5th	1:02:09
13 June	Zwolsse Half marathon – Zwolle	Half marathon	2nd	1:01:23
30 May	Healthy Kidney 10K – New York	10K	4th	28:49
10 May	Great Manchester Run	10K	4th	27:53
26 Apr	London Marathon	Marathon	2nd	2:04:47
1 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	1st	1:02:39

Wilson Kipsang, who won the Tokyo Marathon 2017 with the Japanese All Comers record of 2:03:58, is the former world record holder with 2:03:23, which was recorded in the 2013 Berlin Marathon. Kipsang, who held a world record for a year, was superb marathon runner from late 2010 to early 2015. However, from mid-2015 to early 2016, Kipsang could only manage three mediocre marathons – World Championships, New York and London – and thus his day at the top seemed to be over. But then Kipsang came back with a vengeance. In the 2016 Berlin Marathon, after a titanic battle with Kenenisa Bekele, multiple Olympic and World Championships gold medalist at track events, Kipsang finished second with the new personal best of 2:03:13. At 34 years of age, Kipsang tied fourth fastest time on the standard course. Kipsang's marathon records are superb. His top five performances average is 2:03:45, fastest in history. Furthermore he has broken 2:04 four times, 2:05 eight times and 2:06 eight times (Eliud Kipchoge also has eight sub-2:06 marathons), all of which are highest in history. His four 2:03 marathons are in Berlin (twice), Frankfurt and Tokyo, while his 2:04 marathons are in London (thrice) and Frankfurt. Other than Tokyo, Kipsang ran the marathon once in Japan, at Lake Biwa Marathon in 2011 and won with the course record of 2:06:13. The time is still the course record, nearly a minute faster than the second fastest time in Lake Biwa. In his 18 marathons, except for two DNF at the 2015 World Championships and 2017 Berlin Marathon, he never finished worse than fifth. Furthermore, Kipsang failed to crack 2:10 only four times, three times at hilly New York City Marathon course and once at warm and humid Honolulu Marathon. If he records a sub-2:05 clocking in Tokyo, Kipsang will extend consecutive sub-2:05 season to nine – 2010 to 2018. If he wins in Tokyo, he will be the first to win the Tokyo Marathon multiple times in history.

昨年の東京マラソンを日本国内最高記録となる2時間03分58秒で制したウィルソン・キブサングは、前世界記録保持者である。2013年ベルリンマラソンで2時間03分23秒の世界記録をたたきだしているのだ。1年間世界記録保持者だったキブサングは、2010年秋から2015年春までマラソンで好記録を連発していた。しかし、2015年半ばからは世界選手権、ニューヨーク、そしてロンドンと3回連続で期待外れの結果となり、彼の時代は終わったかと思われた。しかし、2016年のベルリンマラソンで、5000、10000mの五輪及び世界選手権の金メダリストであるケネニサ・ベケレと大接戦を演じた。最後は2位に終わったが、34歳にして2時間03分13秒の標準コース歴代4位タイのタイムを出したのである。キブサングのトップ5のマラソン記録の平均値は歴代最速となる2時間03分45秒だ。それだけではない。彼は2時間04分を4回、2時間05分を8回、そして2時間06分も8回(五輪金メダリストのキブチョゲも同じく8回)も切っている。いずれも世界最高である。4回の2時間03分台のマラソンはベルリン(2回)、東京とフランクフルトで、4回の2時間4分台のマラソンはロンドン(3回)とフランクフルトで記録している。日本では、東京での大会記録の他にも2011年にびわ湖毎日マラソンでは2時間06分13秒の大会記録を出しているが、その記録は今でもびわ湖歴代2位の記録より1分近くも速い。今回19回目のマラソンとなるが、これまで18回のマラソンでは2015年北京世界選手権と2017年ベルリンマラソンでの途中棄権を除けば6位以下は一度もない。そして2時間10分以上要したのも起伏が激しい難コースのニューヨークシティーマラソン(3回)、そして高温、多湿のホノルルマラソンの計4回だけである。今回の東京で2時間04分台を出せば、キブサングのサブ2時間5分の連続シーズン記録は2010年から2018年まで9年連続となる。もし優勝すれば東京マラソン11年の歴史で男女を通じて初めて連覇を成し遂げた選手となる。

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	1st	2:10:59
21 June	Mattoni Olomouc Half marathon	Half marathon	2nd	1:00:25
18 May	Great Manchester Run	10Km	2nd	28:28
13 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:04:29
2 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	1st	1:01:12

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Pfiox Solar Montferland Run – s Heerenberg	15Km	5th	43:20
29 Sept	Berlin Marathon	Marathon	1st	2:03:23
27 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	4th	1:05:26
14 July	Utica Boilermaker	15Km	2nd	43:58
29 June	Unive Stadsloop – Appingedam	10Km	3rd	28:03
26 May	Great Manchester Run	10Km	2nd	27:53
21 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:07:47
17 Mar	NYC Half Marathon	Half marathon	1st	1:01:02

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Dec	Honolulu Marathon	Marathon	1st	2:12:31
18 Sep	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	1st	59:06
12 Aug	Olympic Games – London	Marathon	3rd	2:09:37
17 May	Kenyan Police Championships – Nairobi	10000m	4th	28:41.3
22 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:04:44
17 Feb	RAK Half Marathon – Ras Al Khaimah	Half Marathon	3rd	1:01:01

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

No. 02 テスファエ・アベラ (エチオピア)

ABERA, Tesfaye (ETH)



DOB : 31 Mar. 1992
AGE : 25
Height : 192cm
Weight : 68kg

▶Personal Bests

Half Marathon	60:32	-2012
Marathon	2:04:24	-2016

▶International Championships Highlights

Marathon	
DNF 2016 Olympic Games	
World Cross Country Championships	14th in 2013, 26th in 2015

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:04:53	2:07:39
2016				2:04:24
2015				2:09:46
2014			1:00:57	

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:07:39	Amsterdam	8th	15 Oct 2017
	2:16:09	London	17th	23 Apr 2017
	DNF	Olympic Games – Rio de Janeiro	DNF	21 Aug 2016
	2:06:58	Hamburg	1st	17 Apr 2016
Personal Best	2:04:24	Dubai	1st	22 Jan 2016
	2:10:00	Hengshui	2nd	28 Sept 2015
	2:10:49	Hamburg	8th	26 Apr 2015
	2:09:46	Mumbai	1st	18 Jan 2015

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:07:39
23 Apr	London Marathon	Marathon	17th	2:16:09
8 Jan	Halvd Marathon von Egmond Aan Zee	Half Marathon	5th	1:04:53

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	DNF	DNF
17 Apr	Hamburg Marathon	Marathon	1st	2:06:58
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	1st	2:04:24

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Scholten Awater Zevenheuvelenloop – Nijmegen	15Km	4th	43:17
28 Sept	Hengshui Lake Marathon	Marathon	2nd	2:10:00
26 Apr	Haspa Marathon Hamburg	Marathon	8th	2:10:49
28 Mar	World Cross Country Championships – Guiyang	12Km	26th	36:59
18 Jan	Mumbai Marathon	Marathon	1st	2:09:46

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Zevenheuvelenloop – Nijmegen	15Km	4th	42:31
14 June	Corrida Langueux	10Km	4th	28:24
20 Apr	Yangzhou	Half marathon	7th	1:00:57

By winning the 2016 Dubai Marathon, Tesfaye Abera Dibaba became tenth fastest marathon runner (at the time) with 17th fastest time (at the time) of 2:04:24. Not only Abera defeated the defending Dubai Marathon champion Hayle Lemi Berhane of Ethiopia, but his time was only one second short of the course record. In Dubai, Abera improved his personal best of 2:09:46 recorded in his debut in the 2015 Mumbai Marathon by more than five minutes.

Abera was a lead off runner for the 4x400m relay team in the 2011 African Junior Championships. Four months later in September of 2011, Abera ran his first European road race. He was sixth in the 10km race with 28:55 in Utrecht in the Netherlands. In April of 2012 Abera made his half marathon debut in Nice, and finished third with quite respectable time of 1:00:32; the time is still his half marathon personal best. Abera was 14th in the 2013 World Cross Country Championships. In 2014 Abera recorded another sub-61 minutes half marathon. In 2015, after making his marathon debut at Mumbai, Abera was 26th in the World Cross Country Championships. He followed it up with two 2:10 marathons in both Hamburg in Germany and Hengshui in China. In 2016 three months after the Dubai Marathon, he recorded 2:06:58, second best time of his career, in the Hamburg Marathon. He ran in the Rio Olympic Marathon, but after passing the half way point with 1:06, five seconds behind the leaders, Abera dropped out of the race.

In 2007, he ran the London Marathon, his first Abbott World Marathon Majors race, but he was 17th with 2:16:09. It was his worst finish with worst time of his marathon career. However, in October, at the Amsterdam Marathon, Abera was eighth with 2:07:39, his third best time of his career. If Abera run 2:04:11, the fastest marathon time for 25 years old on the standard course, he will be the tenth fastest performer on the standard course. It will be one of his goals in Tokyo.

2016年ドバイマラソンを2時間04分24秒の歴代17位(当時)のタイムで制したエチオピアのテスファエ・アベラは、歴代10番目(当時)に速いランナーになった。前年覇者のレミ・ベルハヌ(エチオピア)をラストスパートで破っただけでなく、大会記録にあと1秒と迫る好記録だった。ドバイではムンバイでの初マラソンで記録した2時間09分46秒を5分以上も更新したのだ。

2011年の5月にはアフリカジュニア選手権で4×400mリレーに第一走者として出場したアベラだが、その年の9月には初めて欧州でロードレースを走っている。オランダのユトレヒトでの10kmのレースでは28分55秒で6位に入っている。2012年の4月にはニスでハーフマラソンに初挑戦、3位ながら60分32秒の好タイムを記録した。この記録は今でもハーフマラソンの自己ベストである。2013年には世界クロスカントリー選手権で14位、2014年には再びハーフマラソンで60分台を記録。2015年にはムンバイでの初マラソンの後、世界クロスカントリー選手権で26位、そしてハンブルグと中国の衡水市でのマラソンで2時間10分台の記録を残している。2016年にはドバイマラソンの3カ月後のハンブルグマラソンを2時間06分58秒の自己2番目の記録で制した。リオ五輪マラソンにも出場したが、ハーフ地点を先頭集団から5秒遅れの1時間06分で通過した後、途中棄権に追い込まれてしまった。

2017年には初めてのアボット・ワールドマラソンメジャーズとなるロンドンマラソンに出場したが、2時間16分09秒の自己最悪タイムで自己最悪の順位となる17位に沈んだ。しかし10月にはアムステルダムマラソンで自己3番目の記録となる2時間07分39秒で8位となっている。標準コースでの25歳のマラソンの最高記録は2時間04分11秒だ。しかもそのタイムで走れば標準コースで歴代10位のランナーとなる。アベラにとって東京での目標のひとつである。

No.
03

ディクソン・チュンバ (ケニア)

CHUMBA, Dickson (KEN)



DOB : 27 Oct. 1986
AGE : 31
Height : 167cm
Weight : 50kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:00:39	-2014
Marathon	2:04:32	-2014

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017				2:06:25
2016			1:02:16	2:07:34
2015		/28:53		2:06:34
2014		/28:47	1:00:39	2:04:32
2013				2:10:15
2012			1:01:34	2:05:46
2011				2:07:23
2010		/28:56	1:02:08	2:09:20

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:09:11	Toronto	2nd	22 Oct 2017
	2:06:25	Tokyo	3rd	26 Feb 2017
	2:11:26	Chicago	2nd	9 Oct 2016
	2:07:34	Tokyo	3rd	28 Feb 2016
	2:09:25	Chicago	1st	11 Oct 2015
	2:06:34	Tokyo	3rd	22 Feb 2015
Personal Best	2:04:32	Chicago	3rd	12 Oct 2014
	2:05:42	Tokyo	1st	23 Feb 2014
	2:10:15	Amsterdam	8th	20 Oct 2013
	2:14:08	Boston	7th	15 Apr 2013
	DNF	Xiamen	DNF	5 Jan 2013
	2:05:46	Eindhoven	1st	14 Oct 2012
	DNF	Boston	DNF	16 Apr 2012
	2:08:21	Xiamen	2nd	8 Jan 2012
	2:07:23	Frankfurt	7th	30 Oct 2011
	DNF	Chicago	DNF	9 Oct 2011
	2:08:45	Roma	1st	20 Mar 2011
	DNF (pace)	Xiamen	DNF (pace)	2 Jan 2011
	2:09:20	Maranello to Carpi	2nd	10 Oct 2010
	2:11:54	Madrid	2nd	25 Apr 2010

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	2nd	2:09:11
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:06:25

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	2nd	2:11:26
24 Apr	Yangzhou Jianzhen International Half marathon	Half marathon	10th	1:02:12
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:34

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	1st	2:09:25
17 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	7th	28:53
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:06:34

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:04:32
27 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half Marathon	2nd	1:04:10
1 June	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:39
25 May	Abraha Rosa International 10K – Toa Baja	10Km	3rd	28:47
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:05:42

In his eight marathons in the last four years, Dickson Chumba never finished below third. For four straight years since 2014, Chumba has finished in top three spots in the Tokyo Marathon. He won the Tokyo Marathon 2014 with 2:05:42, which was the course record until last year. In the 2014 Chicago Marathon, he recorded 2:04:32, which is still his personal best. It was also 17th fastest time in history at the time. Following year, Chumba won the Chicago Marathon.

Chumba made his marathon debut in 2010 at the Madrid Marathon and finished second in 2:11:54. He promptly cracked 2:10 in his next marathon in the fall of 2010 at Carpi when he recorded a personal best of 2:09:20. However, he was again second. After serving as a pacemaker in Xiamen marathon in January of 2011, he finally won the marathon in March of 2011 in Roma when he recorded a personal best of 2:08:45. Although Chumba dropped out of his next marathon in Chicago after 35Km, he promptly ran in Frankfurt Marathon three weeks later and improved a personal best by more than a minute to 2:07:23. Chumba ran three marathons in 2012. Although he dropped out of Boston Marathon after 25Km in April, in October he won the Eindhoven Marathon with a huge personal best of 2:05:46. Of the six marathons he ran in 2011 and 2012, except for two DNF, Chumba always cracked 2:09. However, 2013 was a dismal season for Chumba. After failing to finish the Xiamen Marathon in January, Chumba was seventh with 2:14:08 in Boston and eighth with 2:10:15 in the Amsterdam Marathon. In contrast, Chumba's 2014 season was superb, for he improved his personal best twice in 2014. At the time, Chumba's time from the Tokyo Marathon in 2014, 2:05:42, was the second fastest time on the Japanese soil behind the Japanese all-comers record of 2:05:18 by Tsegaye Kebede. In its eleven years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. So if Chumba wins at Tokyo, he becomes the first two-time winner in the Tokyo Marathon.

過去4年間、8回のマラソンで3位以下のフィニッシュがないケニアのディクソン・チュンバは、2014年から4大会連続で東京マラソンの表彰台に上っている。東京マラソン2014では優勝し、当時の大会記録2時間05分42秒をたたき出した。2014年シカゴマラソンでは現在でも自己ベストである2時間04分32秒を記録している。これは当時世界歴代17位のタイムだった。翌年のシカゴでは見事優勝を果たしている。

2010年マドリッドマラソンで初マラソンに挑んだチュンバは、2時間11分54秒で2位とまずまずの成績を残した。その半年後の秋、チュンバはカルピでマラソンを走り、初めての2時間10分切りとなる2時間9分20秒と自己ベストを更新したが、再び2位に終わった。2011年1月のアモイマラソンでペースメーカーを務めた後、3月にはローマで自己ベストの2時間8分45秒まで伸ばし、マラソンでの初勝利を取めた。次戦のシカゴでは35km過ぎに棄権したが、その3週間後にはFrankfurtマラソンを走り、2時間7分23秒と自己ベストを1分以上も更新している。チュンバは2012年に3回マラソンを走った。4月のボストンでは25km過ぎに棄権したが、10月にはアインホーフェンマラソンで自己ベストを大幅に更新し2時間5分46秒で制している。チュンバが2011年と2012年に走った6回のマラソン中、2回の途中棄権以外のレースでは2時間9分を切っている。しかしながら、翌2013年はチュンバにとって良いシーズンではなかった。1月のアモイマラソンは棄権し、4月のボストンマラソンでは2時間14分08秒で7位。そして10月のアムステルダムマラソンでは2時間10分15秒で8位に終わった。しかし、2014年には自己ベストを2度更新し、チュンバのキャリアにとって最高の年となった。特に東京で記録した2時間05分42秒はツェガエ・ケベデが福岡で記録した2時間5分18秒に次ぐ(当時)日本国内2番目の記録だった。過去11回の東京マラソンでは、男女ともに2度優勝した選手はいない。チュンバが勝てば東京マラソンで初めての複数回優勝となる。

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:10:15
26 July	Giro Podistico Internazionale di Castelbuono	10Km	5th	31:09
15 Apr	Boston Marathon	Marathon	7th	2:14:08
5 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	DNF	DNF

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	1st	2:05:46
16 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
11 Mar	City Pier City Half Marathon	Half marathon	9th	1:01:34
8 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	2nd	2:08:21

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

No. 04 ツェガエ・メコネン (エチオピア)

MEKONNEN, Tsegaye (ETH)



DOB : 15 June. 1995
AGE : 22
Height : 174cm
Weight : 56kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:01:05	-2015
Marathon	2:04:32	-2014

▶ International Championships Highlights

5000m	
5th in 2012 World Junior Championships	
Marathon	
19th in 2017 World Championships	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:02:16	2:07:26
2016			1:02:16	2:04:46
2015			1:01:05	
2014				2:04:32
2013		/27:53	1:02:41	
2012	13:44.43	/28:36	1:03:59	

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

Time	Race	Place	Date	
2:15:36	World Championships - London 19th	19th	6 Aug 2017	
2:07:26	Hamburg	1st	23 Apr 2017	
2:11:54	Dubai	10th	30 Jan 2017	
DNF	Berlin	DNF	25 Sept 2016	
2:22:21	Boston	12th	18 Apr 2016	
2:04:46	Dubai	3rd	22 Jan 2016	
DNF	Amsterdam	DNF	18 Oct 2015	
DNF	London	DNF	26 Apr 2015	
DNF	Frankfurt	DNF	26 Oct 2014	
2:08:06	London	5th	13 Apr 2014	
Personal Best	2:04:32	Dubai	1st	24 Jan 2014
DNF (pace)		Dubai	DNF (pace)	25 Jan 2013

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships - London	Marathon	19th	2:15:36
23 Apr	Marathon Hamburg	Marathon	1st	2:07:26
30 Jan	Dubai Marathon	Marathon	10th	2:11:54

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF	DNF
18 Apr	Boston Marathon	Marathon	12th	2:22:21
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:04:46

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	DNF	DNF
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	4th	1:05:58
26 Apr	London Marathon	Marathon	DNF	DNF
13 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	7th	1:01:05

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	DNF	DNF
13 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:08:06
24 Jan	Dubai Marathon	Marathon	1st	2:04:32

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Oct	Sedan - Charleville	24.3Km	2nd	1:13:33
15 Sept	Meia Maratona SportZone - Porto & Gaia	Half marathon	3rd	1:02:41
19 May	TCS World 10K - Bangalore	10Km	15th	29:33
24 Mar	Meia-Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	8th	1:03:41
15 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	14th	1:02:53
25 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)

The turning point for Tsegaye Mekonnen's career was the 2012 World Junior Championships. After finishing fifth at 5000m with 13:44.43, he started to train seriously. He served as a pacemaker in the 2013 Dubai Marathon, and then made his marathon debut at Dubai a year later. He won the race with 2:04:32, third fastest debut time in history at the time. He was only eighteen at the time, and his time in Dubai was the world junior (U20) record. Furthermore he was over minute and half faster than the second fastest junior. Three months later, Mekonnen ran the 2014 London Marathon, his first Abbott World Marathon Majors race, and finished fifth with 2:08:06. Although he recorded half marathon personal best of 1:01:05 in early 2015, Mekonnen failed to finish three marathons in a row, at Frankfurt, London and Amsterdam from fall of 2014 to the fall of 2015. It was in January of 2016, at the Dubai Marathon, Mekonnen finally ran another excellent marathon. He finished second 22 seconds behind the winner Tesfaye Abera with 2:04:46, which is second fastest time of his career. He thus became one of only nine runners who cracked 2:05 for the marathon multiple times. However, after Dubai, his fortune at the marathon was quite dismal. He was 12th with 2:22 in the Boston Marathon in April and then dropped out of the Berlin Marathon in September. In 2017 he ran three marathons in Dubai, Hamburg, and the World Championships, but his 2:07:26 win at Hamburg was the only good marathon of the year. In the World Championships, where he represented Ethiopia for the second time since the World Junior, he was only 19th. For Mekonnen, the Tokyo Marathon will be his 12th marathon in his career. If he cracked 2:04, he will be the 12th runner to crack 2:04 for the marathon. That is not all. Mekonnen, at 22 years old, will be the youngest runner to crack 2:04 for the marathon, for nobody under 25 years of age has cracked 2:04 for the marathon.

ツェガエ・メコネンにとって大きな転機は2012年7月の世界ジュニア選手権だった。5000mを13分44秒43で走り5位に入ってから、練習に集中するようになった。2013年1月のドバイマラソンでペースメーカーを務めたメコネンは、1年後の2014年1月、18歳の時にそのドバイで初マラソンに挑戦し、2時間04分32秒の初マラソン世界歴代3位の好タイム(当時)で優勝した。それだけではない。このタイムは世界ジュニア(U20)マラソン記録で、歴代2位より1分半以上も速い。その3カ月後には彼にとって初めてのアボット・ワールドマラソンメジャーズのレースとなるロンドンマラソンに出場し、2時間08分06秒で5位に入った。しかし、その後ハーフマラソンでは1時間01分05秒の自己ベストを出したが、マラソンではフランクフルト、ロンドン、そしてアムステルダムと、2014年秋から1年間に渡って途中棄権が続いた。メコネンが再び好記録を出したのは2016年のドバイマラソンである。優勝したテスファエ・アベラから22秒遅れの2時間04分46秒(自己2番目の記録)で3位に入り、過去9人しかいない2時間5分を複数回切った選手の一人になった。しかし、その後2016年のボストンでは2時間22分、そしてベルリンでは途中棄権と不甲斐ないマラソンが続いた。翌2017年にはドバイ、ハンブルグ、世界選手権、と3回マラソンを走ったが、好記録はハンブルグマラソンの2時間07分26秒での優勝だけ。世界ジュニア選手権以来2度目のエチオピア代表となった世界選手権のマラソンでは19位に終わっている。メコネンにとって東京は12回目のマラソンになるが、もし2時間3分台で走れば2時間4分を切った12人目のランナーになると同時に、22歳のメコネンは2時間4分を切った最も若い選手になる。25歳以下で2時間3分台より速く標準コースのマラソンを走った選手はいないのだ。

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Nov	La Corrida Bulloise - Zbulle	8Km	1st	23:08
11 Nov	Carrera Popular de Negreira	10Km	1st	29:45
4 Nov	Taule Morlaix half marathon	Half marathon	3rd	1:04:44
28 Oct	Le Foulees Montrelaises - Montreau	10Km	1st	28:36
21 Oct	Semi-Marathon de St Denis et de Stade de France	Half Marathon	6th	2:04:44
14 July	World Junior Championships - Barcelona	5000m	5th	13:44.43

No.
05

フェイス・リレサ (エチオピア)

LILESA, Feyisa (ETH)



DOB : 1 Feb. 1990
AGE : 28
Height : 178cm
Weight : 60kg

▶ Personal Bests

1000m	27:46.97	-2008
Half Marathon	59:22	-2012
Marathon	2:04:52	-2012

▶ International Championships Highlights

Marathon
2nd in 2016 Olympic Games; 3rd in 2011 World Championships; DNF in 2013 World Champ
World Cross Country Championships
12th in 2009, 26th in 2010, 17th in 2011, 9th in 2013 14th in junior division at 2008

▶ Progressions (8 straight years of sub-2:10 marathons)

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:00:04	2:14:12
2016			1:00:45	2:06:56
2015				2:06:35
2014			59:51	2:08:26
2013			59:25	2:07:46
2012			59:22	2:04:52
2011			1:00:50	2:09:54
2010			1:00:33	2:05:23
2009	13:55.31	28:22.1	1:02:15	2:09:12
2008	13:34.80	27:46.97	1:02:26	

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:14:49	Chicago	14th	8 Oct 2017
	2:14:12	London	12th	23 Apr 2017
	2:15:57	Honolulu	4th	11 Dec 2016
	2:09:54	Olympic Games – Rio de Janeiro	2nd	21 Aug 2016
	2:06:56	Tokyo	1st	28 Feb 2016
	2:06:57	Berlin	3rd	27 Sept 2015
	2:09:55	Rotterdam	5th	12 Apr 2015
	2:06:35	Dubai	4th	23 Jan 2015
	DNF	Chicago	DNF	12 Oct 2014
	2:08:26	London	9th	13 Apr 2014
	DNF	Frankfurt	DNF	27 Oct 2013
	DNF	World Championships – Moskva	DNF	17 Aug 2013
	2:07:46	London	4th	21 Apr 2013
Personal Best	2:04:52	Chicago	2nd	7 Oct 2012
	2:08:20	London	10th	22 Apr 2012
	2:09:54	Nice – Cannes	4th	20 Nov 2011
	2:10:32	World Championships – Daegu	3rd	4 Sept 2011
	2:11:42	Rotterdam	7th	10 Apr 2011
	2:08:10	Chicago	3rd	10 Oct 2010
	2:05:23	Rotterdam	4th	11 Apr 2010
	2:08:47	Xiamen	1st	2 Jan 2010
	2:09:12	Dublin	1st	26 Oct 2009

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	Chicago Marathon	Marathon	14th	2:14:49
10 Sept	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half Marathon	3rd	1:01:32
30 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	1st	1:04:30
23 Apr	London Marathon	Marathon	12th	2:14:12
20 Mar	NYC Half Marathon	Half marathon	1st	1:00:04
15 Jan	Aramco Half Marathon – Houston	Half marathon	2nd	1:01:14

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Dec	Honolulu Marathon	Marathon	4th	2:15:57
21 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	2nd	2:09:54
24 Apr	Yangzhou Jianzhen International Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:45
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:06:56

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Dec	Sao Silvestre Road Race – Sao Paulo	15Km	3rd	44:38
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	3rd	2:06:57
17 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	8th	28:56
12 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	5th	2:09:55
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	4th	2:06:35

Feyisa Lilesa, the 2016 Olympic Marathon silver medalist, is also the Tokyo Marathon 2016 champion.

He made his marathon debut in 2009 when he was 19 years old, and won the Dublin Marathon with a sub-2:10 clocking of 2:09:12. Two months later he also won the Xiamen Marathon while improving a personal best to 2:08:47. The race that made him famous is the 2010 Rotterdam Marathon, third marathon of his career. For the first time in his career, Lilesa ran a truly world class marathon and finished fourth. In Rotterdam, Lilesa improved his personal best by more than three minutes to 2:05:23. In the 2012 Chicago Marathon, Lilesa improved his personal best for the first time in two and half years. His new personal best, 2:04:52, is the fastest marathon by 22 years old. He thus became the second youngest runner to crack 2:05 for the marathon.

Lilesa ran the World Cross Country Championships five times, and his best finish is ninth in 2013. Lilesa's 10000m best is modest 27:46.97 but his half marathon performances are nearly world class. From 2012 to 2014, Lilesa has broken 60 minutes for the half marathon every year at least once. His best, 59:22, was recorded in 2012 in Houston. In the 2017 NYC Half Marathon, Lilesa recorded 1:00:04. His marathon performance in 2017 is quite dismal, but he has run good half marathons. He won the half marathon race twice and never finished below third.

Lilesa has run four Abbott World Marathon Majors races – London, Berlin, Chicago, and Tokyo and his best finishes are fourth, third, second, and first, respectively. In its eleven years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. So if Lilesa wins at Tokyo, he becomes the first two-time winner in the Tokyo Marathon. However, Lilesa has not cracked 2:14 in his three marathons after the Rio Olympics.

2016年五輪マラソンの銀メダリストであるフェイス・リレサは2年前の東京マラソンのチャンピオンでもある。

2009年19歳の時にダブリンマラソンで初マラソンに挑んだフェイスは、2時間09分12秒でいきなり優勝。その2カ月後には中国でアモイマラソンを走り、自己ベストの2時間8分47秒で再び優勝している。転機となったのが、3回目のマラソンとなった2010年のロッテルダムマラソン。世界の強豪選手が多く集まる超一流の大会で4位に入り、自己ベストを3分以上も更新する2時間05分23秒で、20歳でのマラソン最速記録(当時)を樹立した。翌2011年にはテグ世界選手権を走り、銅メダルを獲得している。更にその翌年の2012年シカゴマラソンでは2年半ぶりに自己ベストを更新、2時間4分52秒で22歳でのマラソン最速記録(当時)を打ち立てた。

世界クロスカントリー選手権は5回出場し、2013年には最高成績となる9位に入った。10000mのベストは27分46秒47と平凡だが、ハーフマラソンでは世界のトップに近い選手だ。2012年から2014年まで、シーズンに一度はハーフマラソンで60分を切っており、自己ベストの59分22秒は2012年のヒューストンハーフマラソンで記録している。そして2017年のニューヨークシティハーフで60分04秒を記録している。同年、マラソンでは不甲斐ない結果に終わったが、ハーフでは優勝2回で3位以下はない。

アボット・ワールドマラソンメジャーズではロンドン、ベルリン、シカゴ、そして東京を走り、最高順位はそれぞれ4位、3位、2位、そして1位だ。気がかりなのはリオ五輪後の3回のマラソンで2時間14分を切っていないことだ。

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
13 Apr	London Marathon	Marathon	9th	2:08:26
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	7th	59:51

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	DNF	DNF
17 Aug	World Championships Marathon – Moskva	Marathon	DNF	DNF
21 Apr	London Marathon	Marathon	4th	2:07:46
24 Mar	World Cross Country Championships – Bydgoszcz	12Km	9th	33:22
24 Feb	Jan Meda International – Addis Ababa	12Km	1st	34:36
15 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	4th	59:25
13 Jan	Houston Marathon	Half marathon	1st	1:01:54

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago marathon	Marathon	2nd	2:04:52
29 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half Marathon	2nd	1:03:18
27 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	4th	28:30
22 Apr	London Marathon	Marathon	10th	2:08:20
18 Mar	New York City Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:45
17 Feb	RAK half Marathon – Ras Al Khaimah	Half marathon	5th	1:01:52
15 Jan	Houston Half Marathon	Half Marathon	1st	59:22

▶ 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	7th	1:00:50
20 Nov	Marathon des Alpes Maritimes Nice-Cannes	Marathon	4th	2:09:54
4 Sept	World Championships – Daegu	Marathon	3rd	2:10:32
10 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	7th	2:11:42
20 Mar	World Cross Country Championships – Punta Umbria	12Km	17th	35:13
20 Feb	Jan Meda Cross Country Champ – Addis Ababa	12Km	4th	32:40

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

No. 06

ビンセント・キプルト (ケニア)

KIPRUTO, Vincent (KEN)



DOB : 13 Sept. 1987
AGE : 30
Height : 179cm
Weight : 54kg

Personal Bests

Half Marathon	1:00:19	-2015
Marathon	2:05:13	-2010

International Championships Highlights

Marathon	
2nd in 2011 World Championships	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:03:13	2:06:14
2016			1:01:48	2:10:18
2015			1:00:19	2:13:55
2014			1:04:35	2:09:54
2013			1:00:39	2:06:15
2012			1:00:46	2:10:39
2011			1:03:11	2:05:33
2010			1:01:43	2:05:13
2009			1:02:46 (en route to marathon)	2:05:47
2008				2:08:16
2007		/29:21		

Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

Time	Race	Place	Date	
2:06:14	Berlin	5th	24 Sept 2017	
2:09:15	Lake Biwa - Otsu	2nd	5 Mar 2017	
D N F	Berlin	DNF	25 Sept 2016	
2:10:18	Xiamen	1st	2 Jan 2016	
2:13:55	Paris	14th	12 Apr 2015	
2:12:09	Frankfurt	13th	26 Oct 2014	
2:09:54	Otsu - Lake Biwa	3rd	2 Mar 2014	
2:06:15	Frankfurt	1st	27 Oct 2013	
2:08:34	Otsu - Lake Biwa	1st	3 Mar 2013	
2:13:20	Hengshui	9th	22 Sept 2012	
2:10:39	London	13th	22 Apr 2012	
2:10:06	World Championships - Daegu	2nd	4 Sept 2011	
2:05:33	Rotterdam	2nd	10 Apr 2011	
2:09:08	Chicago	5th	10 Oct 2010	
Personal Best	2:05:13	Rotterdam	3rd	11 Apr 2010
	2:06:08	Chicago	3rd	11 Oct 2009
	2:05:47	Paris	1st	5 Apr 2009
	2:08:16	Reims	3rd	21 Oct 2008

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	5th	2:06:14
25 June	Hella Hamburg Halbmarathon	Half marathon	4th	1:03:13
5 Mar	Lake Biwa Marathon - Otsu	Marathon	2nd	2:09:15

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF	DNF
26 June	Hella Hamburg Halbmarathon	Half marathon	2nd	1:01:48
14 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half marathon	1st	1:02:54
2 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	1st	2:10:18

2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Sept	Semi-Marathon International de Lille Metropole	Half marathon	3rd	1:00:19
12 Apr	Marathon de Paris	Marathon	14th	2:13:55

2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	13th	2:12:09
7 June	Mattioni Ceske Budejovice half marathon	Half marathon	4th	1:04:35
2 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	3rd	2:09:54

Vincent Kipruto, who recorded the personal best of 2:05:13 (tenth fastest time in history at the time) in the 2010 Rotterdam Marathon, won a silver medal at the 2011 World Championships in Daegu.

Kipruto started running because he looked up to William Kiplagat (personal best of 2:06:50, eighth in the 2007 World Championships), a world class runner and a local hero. However, since he was concentrating on his studies in his younger days, Kipruto only started running seriously several years later. Kipruto made his marathon debut in the 2008 Riems Marathon, and recorded 2:08:16. A half year later in 2009 Kipruto won the Paris Marathon with 2:05:47, a huge personal best. Kipruto was on a roll. In the 2009 Chicago Marathon, his recorded 2:06:08, and in the 2010 Rotterdam Marathon, he recorded 2:05:13, thus improving his personal best, recorded in the 2009 Paris Marathon, by 30 seconds. Next, in the fall of 2010, he recorded 2:09:08, and followed it up with 2:05:33 in the 2011 Rotterdam Marathon. In Rotterdam Kipruto recorded third sub-2:06 clocking of his career. Later in 2011, Kipruto won a silver medal in Daegu. However, starting in 2012, his marathon performances started to decline. From the fall of 2:08 to the spring of 2011, Kipruto ran six consecutive sub-2:10 marathons. In contrast, after 2:06:15 marathon in the 2013 Frankfurt Marathon, except for the 2014 and 2017 Lake Biwa Marathon, Kipruto failed to crack 2:10 for the marathon. However, in the 2017 Berlin Marathon, Kipruto was fifth with 2:06:14, first 2:06 clocking in four years. He may be back as a world class marathon runner. Kipruto has run three marathons in Japan, all at Lake Biwa. In his three Lake Biwa Marathons he contested, Kipruto was first, third and second, respectively. He seemed to excel at the Japanese marathon, and thus excellent marathon is expected from Kipruto in TOKYO.

2010年ロッテルダムマラソンで歴代10位(当時)のタイムとなる2時間5分13秒の自己ベストをたたき出したケニアのビンセント・キプルトは、2011年のテグ世界選手権では銀メダルを獲得している。

地元の世界的なマラソンランナーであるウィリアム・キプラガト(自己ベスト2時間06分50秒、2007年世界選手権8位)に憧れて走り始めたキプルトだが、最初は勉学を最優先にしている、本格的に走り始めたのは数年後から。2008年リムマラソンで初マラソンに挑み、2時間08分16秒を記録し、半年後の2009年パリマラソンで、大幅に自己ベストを更新した2時間05分47秒で優勝した。その後もキプルトの快進撃は続いた。2009年秋のシカゴマラソンでは2時間06分08秒、そして2010年春のロッテルダムマラソンでは2時間05分13秒と1年前にパリで記録した自己ベストを30秒以上更新した。秋にはシカゴマラソンで2時間09分08秒、翌2011年のロッテルダムマラソンでは3度目の5分台となる2時間05分33秒で走り、夏の世界選手権で銀メダルを獲得した。しかし翌2012年から下降線をたどりはじめた。2008年秋から2011年春まで6大会連続で2時間10分を切っていたキプルトだが、2013年秋のフランクフルトマラソンでは2時間06分15秒を記録して以来、2014年と2017年の2回のびわ湖毎日マラソン以外の大会では一度も2時間10分を切る事ができなかった。しかし2017年のベルリンマラソンで4年ぶりの6分台となる2時間06分14秒で5位に入った。往年の力が戻ってきたと見て良いかもしれない。キプルトは日本で3回マラソンを走っている。すべて、びわ湖毎日マラソンで、1位、3位、2位と3回とも表彰台に上っている。キプルトは日本でのマラソンを得意としているようで、東京でも好成績が期待される。

2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	1st	2:06:15
1 Sept	Semi Marathon International de Lille Metropole	Half marathon	1st	1:00:39
3 Mar	Lake Biwa Marathon - Otsu	Marathon	1st	2:08:34
13 Jan	Halve Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:01:36

2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Sept	Hengshui Lake Marathon	Marathon	9th	2:13:20
22 Apr	London Marathon	Marathon	13th	2:10:39
26 Feb	Maratonina Roma-Ostia	Half Marathon	6th	1:00:46

2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Xevenheuveleloop - Nijmegen	15Km	2nd	43:15
4 Sept	World Championships - Daegu	Marathon	2nd	2:10:06
5 June	TCS World 10K - Bangalore	10Km	5th	28:45
10 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	2nd	2:05:33
30 Jan	Discovery Kenya Half Marathon - Eldoret	Half marathon	2nd	1:03:11

No.
07

アモス・キプルト (ケニア)

KIPRUTO, Amos (KEN)



DOB : 16 Sep. 1992
AGE : 25
Height : 160cm
Weight : 54kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	60:24	-2017
Marathon	2:05:43	-2017

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:00:24	2:05:43
2016			1:01:09	2:08:12
2015			1:01:02	

▶ Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
2:05:43		Amsterdam	5th	15 Oct 2017
2:05:54		Seoul	1st	19 Mar 2017
DNF(pace)		Dubai	DNF(pace)	30 Jan 2017
2:09:08		Amsterdam	13th	16 Oct 2016
2:08:12		Roma	1st	10 Apr 2016
DNF(pace)		Dubai	DNF(pace)	22 Jan 2016

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	5th	2:05:43
20 May	Goteborgsvarvet	Half marathon	2nd	1:00:24
19 Mar	Seoul Marathon	Marathon	1st	2:05:54
30 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	13th	2:09:08
10 Apr	Roma Marathon	Marathon	1st	2:08:12
6 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half marathon	2nd	1:01:09
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Sept	Mersin	15Km	1st	44:38
29 Mar	Tarsus Half Marathon	Half marathon	3rd	1:03:03
4 Jan	Adana Half Marathon	Half marathon	2nd	1:01:02

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Istanbul Marathon	15Km	1st	44:03

Amos Kipruto, who recorded 2:05 marathon twice last year, has run four marathons, not counting the pacemaker duties, in his career. Each time Amos has cracked 2:10 for the marathon, hallmark of consistent marathon runner.

In the 2016 Dubai Marathon, Kipruto served as a pacemaker and covered the first 30km in 1:27:20, the fastest 30km road time in history, at the time. In April of the same year, Amos made his marathon debut in Rome. At 35km Amos broke away from the seven men lead pack, covering the next 5km in 14:50 and won the race by over one minute margin with 2:08:12. His next marathon in Amsterdam was not a good one for Amos. He was only 13th with 2:09:08. He, at least cracked 2:10 for the marathon. The following year, Amos made a huge jump in his performance. In the 2017 Dubai Marathon, Kipruto was again a pacemaker, covering 30km in 1:27:39. Then in March, in the Seoul Marathon, Kipruto broke away from the seven men lead pack at 35km, and covered the next 5km in 14:35. It was faster than his 5km lap time from his debut marathon in Rome where he covered the distance in 14:50. Amos won the race while improving his marathon best by more than two and a half minutes with 2:05:54. Later in May, Amos improved his half marathon best to 1:00:24, and then run the Amsterdam Marathon in October. He was aiming for the course record in Amsterdam. When he is in shape, Amos had surged at 35km, but in Amsterdam, when Lawrence Cherono made his move at 35km, Amos could not respond. At the end Kipruto was fifth, 34 seconds behind the winner Cherono with 2:05:43; it was a personal best for Kipruto, however. For Amos, Tokyo Marathon will be his fifth marathon, as well as his first Abbott World Marathon Majors race. If he is in great shape, most likely, Amos will make his move at 35km. In the Tokyo Marathon where his competitions will be much stronger, will he be able to run away from his competitions?

昨年走った2回のマラソンで2時間05分台を記録したケニアのアモス・キプルトはそのキャリアでペースメーカー役を除いて4回マラソンに出場しているが、すべて2時間10分以内で走っている。彼は極めて成績の安定したマラソン選手なのだ。

2016年1月のドバイマラソンではペースメーカーを務め、30kmを当時世界歴代最速となる1時間27分20秒で通過した。同年4月のローママラソンで初マラソンに挑戦したアモスは、35kmで7人の先頭集団から抜け出し、40kmまでの5kmを14分50秒で突走り、2時間08分12秒で2位に1分以上の差をつけて優勝した。次戦の10月のアムステルダムマラソンでは2時間09分08秒で13位と残念な結果だったが、2時間10分の壁は確実に破った。翌2017年はキプルトにとって飛躍の年になった。1月のドバイマラソンでは再びペースメーカーを務めて30kmを1時間27分39秒で通過した。3月のソウルマラソンで再び35km過ぎに7人の先頭集団から飛び出したアモスは、次の5kmを初マラソンのローママラソンの時より更に速い14分35秒でカバー。2分半近く自己ベストを更新する2時間05分54秒で優勝したのである。その後5月のヨーテポリーフマラソンで60分24秒の自己ベストを記録したアモスは前年に続いてアムステルダムマラソンに挑戦し、目標として大会記録での優勝を掲げた。絶好調の時には35kmでスパートしてきたアモスだが、アムステルダムでは同地点でスパートしたローレンス・チェロノについて行けず脱落。優勝したチェロノから34秒遅れの2時間05分43秒で5位に終わったが、自己ベストは更新した。アモスにとって東京マラソンは5回目のマラソンで、初めてのアボット・ワールドマラソンメジャーズのレースとなる。もし彼が好調なら、多分35kmからスパートするだろう。今まで彼が走ったマラソンより遥かに強い選手が揃った東京マラソン2018で彼のスパートは通用するだろうか？

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

No. 08 **ギデオン・キプケテル** (ケニア) KIPKETER, Gideon (KEN)



DOB : 10 Nov. 1992
AGE : 25
Height : 182cm
Weight : 59kg

▶ **Personal Bests**

Half Marathon	59:53	-2012
Marathon	2:05:51	-2017

▶ **International Championships Highlights**

World Cross Country Championships	8th in junior division in 2010
Marathon	5th in 2017 World Championships

▶ **Progressions**

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017				2:05:51
2016		/29:09		2:08:35
2015		28:25.31		2:09:01
2014			1:02:56	2:10:36
2013		/28:56		2:10:41
2012			59:53	2:08:14
2011		/29:21		
2010	13:15.77			

▶ **Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)**

	Time	Race	Place	Date
	DNF (pace)	Berlin	DNF (pace)	24 Sept 2017
	2:10:56	World Championships - London	5th	6 Aug 2017
	DNF (pace)	Monza - Breaking 2	DNF (pace)	6 May 2017
Personal Best	2:05:51	Tokyo	2nd	26 Feb 2017
	2:12:20	Chicago	3rd	9 Oct 2016
	DNF (pace)	London	DNF (pace)	24 Apr 2016
	2:08:35	Mumbai	1st	17 Jan 2016
	2:09:01	Seoul (Joon Ang)	2nd	1 Nov 2015
	2:09:34	Hamburg	5th	26 Apr 2015
	2:18:59	Amsterdam	11th	18 Oct 2014
	2:10:36	Paris	6th	6 Apr 2014
	2:10:41	Tokyo	12th	24 Feb 2013
	2:08:14	Amsterdam	7th	21 Oct 2012

▶ **2017 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
6 Aug	World Championships - London	Marathon	5th	2:10:56
6 May	Nike Breaking 2 - Monza	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:05:51

▶ **2016 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:12:20
15 May	TCS World 10K - Bangalore	10Km	8th	29:09
24 Apr	London Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
17 Jan	Mumbai Marathon	Marathon	1st	2:08:35

▶ **2015 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	Joon Ang Seoul Marathon	Marathon	2nd	2:09:01
17 June	ETH 10000m Trials - Hengelo	10000m	DNF (pace)	DNF (pace)
13 June	Golden Spike Leiden	10000m	4rA	28:25.31
22 May	5th Athletics Kenya Meeting - Eldoret	10000m	1r2	29:09.9
26 Apr	Marathon Hamburg	Marathon	5th	2:09:34

▶ **2014 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	11th	2:18:59
21 Sept	Dam tot Damloop	Marathon	6th	46:36
6 Apr	Marathon de Paris	Marathon	6th	2:10:36
12 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:02:56

▶ **2013 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
19 May	TCS World 10K - Bangalore	10Km	8th	28:56
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	12th	2:10:41

The year 2017 was the turning point of his marathon career for Gideon Kipketer, who finished second in the Tokyo Marathon and then finished fifth in the World Championships in August.

Kipketer has a good credential at shorter distances, having finished eighth in the junior division of the 2010 World Cross Country Championships, and ran 5000m best of 13:15.77 also in 2010. In September of 2012, in Lille, Kipketer improved half marathon personal best to very respectable 59:53. Started the 2012 Amsterdam Marathon as a pacemaker, Kipketer finished the race in 2:08:14. It was Kipketer's first attempt at the marathon as well as his first completed marathon. In Amsterdam, Kipketer paced the leader through 25Km (1:14:39) and 30Km (1:29:50), and the winner Wilson Chebet went on to run 2:05 marathon. Kipketer slowed in the final km but held on for 2:08 marathon. Although Kipketer ran seven more marathons, in addition to the pacing duty at the 2016 London Marathon, he has not improved his marathon personal best. In 2015 Kipketer cracked 2:10 for the marathon twice, 2:09:34 at the 2015 Hamburg Marathon and 2:09:01 at the 2015 Seoul Joon Ang Marathon. Kipketer came close to his marathon personal best once, in the 2016 Mumbai Marathon, when he won the race with 2:08:35. His time from the 2016 Chicago Marathon, 2:12:20, may seem slow, but the main reason was because Chicago Marathon does not employ pacemakers. It was a good performance since Kipketer was less than a minute behind the winner. In short, Kipketer has run four consecutive good marathons from the spring of 2015 to the fall of 2016. In the 2017 Tokyo Marathon, Kipketer improved his marathon best by a huge margin. However, considering his half marathon best is 59:53, 2:04 marathon is a distinct possibility. Thus, Kipketer is expected to improve his marathon best again this year.

ギデオン・キプケテルは、東京マラソン 2017 で 2 位に入り、8 月の世界選手権のマラソンでは 5 位入賞を果し、飛躍の年になった。

2010 年世界クロスカントリーのジュニアの部で 8 位に入り、同年に 5000m で 13 分 15 秒 77 秒を記録。2012 年 9 月にはリールのハーフマラソンで 59 分 53 秒の自己ベストを出した。それから 1 カ月半後の 2012 年アムステルダムマラソンでは、ペースメーカーとしてスタートしたものの、2 時間 8 分 14 秒で完走した。彼にとって最初のマラソンであり、もちろん初めての完走でもあった。そのレースでは、25km を 1 時間 14 分 39 秒、30km を 1 時間 29 分 50 秒で集団を引っ張った。優勝したウィルソン・チェベトは 2 時間 5 分台でフィニッシュ。ペースメーカーだったキプケテルは最後に失速しながらも 2 時間 8 分台の好タイムで走り終えた。しかし、その後 7 回、ペースメーカー役を含めれば 8 回マラソンを走ったが、自己ベストを更新できていない。

2015 年ソウルマラソンでは 2 時間 09 分 01 秒、そして同年のハンブルグマラソンでは 2 時間 09 分 34 秒、と 2 大会連続で 2 時間 10 分の壁を破った。2016 年のムンバイマラソンでは 2 時間 8 分 35 秒で優勝し、自己ベストに近いタイムをたたき出した。2016 年シカゴマラソンのタイム 2 時間 12 分 20 秒は一見平凡に見えるかも知れないが、その理由はシカゴではペースメーカーがいなかったからである。優勝タイムからは 1 分も離れていない好成績なのだ。総括すれば彼は 4 回連続で好成績をあげてきたのである。そのキプケテルが昨年の東京マラソンで大幅に自己ベストを更新した。しかし、ハーフマラソンの自己ベストが 59 分 53 秒であることを考えれば 2 時間 04 分台も可能なはずだ。東京での 2 大会連続自己ベストの更新が期待される。

▶ **2012 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Tuskys Wareng Cross Country - Eldoret	12Km	1st	36:04
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	7th	2:08:14
30 Sept	Delhi Half Marathon - New Delhi	Half marathon	8th	1:03:33
1 Sept	Semi-Marathon International de Lille Metropole	Half marathon	4th	59:53
1 Apr	Berliner Halbmarathon	Half marathon	9th	1:00:34
8 Jan	Halve Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:01:03

No.
09

バーナード・キピエゴ (ケニア)

KIPIYEGO, Bernard Kiprop (KEN)



DOB : 16 July, 1986
AGE : 31
Height : 170cm
Weight : 51kg

▶ Personal Bests

5000m	13:09.96	-2005
10000m	26:59.61	-2007
Half Marathon	59:10	-2009
Marathon	2:06:19	-2015

▶ International Championships Highlights

10000m
5th in 2009 World Championships
Half Marathon
2nd in 2009 World Half Marathon Championships
World Cross Country Championships
3rd in 2007 and 10th in 2008; 2nd in junior in 2005
Marathon
12th in 2013 World Championships

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		29:12.9A	1:01:27	2:08:10
2016			1:03:27	2:06:45
2015			1:04:17	2:06:19
2014			59:47	2:06:22
2013			1:02:54	2:07:19
2012			1:01:25	2:06:40
2011		28:35.1	59:45	2:06:29
2010			59:40	2:07:01
2009		27:18.47	59:10	
2008	13:30.40	27:08.06		
2007	13:13.40	26:59.61		
2006	13:20.78	27:19.45		
2005	13:09.96	27:04.45		

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:10:23	Chicago	3rd	8 Oct 2017
	2:08:10	Tokyo	6th	26 Feb 2017
	2:06:45	Amsterdam	8th	16 Oct 2016
	2:07:33	Tokyo	2nd	28 Feb 2016
Personal Best	2:06:19	Amsterdam	1st	18 Oct 2015
	2:10:47	Boston	4th	20 Apr 2015
	2:06:22	Amsterdam	1st	19 Oct 2014
	2:07:58	Rotterdam	3rd	13 Apr 2014
	2:07:19	Beijing	2nd	20 Oct 2013
	2:14:01	WC – Moskva	12th	17 Aug 2013
	2:07:53	Tokyo	3rd	24 Feb 2013
	2:06:40	Chicago	6th	7 Oct 2012
	2:13:13	Boston	3rd	16 Apr 2012
	2:06:29	Chicago	3rd	9 Oct 2011
	2:07:16	Paris	2nd	10 Apr 2011
	2:08:50	Berlin	6th	26 Sept 2010
	2:07:01	Rotterdam	5th	11 Apr 2010

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:10:23
18 May	KEN Police Championships – Nairobi	10000m	1r2	29:12.9
23 Apr	Gifu Seiryu Half Marathon	Half marathon	4th	1:01:27
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	6th	2:08:10

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:06:45
11 June	Zwolle Half Marathon	Half marathon	5th	1:03:27
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:07:33
10 Jan	Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:08:33

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:19
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	4th	2:10:47
11 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	6th	1:04:17

Third in the 2007 World Cross Country Championships, fifth at 10000m in the 2009 World Championships and second in the 2009 World Half Marathon Championships, Bernard Kipyego has 10000m personal best of 26:59.61, recorded in 2007 and half marathon best of 59:10, recorded in 2009.

Since Bernard Kipyego has great speed at the shorter distances, his marathon debut has been awaited with much anticipation. In his marathon debut, at the 2010 Rotterdam Marathon, Kipyego finished fifth with 2:07:01. In the 2011 Paris Marathon, Kipyego was second with 2:07:16; he followed it up with third place finish in the 2011 Chicago Marathon with his personal best of 2:06:29. Kipyego ran second sub-2:07 marathon of his career in the 2012 Chicago Marathon when he was sixth with 2:06:40. Then in the Tokyo Marathon 2013, his first marathon in Asia, Kipyego was third with 2:07:53. However, in the 2013 World Championships in Moskva, Kipyego was 12th in 2:14:01, worst performance of his career. However, in both the 2013 Beijing Marathon and the 2014 Rotterdam Marathon, Kipyego ran 2:07 marathon. Furthermore, he ran 2:06:22 in the 2014 Amsterdam Marathon and 2:06:19 in the 2015 Amsterdam Marathon. He improved his marathon best two years in a row at Amsterdam.

In short, his marathon performances are quite consistent. Kipyego never dropped out of the marathon after seventeen starts. Furthermore, out of seventeen marathons he started, Kipyego cracked 2:09 thirteen times, and 2:07 five times; he finished better than ninth in all marathons except for the World Championships in Moskva. Kipyego is a member of super-exclusive club. Four runners, Paul Tergat, Haile Gebrselassie, Eliud Kipchoge and Tamarit Tola, have run sub-27 minutes 10000m, sub-60 minutes half marathon and sub-2:05 marathon (on the standard course). If Kipyego, run a 2:04 marathon in Tokyo, he will be the fifth member to join the exclusive club.

バーナード・キピエゴは、2007年の世界クロスカントリー選手権で3位、2009年世界選手権の10000mで5位、そして2009年世界ハーフマラソン選手権では2位に入っている。1万mの自己ベストは2007年に記録した26分59秒61、そしてハーフマラソンの自己ベストは2009年に出した59分10秒である。

その類まれなスピードをもつキピエゴの初マラソンとなった2010年ロッテルダムマラソンは大きな注目を集め、期待通り2時間07分01秒で5位に入った。翌2011年のパリは2時間7分16秒で2位、秋のシカゴでは当時の自己ベストとなる2時間6分29秒で3位、そして翌2012年のシカゴマラソンでは2度目の2時間6分台となる2時間6分40秒で6位と好記録を連発した。そして、彼にとってアジアで初めてのマラソンとなった東京マラソン2013で2時間7分53秒で3位に入ったが、8月の世界選手権モスクワ大会では2時間14分01秒で12位と彼のマラソン人生で最も悪い成績に終わった。しかし、2013年北京マラソンと2014年ロッテルダムマラソンでは2時間7分台を記録。2014、2015年アムステルダムマラソンでは2時間6分台を連発し、連続で自己ベストを更新している。

総括すればキピエゴのマラソン成績は極めて安定していることになる。今まで走った17回のマラソンで途中棄権が一度もない。17回中13回のマラソンで2時間9分以内のタイムを記録しただけでなく、2時間7分以内のタイムも5回記録、そして9位以下は世界選手権モスクワ大会の一度だけ。10000mで27分を、ハーフマラソンで1時間を、そして標準コースのマラソンで2時間5分を切ったランナーは、ポール・テルガト、ハイレ・ゲブレシラシエ、エリウド・キプチョゲそしてタミラト・トラの4人だけだ。2014年に3位、2016年に2位、そして2017年は3位と東京では好記録を続けているキピエゴが2時間4分台を記録すれば、伝説のランナー仲間入りすることになる。

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Cochin International Half Marathon	Half marathon	1st	1:02:38
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:22
14 Sept	Meia Maratona SporZone – Porto&Gala	Half marathon	1st	1:00:38
13 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	3rd	2:07:58
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	5th	59:47

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	1st	1:02:54
20 Oct	Beijing Marathon	Marathon	2nd	2:07:19
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	12th	2:14:01
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:53
19 Jan	Kenyan Police Cross Country Champ – Nairobi	12Kkm	5th	36:35

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Tuskys Wareng Cross Country – Eldoret	12Kkm	6th	36:39
7 Oct	Chicago marathon	Marathon	6th	2:06:40
1 Sept	Semi-Marathon International de Lille Metropole	Half Marathon	10th	1:01:25
16 Apr	Boston Marathon	Marathon	3rd	2:13:13
17 Feb	RAK Half marathon – Ras Al Khaimah	Half Marathon	4th	1:01:29

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

No.11 キブロム・ゲブレジャビエル (エリトリア)

GHEBREZGIABHIER, Kibrom (ERI)



DOB : 1 Feb. 1987
AGE : 31
Height : 166cm
Weight : 50kg

▶Personal Bests

Marathon	2:09:36	-2015
----------	---------	-------

▶International Championships Highlights

Marathon	
41st in 2017 World Championships	

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:05:46	2:14:52
2016			1:06:36	2:10:38
2015				2:09:36
2014				2:10:00

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:21:22	World Championships - London	41st	6 Aug 2017
	2:14:52	London	13th	23 Apr 2017
	2:10:38	Valencia	5th	20 Nov 2016
	2:11:56	London	10th	26 Apr 2016
	2:13:49	Sydney	5th	20 Sept 2015
Personal Best	2:09:36	London	8th	26 Apr 2015
	2:10:00	Hengshui	5th	20 Sept 2014
	2:11:12	Milano	3rd	6 Apr 2014
	2:11:56	Koln	8th	13 Oct 2013

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships - London	Marathon	41st	2:21:22
26 June	Hella Hamburg Halbmarathon	Half marathon	12th	1:05:46
23 Apr	London Marathon	Marathon	13th	2:14:52
19 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	16th	1:06:11

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Maraton Valencia Trinidad Alfonso	Marathon	5th	2:10:38
26 Apr	London Marathon	Marathon	10th	2:11:56
20 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	20th	1:06:36

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Sept	Sydney Marathon	Marathon	5th	2:13:49
26 Apr	London Marathon	Marathon	8th	2:09:36

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Dec	Cross Internacional de la Constitucion - Burgos	9.985Km	10th	29:37
20 Sept	Hengshui Lake Marathon	Marathon	5th	2:10:00
6 Apr	Milano City Marathon	Marathon	3rd	2:11:12
23 Feb	Entirean Cross Country Champ - Mendefera	12Km	7th	40:46

Kibrom Ghebregziabhier, who recorded 2:09:36 in the 2015 London Marathon, has run in the 2017 World Championships. Unfortunately, he was dismal 41st with 2:21:22, his worst performance in his nine marathon starts. But he should be much better marathon runner.

Ghebregziabhier started running European road races starting in 2013. He was third in 10 mile road race in Netherlands with 47:40. A week later, he won the 10km road race with 29:14. Later, in October, Ghebregziabhier made a marathon debut in the 2013 Koln Marathon and finished eighth with 2:11:56, which was not a bad debut. Next April in the 2014 Milano Marathon, he was third with 2:11:12, and in September at the Hengshui Lake Marathon Ghebregziabhier was fifth with 2:10:00. Slowly but surely, Ghebregziabhier improved his personal best. In 2015, Ghebregziabhier ran his first Abbott World Marathon Majors race in London. He was eighth with 2:09:56, thus improving his personal best once again. Unfortunately, his marathon performance stagnated after London. In September's Sydney Marathon, Ghebregziabhier was fifth with 2:13:49, slowest marathon time of his career. A following year, he ran in the London Marathon in April and finished tenth with 2:11:56 and then in November he was fifth with 2:10:38 in the Valencia Marathon. It was a mediocre performance at best. Last year, he ran the London Marathon for the third time, and finished with 2:14:52, the worst time of his marathon career. However, Ghebregziabhier was still selected to run in the World Championships. Unfortunately, his performance at the Worlds was worst ever. One bright spot in his career recently was an improvement in his half marathon best. Ghebregziabhier improved half marathon best of 1:06:36, recorded in Lisbon in 2016, to 1:05:46 in Hamburg in March of 2017 and improve it further to 1:05:46 in Hamburg in June of 2017. An improvement of marathon personal best is expected in Tokyo.

2015年ロンドンマラソンで2時間09分36秒の自己ベストを記録したエリトリアのキブロム・ゲブレジャビエルは、2017年の世界選手権に出場したが、2時間21分22秒で41位と、9回のマラソン歴で最悪の成績となった。しかし彼の実力はこんなものではないはずだ。

2013年から欧州のロードレースを走るようになったゲブレジャビエルは、オランダで行われた10マイルのロードレースでは47分40秒で3位に入った。そして翌週には10kmのロードレースを走り29分14秒で優勝している。その後10月にはドイツのケルンで初マラソンに挑み、2時間11分56秒で8位、とまずまずの結果を出している。翌年4月にミラノでは2時間11分12秒で3位、9月には中国の衡水市では2時間10分00秒で5位、と少しずつだが、自己ベストを連続で更新。翌2015年には初めてのメジャーマラソンとなるロンドンマラソンに出場し、2時間09分56秒で8位と順調に自己ベストを更新した。しかし、ここで彼の自己ベストの更新が止まってしまった。9月のシドニーマラソンでは2時間13分49秒で5位、と自己最悪のタイムを記録した。翌年4月には再びロンドンマラソンを走り、2時間11分56秒で10位、そして11月にはバレンシアマラソンでは2時間10分38秒で5位、と良くも悪くもない成績だった。昨年は3度目のロンドンマラソンで2時間14分52秒と自己最悪のタイムだったが、世界選手権の代表に選ばれ、ワースト記録を更新する結果に終わった。唯一の明るい材料は、2016年にリスボンハーフマラソンで記録した1時間06分36秒を、2017年3月のリスボンで1時間06分11秒まで縮め、6月にハンブルグで1時間05分46秒まで更新したことだ。東京ではマラソンでも自己ベスト更新が期待される。

No.
11**モハメド・レダ・エルアラビ (モロッコ)**

EL AARABY, Mohamed Reda (MAR)



DOB : 12 Nov. 1989
 AGE : 28
 Height : 175cm
 Weight : 62kg

▶ **Personal Bests**

Half Marathon	61:45	-2017
Marathon	2:09:50	-2017

▶ **International Championships Highlights**

Marathon	
30th in 2017 World Championships	

▶ **Progressions**

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		29:42.12	1:01:45	2:09:50
2016	13:42.53	29:22.66	1:01:51	
2015	14:32.74		1:04:01	

▶ **Marathon career**

	Time	Race	Place	Date
	2:16:25	Beijing	8th	17 Sept 2017
	2:17:50	World Championships – London	30th	6 Aug 2017
Personal Best	2:09:50	Daegu	3rd	2 Apr 2017

▶ **2017 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Sept	Beijing Marathon	Marathon	8th	2:16:25
6 Aug	World Championships – London	Marathon	30th	2:17:50
23 July	Francophone Games – Abidjan	10000m	3rd	29:42.12
14 June	Meeting Iberoamerican de Atletismo – Huelva	1500m	8rC	3:48.86
2 Apr	Daegu Marathon	Marathon	3rd	2:09:50
5 Mar	Marathon International de Rabat	Half marathon	2nd	1:02:24
29 Jan	Marrakech Marathon & Half Marathon	Half marathon	3rd	1:01:45

▶ **2016 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Sept	Semi-Marathon d'Auray Vannes	Half marathon	3rd	1:04:40
16 July	Kenitra	5000m	1st	13:55.21
9 July	Kortrijkse Guldenspoorenmeeting – Kortrijk	5000m	3rd	13:42.53
12 June	Pace	10Km	1st	29:35
29 May	Tamarack Ottawa Race Weekend	10Km	6th	29:28
14 May	Rabat	10000m	3rd	29:22.66
13 Mar	Rabat Half marathon	Half marathon	6th	1:01:51
7 Mar	French Cross Country Champ – Le Man	11.645Km	2nd	38:03
31 Jan	Marrakech Marathon & Half Marathon	Half Marathon	7th	1:03:00

▶ **2015 Results**

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Oct	Casablanca	Half marathon	2nd	1:04:01
13 Sept	Semi-Marathon d'Auray Vannes	Half marathon	7th	1:04:43
17 May	Montgeron	3000m	6th	8:06.25
10 May	Talence	5000m	1st	14:32.74

Mohammed El Aaraby of Morocco has made his marathon debut in April of 2017 at the Daegu Marathon, and finished third behind Matthew Kisorio and Peter Some with 2:09:50. Not a bad performance for both Kisorio and Some are world class runners. Incidentally, Yuki Kawauchi was sixth in this race. El Aaraby was selected to run in the World Championships, but unfortunately he was dismal 30th with 2:17:50. Six weeks later he ran another marathon in Beijing, but El Aaraby was only eighth with 2:16:25.

El Aaraby is a versatile runner who runs all distances from the 1500m to the marathon. His personal bests at 1500m, 3000m, 5000m and 10000m are 3:47.51, 8:05.46, 13:42.53, and 29:19.90, respectively. They are not exceptional personal best at track distances. However, at the half marathon distance, El Aaraby recorded 1:04:01 in 2015 at Casablanca, improved it to 1:01:51 in 2016 in Rabat and finally to 1:01:45 in 2017 in Marrakech. Based on these performances, El Aaraby must have faster marathon in him, but in three marathons he contested El Aaraby has not been able to improve his time from his debut marathon in Daegu. However, since he has recorded personal bests or nearly matched personal bests at all distances in either 2016 or 2017, there is a distinct possibility that El Aaraby will improve his personal best at the marathon in Tokyo.

2017年4月にテグで初マラソンに挑戦したモロッコのモハメド・レダ・エルアラビは2時間09分50秒でケニアのマシュー・キソリオ、ピーター・ソメに次ぐ3位に入った。一流選手のキソリオとソメに次ぐ3位は悪くない成績といえる。ちなみにこのレースで川内優輝は6位だった。エルアラビはその年の世界選手権の代表に選ばれたが、ロンドンでは2時間17分50秒で30位と残念な結果だった。それから6週間後の北京マラソンも走り、2時間16分25秒で8位に終わっている。

1500mからマラソンまで走るエルアラビの自己ベストは1500mで3分47秒51、3000mでは8分05秒46、5000mでは13分42秒53、そして10000mでは29分19秒90とトラックのタイムは突出していない。しかし、ハーフマラソンでは2015年にカサブランカで記録した1時間04分01秒を、2016年にはラバットで1時間01分51秒に、そして昨年はマラケッシュで1時間01分45秒まで更新している。もう少し速いマラソンのタイムが期待されているが、3回出場して、テグでの初マラソンを上回る記録が出ていない。しかし、すべての距離で2016年か2017年にベストか、ベストに近いタイムを記録しており、東京マラソン2018で自己ベストを更新する可能性もある。

東京マラソン招待選手—海外男子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – International MEN

12 ファンルイス・バリ奥斯 (メキシコ)

BARRIOS, Juan Luis (MEX)



DOB : 24 June. 1983
AGE : 34
Height : 174cm
Weight : 64kg

▶Personal Bests

5000m	13:09.81	-2011
5000m	27:28.82	-2012
Half Marathon	60:46	-2015
Marathon	2:14:10	-2011

▶International Championships Highlights

5000m	7th in 2008, 8th in 2012 Olympic Games; 2015 Pan American Games champion
10000m	18th in 2009 World Championships; 3rd in 2015 Pan American Games

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:01:48	2:18:26
2016			1:02:02	
2015	13:15.71	28:12.91	1:00:46	2:18:06
2014	13:35.78	27:34.40	1:01:46	

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:18:26	Mexico City	4th	27 Aug 2017
	2:18:06	New York City	12th	1 Nov 2015
	2:21:47	Fukuoka	22nd	1 Dec 2013
Personal Best	2:14:10	New York	13th	6 Nov 2011
	2:14:20	Torreon	3rd	6 Mar 2011

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Aug	Maraton Internacional Ciudad de Mexico - Mexico City	Marathon	4th	2:18:26
4 June	Rock n Roll San Diego Half marathon	Half marathon	2nd	1:01:48
9 Apr	Healthy Kidney 10K - New York	10Km	7th	29:12
20 Mar	NYC Half	Half marathon	9th	1:02:23

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Apr	Warsaw Half Marathon	Half marathon	6th	1:02:53
21 Mar	NYC Half	Half marathon	4th	1:02:02
21 Feb	Medio Maraton Guadalajara	Half marathon	1st	1:04:13

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	New York City Marathon	Marathon	12th	2:18:06
13 Sept	Great North Run - Newcastle to South Shields	Half marathon	12th	1:04:38
25 July	Pan American Games - Toronto	5000m	1st	13:46.47
21 July	Pan American Games - Toronto	10000m	3rd	28:51.57
29 May	Prefontaine Classic - Eugene	5000m	12th	13:28.58
9 May	Jamaica International Invitational - Kingston	3000m	1st	7:59.92
2 May	Payton Jordan Cardinal Invitational	5000m	1r1	13:15.71
3 Apr	Stanford Invitational - Palo Alto	10000m	1r1	28:12.91
16 Mar	NYC Half	Half marathon	3rd	1:01:14
22 Feb	Medio Maraton Guadalajara	Half marathon	1st	1:03:21
8 Feb	Chiba International Cross Country	12Km	2nd	36:31
1 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	5th	1:00:46

Juan Lusi Barrios of Mexico is an elite track runner. His 5000m best is 13:09.81, while his 10000m best is 27:28.82. They are both close to the Japanese national records for these distances. That is not all. Barrios broke 7:45 for 3000m six times, 13:20 for 5000m eight times, and 27:40 for 10000m four times. Furthermore, his half marathon best is 1:00:46. In short he has recorded quite impressive set of times at the distances shorter than the marathon.

Barrios started his running career at 800m and 1500m. After finishing eighth at 1500m in the 2002 World Junior Championships, Barrios ventured into a longer distance of 3000m and 5000m. Barrios twice recorded top eight finishes in the Olympics. He was seventh in the 2008 Olympics and eighth in the 2012 Olympics, both at 5000m. Furthermore, in the 2015 Pan American Games, Barrios won the 5000m and finished third in the 10000m. Unfortunately, although Barrios has series of good performances at the shorter distances, he has yet to perform well at the marathon. Barrios made his marathon debut in Torreon in March of 2011 and finished third with 2:14:20. In November of the same year, at the 2011 New York City Marathon, Barrios was 13th with 2:14:10, a slight improvement of his marathon best. These modest marathon times are not what are expected from a runner with 27:30.68 (2012 season best) 10000m best. Barrios ran three more marathons but he was unable to improve his marathon best from New York. He was 22nd with 2:21:47 in the 2013 Fukuoka Marathon, 12th with 2:18:06 in the 2015 New York City Marathon, and fourth with 2:18:26 at the high altitude marathon in Mexico City. However, considering his talent at the shorter distances, it should be easy for Barrios to crack 2:10 for the marathon. Perhaps he can show his true marathon talent in Tokyo.

メキシコのファンルイス・バリ奥斯は真正正銘のトップクラスのトラックランナーである。5000mの自己ベストが13分09秒81、10000mの自己ベストが27分28秒82と日本記録と同じレベルなのだ。それだけではない。バリ奥斯は3000mで7分45秒を6回、5000mで13分20秒を8回、そして10000mで27分40秒を4回切っている。しかもハーフマラソンの自己ベストも60分46秒で、マラソンより短い距離では素晴らしいタイムをたたき出している。

最初は800mと1500mを走っていたバリ奥斯は、2002年世界ジュニア選手権の1500mで8位入賞。その後3000mと5000mに距離を伸ばしたバリ奥斯は、五輪の5000mで2008年に7位、2012年に8位と、2度の入賞を果たしている。さらに、2015年のパンアメリカン大会では5000mで金メダル、10000mでも銅メダルを獲得している。しかし、短い距離でこれだけの実績を積み上げながら今のところマラソンでは全く結果を出せていない。2011年3月メキシコのトレオンで初マラソンに挑み2時間14分20秒で3位に入った。同年11月にはニューヨークシティマラソンで自己ベストをわずかに更新する2時間14分10秒で13位だった。10000mを27分30秒68(2012年のシーズンベスト)で走れるランナーのマラソンタイムとは思えない平凡なタイムだが、その後3回走ったマラソンで、このタイムを更新できていない。2013年の福岡国際マラソンで2時間21分47秒で22位、2015年ニューヨークシティマラソンでは2時間18分06秒で12位、そして2017年の8月には高地のメキシコシティでのマラソンでは2時間18分26秒で4位、といった具合である。しかしバリ奥斯の実力を考えれば2時間10分は切れるはずだ。東京ではその実力に見合う走りが期待される。

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – Japanese MEN

No. 21

井上 大仁 (長崎・MHPS)

INOUE, Hiroto (JPN・Mitsubishi Hitachi Power Systems)



DOB : 6 Jan. 1993
AGE : 25
Height : 165cm
Weight : 51kg

Progressions

5000m	13:42.74	-2014
10000m	28:08.04	-2017
Half Marathon	1:01:39	-2014
Marathon	2:08:22	-2017

International Championships Highlights

Half marathon	
36th in 2014 World Half Marathon Championships	
Marathon	
26th in 2017 World Championships	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:52.85	28:08.04		2:08:22
2016	14:03.51	28:45.32		2:12:56
2015	13:45.92	28:12.96	1:02:03	
2014	13:42.74	28:19.28	1:01:39	

Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:16:54	World Championships – London	26th	6 Aug 2017
Personal Best	2:08:22	Tokyo	8th	26 Feb 2017
	2:12:56	Lake Biwa – Otsu	9th	6 Mar 2016

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22.4Km	2nd	1:04:53

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	2nd	46:12
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage1 – 12.4Km	1st	36:26
14 Oct	Long Distance Night Meet – Isahaya	10000m	2nd	28:52.16
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ – Osaka	5000m	16r1	14:03.92
17 Sept	Time Trials at Night – Isahaya	5000m	6r6	14:14.02
6 Aug	World Championships – London	Marathon	26th	2:16:54
24 June	Nagasaki Night meet – Isahaya	5000m	2nd	13:56.93
20 May	Kyushu Corporate team T&F Champ – Kitakyushu	10000m	5r3	28:08.04
29 Apr	Spring Nobeoka Time Trials	5000m	2r1	13:52.85
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	8th	2:08:22
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage7 – 13Km	11th	38:27
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	3rd	1:03:14

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	5th	46:51
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage3 – 13Km	1st	37:04
8 Oct	Nagasaki Night time trials	10000m	3rd	28:47.26
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	17th	28:45.32
17 Sept	Chugoku Corporate team Time Trials	5000m	13r8	14:03.51
6 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	9th	2:12:56
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	3rd	1:03:15

2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Time Trials in Nagasaki	10000m	1st	28:50.04
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 2 – 10.2Km	7th	33:17
25 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	14th	28:39.68
18 July	KBC Night of Athletics – Heusden	5000m	15th	13:45.92
15 July	Povence de Liege	1500m	12th	3:49.36
27 June	JPN National Championships	10000m	10th	28:58.70
16 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	3r3	28:12.96
9 May	Golden Games Nobeoka	5000m	14rA	13:47.74
3 May	Nagasaki Time Trials	10000m	DNF	DNF
26 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	6th	28:32.09
1 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	12th	1:02:03
18 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden	Stage3 – 8.5Km	21st	24:42
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage3 – 21.4Km	3rd	1:02:56

By finishing last year's Tokyo Marathon as the first Japanese in the race, eighth overall, Hiroto Inoue qualified for the World Championships marathon team. However, in London, Inoue was unable to keep up the steady pace and finished disappointing 26th with 2:16:54.

Although Inoue, with 5000m personal best of 14:29.76, was not considered as an elite runner in high school, he was good on the road over the long distance. In the high school ekiden championships in Nagasaki, Inoue was the fastest in his stage. After high school graduation, Inoue joined Yamanashi Gakuin University's ekiden team and soon he became a big gun for his team. In 2014, still in college, Inoue recorded a half marathon best of 1:01:39 in the Kagawa Marugame Half Marathon and selected to represent Japan in the World Half Marathon Championship in Copenhagen. Unfortunately in Copenhagen, he was only 36th, despite recording 1:02:25, second fastest time of his career. After graduation he joined MHPS marathon team. In 2016 Inoue made his marathon debut in the Lake Biwa Marathon with only two month preparation. He stayed with the Japanese lead pack until 30km, but slowed down in the final km to finish ninth with 2:12:56. His second marathon was at the 2017 Tokyo Marathon. After covering 5km in 14:31, and 10km in 29:13, he decided that the pace is too fast. So Inoue covered the half marathon in 1:02:58. In the final stage of the race Inoue was gaining on struggling runners. Inoue passed Yuta Shitara around 38km and finished with 2:08:22, a huge personal best. He was the first Japanese, eighth overall in the race. After the Tokyo Marathon, Inoue struggled to stay in form, but he started to gain a good form around November. He was the fastest in the first stage of the Kyushu Corporate team Ekiden Championships in late November. In December, at the Kosa 10 miler, Inoue was second behind Yuta Shitara. He was faster in 2017 than 2016. In the New Year Ekiden, Inoue was second fastest in the stage four, the longest stage of the ekiden. Inoue is in good form for the Tokyo Marathon where he is an invited runner unlike the last year.

昨年の東京マラソン 2017 では日本人最高順位となる 8 位入賞を果たした井上大仁は、その成績で世界選手権ロンドン大会の代表に選ばれた。しかしロンドンでは本格的なレースが始まった中間点以後に粘ることができず 2 時間 16 分 54 秒で 26 位に終わった。

井上の高校時代の 5000m ベストは 14 分 29 秒 76 と目立たなかったが、「ロードや長い距離は得意」と言われていた。長崎県高校駅伝では区間賞も獲得している。卒業後は山梨学院大学に進学して期待通りペースで成長した。大学在学中の 2014 年には香川丸亀ハーフマラソンで、1 時間 01 分 39 秒の自己ベストを記録して世界ハーフマラソン選手権コペンハーゲン大会の代表に選ばれた。コペンハーゲンでは、自己 2 番目の記録となる 1 時間 02 分 25 秒を記録したにもかかわらず 36 位に終わっている。卒業後の 2015 年 4 月には MHPS のマラソン部に入りマラソンを目指した。井上の初マラソンはわずか 2 カ月の準備で臨んだ 2016 年 3 月のびわ湖マラソンである。30km までは日本選手の前頭集団についていたが、その後失速して 2 時間 12 分 56 秒で 9 位に終わった。2 度目のマラソンは約 1 年後の東京マラソン 2017 だった。最初の 5km は 14 分 31 秒、10km は 29 分 13 秒で突っ込んだが、速すぎると判断してそこからペースを抑え、中間点を 1 時間 02 分 58 秒で通過。38km 手前では設楽悠太を抜いて日本人トップに躍り出た井上は 2 時間 08 分 22 秒の大幅な自己ベスト更新で日本選手最高順位の 8 位に入った。東京マラソンの後はしばらく調子が上がらなかったが、昨年 11 月ごろから復調してきた。11 月末の九州実業団駅伝の 1 区では区間賞、12 月の甲佐 10 マイルでは設楽悠太に次いで 2 位と、2016 年の時より速いタイムを記録した。井上の好調は続いている。ニューイヤー駅伝でも最長の 4 区で設楽に次いで区間 2 位の快走を見せた。去年と異なり今年は招待選手となった東京マラソン 2018 に向けて着々と準備を進め、万全の状態を挑む。

2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kanto district College Time Trials – Yokohama	10000m	1r12	28:19.28
2 Nov	JPN National Collegiate Ekiden Champ – Magoyaya Ise	Stage4 – 14Km	3rd	41:28
18 Oct	Hakone Ekiden Qualifier	20Km	5th	59:25
6 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	5000m	5rA	13:42.74
7 June	JPN National Championships – Fukushima	10000m	20th	28:54.86
25 May	Kanto district Collegiate T&F Champ – Yokohama	Half marathon	1st	1:04:07
16 May	Kanto district Collegiate T&F Champ – Kumagaya	10000m	2r1	28:55.87
20 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	8th	28:23.34
29 Mar	World Half Marathon Championships – Kobenhaven	Half marathon	36th	1:02:25
2 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	3rd	1:01:39
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage5 – 23.4Km	8th	1:21:11

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

No. 22

設楽 悠太 (埼玉・Honda)

SHITARA, Yuta (JPN・Honda)



DOB : 18 Dec. 1991
AGE : 26
Height : 170cm
Weight : 48kg

▶Personal Bests

5000m	13:34.68	-2015
10000m	27:41.97	-2017
Half Marathon	1:00:17	-2017
Marathon	2:09:03	-2017

▶International Championships Highlights

10000m	
28th in 2016 Olympic Games, 23rd in 2015 World Championships	
Half marathon	
20th in 2013 World University Games	

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:34.80	27:41.97	1:00:17	2:09:03
2016	13:48.71	27:48.35		
2015	13:34.68	27:42.71	1:02:52	
2014	13:44.13	27:58.91		

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD>)

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:09:03	Berlin	6th	24 Sept 2017
	2:09:27	Tokyo	11th	26 Feb 2017
	DNF(Pace)	Lake Biwa – Otsu	DNF(Pace)	6 Mar 2016

▶2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage7 – 13Km	1st	37:12
1 Jan	New Year ekiden	Stage4 – 22.4Km	1st	1:04:19

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	1st	45:58
25 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	5r6	27:41.97
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	6th	2:09:03
16 Sept	Mattoni Usti-Half Marathon – Usti nad Labem	Half marathon	8th	1:00:17
9 Sept	Birell Grand Prix – Praha	10Km	16th	28:56
13 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	9rA	28:24.60
6 July	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	Pace	Pace
25 June	JPN Athletics Championships – Osaka	5000m	7th	13:54.71
23 June	JPN Athletics Championships – Osaka	10000m	15th	29:03.63
3 June	Nittai Univ Distance – Yokohama	10000m	2r10	28:23.50
20 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Akita	5000m	7r3	13:54.55
6 May	Golden Games – Nobeoka	10000m	3rd	28:13.42
23 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	6r1	28:15.40
1 Apr	Kanaguri Memorial Distance – Kumamoto	5000m	8r5	13:34.80
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	11th	2:09:27
5 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	7th	1:01:19
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	1st	37:43
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	13th	1:04:36

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	22rA	28:26.61
12 Nov	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	12r41	13:51.02
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 6 – 10.6Km	4th	30:34
13 Aug	Olympic Games – Rio	10000m	29th	28:55.23
11 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	2rA	27:48.35
7 July	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	5000m	1rA	13:38.47
26 June	JPN National Championships – Nagoya	5000m	8th	13:48.71
24 June	JPN National Championships – Nagoya	10000m	3rd	28:17.51
4 June	Nittai University Distance – Yokohama	10000m	1r9	28:39.33
21 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	5000m	8th	13:54.45
7 May	Golden Games Nobeoka	10000m	4th	28:29.97
1 May	Payton Jordan Cardinal Invitational – Palo Alto	10000m	22nd	28:51.21
2 Apr	Kanaguri – Kumamoto	5000m	14r4	13:44.02
6 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	1st	1:02:45

Yuta Shitara is in awesome shape recently; he is at the height of his aerobic power. Shitara set a Japanese national half marathon record last September in Mattoni Usti Half-Marathon. Eight days later, he set a personal best of 2:09:03 at the Berlin Marathon. He followed it up with a personal best of 27:41.97 at 10000m. Eight days later he won the Kosa 10 miler. His success continued early this year. He recorded best stage times in both the New Year Ekiden and Inter-Prefectural Men's Ekiden.

In his college days in Toyo University, Shitara recorded best stage for three years in row at famed Hakone Ekiden. In 2012 at the NYC Half Marathon, Shitara recorded a half marathon personal best of 1:01:48. In 2015, Shitara was second at 10000m in the Japanese national championships and thus earned the spot on the team for the World Championships in Beijing. However, in Beijing, he took over 30 minutes and lapped to finished dismal 23rd. The following year in 2016, Shitara finished third in the nationals and selected for the Olympic team. In Rio, he cracked 29 minutes, but he still got lapped to finish dismal 29th.

On the road, after winning the best stage award in 2015 and 2016 New Year Ekiden, Shitara run the 2016 Lake Biwa Marathon as a pacemaker. Although he was 13th fastest in the 2017 New Year Ekiden, Shitara recorded the fastest time in the 13km stage of Inter-Prefectural Men's Ekiden. After recording a personal best of 1:01:19 in the Kagawa Marugame Half Marathon, Shitara made his marathon debut in Tokyo. He covered the opening 5km in 14:31, which is faster than the 5km split by Dennis Kimetto when he set his world record. Shitara covered the half marathon in 1:01:55, the fastest half marathon split by Japanese, matching the time Takeyuki Nakayama recorded at the half marathon point in epic marathon at the 1987 Fukuoka International Marathon. In Tokyo, Shitara slowed down quite a bit in the last half of the race, but he still managed 2:09:27, sixth fastest marathon debut time by Japanese. Because Shitara missed making the World Championships marathon team, in June of 2017, he tried to make the team on track events. However, he was 15th at 10000m and 7th at 5000m in the nationals and thus missed making the World Championships team on track also. However, after setting a national half marathon record in September, he is on a roll. In Berlin, he covered the half marathon point in 1:02:57, which implied 2:06 marathon time is possible. However, he dramatically slowed down after 30km and although he improved his personal best, the time was bit disappointing. In Tokyo, this year, Shitara, who is in awesome shape, is aiming for 2:06:10, which will be a new national marathon record.

「飛ぶ鳥落とす勢い」とは現在の設楽悠太のことである。昨年9月にはチェコで1時間00分17秒のハーフマラソン日本新記録を樹立。その8日後にはベルリンマラソンで2時間09分03秒の自己ベストを記録した。そして11月末の10000mでも27分41秒97の自己ベストを出し、その8日後には甲佐10マイルを制している。今年に入っても、ニューイヤー駅伝と全国都道府県対抗男子駅伝の最長区間で区間賞を獲得しているのだ。

東洋大学時代には箱根駅伝で2012年から3年連続で区間賞に輝いた設楽悠太は、2012年にニューイヤー駅伝で1時間01分48秒の自己ベストを記録している。2015年の日本選手権では10000mで2位に入り世界選手権北京大会の代表権を射止めた。しかし北京の10000mでは30分を超えるタイムで周回遅れの23位に沈んだ。翌2016年日本選手権では10000mで3位に入り五輪の代表に選ばれた。リオでは28分台だったが、周回遅れの29位に終わった。

話題をロードに転じると2015年、2016年、とニューイヤー駅伝の最長区間で区間賞を獲得した設楽は、2016年のびわ湖マラソンでペースメーカーを務めている。翌2017年のニューイヤー駅伝では区間13位に沈んだが、全国都道府県対抗男子駅伝では最長区間で区間賞を獲得。2月の香川丸亀ハーフマラソンで1時間01分19秒の自己ベストを出し、絶好調のまま東京マラソン2017で初マラソンに挑戦した。最初の5kmを14分31秒とキメットが世界記録を出した時よりも速いペースで突っ込んだ。中間点通過も1時間01分55秒と、1987年福岡国際マラソンでの中山竹通の通過タイムに並ぶ日本選手最速のタイムで中間点を通過した。その後大幅にペースダウンしたが、日本選手初マラソン歴代6位となる2時間09分27秒でフィニッシュしている。同年6月の日本選手権でトラック競技での世界選手権出場を目指したが、10000m15位、5000m7位で目標は達成できなかった。しかし、昨年9月にハーフマラソン日本記録を打ち立ててからは快進撃が続いている。ベルリンマラソンでは中間点の通過が1時間02分57秒、と2時間06分台も可能なペースだったが、30km過ぎから失速。自己ベストは更新したものの、少し期待はずれの結果に終わった。今絶好調の設楽は、目標を日本記録となる2時間06分10秒に設定して東京マラソン2018に臨む。

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	14rA	27:53.84
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage2 – 15.3Km	1st	44:20
27 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ – Gifu	5000m	4r2	13:50.90
22 Aug	World Championships – Beijing	10000m	23rd	30:08.35
18 July	Night of Athletics – Heusden	5000m	11rB	13:37.76
15 July	Liege	1500m	9r4	3:48.29
28 June	JPN National Championships – Niigata	5000m	22nd	13:52.45
27 June	JPN National Championships – Niigata	10000m	2nd	28:31.32
7 June	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	12r30	13:42.95
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	1500m	8th	3:49.06
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	1500m	3r1	3:52.38
9 May	Golden Games Nobeoka	10000m	2nd	27:42.71
2 May	Payton Jordan Cardinal Invitational – Palo Alto	10000m	16th	28:01.65
18 Apr	Oda Memorial – Hiroshima	5000m	10r1	13:34.68
4 Apr	Kanaguri Memorial – Kumamoto	5000m	8r5	13:41.66
21 Feb	Fukuoka Cross Country	10Km	3rd	29:35
8 Feb	Chiba Cross Country	12Km	25th	39:44
1 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	27th	1:02:52
18 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 3 – 8.5Km	8th	24:27
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	1st	62:47

No.
23

石川 末廣 (埼玉・Honda)

ISHIKAWA, Suehiro (JPN · Honda)



DOB : 27 Sept. 1979
AGE : 38
Height : 169cm
Weight : 56kg

▶ Personal Bests

5000m	13:42.64	-2003
10000m	28:07.04	-2009
Half Marathon	1:02:23	-2003
Marathon	2:09:10	-2013

▶ Progressions (since 2008)

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	14:04.94		1:05:49	2:11:05
2016			1:02:49	2:09:25
2015	14:11.47		1:04:04	
2014	13:58.34			2:09:29
2013	13:59.67		1:02:36	2:09:10
2012	14:03.88	28:58.09	1:03:27	2:11:13
2011				
2010	13:51.00	28:39.63	1:03:23	
2009	13:44.69	28:07.04		
2008	13:48.10	28:25.48	1:03:12	

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:11:05	Lake Biwa – Otsu	6th	5 Mar 2017
	2:17:08	Olympic Games – Rio de Janeiro	36th	21 Aug 2016
	2:09:25	Lake Biwa – Otsu	4th	6 Mar 2016
	2:09:29	Tokyo	13th	23 Feb 2014
	2:10:24	Berlin	7th	29 Sept 2013
Personal Best	2:09:10	Lake Biwa – Otsu	6th	3 Mar 2013
	2:11:46	Berlin	11th	30 Sept 2012
	2:11:13	Lake Biwa – Otsu	13th	4 Mar 2012

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage6 – 12.1Km	4th	36:38

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	14th	47:14
12 Nov	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	8r38	14:14.54
2 July	Hakodate Half Marathon	Half marathon	18th	1:05:49
4 June	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	9r27	14:04.94
5 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	6th	2:11:05
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 – 15.8Km	27th	49:30

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 miler	10 miles	13th	47:04
21 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	36th	2:17:08
6 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	4th	2:09:25
7 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	25th	1:02:49
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 6 – 12.5Km	3rd	37:59

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	16th	47:00
15 Nov	Ageo Half Marathon	Half marathon	27th	1:04:04
3 Oct	Setagaya Time Trials	5000m	14r20	14:11.47

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	9r34	13:58.34
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	13th	2:09:29
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8Km	8th	47:18

Suehiro Ishikawa, who finished second Japanese and overall fourth place with 2:09:25 in the 2016 Lake Biwa Marathon clinched the spot on the Rio Olympic marathon team. It was second best time of his career for 36 years old Ishikawa. Unfortunately, in the Rio Olympics, he was dismal 36th with 2:17:08, worst performance of his marathon career. For Ishikawa, who recorded 2:09 marathon three times in six starts until then, it was first failure at the marathon.

Suehiro Ishikawa, who finished ninth at 3000m SC in the Japanese national high school championships, made his marathon debut at the 2012 Lake Biwa Marathon when he was 32 years old. Although he finished respectable 13th with 2:11:13 in that race, media did not pay much attention to him. He ran his second marathon in the 2012 Berlin marathon and recorded 2:11:46, little short of his personal best, but in the 2013 Lake Biwa Marathon, he ran 2:09:10 for sixth place. Ishikawa cracked 2:10 marathon barrier for the first time with two-minute personal best improvement at the advanced age of 33. In his next marathon at the 2013 Berlin Marathon, Ishikawa was seventh at 2:10:24 and in his fifth marathon at the Tokyo Marathon 2014, he was 13th with 2:09:29, his second sub-2:10 clocking. Then in the 2016 Lake Biwa Marathon, he recorded third sub-2:10 clocking of his career.

His performance at the Rio Olympics was not what was expected of him. However in his next marathon at the Lake Biwa, 37 years old Ishikawa was respectable sixth with 2:11:05. Of the eight marathons he contested, Ishikawa ran under 2:12 in all races except the Olympic race. His marathon performance is quite consistent.

Ishikawa's 10000m personal best is 28:07.04 recorded in Berkeley in 2009 and his half marathon personal best is 1:02:23 recorded in Kyoto Half Marathon in 2003. Many runners have made a successful transition from the 3000m SC to the marathon. Two-time Olympic champion Waldemer Cierpinski was a former steeple chaser. Masanari Shintaku, former national 3000mSC record holder, ran sub-2:10 marathon late in his career. Currently, Ishikawa seemed to be in shape, for he recorded 47:14 at the Kosa 10 miler, and was fourth in 12km stage in the New Year Ekiden. These performances are similar to what he has done before his sub-2:09 Marathon. Although Ishikawa is 38 year old now, it should be noted that the 1984 Olympic Marathon champion Carlos Lopes set the world record as 38 years old. Another personal best is still possible for Ishikawa.

2016年のびわ湖毎日マラソンでは2時間09分25秒の自己2番目のタイムで日本選手2位となる総合4位に入った石川末廣は、36歳でリオ五輪代表を射止めた。しかし、リオでは2時間17分08秒で36位、と自己最悪の結果に終わった。それまで6回のマラソンで3回2時間09分台を記録した石川にとって初めてのマラソンでの失敗だった。

インターハイでは3000m障害で9位に入った石川の初マラソンは、2012年びわ湖マラソンで、32歳の時だった。そのレースでは、2時間11分13秒で13位とまずまずの成績を取めたが、ほとんど注目されなかった。同年のベルリンマラソンでは2時間11分46秒と自己ベストを更新できなかったが、翌2013年のびわ湖毎日マラソンでは、2時間9分10秒で6位、と33歳にして初めて2時間10分の壁を破った。同年のベルリンマラソンでは2時間10分24秒で7位。5回目のマラソンとなった東京マラソン2014では2時間09分29秒、と2度目の2時間09分台で13位。そして2016年びわ湖毎日マラソンでは3度目の2時間09分台を記録している。

リオ五輪では失敗したが、37歳で臨んだ昨年のびわ湖毎日マラソンでは2時間11分05秒で6位に入った。石川は8回のマラソンで2時間12分以上要したレースはリオ五輪の1回だけで、成績は安定している。石川の10000mの自己ベストは2009年に出した28分07秒04、そしてハーフマラソンの自己ベストは2003年に記録した1時間02分23秒である。

若い頃3000m障害を走っていた選手が後にマラソンで大成長した例は多い。五輪2連勝のチェルピンスキーも3000m障害からの転向組だし、3000m障害元日本記録保持者の新宅雅也もマラソンで2時間10分の壁を破っている。石川は今シーズンも甲佐10マイルで47分14秒、そしてニューイヤーズ駅伝で区間4位、と2時間09分台を記録した時のシーズンと比べても遜色ない記録を出している。現在38歳だが、1984年五輪金メダリストのカルロス・ロペス(ポルトガル)は38歳の時、世界記録を樹立している。石川も自己ベストが可能はずだ。

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

No. 24 **山本 浩之** (東京・コニカミノルタ)
YAMAMOTO, Hiroyuki (JPN・Konica Minolta)



DOB : 30 Apr. 1986
AGE : 31
Height : 172cm
Weight : 54kg

▶Progressions

5000m	13:45.43	-2010
10000m	27:55.40	-2015
Half Marathon	1:02:03	-2017
Marathon	2:09:12	-2017

▶Progressions (since 2006)

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:57.14	28:29.74	1:02:03	2:09:12
2016	13:52.68	28:07.53		2:11:49
2015	13:45.75	27:55.40		2:11:48
2014	13:54.29	28:24.93		2:21:54
2013	13:55.80	28:40.35	1:02:43	
2012	13:55.76	28:55.75		

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:09:12	Tokyo	10th	26 Feb 2017
	2:11:49	New York	4th	6 Nov 2016
	2:11:48	Beppu-Oita	3rd	1 Feb 2015
	2:21:54	Hokkaido - Sapporo	17th	31 Aug 2014

▶2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 6 - 12.1Km	2nd	36:30

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Sept	Great North Run - Newcastle to South Shields	Half marathon	5th	1:02:03
13 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	13rA	28:29.74
21 May	East JPN Corporate T&F Champ - Akita	5000m	8r3	13:57.14
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	10th	2:09:12
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 - 15.8Km	3rd	47:00

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Nov	New York City Marathon	Marathon	4th	2:11:49
11 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	8rA	28:07.53
3 July	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	5000m	3rA	13:52.68
24 June	JPN National Championships - Nagoya	10000m	7th	28:26.92
22 May	East JPN Corporate T&F Champ - Kumagaya	5000m	9r4	13:56.58
7 May	Golden Games - Nobeoka	5000m	5rD	13:55.78
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8Km	1st	46:58

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance - Machida	10000m	16r7	27:55.40
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage1 - 11.6Km	3rd	33:21
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ	10000m	3r2	28:36.25
9 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	1rB	13:45.75
26 Apr	Hyogo Relays - Kobe	10000m	5rGP	28:22.92
1 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	3rd	2:11:48
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 - 15.5Km	2nd	47:50

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 5 - 7.4Km	1st	23:22
31 Aug	Hokkaido Marathon	Marathon	17th	2:21:54
6 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	16rA	28:24.93
25 June	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	5000m	6th	13:54.29

Last year at the 2017 Tokyo Marathon, Hiroyuki Yamamoto finished with 2:09:12, two and half minutes personal best. He was tenth overall but second Japanese. After the race he said, "I am bit disappointed because I was aiming for a 2:08 marathon." Since he trained over 1200km per month, 2:08 was an achievable goal for Yamamoto.

Perhaps because Hiroyuki Yamamoto, who made his marathon debut in the 2014 Hokkaido Marathon in Sapporo, collided with the aid station table, he finished dismal 17th with slow 2:21:54. It was far from noteworthy marathon debut. His second marathon was at the 2015 Beppu-Oita Marathon. Yamamoto, who said "I did far better training before the Beppu-Oita marathon compare to before the Hokkaido Marathon" was ready to run 2:09 marathon. He ran aggressively just behind the pacemakers from 10km on but slowed after 32km and finished 2:11:48; it was not what he was looking for but it was still respectable marathon time. His 5000m best is 13:45.43 from 2010. In the 2015 Hachioji Distance meet in November, Yamamoto improved his 10000m best from 28:24.93 to 27:55.40.

In the last four New Year Ekidens, Yamamoto ran seventh, fifth, fifth and sixth stage and he always finished in top three. In 2016, Yamamoto came within one second of his marathon personal best at the New York City Marathon. It should be noted that since the New York City Marathon course is quite hilly and thus much tougher course than Beppu-Oita Marathon course, where he recorded his personal best, Yamamoto's performance in New York is quite impressive. So his fourth place finish in the New York City Marathon, the best Japanese finish in the history of the New York City Marathon, is quite respectable. For his fourth marathon, Yamamoto decided to run the Tokyo marathon 2017. Decided not to go with "Kamikaze" pace set by Inoue and Shitara, Yamamoto started out with a modest pace, covering the first 5km in 15:02. He passed the half marathon point in 1:03:39, and then covered all successive 5km in less than 16 minutes, and finished with 2:09:12. Last fall in the Great North Run, Yamamoto improved his half marathon best to 1:02:03. Yamamoto thinks "In order to be competitive in the world marathon scene, I need to run 2:07 for the marathon." Can he achieve his goal in Tokyo?

山本浩之は、昨年の東京マラソン 2017 で 2 分半以上自己ベストを更新する 2 時間 09 分 12 秒で日本選手 2 位の総合 10 位と健闘した。レース後に「2 時間 08 分台を出したいと思っていたので物足りない」とコメントしている。練習で 1 カ月の走行距離は 1200km に達しており、当然の目標だった、と言えるかも知れない。

2014 年北海道マラソンで初マラソンに挑んだ山本は、給水テーブルにぶつかって転倒したことも影響し、2 時間 21 分 54 秒で 17 位とまったく注目には値しないデビュー戦だった。2 回目のマラソンは 2015 年の別府大分毎日マラソンだった。「北海道前の練習に比べたら雲泥の差」と言うほど順調な練習をこなして 9 分台も可能との気持ちを持ってレースに臨んだ。10km 付近からペースメーカーの真後ろにつく積極的なレースを展開したが、32km 過ぎで力尽きて 2 時間 11 分 48 秒に終わった。しかし、ようやくマラソンランナーといえるタイムを出したのである。彼の 5000m 自己ベストは 2010 年に記録した 13 分 45 秒 43、そして 10000m のベストは 2015 年の八王子ディスタンスで出した 27 分 55 秒 40 である。

2015 年以降のニューイヤー駅伝では 7 区、5 区、5 区、そして 6 区を走り、必ず 3 位以内を確保している。3 度目のマラソンとなった 2016 年 11 月のニューヨークシティマラソンでは日本人最高の 4 位で 2 時間 11 分 49 秒と自己ベストに 1 秒と迫った。しかし、このレースは山本にとって実質的には自己ベストと言っていい。なぜならニューヨークのコースは山本が自己ベストを記録した別府大分のコースより起伏にとんだ、遥かに難しいコースだからである。4 回目のマラソンとなった東京マラソン 2017 で山本は、井上や設楽の神風ペースにはついていかず、5km を 15 分 02 秒と慎重なペースでスタートした山本は、中間点を 1 時間 03 分 39 秒で通過。その後の 5km もすべて 15 分台でカバーして 2 時間 09 分 12 秒でフィニッシュした。昨年の東京マラソンの後には英国のグレートノースランでのハーフマラソンで自己ベストを 1 時間 02 分 03 秒まで伸ばしている。「世界と戦うためには 2 時間 07 分台が必要」と考える山本、東京マラソンではその目標を達成できるだろうか？

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Hachioji Distance	10000m	14r2	28:52.65
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage1 - 11.6Km	2nd	34:08
20 Sept	JPN Corporate team T&F Champ - Kumagaya	5000m	10h1	14:16.35
3 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	2nd	28:40.35
26 June	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	5000m	10th	13:59.25
16 June	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	1r27	13:55.80
17 Feb	Oume Road Race	30Km	4th	1:32:20
3 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	28th	1:02:43

No.
25**木滑 良** (長崎・MHPS)

KINAME, Ryo (JPN - Mitsubishi Hitachi Power Systems)



DOB : 22 Jan. 1991
AGE : 27
Height : 168cm
Weight : 53kg

▶Progressions

5000m	13:40.62	-2012
10000m	28:18.52	-2011
Half Marathon	1:02:22	-2012
Marathon	2:10:30	-2017

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:51.52	28:44.45		2:10:30
2016	13:48.76	28:50.60		2:13:16
2015	13:44.28	28:22.89		
2014	13:42.24	28:35.66		2:12:48

▶Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:10:30	Beppu-Oita	3rd	5 Feb 2017
	2:13:16	Hokkaido – Sapporo	1st	28 Aug 2016
	2:12:48	Beppu-Oita	8th	2 Feb 2014

▶2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year ekiden	Stage3 – 13.6Km	13th	39:30

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 5 – 13.4Km	5th	41:09
14 Oct	Night Games	10000m	3rd	28:56.61
22 Sept	All JPN Corporate team T&F	10000m	11r1	29:52.85
17 Sept	Night Games	5000m	7r6	14:14.21
13 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	9rB	29:00.12
24 June	Nagasaki Night Games	5000m	6th	14:08.67
3 June	Sayagatani Time Trials – Kitakyushu	5000m	12r13	13:51.52
20 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	9r3	28:44.45
6 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	3rA	13:53.30
22 Apr	Hyogo Relays – Kobe Asics Challenge	10000m	6th	29:01.63
5 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	3rd	2:10:30
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 – 13.6Km	7th	38:50

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	3rd	46:47
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage1 – 12.9Km	2nd	38:17
8 Oct	Nagasaki Night Time Trials	10000m	4th	29:17.58
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	56th	29:51.73
28 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	1st	2:13:16
25 June	Nagasaki Night Time Trials	5000m	2nd	13:48.76
28 May	Sayagatani Time Trials – KitaKyushu	5000m	4r7	13:55.23
21 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	8r3	28:50.60
7 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	8rA	14:04.26
24 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	17th	29:35.76
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 – 13.6Km	9th	38:53

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miler	10 miles	17th	47:07
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage1 – 13.4Km	2nd	39:27
17 Oct	Saga Distance time trials	10000m	13r5	29:19.73
25 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	23rd	28:55.77
19 Sept	Chugoku Corporate team Time trials	5000m	6th	14:03.00
9 July	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	12rA	28:22.89
28 June	JPN National Championships	5000m	16th	13:49.21
16 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	14r3	28:48.65
9 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	12rA	13:44.28
25 Apr	Hyogo Relays – Kobe Asics Challenge	10000m	9th	28:36.51

In 2009, Ryo Kiname joined MHPS marathon team, in his home town of Nagasaki, so he can run the marathon in the near future. In 2011 Kiname recorded the 10000m personal best of 28:18.52. A year later in 2012 he recorded the 5000m best of 13:40.62 and also recorded the half marathon best of 1:02:22 in the Kagawa Marugame Half Marathon. Then in 2013, when he was 23 years old, Kiname made his marathon debut in the Beppu-Oita Marathon. Unfortunately, Kiname hit the marathon wall around 28km and slowed down. He finished 8th in 2:12:48, which was a mediocre performance at best for Kiname. Disappointed Kiname effectively said, "I did not realize how tough the marathon wall is," after the race. Kiname is a good track runner as well, for he was sixth at 5000m in the 2014 national championships. In the Hokkaido Marathon in Sapporo, his second marathon, Kiname stayed with Cyrus Njui and Takafumi Kikuchi until 35km, but then made his move at that point and won by nearly one and half minutes with 2:13:16. As a team captain for MHPS since April of 2016, Kiname led his team to a victory in the 2016 Kyushu Corporate team Ekiden championships, as well as fourth place finish in the 2017 New Year Ekiden. It was the best finish for MHPS in the New Year Ekiden. In 2017, with making the World Championships team berth in his mind, Kiname ran the Beppu-Oita Marathon for the second time. When Dereje Debele made his move at 26km after the pacemakers left the race, Kiname fell behind. Although Kiname came rolling back after 40km, it was little too late. Kiname finished third overall with 2:10:30, second Japanese, but nearly one minute behind the winner Kentaro Nakamoto. Although, Kiname improved his personal best by more than two minutes, he did not make the team, for only the first Japanese in the race was considered for the team. Thinking "I need to make a progress one step at the time," Kiname will be running his fourth marathon in Tokyo. Can he crack 2:10 for the marathon this time?

2009年、「マラソンをやるつもりで」地元のMHPSのマラソン部に入った木滑良は2011年に10000mで28分18秒52の自己ベストを記録した。翌2012年には5000mで13分40秒62、そして香川丸亀ハーフマラソンでは1時間02分22秒のハーフマラソン自己ベストを出している。2014年23歳の時、別府大分毎日マラソンで初マラソンに挑んだ。しかし木滑は28km付近でマラソンの壁にぶち当たり失速、2時間12分48秒で8位という良くも悪くもないタイムでデビュー戦を終えた。木滑はレース後、「あそこまで急にくるとは思いませんでした」と肩を落とした。同年の6月には日本選手権の5000mで6位入賞を果すなどトラックでも活躍している。2度目のマラソンとなった北海道マラソンでは、35kmまでサイラス・ジュイ、菊池貴文らと先頭集団を形成していたが、そこから飛び出し2位のジュイに1分半近い差をつけて2時間13分16秒でマラソン初優勝を飾った。2016年4月からはチームの主将として駅伝でチームを引っ張っている。2016年秋には九州実業団駅伝で初優勝したMHPSは、2017年ニューイヤー駅伝でもチーム最高順位となる4位で初入賞を成し遂げている。2017年には世界選手権代表権を狙って2度目の別府大分毎日マラソンに出場した。26km近くでペースメーカーがレースを離れ、デベレがペースアップした時に先頭集団から遅れた木滑だったが、40km過ぎから盛り返した。しかし、優勝した中本健太郎から1分近く遅れる2時間10分30秒で日本人2位、総合3位に終わってしまった。3年前の別大で記録した自己ベストを2分以上更新したが、日本選手1位にしか資格がない世界選手権代表の争いからは脱落してしまっ。 「一歩ずつ上がっていくしかない」と覚悟を決めている木滑は、東京で4回目のマラソンに挑戦する。今度こそ2時間10分の壁を破りたい。

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

No. 26

大石 港与 (愛知・トヨタ自動車)

OISHI, Minato (JPN・Toyota)



DOB : 19 May, 1988
AGE : 29
Height : 162cm
Weight : 49kg

Progressions

5000m	13:36.40	-2014
10000m	27:48.56	-2016
Half Marathon	1:02.06	-2013
Marathon	2:10.39	-2017

International Championships Highlights

Half marathon
28th in 2016 World Half Marathon Championships
World Cross Country Championships
98th in 2010

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:47.07	27:50.72	1:04:53	2:10:39
2016	13:43.91	27:48.56	1:02:32	
2015	13:48.88	28:04.65	1:05:17	
2014	13:36.40	28:22.74	1:04:23	

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:10:39	Beppu-Oita	4th	5 Feb 2017

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 - 15.8Km	5th	48:23

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Hachioji Distance	10000m	9r6	27:50.72
19 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage4 - 16.8Km	3rd	50:41
14 Oct	Chubu Corporate team T&F Champ	10000m	9r1	28:26.95
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	5000m	10th	13:47.07
23 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	19th	28:53.47
23 July	Shibetsu Half Marathon	Half marathon	7th	1:04:53
13 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	18rA	28:55.28
23 June	JPN National Championships	10000m	6th	28:46.25
13 May	Chubu Corporate team T&F Champ	10000m	4th	28:31.28
5 May	Payton Jordan - Palo Alto	10000m	25th	29:17.60
1 Apr	Kanaguri - Kumamoto	5000m	26th	13:47.96
5 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	4th	2:10:39
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6Km	1st	37:57

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Nov	Hachioji Distance	10000m	10r7	27:48.56
20 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage1 - 12.5Km	1st	36:36
15 Oct	Chubu Championships	10000m	8r2	28:10.45
25 Sept	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	23r36	14:08.83
11 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	9rA	28:08.53
7 July	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	5000m	3rd	13:44.15
24 June	JPN National Championships - Nagoya	10000m	11th	28:56.89
7 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	5th	28:34.70
24 Apr	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	9r31	13:43.91
26 Mar	World Half marathon Championships	Half marathon	28th	1:04:11
14 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon	Half marathon	7th	1:02:32
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6Km	3rd	38:25

2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance	10000m	DNF	DNF
15 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage4 - 16.8Km	1st	49:25
12 Oct	Chubu Corporate team T&F Champ	10000m	6r3	28:18.68
25 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	12r3	28:29.06
26 July	Shibetsu Half Marathon	Half marathon	8th	1:05:17
16 July	Hokuren Distanc Challenge - Abashiri	10000m	5rA	28:04.65
28 June	JPN National T&F Champ	5000m	15th	13:48.88
15 Feb	Kumanichi 30Km - Kumamoto	30Km	7th	1:34:16
1 Jan	New year Ekiden	Stage5 - 15.8Km	1st	47:19

When Minato Oishi was in fourth grade, his teacher recommended him to take up running to lose weight. When he was a college student runner for Chuo University, Oishi ran mountain climbing stage of famed Hakone Ekiden three times. In his junior year, Oishi was third fastest in this very tough stage. Also in his junior year, Oishi ran the anchor leg in the National Collegiate Ekiden Championships, and brought his team up from eighth to sixth with his second fastest stage performance. Oishi recorded stage best twice (fifth stage in 2015 and third stage in 2017) at the New Year Ekiden. He was especially impressive in 2017; Oishi passed 20 runners in the stage to bring Toyota Motors Track team from 23rd to third. In the 2016 All Japan Corporate team Half Marathon Championships in Yamaguchi, Oishi finished seventh overall, second Japanese, with 1:02:32, second fastest half marathon of his career. He was thus selected to run in the World Half Marathon Championships in Cardiff. Unfortunately in Cardiff, he was disappointing 28th with 1:04:11. Oishi is also a good track runner, having finished third behind Yuki Sato and Suguru Osako at 10000m in the 2014 national championships.

When he was 28 years old, Oishi made his marathon debut in the 2017 Beppu-Oita Marathon. At 26km, when the pacemakers left the race, Dereje Debele made his move cutting down the lead pack to five runners including Oishi. Although Oishi fell behind from the lead pack at 33km, he still covered 35 to 40km in slightly slower than 16 minutes, and finished fourth with 2:10:39. Toshinobu Sato, his coach at Toyota Motor Track team accessed his performance as "It was a good marathon debut." Oishi will be running his second marathon of his career in Tokyo. Note that in his second marathon Yuki Sato improved his best by two minutes to 2:16:31, Tsuyoshi Ugachi improved his marathon best by a minute and half to 2:13:41, Masato Imai improved his best by five minutes to 2:18 and Takuya Fukatsu improved his marathon best by two minutes to 2:11:48. Some says second marathon is harder than the first, but these days, number of runners improved their marathon best in their second marathon. Can Oishi improve his marathon best in his second marathon? Can he crack 2:10 in Tokyo?

大石港与は小学4年生の時、肥満体質解消のために先生からランニングを勧められたことが、陸上競技との出会いとなった。中央大学時代の大石は箱根駅伝の山登り区間を3回走り、3年の時には区間3位の好走をみせた。一方全日本大学駅伝では3年の時にアンカー区間を走り、区間2位の好走でチームを8位から6位まで押し上げている。トヨタ自動車陸上部に入り、ニューイヤー駅伝では2015年に5区で、2017年には3区で区間賞に輝いている。特に2017年には20人抜きでチームを23位から3位まで浮上させた。2016年全国実業団ハーフマラソンでは、自己2番目の記録となる1時間02分32秒で走り日本人2位、総合7位に入って、世界ハーフマラソン選手権カーティフ大会の代表に選ばれた。しかしカーティフでは1時間04分11秒で28位に沈んでいる。大石はトラックでも活躍している。2014年の日本選手権では10000mで佐藤悠基、大迫傑に次いで3位に入っているのだ。

大石は2017年、28歳の時に別府大分毎日マラソンで初マラソンに挑戦した。26kmでペースメーカーが戦列を離れた後、エチオピアのデレジュ・デベレがペースアップし、先頭集団は大石を含む5人に絞られた。しかし、その大石も33km当たりで先頭集団から遅れた。しかし40kmまでの5kmも16分の前半で乗り切り、2時間10分39秒の4位でフィニッシュした。トヨタ自動車陸上部の佐藤敏信監督は「初マラソンとしては上出来」と評している。その大石は東京マラソンで2度目のマラソンに挑む。以前から注目されていた選手たちの2度目のマラソンを見てみれば、佐藤悠基は2度目のマラソンでベストを約2分更新して2時間16分31秒、宇賀地強が2度目のマラソンでベストを約1分半更新して2時間13分41秒、今井正人は約5分も更新して2時間18分、そして深津卓也は約2分更新の2時間11分48秒でフィニッシュしている。以前は初マラソンよりも2度目のマラソンの方が難しいと言われたが、最近では2度目のマラソンでベストを更新する選手も多い。大石は2度目のマラソンで自己ベストを更新できるだろうか？そして2時間10分は切れるだろうか？

No.
27

宮脇 千博 (愛知・トヨタ自動車)

MIYAWAKI, Chihiro (JPN • Toyota)



DOB : 28 Aug. 1991
AGE : 26
Height : 175cm
Weight : 55kg

▶ Personal Bests

10000m	27:51.57	-2011.2012
Half Marathon	60:53	-2012
Marathon	2:11:50	-2014

▶ International Championships Highlights

Half marathon	
58th at 2012 World Half Marathon championships	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		28:28.11	1:03:00	2:13:23
2016	13:50.59	28:30.09		
2015	13:50.59	28:55.36	1:02:18	
2014	13:40.71	28:20.77	1:04:43	2:11:50
2013	13:51.97	27:57.90		
2012	13:43.97	27:41.57	1:00:53	
2011	13:35.74	27:41.57		

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:13:23	Chicago	11th	8 Oct 2017
	2:16:51	Lake Biwa	25th	5 Mar 2017
Personal Best	2:11:50	Tokyo	15th	23 Feb 2014

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22.4Km	4th	1:05:40

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	6r5	28:28.11
19 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage3 – 11.5Km	1st	32:55
8 Oct	Chicago Marathon	Marathon	11th	2:13:23
23 July	Shibetsu Half Marathon	Half marathon	29th	1:07:13
13 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	27rB	29:53.93
5 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	25th	2:16:51
5 Feb	Marugame half Marathon	Half marathon	32nd	1:03:00
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5Km	5th	46:31

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	4r4	28:30.09
20 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage6 – 9.2Km	1st	26:50
15 Oct	Chubu T&F Champ – Tajimi	10000m	20th	29:02.56
24 Sept	JPN Corporate team T&F Champ	10000m	DNF	DNF
7 July	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	5000m	5th	13:50.59
3 July	Hokuren Distance Challenge – Shibetsu	10000m	4th	29:13.51
7 May	Chubu Corporate team T&F Champ – Gifu	10000m	8th	29:20.78
23 Apr	Nittai University Distance – Yokohama	10000m	23r8	29:29.74
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 – 15.8Km	3rd	47:29

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance	10000m	14r5	28:55.36
15 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage3 – 16.8Km	2nd	33:43
26 June	JPN National T&F champ	10000m	19th	29:46.39
30 May	Chukyo Univ Saturday time trials	5000m	10r7	14:00.69
29 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	17r1	30:25.46
15 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon – Yamaguchi	Half marathon	11th	1:02:18
18 Jan	Inter-prefectural Ekiden – Hiroshima	Stage7 – 13Km	7th	38:07
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 – 13.6Km	3rd	38:41

When he was 22 years old, Chihiro Miyawaki made his marathon debut at the Tokyo Marathon 2014 and finished 15th with 2:11:50. It was quite a modest debut. For the next few years Miyawaki struggled with series of injury. Thus Miyawaki had to wait three long years before he ran his second marathon at the 2017 Lake Biwa marathon. During the middle part of the race, Miyawaki battled with Akinobu Murasawa for the position of the first Japanese. However, set of blisters started to affect Miyawaki's run around 35km, and he finished dismal 25th with 2:16:51. His third marathon was at the 2017 Chicago Marathon. The result was 11th with 2:13:23, which was better results than his second marathon, but he was still unable to improve his debut marathon time.

His 10000m personal best is 27:41.57, which he record twice – in 2011 and 2012. It is faster than the 10000m best of the legendary marathon runner Toshihiko Seko. Miyawaki made his half marathon debut at the 2012 All Japan Corporate team Half Marathon Championships and recorded 1:00:53, third fastest time by Japanese in history at the time. With this performance Miyawaki was selected to compete in the 2012 World Half Marathon Championships in Kavama Bulgaria. Unfortunately, he picked up a stomach bug just before the championships and finished dismal 58th. However four months later in the hilly Kumanichi 30Km road race, Miyawaki was third with 1:29:51, good preparation for the marathon debut.

In the New Year Ekiden, he recorded the fastest stage for three years since 2012. He recorded the stage best in the stage-three in 2012, in the stage-one in 2013 and in the stage-four in 2014. The stage four he ran in 2014 is the 22km stage where the team's biggest gun competes, and in 2014 Miyawaki finished ahead of Masato Imai, Tsuyoshi Ugachi and Yuki Sato. He then made a marathon debut in Tokyo, but it was only a modest performance of 2:11. In the 2018 New Year Ekiden, he was fourth in the 22km stage, which is better result than last year when he was fifth in 15km stage. His philosophy is summarized as "No Pain, No Gain." Miyawaki is unable to improve neither 10000m nor half marathon best since 2012. He has not improved his marathon best since his debut. Miyawaki is determined to improve his personal best this year.

22歳の時、東京マラソン2014で初マラソンに挑んだ宮脇千博は、2時間11分50秒で15位と平凡な結果に終わった。その後故障が続く、2度目のマラソンは3年後の2017年びわ湖毎日マラソン。レース中盤では村澤明伸と日本人トップを争ったが、足に幾つもの肉刺ができて35km付近から失速し、最終的には2時間16分51秒で25位とひどい結果となった。同年10月にはシカゴマラソンで3度目のマラソンに挑戦し、2時間13分23秒で11位と、びわ湖よりは良い結果だったが、初マラソンのタイムは超えられなかった。

彼の10000m自己ベストは2011年と2012年の2度記録した27分41秒57で、伝説のマラソンランナー瀬古利彦の10000mベストより速い。そして2012年には初ハーフマラソンとなった全日本実業団ハーフマラソンでは1時間00分53秒、と当時日本歴代3位のタイムで優勝している。しかし、ブルガリアのリゾート地で行われた2012年世界ハーフマラソン選手権では現地で体調を崩し、58位に沈んだ。しかし4カ月後の2013年2月には熊日30kmロードレースで3位ながら1時間29分51秒を記録して復調を印象付けた。ニューイヤー駅伝では、2012年には3区で、そして2013年には1区で区間賞を獲得している宮脇は、2014年には最長区間となる22kmで今井正人、宇賀地強、佐藤悠基ら一流ランナーたちを抑えて区間賞を獲得している。その後東京マラソンに挑戦したが、2時間11分台に留まった。今年のニューイヤー駅伝は最長区間のベストは2012年以来、マラソンのベストは2014年以来更新できていない。宮脇は「今年こそは自己ベスト更新」と、決意を表明している。

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Hachioji Distance	10000m	25r1	29:34.85
16 Nov	Chubu Corporate team Ekiden	Stage5 – 12.6Km	2nd	37:39
2 July	Hokuren Distance Challenge – Kitami	5000m	9rA	13:40.71
25 June	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	6rA	28:20.77
6 June	JPN National Champ – Fukushim	10000m	6th	28:41.38
11 May	Chubu Corporate team T&F Champ	5000m	6th	14:05.78
20 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	DNF	DNF
13 Apr	Nittai Univ Distance – Yokohama	5000m	20r22	13:58.61
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	15th	2:11:50
2 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	67th	1:04:43
1 Jan	New Year Ekiden	22Km	1st	1:03:3

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Hachioji Long Distance – Machida	10000m	6r1	27:57.90
17 Nov	Chubu district Corporate team Ekiden	Stage 3 – 10Km	1st	29:00
20 Sept	JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	10000m	4r3	28:06.52
8 June	JPN Athletics Championships – Chofu	10000m	12th	28:57.20
12 May	Chubu District Corporate team T&F Champ-Gifu	5000m	4th	13:51.97
28 Apr	Payton Jordan – Palo Alto	10000m	17r1	28:33.23
6 Apr	Kanaguri – Kumamoto	5000m	10r5	14:00.04
17 Feb	Kumanichi road race – Kumamoto	30Km	3rd	1:29:51
3 Feb	Meigi Ekiden – Nagoya to Gifu	Stage 4 – 9.8Km	2nd	27:15
20 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	8th	38:23
1 Jan	New Year Ekiden	Stage1-12.3Km	1st	34:48

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

No. 28

佐藤 悠基 (東京・日清食品グループ)

SATO, Yuki (JPN・Nissin Foods)



DOB : 26 Nov. 1986
AGE : 31
Height : 179cm
Weight : 61kg

▶Personal Bests

5000m	13:13.60	-2013
10000m	27:38.25	-2009
Marathon	2:12:14	-2016

▶International Championships Highlights

3000m	
10h1 in 2003 World Youth Championships	
5000m	
13th in 2004 World Junior Championships;	
12h1 in 2012 Olympics; 7th in 2005 WUG	
10000m	
15th in 2011 World Championships; 22nd	
in 2012 Olympics; 4th in 2005 WUG	
World Cross Country Championships	
Junior: 46th in 2004, 47th in 2005; 93rd in 2008	

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:43.44	28:09.01	1:02.53	
2016				2:12.14
2015	13:47.02	27:57.13		2:12.32
2014	13:34.97	27:46.59		
2013	13:13.60	27:39.50		2:16.31
2012	13:28.79	27:57.07		
2011	13:25.53	27:59.60		
2010	13:27.36	28:18.62		
2009	13:30.46	27:38.25		
2008	13:51.52	29:03.54		
2007	13:52.57	27:51.65		

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	DNF	Fukuoka	DNF	3 Dec 2017
	DNF (pace)	Tokyo	DNF (pace)	26 Feb 2017
Personal Best	2:12:14	London	11th	26 Apr 2016
	2:12:32	Berlin	14th	27 Sept 2015
	2:14:15	Tokyo	20th	22 Feb 2015
	2:16:31	Tokyo	31st	24 Feb 2013

▶2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 - 15.5Km	3rd	47:38

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	DNF	DNF
22 Oct	Medio Maraton Ciudad de Valencia	Half marathon	15th	1:02:53
17 Sept	Rock n Roll Philadelphia Half Marathon	Half Marathon	4th	1:04:34
23 June	JPN National Championships	10000m	4th	28:45.16
6 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	2nd	28:09.01
8 Apr	Setagaya T&F meet	5000m	5r16	13:43.44
1 Apr	Kanaguri Memorial - Kumamoto	5000m	11r4	13:44.02
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	41st	47:41
26 Apr	London Marathon	Marathon	11th	2:12:14
24 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 7 - 13Km	2nd	38:00
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 - 13.6Km	4th	38:39

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miles	10 Miles	79th	48:41
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	14th	2:12:32
17 May	East JPN Corporate team T&F Champ - Kumagaya	5000m	12r4	14:02.69
2 May	Payton Jordan Cardinal Invitational - Palo Alto	10000m	13r1	27:57.13
19 Apr	Oda Memorial in Hiroshima	5000m	16th	14:18.37
4 Apr	Kanaguri - Kumamoto	5000m	14th	13:47.02
4 Apr	Kanaguri - Kumamoto	1500m	16th	3:51.12
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	20th	2:14:15
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 - 13.6Km	4th	38:45

Yuki Sato, who was the leading runner at every age group throughout his career, is running Tokyo Marathon for the third time after 2013 and 2015. He was 31st with 2:16:31 in his debut at 2013 and 20th with 2:14:15 in 2015. These are very disappointing time considering his great talent. He ran two more marathons abroad. In the 2015 Berlin Marathon, Sato was 14th with 2:12:32 and in the 2016 London Marathon he was 11th with 2:12:14. Thus Sato has improved his marathon time in each of his four races; his position also moved up in successive marathons. However, Sato can run better marathon.

His 10000m personal best is 27:38.25; he has cracked 27:40 for 10000m twice. In 2013 Sato also recorded 13:13.60. Since Sato's best 10000m time is only slightly slower than 27:35.09, which is a personal best of the national marathon record holder Toshinari Takaoka., eventually Sato may be able to run the marathon in the time similar to Takaoka's national record, 2:06:16. Sato, who set the national junior high school record at 3000m, and run the third fastest high school 5000m as well as national high school record at 10000m, competed at 3000m in the 2003 World Youth Championships. A year later Sato ran the 5000m in the 2004 World Junior Championships and finished 13th. He also competed in the junior division of the World Cross Country Championships twice and finished 46th in 2004 and 47th in 2005. While in University, Sato competed in the 2005 World University Games, finishing seventh at 5000m and fourth at 10000m. However, the event that made Yuki Sato a household name is Hakone Ekiden, collegiate ekiden for Kanto district college systems. In Hakone Ekiden Sato recorded the new stage record for three consecutive years - in stage three when he was a freshman, stage one when he was a sophomore, and stage seven when he was a junior. After graduating from College, Sato joined Nissin Foods track team and promptly showed that he is also the best professional runners in Japan by excelling at ekidens, and winning four straight 10000m national championships. Sato competed in the 2011 World Championships, the 2012 Olympic Games, and the 2013 World Championships. However, his performances in these championships left a lot to be desired. Last year Sato ran the Tokyo Marathon as a pacemaker and then he dropped out of the Fukuoka International Marathon in December. Sato will be starting his sixth marathon in Tokyo. It is about time Sato ran a respectable marathon.

中学、高校、大学、そして実業団と常にトップを走ってきた佐藤悠基が2013年、2015年に続き3度目(2017年はペースメーカー)の東京マラソンに挑む。2013年には2時間16分31秒で31位、2015年には2時間14分00秒で20位、と佐藤の実力からみれば物足りないタイムである。その後佐藤は海外マラソンを2度走っている。2015年のベルリンマラソンでは2時間12分32秒で14位、そして2016年のロンドンマラソンでは2時間12分14秒で11位、と4回連続でマラソンのタイムを縮め、順位も毎回上昇しているが、まだまだ佐藤に期待されるようなタイムではない。

佐藤の10000mの自己ベストは2009年に記録した27分38秒25だ。しかも10000mで2度27分40秒を切っている。そして2013年には5000mで13分13秒60をたたき出している。佐藤の10000mベストタイムは、マラソン日本記録保持者である高岡寿成の27分35秒09との差はわずかで、いつマラソン日本記録レベルの2時間6分台で走っても不思議ではない。中学では3000mの日本中学記録、高校では5000mで高校歴代3位と10000mで高校記録を樹立した佐藤悠基は、2003年には3000mで世界ユース選手権に、そして2004年には5000mで世界ジュニア選手権に出場して13位に入った。世界クロスカントリー選手権のジュニアの部には2回出場したが、2004年に46位、そして2005年には47位に終わっている。大学時代には2005年にユニバーシアードに出場、5000mで7位、10000mで4位に入っている。しかし、彼の名を世に知らしめたのは箱根駅伝だろう。1年の時は3区で、2年では1区で、そして3年では7区で、3年連続で区間新を樹立したからである。大学卒業後に日清食品陸上部に入った佐藤は、実業団駅伝でも活躍。10000mでは2011年から2014年まで日本選手権で4連覇している。2011年世界選手権、2012年五輪そして2013年世界選手権に出場しているが、10000m世界大会での成績は今ひとつである。昨年は東京マラソンでペースメーカーを務め、12月には福岡国際マラソンを走ったが、途中棄権に終わってしまった。東京で佐藤は6回目のマラソンに挑む。そろそろ彼の実力に見合うようなタイムが期待される。

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	14r41	14:05.13
27 Sept	Asian Games - Incheon	5000m	6th	13:34.97
24 July	Joensuu Games	1500m	2nd	3:43.94
19 July	KBC Night of Athletics	5000m	19rA	13:59.67
8 June	JPN National Championships	5000m	2nd	13:40.99
7 June	JPN National Championships	10000m	1st	28:32.07
17 May	East JPN Corporate team T&F Champ - Fukushima	5000m	8h4	13:57.85
17 May	East JPN Corporate team T&F Champ - Fukushima	1500m	3rd	3:47.35
4 May	Payton Jordan Cardinal Inv - Palo Alto	10000m	8r1	27:46.59
13 Apr	Nittai University Distance	5000m	5r22	13:43.61
5 Apr	Kanaguri - Kumamoto	5000m	4r5	13:53.63
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 - 22Km	4th	1:04:22

No.
29**神野 大地** (東京・コニカミノルタ)

KAMINO, Daichi (JPN・Konica Minolta)



DOB : 13 Sept. 1993
AGE : 24
Height : 165cm
Weight : 46kg

▶ Progressions

Distance	Time	Year
5000m	14:02.49	-2016
10000m	28:17.54	-2016
Half marathon	1:01:04	-2017
Marathon	2:12:50	-2017

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		28:56.34	1:01:04	2:12:50
2016	14:02.49	28:17.54		
2015	14:12.22		1:01:21	

▶ Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
2:12:50		Fukuoka	13th	3 Dec 2017

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5Km	12th	48:38

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	13th	2:12:50
10 Sept	Great North Run	Half marathon	12th	1:04:47
13 July	Hokuren Distance challenge – Abashiri	10000m	9rB	28:56.34
23 June	JPN National Championships	10000m	20th	29:36.05
19 Feb	Oume Marathon	30Km	3rd	1:31:33
5 Feb	Marugame half Marathon	Half marathon	5th	1:01:04
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	3rd	38:01
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	7th	1:03:49

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	1st	46:38
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2 – 15.3Km	3rd	45:14
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	19r3	28:49.33
11 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	2rB	28:17.54
24 June	JPN National Championships – Nagoya	10000m	15th	29:07.55
21 May	East JPN Corporate team T&F Champ	10000m	10r2	29:00.94
7 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	6th	28:37.71
24 Apr	Nittai University Distance – Challenge	5000m	2r29	14:02.49
27 Feb	Fukuoka Cross Country	12km	2nd	36:02
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 5 – 23.2Km	2nd	1:19:17

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Nov	All JPN Collegiate Ekiden – Nagoya to Ise	Stage8 – 19.7Km	8th	59:45
12 June	JPN University individual Champ – Hiratsuka	5000m	9r2	14:13.98
1 Feb	Marugame Half marathon	Half marathon	9th	1:01:21
18 Jan	Inter-Prefectural Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	3rd	37:36
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 5 – 23.2Km	1st	1:16:15

Because Daichi Kamino recorded the stage record in the mountain climbing stage of Hakone Ekiden, he is known as a "mountain god." For a preparation for the marathon debut in the 2017 Fukuoka International Marathon, Kamino also included 70km long run. At one time Kamino was thinking about breaking the national marathon record in in Fukuoka, but he later changed his goal to 2:08:59. However, he was 13th with 2:12:50, far cry from his goal. He realized that marathon is not easy.

Kamino, who was fourth in stage five of Inter-Prefectural Men's Ekiden when he was a high school senior, ran the 10000m in the 2012 Asian Junior Championships and won a silver medal when he was a college freshman. In his college sophomore year, Kamino was sixth fastest in the stage two of both the Hakone Ekiden and All Japan Collegiate Ekiden Championships. By his junior year, Kamino was considered to be a big gun for his team, for he was third in the anchor stage of the All Japan Collegiate Ekiden Championships and recorded the stage record in the mountain climbing stage of Hakone Ekiden. With his fantastic run in Hakone Ekiden, Kamino became a household name. In his senior year, Kamino became a captain of his team, but he struggled with injuries including stress fracture. It was a disappointing season for Kamino, for he had to skip the Izumo Ekiden, was only 8th in the anchor leg of All Japan Collegiate Ekiden and second in the mountain climbing stage of the Hakone Ekiden.

After graduation, in the spring of 2016, Kamino joined Konica Minolta Track team. In Hokuren Distance Challenge in Abashiri, Kamino recorded 10000m best of 28:17.54. In Kosa 10 Miler in November, Kamino won the Japanese athletes division of the race with 46:38. In the 2017 New Year Ekiden, Kamino was seventh fastest in the 22km stage; three weeks later he was third fastest in the anchor leg of Inter-Prefectural Men's Ekiden. Two more weeks later, Kamino was fifth in the Kagawa Marugame Half Marathon with the new personal best of 1:01:04, which at the time was eighth fastest time in history by Japanese runners. In Marugame, Kamino finished six second ahead of Suguru Osako who ran 2:07 marathon in the 2017 Fukuoka Marathon. In mid-February, Kamino ran Oume 30Km road race and finished third overall, first Japanese, with 1:31:33. After the Fukuoka International Marathon where his result was disappointing, Kamino said, "I was running well until 20km...." Kamino, who will be running his second marathon in Tokyo, said "I would like to run strongly until 30 to 35km." If he could push the marathon wall 15km toward the finish line, Kamino could run 2:08 marathon.

2015年箱根駅伝の5区で区間新記録をたたき出し、3代目「山の神」と呼ばれるようになった神野大地は、70km走も組み込んだ厳しい練習を積んで2017年12月に福岡国際マラソンで初マラソンに挑戦した。一時期「初マラソンで日本記録を破りたい」と話していた神野だが、レース前には2時間8分台でのフィニッシュを目指していた。しかし結果は2時間12分50秒で13位。目標からは程遠い結果に終わり、「マラソンは甘くない」と感じたという。

高校3年の時には全国都道府県対抗男子駅伝で5区を走り区間4位だった神野は、大学1年の2012年にアジアジュニア選手権の10000mで銀メダルを獲得している。大学2年の時には全日本大学駅伝2区と箱根駅伝2区とともに区間6位だった。エース格に成長した大学3年の時には全日本大学駅伝のアンカー区間では3位、箱根駅伝の山登り区間では区間記録を出し、一躍人気者になった。大学4年でチーム主将に就任したが、疲労骨折など故障に悩まされたシーズンでもあった。出雲駅伝は欠場を余儀なくされ、全日本大学駅伝でもアンカー区間で8位、そして箱根駅伝では山登りの5区では2位、と不満が残る結果となった。

卒業後の2016年春にコニカミノルタの陸上部に入部した神野は、7月のホクレンディスタンス網走大会で10000m自己ベストとなる28分17秒54を記録している。11月の甲佐10マイルでは46分38秒で日本選手の部を制している。2017年のニューイヤーマラソンでは最長の4区を走り7位に、その3週間後の全国都道府県対抗男子駅伝ではアンカー区間で3位に入っている。更に2週間後の香川丸亀ハーフマラソンでは自己ベストとなる当時日本歴代8位タイのタイム、1時間01分04秒で5位入っている。このレースでは昨年の福岡国際マラソンで2時間7分台をたたき出した大迫傑の6秒前にフィニッシュしている。2月の半ばには青梅で30kmロードレースを走り1時間31分33秒で日本選手1位、総合3位に入っている。そして昨年末、結果が出なかった福岡国際マラソンのレース後「20kmまではよかったが…」とコメントを残した神野は、東京マラソンで2回目のマラソンに臨む。「次は30km、35kmまでしっかり走りたい」と意気込むが、その狙い通り「マラソンの壁」を15kmフィニッシュ方向に押しやれば2時間08分台も見えてくるはずだ。

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

No. 30 村澤 明伸 (東京・日清食品グループ)

MURASAWA, Akinobu (JPN・Nissin Foods)



DOB : 28 Mar. 1991
AGE : 26
Height : 168cm
Weight : 57kg

▶ Personal Bests

5000m	13:34.85	-2011
10000m	27:50.59	-2012
Marathon	2:14:48	-2017

▶ International Championships Highlights

3000m	13th in 2007 World Youth Championships
5000m	12th in 2008, 8th in 2010 World Junior Championships
World Cross Country Championships	37th in 2008, 27th in 2009 and 28th in 2010.

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017				2:14:48
2016		28:08.56		
2015	14:12.52	28:21.35		
2014	13:46.69	28:35.09		

▶ Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
2:14:48		Hokkaido – Sapporo	1st	27 Aug 2017
2:17:51		Lake Biwa – Otsu	28th	5 Mar 2017

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22.4Km	12th	1:06:29

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	1st	2:14:48
5 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	28th	2:17:51
12 Feb	Karatsu 10 Miler	10 Miles	5th	46:46
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	6th	1:03:28

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2 – 15.3Km	6th	45:24
11 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	10rA	28:08.56
24 June	JPN National Championships – Nagoya	10000m	8th	28:29.10
7 May	Tokyo T&F Champ	10000m	1st	30:28.42
24 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	8th	28:32.13
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	4th	1:03:25

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	27r7	28:21.35
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden – Saitama	Stage 2 – 15.3Km	2nd	44:31
25 Sept	All JPN Corporate T&F Champ – Gifu	10000m	13r2	29:24.25
27 June	JPN National T&F Champ – Niigata	10000m	5th	28:39.39
23 May	Nittai University distance – Yokohama	10000m	2r4	28:41.52
17 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	5000m	17r4	14:12.52
18 Apr	Tokyo Championships	10000m	1st	29:43.28
4 Apr	Setagaya T&F	1500m	8r6	3:55.53
4 Apr	Setagaya T&F	3000m	4r6	8:18.38
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	5th	1:03:33

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Kosa 10 Milers	10 Miles	8th	46:40
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 7 – 13.5Km	1st	40:26
17 May	East JPN Corporate team T&F	10000m	6r2	28:35.09
10 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	14rA	13:46.69
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 – 13.6Km	6th	39:09

Akinobu Murasawa, who was 13th at 3000m in the 2007 World Youth Championships, 12th at 5000m in the 2008 World Junior Championship and 37th in the junior division of the World Cross Country Championships, has represented Japan many times in the global U20 championships. That is not all. Twice, Murasawa was the fastest in the stage five of Inter-Prefectural Men's Ekiden. In his high school days Murasawa's performances attracted a lot of attention. In his first two years in college, Murasawa was second and first, respectively in the stage three of the Inter Prefectural Men's Ekiden. In the Hakone Ekiden stage two, where the team's big gun competes, Murasawa was second fastest in his freshman year and the fastest in his sophomore year. In his sophomore year, Murasawa recorded 1:06:52, fourth fastest stage time in history. In the process Murasawa passed 17 runners. In his college junior year, Murasawa recorded 5000m best of 13:34.85, and in his college senior year, he recorded 10000m best of 27:50.59. However, later that year, he injured his Achilles heel and was unable to perform to his expectation for a few years.

Murasawa made his marathon debut in the 2017 Lake Biwa Marathon. He battled with Chihiro Miyawaki in middle part of the race, but hit the wall after 33km. By the time he returned to the stadium, he was practically walking. Murasawa was dismal 28th with 2:17:51. Murasawa's second marathon was at the 2017 Hokkaido Marathon, first qualifying race for the Tokyo Olympic marathon trials race. "For the first time since my college sophomore year, I was able to train full year without injury problems," said Murasawa who set his goal as "I am not concerned with time or place. I would like to concentrate on running well all the way to the end." Murasawa run his own race and caught up to the leader at 35km; he then broke away after from the leaders after 40km. He covered last 2.195km in 6:45 and won the race with 2:14:48, thus qualified for upcoming Olympic Marathon trials race. Murasawa, who set his goal as winning a medal at the global championships, has decided to run his third marathon in Tokyo. He wants to improve his performance step by step. As a first step, he would like to set personal best in Tokyo, hopefully under 2:10, the time expected from a runner with Murasawa's talent.

2007年世界ユース選手権の3000mでは13位、2008年世界ジュニア選手権の5000mでは12位、そして世界クロスカントリー選手権のジュニアの部では37位、と村澤明伸は20歳以下の選手権では日本代表を何度も経験している。それだけではない。全国都道府県対抗男子駅伝の5区でも2年連続で区間賞を取っている。高校時代の村澤は大きな期待を集めていた選手だった。大学1・2年の時も全国都道府県対抗男子駅伝の3区で2位、1位と活躍した。大学2年の時の箱根駅伝では2区を走り1時間06分52秒の区間歴代4位で17人抜きを達成した。大学3年の2011年には5000mで13分34秒85の自己ベスト、大学4年の2012年には10000mで27分50秒59の自己ベストを記録している。しかしこの年アキレス腱を痛め、その後長く本来の走りができな日々が続いた。

村澤は2017年にびわ湖毎日マラソンで初マラソンに挑んだ。中盤では宮脇千博と日本人トップを争ったが、33km過ぎから大きく失速した。最後はほとんど歩くような状態で競技場に戻ってきて2時間17分51秒の28位でフィニッシュした。村澤の2回目のマラソンは、2020年東京五輪のマラソン代表選考会の出場権を懸けた最初の対象レースでもある北海道マラソンだった。「故障なく1年間練習できたのは大学2年の時以来」と言う村澤は、目標を「タイムや順位はあまり気にせず、最後まで走り切る」ことに設定した。村澤は終始自分のペースを守り、35kmで先頭に追いつき、40kmで抜け出した。最後の2.195kmを6分45秒で駆け抜け2時間14分48秒で優勝し、マラソングランドチャンピオンシップ (MGC)の参加標準を突破した。世界大会でメダルを獲得することを目指す村澤は3度目のマラソンとして東京マラソンを選んだ。今は、一つ一つのマラソンで力をつけることを考えていると言う。まずは東京マラソンでの自己ベスト、そして村澤の実力に見合う2時間10分切りが目標となる。

No.
31

市田 孝 (宮崎・旭化成)

ICHIDA, Takashi (JPN · Asahi Kasei)



DOB : 16 June. 1992
AGE : 25
Height : 165cm
Weight : 50kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	13:33.99	-2017
Marathon	27:53.59	-2016
Marathon	1:02:03	-2014
Marathon	2:19:24	-2017

▶ International Championships Highlights

World Cross Country
40th in 2010 & 36th in 2011 in junior division

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017	13:33.99	27:59.76	1:02:23	2:19:24
2016	13:35.19	27:53.59	1:02:32	
2015	13:36.09	28:17.09	1:03:21	
2014	13:57.19	28:50.98	1:02:03	

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:19:24	Tokyo	45th	26 Feb 2017

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	4th	38:10
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 3 – 13.6Km	1st	38:27

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	6th	46:35
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 1 – 12.4Km	3rd	36:34
21 Oct	Miyazaki Time Trials – Nobeoka	10000m	1st	28:27.54
22 Sept	JPN Corporate team T&F Champ – Osaka	10000m	12r2	28:08.22
13 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	14rA	28:35.59
9 July	Hokuren Distance Challenge – Kitami	3000m	2nd	7:54.11
23 June	JPN National Championships – Osaka	10000m	3rd	28:39.00
3 June	Sayagatani Time Trials – KitaKyushu	5000m	7r11	13:33.99
22 May	Kyushu Corporate team T&F Champ – KitaKyushu	10000m	3r3	27:59.76
6 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	5th	28:15.97
29 Apr	Oda Memorial – Hiroshima	5000m	10th	14:00.35
23 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	5th	28:14.14
1 Apr	Kanaguri Memorial – Kumamoto	5000m	11r5	13:46.39
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	50th	2:19:24
5 Feb	Marugame half Marathon	Half marathon	11th	1:02:23
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	1st	1:03:06

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Nov	Hachioji Distance – Yokohama	10000m	19r7	28:14.40
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 5 – 13.4Km	1st	39:43
23 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	8r3	28:20.01
11 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	3rA	27:53.59
7 July	Juntendo Distance	3000mSC	3rd	8:40.29
26 June	JPN National Championships	5000m	6th	13:48.52
24 June	JPN National Championships	10000m	4th	28:22.13
4 June	Mattoni Ceske Budejovice	Half Marathon	12th	1:06:48
21 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	3r3	28:22.67
7 May	Golden Games – Nobeoka	10000m	1st	28:16.00
29 Apr	Oda Memorial – Hiroshima	5000m	7th	13:35.19
24 Apr	Hyogo Relays	10000m	5th	28:22.57
2 Apr	Kanaguri Memorial – Kumamoto	5000m	15r4	13:48.36
27 Feb	JPN Cross Country Championships	12Km	1st	35:59
14 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon	Half marathon	8th	1:02:32
24 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 3 – 8.5Km	20th	25:12

Last year Takashi Ichida made his marathon debut in the Tokyo Marathon. His goal was to run a 2:07 marathon and to qualify for the World Championships team. However, his result was utterly disappointing, for he was dismal 50th with 2:19:24. He ran aggressively, covering the opening 5km in 14:43, and 10km in 29:36. After passing the half marathon point in 1:03:40, and 25km point in 1:15:48, his 5km lap time steadily declined to 16 minute, 18 minutes and finally 19 minutes. "I now realize how hard the marathon is, but at the same time I would like to run another one," said Ichida. Thus this year's Tokyo Marathon, second marathon of his career, will be the race of redemption for Ichida.

When he was a senior in junior high school, Ichida won 3000m at both All Japan Junior High School Championships and Junior Olympics. With his twin brother Hiroshi, they won both gold and silver in both events. When they were senior at high school, their team won the National High School Ekiden Championships; Takashi was second fastest in stage one, while his twin brother Hiroshi was fastest in stage six. In their college days, Ichida brothers were overshadowed by Shitara twins and Murayama twins. In 2015 Ichida brothers joined Asahi Kasei track team. However, Takashi was not selected to run the New Year's Ekiden in his first year on the team. However, starting in February of 2016, Takashi was on a roll. He won the National Cross Country Championships in February, was the first Japanese in the Hyogo Relays 10000m in April, and was fourth at the National Championship also at 10000m. A month later in the Hokuren Distance Challenge in Abashiri, Takashi recorded a 10000m best of 27:53.59. Note that sub-28 minutes 10000m is a sign of elite runners. Ichida continued to excel until the Tokyo Marathon 2017. In the 2017 New Year Ekiden, Ichida was faster than Yuta Shitara, Akinobu Murasawa and Daichi Kamino in stage four. After dismal Tokyo Marathon, Ichida was third at 10000m in the National Championships, and first Japanese at 10000m in the Japan Corporate team Track and Field Championships. More recently, Ichida was fastest in the stage three of the 2018 New Year Ekiden, and fourth in the anchor leg of Inter-Prefectural Men's Ekiden. Ichida, who has shown great form recently, is going to run the Tokyo Marathon for his second marathon. Can he fulfill last year's goal of 2:07 marathon? A 2:06 marathon will be the Asahi Kasei record, surpassing 2:07:35 by Taisuke Kodama.

昨年の東京マラソンでは、「2時間07分00秒の派遣設定記録を破り世界選手権の代表に入る」ことを目標に設定し、初マラソンに挑んだ市田孝のデビューはほろ苦いものになった。5kmを14分34秒、10kmを29分36秒と序盤は積極的なレースを見せたが、中間点を1時間03分40秒、そして25kmを1時間15分48秒で通過した後、5kmごとのタイムは16分、18分台として19分台と大きく失速し、2時間19分24秒の50位でフィニッシュした。「マラソンの厳しさを感じたが、同時にもう一度やりたいと言う気持ちにもなった」とリベンジを口にした。その市田が今回の東京で、2度目のマラソンに挑戦する。

市田は中学3年の時、3000mで全日中とジュニアオリンピックを制した。双子の弟の宏は両大会とも2位でワントゥーフィニッシュを決めている。高校3年の全国高校駅伝では孝が1区で区間2位、宏が6区で区間1位の好走で母校を優勝に導いた。しかし大学時代の市田兄弟は設楽兄弟と村山兄弟の影に隠れた存在だった。2015年に旭化成の陸上部に宏と共に入部した孝は、一年目のニューイヤー駅伝のメンバーには選ばれなかった。しかし、2016年の2月から孝の快進撃が始まった。2月の日本クロスカントリー選手権で優勝。4月の兵庫リレーでは日本人1位に入り、6月の日本選手権では10000mで4位、そして7月のホクレンディスタンス網走大会では27分53秒59と一流ランナーの証となる27分台に突入した。そして2017年ニューイヤー駅伝ではエース区間の4区で設楽悠太、村澤明伸、神野大地らを抑えて区間賞を取り東京マラソンに挑んだ。しかし結果は惨敗。その後は日本選手権の10000mで3位、全日本実業団の10000mでも日本人1位、そして2018年のニューイヤー駅伝では3区で区間賞を取った。全国都道府県対抗男子駅伝でも最長の13kmで4位に入り、すばらしいコンディションのまま東京マラソンに挑む。2回目のマラソンで昨年の目標を達成できるだろうか？2時間06分台は児玉泰介の時間07分35秒を越える旭化成記録にもなる。

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	22r6	28:40.48
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 2 – 10.2Km	3rd	32:16
24 Oct	Nobeoka Time Trials	10000m	8th	29:14.60
25 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	13th	28:34.31
16 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	5r3	28:17.09
9 May	Golden Games Nobeoka	5000m	3rA	13:36.09
2 May	Nobeoka Time Trials	3000m	2nd	8:09.27
25 Apr	Hyogo Relays Asics Challenge – Kobe	10000m	12r2	28:40.40
4 Apr	Kanaguri Memorial – Kumamoto	5000m	4r4	13:43.38
16 Mar	NYC Half	Half marathon	12th	1:03:21
21 Feb	Fukuoka Cross Country	10Km	6th	29:42
18 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 7 – 13Km	13th	38:17
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.1Km	10th	1:09:03

東京マラソン招待選手—国内男子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – Japanese MEN

No. 32 **鈴木 健吾** (愛媛・神奈川大学)
SUZUKI, Kengo (JPN・Kanagawa University)



DOB : 11 June, 1995
AGE : 22
Height : 163cm
Weight : 46kg

▶Progressions

5000m	13:57.88	-2016
10000m	28:30.16	-2016
Half marathon	1:01:36	-2017

▶International Championships Highlights

Half marathon
3rd in 2017 World University Games

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		28:40.61	1:01:36	
2016	13:57.88	28:30.16	1:03:08	
2015	14:14.71	28:53.67		

▶2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.2Km	4th	1:07:26

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Hachioji Distance – Machida	10000m	19r5	28:41.62
5 Nov	All JPN Collegiate Ekiden – Nagoya-Ise	Stage 8 – 19.7Km	2nd	57:24
27 Aug	World University Games – Taipei	Half Marathon	3rd	1:06:56
18 June	Collegiate Ekiden Qualifier	10000m	5h4	28:45.24
25 May	Kanto Regional Collegiate T&F Champ	10000m	4r2	28:40.61
6 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	11th	29:30.47
5 Mar	Tachikawa Half Marathon	Half marathon	1st	1:01:36
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 7 – 13Km	7th	38:19
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.2Km	1st	1:07:17

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Scholten Awater Zevenheuvelenloop – Nijmegen	15km	8th	44:18
16 Oct	Hakone Ekiden Qualifier	20Km	3rd	58:43
14 July	Hokuren Distance Challenge – Kitami	10000m	1rA	28:30.16
18 June	Collegiate Ekiden Qualifier	10000m	4r4	29:08.40
19 May	Kanto district Collegiate T&F Champ - Yokohama	10000m	3r2	28:50.13
2 Apr	Setagaya Time Trials	5000m	14r15	13:57.88
6 Mar	Tachikawa Half Marathon	Half marathon	3rd	1:03:08
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2-23.1Km	15th	1:10:21

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Nov	Kanto district Collegiate time trials	10000m	6r10	29:01.82
1 Nov	All JPN Collegiate Men's Ekiden	Stage 1 – 14.6Km	8th	43:28
17 Oct	Hakone Ekiden Qualifier	20Km	9th	59:44
16 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	10rB	28:53.67
20 June	Collegiate ekiden qualifier	10000m	5r4	29:09.04
26 Apr	Nittai University Distance - Yokohama	10000m	1r7	29:17.48
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 6 – 20.8Km	19th	1:02:42

Kengo Suzuki, who recorded 1:07:17, eighth fastest time for the second stage in the history of the 2017 Hakone Ekiden, and won the 2017 National Collegiate Half Marathon Championship with the new course record, will be making a marathon debut in Tokyo.

Suzuki started running with the recommendation from his father, who has ran the National High School Ekiden Championships in his youth. "Ever since my junior high school days, Hakone Ekiden became my dream," says Suzuki, who was 21st in the stage one of the National High School Ekiden Championships. After graduation, Suzuki joined Kanagawa University Ekiden team. In the Hakone Ekiden, Suzuki was 19th in stage six in his freshman year, and 14th in stage two in his sophomore year. At 10000m, Suzuki cracked 29 minutes in his sophomore year and by the summer of his junior year he improved his 10000m personal best to 28:30.17.

Suzuki first attracted attention in the Hakone Ekiden qualifying race in October of 2016. He covered the 20km course in 58:43, third fastest time by Japanese. Then in the 2017 Hakone Ekiden, Suzuki was superb; he won the 23km hilly stage with 1:07:17. Later in March of 2017, Suzuki recorded 1:01:36 for the half marathon, sixth fastest collegiate half marathon time by Japanese. He was selected to represent Japan in the 2017 World University Games in Taipei. However, Suzuki, who was plagued with injury from early summer and thus unable to train properly, was disappointing third place in Taipei. However, in the All Japan Collegiate Ekiden Championships, Suzuki came from behind in the anchor leg and brought a victory to Kanagawa University for the first time in 20 years. In the 2018 Hakone Ekiden, he ran the second stage in 1:07:26, slightly slower than last year, but he was only fourth for the stage. Both the marathon debut record and collegiate marathon record are 2:08:12 by Masakazu Fujiwara. It is quite a lofty goal. Among the collegiate runners only Fujiwara and Atsushi Sato have broken 2:10 for the marathon. Perhaps for Suzuki, a new star in the block, 2:10 marathon is a realistic goal.

2017年の箱根駅伝では花の2区で当時区間歴代8位となる1時間07分17秒で区間賞を獲得し、同年の日本学生ハーフマラソン選手権では大会新となる1時間01分36秒で優勝した鈴木健吾が東京で初マラソンに挑戦する。

全国高校駅伝に出場経験のある父親の勧めで走り始めた鈴木は「中学生の頃から漠然と箱根駅伝に憧れていた」と話す。宇和島東高3年生の時に高校駅伝に出場して1区で21位だった。卒業後、神奈川大学に進学した鈴木は、1年生の時には箱根駅伝6区で区間19位だったが、エース格になった2年の時には2区で14位に。一方10000mでは2年生の時に28分台に突入し、3年の夏には28分30秒17まで自己ベストを伸ばしている。

注目を浴びようになったのは2016年10月の箱根駅伝予選会から。20kmを日本人歴代3位の58分43秒で駆け抜けたのだ。そして2017年の箱根駅伝では2区で当時歴代8位の1時間07分17秒で区間賞を獲得。同年3月、日本学生ハーフマラソン選手権では日本人学生歴代6位の1時間01分36秒(大会新)で優勝し、ユニバーシアード台北大会の代表に選ばれた。同年夏から故障に悩まされて満足な練習ができず、台北では3位に終わったが、11月の全日本大学駅伝ではアンカー区間で逆転劇を演じ、神奈川大学に20年ぶりの栄冠をもたらせた。2018年箱根駅伝2区では1時間07分26秒と昨年よりわずかに遅いタイムだったが、区間で4位に終わった。初マラソンの日本最高記録も、そして学生マラソン記録も藤原正和の2時間8分12秒である。ハードルはかなり高い。過去に学生で2時間10分の壁を破ったのは藤原と佐藤敦士だけだ。ハーフマラソンで学生トップクラスの実力を持つ鈴木にとって、2時間10分が現実的な初マラソンの目標となるかも知れない。

東京マラソン招待選手—海外女子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – International WOMEN

No. 51

ルティ・アガ (エチオピア)

AGA, Ruti (ETH)



DOB : 16 Jan. 1994
AGE : 24
Height : 152cm
Weight : 44kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	66:39	-2018
Marathon	2:20:41	-2017

▶ International Championships Highlights

5000m	
2nd in 2012 World Junior Championships;	
Cross Country	
5th in 2013 World Cross Country Championships;	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:06:39	
2017		/32:46	1:10:02	2:20:41
2016		/34:49	1:08:07	2:24:41
2015		/32:23		
2014		/32:22		

▶ Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:20:41	Berlin	2nd	24 Sept 2017
	2:33:26	Boston	10th	17 Apr 2017
	2:46:16	Dubai	13th	20 Jan 2017
	2:24:41	Berlin	3rd	25 Sept 2016
	2:25:27	Wien	2nd	10 Apr 2016
	DNF (pace)	Osaka Women	DNF (pace)	31 Jan 2016

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Jan	Houston half marathon	Half marathon	1st	1:06:39

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:20:41
9 July	Utica Boilermaker 15K – Utica	15Km	2nd	49:20
29 May	Bolder Boulder	10Km	2nd	32:46
17 Apr	Boston Marathon	Marathon	10th	2:33:26
19 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	5th	1:10:02
20 Jan	Dubai Marathon	Marathon	13th	2:46:16

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	3rd	2:24:41
30 May	Bolder Boulder	10Km	9th	34:49
10 Apr	Vienna City Marathon – Wien	Marathon	2nd	2:25:27
20 Mar	Meia - Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	1st	1:09:16
31 Jan	Osaka Women's Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
17 Jan	Houston half marathon	Half marathon	4th	1:08:07

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Istanbul	15Km	1st	49:45
25 June	Quad-City Times Bix 7 – Davenport	7 Miles	7th	38:16
12 July	Utica Boilermaker	15Km	3rd	50:10
17 June	ETH 10000m – Hengelo	10000m	DNF	DNF
3 May	Lilac Bloomsday – Spokane	12Km	2nd	39:28
26 Apr	Hy-Vee Road Race – Des Moines	10Km	2nd	32:23
28 Mar	Cooper River Bridge run – Charleston	10Km	2nd	32:28
9 Jan	Doha	10Km	1st	33:26

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Great ETH Run – Addis Ababa	10Km	8th	35:12
19 July	Meeting de Atletismo Madrid	3000m	7th	9:04.95
6 July	Padova	3000m	6th	9:03.06
24 May	Ottawa	10Km	2nd	32:21
16 Mar	African Cross Country – Kampala	8Km	7th	26:33

Ruti Aga (ETH), who finished second with 2:20:41 in the 2017 Berlin Marathon, improved her personal best, recorded a year ago in the Berlin Marathon, by four minutes. Her personal best is the second fastest time by 23 years old.

She finished second by 1/100th second at the 5000m in the 2012 World Junior Championships in Barcelona. Following year in 2013, Aga was fifth in the junior division at the 2013 World Cross Country Championships. Five months later in August of 2013, Ruti won the 5000m in the African Junior Championships. In January of 2016, Ruti ran in the Houston Half Marathon. Although she was only fourth in Houston, Ruti recorded a half marathon personal best of 1:08:07. The 2016 Lisbon Half Marathon in March was the turning point of Ruti's career. Although her time was more than one minute slower than her personal best, the point is Ruti won the race. In January of 2016, Ruti ran the 2016 Osaka Women's Marathon as a pacemaker. This experience as a pacemaker gave confidence for her to run the marathon. So she decided to enter the 2016 Vienna City Marathon, three weeks after winning the Lisbon Half Marathon. "I have decided to make a marathon debut in Vienna, because Haile (Gebreselassie) run one of his marathons here," said Aga before the race. Although Shuko Genemo (ETH) surged away from Aga with 5km to go in the race, Aga still finished strong second with 2:25:27, despite the strong wind. It was relatively good marathon debut. Five and a half months later in the 2016 Berlin Marathon, Aga improved her personal best with 2:24:41. However, in early 2017, she was only 13th in the Dubai Marathon and tenth in the Boston Marathon. Then in September, Aga decided to run the Berlin Marathon. Although Gladys Cherono (KEN) ran away from her in the final 7km of the race, for the first time in three marathon starts, Aga improved her personal best to 2:20:41, the time that rank her among the world bests. On January 14 of this year, in Houston, Aga improved her half marathon best to 1:06:39; it was more than a minute and half improvement of her personal best. This time indicates that Aga may be ready for another marathon personal best. Can she crack a 2:20 barrier?

2017年ベルリンマラソンでは2時間20分41秒で2位に入ったエチオピアのルティ・アガは、一年前のベルリンマラソンで記録した自己ベストを丁度4分更新したのである。このタイムは23歳のランナーが記録したタイムとしては2番目に速いタイムでもあった。

バルセロナで行われた2012年世界ジュニア選手権の5000mで100の1秒差の2位に入ったアガは、翌2013年には世界クロスカントリー選手権に出場してジュニアの部で5位に入っている。その5ヵ月後の8月にはアフリカジュニア選手権の5000mで優勝している。2016年の1月にヒューストンハーフマラソンに出場したアガは、4位だったが1時間08分07秒の自己ベストを記録している。彼女にとって大きな転機となったレースは2016年3月のリスボンハーフマラソンである。タイムは1時間09分16秒と自己ベストより1分以上上回るタイムだったが、優勝したのである。2016年1月に大阪国際女子マラソンでペースメーカーを務めたことで、「本格的にマラソンに参戦する自信がついた」と言うアガは、リスボンハーフマラソンから3週間後、ウイーンで初マラソンに挑戦した。アガは「ハイシがこのレースを走っているのこの地で初マラソンに挑戦することを決断した」と言っている。残り5kmで優勝したシユコ・ジェネモに振り切られたが、強風の中のレースにも関わらず2時間25分27秒のまずまずの初マラソンのタイムで2位に入った。その5ヶ月半後には2016年ベルリンマラソンを走り、2時間24分41秒で自己ベストを更新している。しかし、その後2017年のドバイマラソンでは13位、そしてボストンマラソンでは10位と壁にぶち当たってしまった。そして満を持して9月にベルリンマラソンに挑んだ。残り7kmでチェロノに逃げられてしまったが、自己ベストを3大会ぶりに更新したのである。しかも一流選手の証となる2時間20分台のタイムを叩き出したのだ。今年1月14日のヒューストンハーフマラソンでは1時間06分39秒で自己ベストを1分以上更新したアガには東京ではマラソンでも自己ベストが期待される。そして2時間20分切りの期待も大きい。

東京マラソン招待選手—海外女子

ATHLETES

No. 52 プリティ・チェロティッチ・リオノリポ (ケニア) RIONORIPO, Cherotich Purity (KEN)



DOB : 10 June, 1993
AGE : 24
Height : 160cm
Weight : 45kg

▶Personal Bests

Half Marathon	1:08:29	-2015
Marathon	2:20:55	-2017

▶International Championships Highlights

3000m	1st in 2009 World Youth Championships; 4th in 2010 World Junior Championships
Cross Country	2nd in 2010 & 7th in 2011 World Cross Country Championships junior division

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		/31:01		2:20:55
2016			1:11:56	2:24:47
2015		/33:52	1:08:29	2:25:09
2014	15:30.61		1:10:40	

▶Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:20:55	Paris	1st	9 Apr 2017
	2:24:47	Chicago	4th	9 Oct 2016
	2:25:00	Praha	2nd	8 May 2016
	2:25:09	Lisboa	1st	18 Oct 2015

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Aug	Beach to Beacon 10K - Cape Elizabeth	10Km	2nd	31:01
9 Apr	Marathon de Paris	Marathon	1st	2:20:55

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	4th	2:24:47
31 July	Media Maraton Internasional Bogota	Half marathon	1st	1:11:56
15 May	Corrida de Mulher - Lisboa	5Km	1st	15:16
8 May	Prague Marathon - Praha	Marathon	2nd	2:25:00

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Maratona e Meia Maratona de Lisboa	Marathon	1st	2:25:09
16 Sept	All-Africa Games - Brazzaville	3000mSC	3rd	9:52.54
13 Sept	Kobenhavn Half marathon	Half marathon	1st	1:08:29
19 Apr	Yangzhou Jianzhen half marathon	Half marathon	4th	1:09:00
22 Mar	Meia Maratona de Lisboa	Half marathon	4th	1:10:24
16 Mar	Okpekepe road race	10Km	2nd	33:52
25 Jan	Discovery Kenya Cross Country - Eldoret	6Km	2nd	19:54
11 Jan	Halve Marathon von Egmond Aan Zee	Half Marathon	1st	1:11:40

▶2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Oct	Maratona e Meia Maratona de Lisboa	Half marathon	1st	1:11:02
14 Sept	Meia Maratona SportZone - Porto & Gaia	Half marathon	1st	1:10:40
19 July	Meeting de Atletismo Madrid	3000m	2nd	8:49.94
6 July	Meeting Citta di Padova	3000m	3rd	9:01.16
7 June	KEN National Champ - Nairobi	5000m	4th	15:30.61

Purity Rionoripo of Kenya recorded 2:25:09 in her marathon debut. She then improved her marathon best in three successive marathons culminating with 2:20:55 in her fourth marathon, the 2017 Paris Marathon.

Rionoripo won the 3000m by more than two seconds margin at the 2009 World Youth Championships. Following year, she competed in the 2010 World Junior Championships, but finished only fourth and missed a medal. Rionoripo competed in the World Cross Country Championships twice; she won a silver medal in the junior division in 2010, but in 2011, she was only seventh. In the same year, Rionoripo competed in the African Junior Championships and won a silver medal at 3000m. Starting in 2014, Rionoripo started to compete in the road races. In September, in Porto Portugal, she won the half marathon with 1:10:40. Following year, she won another half marathon in Lisbon. In 2015, Rionoripo ran four half marathons; in Copenhagen, in September, she won the half marathon in 1:08:29, personal best. The following month, Rionoripo made her marathon debut in Lisbon; she won the debut race with 2:25:09. In 2016, Rionoripo ran two marathons, in Praha and Chicago, and improved her marathon best slightly each time to 2:25:00 in Praha and then to 2:24:47 in Chicago. Her turning point was at the 2017 Paris Marathon. She passed the half marathon point in the lead pack of six runners with 1:10:19, and then made her move at 36km. By 40km Rionoripo led Barsosio by two seconds and kept the gap intact and finished in 2:20:55. It was eleven seconds improvement of the course record. It was also second marathon victory for her, first since her debut race. Her husband Paul Lonyangata also won the men's division of the Paris Marathon. Thus the husband-wife team won both races in Paris. Can Rionoripo, who improved her marathon best in three consecutive races, improve her best one more time in Tokyo?

初マラソンで2時間25分09秒を記録し3大会連続で自己ベストを更新したケニアのプリティ・チェロティッチ・リオノリポは、4回目のマラソンとなった2017年パリマラソンでは2時間20分55秒まで記録を伸ばした。

2009年世界ユース選手権の3000mでは2位に2秒以上の差をつけて優勝したリオノリポは、翌2010年世界ジュニア選手権の3000mにも出場したが、結果はメダルを逃す4位に終わってしまった。世界クロスカントリー選手権にも2度出場している。2010年にはジュニアの部で2位に入り銀メダルを獲得、そして2011年には同じくジュニアの部で7位入賞した。同年にはアフリカジュニア選手権の3000mで銀メダルを獲得している。その後2014年からはロードレースに参戦するようになったリオノリポは、9月にポルトガルのポルトでハーフマラソンを走りいきなり1時間10分40秒で優勝した。翌月にはリスボンでもハーフマラソンを走り再び優勝している。翌2015年にハーフマラソンを4回走りコペンハーゲンでは1時間08分29秒の自己ベストで優勝した。その1カ月後にはリスボンで初マラソンに挑戦、2時間25分09秒で優勝したのである。2016年にはプラハとシカゴでマラソンを走り、自己ベストを2時間25分00秒、2時間24分47秒、とわずかながら更新した。大きく飛躍したのが2017年のパリマラソンである。6人の集団が中間地点を1時間10分19秒で通過した後リオノリポは36kmでスパートし、40kmをバルシオより2秒速く通過。その差を最後まで保ち、大会記録を11秒更新する2時間20分55秒で、初マラソン以来となる2度目の優勝を成し遂げた。そのパリマラソンでは彼女の夫ポール・ロンヤンガタも優勝、アベック優勝を成し遂げたのである。3大会連続で自己ベストを更新中のリオノリポは、東京マラソンでもう一度自己ベストを更新できるだろうか？

No.
53

シュレ・デミセ (エチオピア)

DEMISE, Shure (ETH)



DOB : 21 Jan. 1996
AGE : 22
Height : 159cm
Weight : 45kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:08:53	-2014
Marathon	2:20:59	-2015

World Junior Record

▶ International Championships Highlights

Marathon	5th in the 2017 World Championships
----------	-------------------------------------

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:11:28	2:22:57
2016		32:14.25		2:25:04
2015		32:54.09	1:13:47	2:20:59
2014			1:08:53	
2013			1:11:03	

▶ Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:27:58	World Championships – London	5th	6 Aug 2017
	2:22:57	Dubai	2nd	30 Jan 2017
	2:25:18	Toronto	1st	16 Oct 2016
	2:25:04	Tokyo	6th	28 Feb 2016
	2:23:37	Toronto	1st	18 Oct 2015
	2:27:15	Boston	8th	20 Apr 2015
Personal Best	2:20:59	Dubai	4th	23 Jan 2015

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships – London	Marathon	5th	2:27:58
23 Apr	Yangzhou Jianzhen International Half Marathon	Half marathon	4th	1:11:28
30 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:22:57

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	1st	2:25:18
25 June	African Athletics Championships – Durban	10000m	5th	32:14.25
13 May	Adidas Boost Meeting – Herzogenaurach	10000m	DNF	DNF
20 Apr	ETH National Championships – Addis Ababa	10000m	1st	33:24.5
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	6th	2:25:04

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	1st	2:23:37
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:13:47
10 June	ETH Champ – Addis Ababa	10000m	2nd	32:54.09
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	8th	2:27:14
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	4th	2:20:59

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Wantu Cup – Linyi	Half marathon	5th	1:12:12
14 Sept	Mezza Maratona Internazionale del Concilio Città di Trento	Half marathon	1st	1:14:11
1 May	15km du Puy-en-Velay	15Km	4th	51:56
30 Mar	Warsaw Half Marathon – Warszawa	Half marathon	2nd	1:11:22
16 Mar	African Cross Country Champ – Kampala	6Km	11th	20:30
2 Mar	Maratonina Roma-Ostia	Half marathon	4th	1:08:53
9 Feb	Jan Meda International Cross Country – Addis Ababa	6Km	3rd	19:40

Shure Demise of Ethiopia made a scintillating marathon debut. Two days after turning 19, Demise made her marathon debut in the 2015 Dubai Marathon and finished fourth with 2:20:59. Not only it was the fifth fastest marathon debut time in history, but it was also two and half minutes improvement of the world junior marathon record.

Born in the farming family of ten brothers and sisters, Shure started to admire the 1992 and 2000 Olympic 10000m champion Derartu Tulu, whom she watched on television; it gave the motivation for her to start running. After she started running Shure started to admire two-time Olympic 10000m champion Tirunesh Dibaba also. When she was 16 years old, Shure ran 10km road race at 2400m altitude in Ethiopia and finished with very respectable 33:24. Thus she started to attract attention. In the February of 2014, Shure ran the Jan-Meda Cross Country, famed Ethiopian Cross Country race and finished third in the junior division; this brought further attention to her. In March of 2014, Shure recorded a personal best of 1:08:53 in the Roma to Ostia half marathon. Thus with confidence on her ability for road racing, Shure decided to move up to the marathon. However, before her marathon debut in Dubai in 2015, Shure knew little about the marathon. For example, she didn't even know that it is OK to drink water during the marathon. Shure made a spectacular marathon debut, and thus much expectation fell on her after the race. Following Dubai, although she was only eighth in the Boston Marathon in April, Shure set her goal of breaking the course record in the Toronto Waterfront Marathon. In Toronto, Shure won the race comfortably with 2:23:37. It was her first marathon win of her career. Although she was only sixth with 2:25:04 in Tokyo, in October, Demise won the Toronto Marathon again. Then in the 2017 Dubai Marathon, she was second with her second best marathon time, 2:22:57. She was selected to represent Ethiopia in the World Championships. In London, she was fifth with the time 47 seconds behind the winner. So far Demise has not been able to improve her marathon best recorded in her debut marathon. Can she improve her best in Tokyo?

シュレ・デミセの初マラソンは衝撃的だった。19歳になって2日後に挑んだ2015年ドバイマラソンでの初マラソンは2時間20分59秒の4位で、当時歴代5番目に速い初マラソンのタイムだった。それだけではなく、その記録は従来の世界ジュニア記録を2分半も更新する世界ジュニア新記録だったのである。

農業を営む両親のもと5人の兄弟と5人の姉妹と言う大所帯に育った彼女は1992年、2000年五輪金メダリストであるデラルツ・ツルをテレビで見ただけで、走るようになったという。そして「走るようになってからは五輪10000mで2連勝したティルネシュ・ディババにも憧れるようになった」と言うデミセは、16歳の時にエチオピアの2400mの高地での10kmのロードレースで33分24秒を記録して一躍注目されるようになった。2014年2月にはエチオピアでは有名なクロスカントリーのジュニアの部で3位に入り更に注目を集めるようになっていく。そして、2014年の3月にローマ・オスティアハーフマラソンで1時間08分53秒を記録したことにより、ロードに自信を深めた彼女は、マラソンに距離を延ばす決意を固めた。ドバイでの初マラソンの時は「レース中に水を飲むこと」も知らなかったと言うデミセだったが、いきなり速いタイムを叩き出したことにより将来の期待を背負うことになる。4月のボストンマラソンでは8位に終わったが、10月のトロントマラソンでは2時間23分37秒の好記録でマラソン初優勝を成し遂げた。4回目のマラソンだった東京では、2時間25分04秒で6位に終わったが、10月にはトロントマラソンで2連勝を成し遂げている。そして2017年1月のドバイマラソンでは自己2番目の記録となる2時間22分57秒で2位に入り世界選手権の代表を射止めた。初めての世界選手権ロンドン大会では1位から47秒遅れのタイムで5位入賞を果たしている。3年前の初マラソンで記録した自己ベストを未だ更新できていないデミセには東京での記録更新が期待されている。

東京マラソン招待選手—海外女子

ATHLETES

No. 54 ベルハネ・ディババ (エチオピア)

DIBABA, Birhane (ETH)



DOB : 11 Sep. 1993
AGE : 24
Height : 162cm
Weight : 48kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:07:47	-2016
Marathon	2:21:19	-2017

▶ International Championships Highlights

Marathon	10th in 2017 World Championships
----------	----------------------------------

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017				2:21:19
2016			1:07:47	2:23:16
2015				2:23:15
2014			1:09:34	2:22:30
2013				2:23:01
2012				2:29:22

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:29:01	World Championships - London	10th	6 Aug 2017
Personal Best	2:21:19	Tokyo	2nd	26 Feb 2017
	2:23:58	Berlin	2nd	25 Sept 2016
	2:23:16	Tokyo	5th	28 Feb 2016
	2:24:24	Chicago	3rd	11 Oct 2015
	2:23:15	Tokyo	1st	22 Feb 2015
	2:22:30	Tokyo	2nd	23 Feb 2014
	2:23:01	Frankfurt	3rd	27 Oct 2013
	2:23:51	Nagoya Women	2nd	10 Mar 2013
	2:29:22	Valencia	1st	18 Nov 2012
	2:34:58	Sao Paulo	2nd	17 June 2012
	2:33:07	Barcelona	4th	25 Mar 2012

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships - London	Marathon	10th	2:29:01
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:21:19

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:23:58
24 Apr	Yangzhou	Half marathon	2nd	1:07:47
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	5th	2:23:16

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:24:24
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	DNF	DNF
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:23:15

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 June	Rock n Roll San Diego Marathon	Half marathon	1st	1:09:34
3 May	Okpeke Road Race	10Km	3rd	32:59
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:22:30

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:23:01
10 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	2nd	2:23:51

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Valencia Marathon	Marathon	1st	2:29:22
17 June	Sao Paulo Marathon	Marathon	2nd	2:34:58
25 Mar	Barcelona Marathon	Marathon	4th	2:33:07

Birhane Dibaba has always run well in the Tokyo Marathon. She ran the last four Tokyo Marathons, and not only she ran faster than 2:23:20 in all four races, but Dibaba also set her personal best last year.

Birhane Dibaba made a marathon debut at the 2012 Barcelona Marathon where she was fourth with 2:33:07. Although she failed to improve her personal best in her next marathon in Sao Paulo, starting with the 2012 Valencia Marathon Birhane Dibaba improved her marathon personal best in each of the next four marathons. She won the 2012 Valencia Marathon with 2:29:22, improved her personal best to 2:23:51 in the 2013 Nagoya Women's Marathon, and then further improved the personal best to 2:23:01 in the 2013 Frankfurt marathon, culminating in 2:22:30 at the Tokyo Marathon 2014. Incidentally, both 2:23:01 recorded in the Frankfurt Marathon, and 2:22:30 recorded in the Tokyo Marathon 2014, are fastest marathon by 20 years old. After the Tokyo Marathon in 2014, where she improved her marathon best, Birhane Dibaba improved her personal best for 10km on the road to 32:59 and half marathon best to 1:09:34. In short, she improved the personal bests at all distances in 2014. In the Tokyo Marathon 2015, 21 years old Birhane Dibaba had a chance to improve a single age record for 21 years old, which stands at 2:23:11 by Yoko Shibui recorded in the 2001 Osaka Ladies Marathon. She did win the Tokyo Marathon, but she missed the record by mere four seconds. Except for the 2017 World Championships in London, Birhane Dibaba never finished worse than fifth at the marathon. In 2016, she improved her half marathon best by nearly two minutes to 1:07:47, which implies she is faster than ever. Dibaba, the 2015 Tokyo Marathon Champion, can be the first to win the Tokyo Marathon twice.

4年連続で東京マラソンを走っているエチオピアのベルハネ・ディババは東京マラソンでは失敗したことがない。4回とも必ず2時間23分20秒以内で完走しているだけでなく、昨年は自己ベストも更新した。

ベルハネの初マラソンは2時間33分07秒で4位に入った2012年バルセロナマラソンである。次のマラソンとなったサンパウロマラソンでは自己ベストを更新することはできなかったが、2012年バレンシアマラソンで2時間29分22秒で優勝して以来4大会連続で自己ベストを更新した。2012年バレンシアに続く2013年名古屋ウィメンズマラソンでは2時間23分51秒と大幅に自己記録を更新。その後も2013年フランクフルトマラソンでは2時間23分01秒を記録し、2014年の東京マラソンでは2時間22分30秒まで記録を伸ばしている。ちなみに2013年フランクフルトマラソンで記録した2時間23分01秒も2014年東京マラソンで記録した2時間22分30秒も20歳のランナーとしては最速のタイムである。東京マラソンの後、ロードの10kmのベストを32分59秒、そしてハーフマラソンの自己ベストを1時間09分34秒、と2014年には全ての距離で自己ベストを更新している。2016年の東京マラソンでは21歳になっていたベルハネ・ディババに、渋井陽子が2001年大阪国際女子マラソンで叩き出した21歳の最高記録2時間23分11秒の更新に期待が掛かっていた。しかし、優勝はしたが、渋井の記録には5秒及ばなかった。最近確実に好成績を連発するディババには、2017年ロンドン世界選手権以外のマラソンで5位以下はない。2016年にはハーフマラソンの自己ベストを1時間07分47秒まで伸ばしたディババには更なるマラソン自己ベストの更新が期待できる。既に東京マラソン歴代2位の記録を持つディババの目標は歴代1位の2時間19分47秒だ。2015年のチャンピオンであるディババが勝てば、東京マラソンで初めての複数回優勝者となる。

Tokyo Marathon Invited Athletes – International WOMEN

No. 55

ヘラー・キプロフ (ケニア)

KIPROP, Helah (KEN)



DOB : 7 Apr. 1985
AGE : 32
Height : 164cm
Weight : 48kg

Progressions

Half Marathon	1:07:39	-2013
Marathon	2:21:27	-2016

International Championships Highlights

Marathon	2nd in 2015 & 7th in 2017 World Championships; DNF 2016 Olympic Games
----------	---

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017			1:07:48	2:25:39
2016		/32:28	1:08:11	2:21:27
2015		/32:19	1:08:23	2:24:03
2014		/32:20	1:08:36	2:27:14
2013		/32:26	1:07:39	2:28:02
2012		/31:44	1:08:26	
2011			1:08:57	
2010		/32:30	1:13:03	

Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:28:19	World Championships – London	7th	6 Aug 2017
	2:25:39	London	7th	23 Apr 2017
	DNF	Olympic Games – Rio	DNF	14 Aug 2016
	DNF (pace)	London (pace 1:24:01 25Km)	DNF (pace)	26 Apr 2016
Personal Best	2:21:27	Tokyo	1st	28 Feb 2016
	2:27:36	World Championships – Beijing	2nd	30 Aug 2015
	2:24:03	Tokyo	2nd	22 Feb 2015
	2:27:14	Frankfurt	5th	26 Oct 2014
	2:27:29	Seoul	1st	16 Mar 2014
	2:28:02	Berlin	4th	29 Sept 2013
	DNF (pace)	London	DNF (pace)	21 Apr 2013

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Dec	Kolkata 25K	25Km	2nd	1:26:04
19 Nov	Delhi Half Marathon	Half marathon	4th	1:08:10
6 Aug	World Championships – London	Marathon	7th	2:28:19
23 Apr	London Marathon	Marathon	7th	2:25:39
10 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	6th	1:07:48
29 Jan	Discovery Kenya Cross Country – Eldoret	8Km	10th	28:09

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:08:11
2 Oct	Great Scottish Run	Half marathon	2nd	1:08:52
14 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	DNF	DNF
11 June	Zwolle Half Marathon – Zwolle	Half marathon	1st	1:08:36
15 May	World 10K – Baengaluru	10Km	2nd	32:28
26 Apr	London Marathon	Marathon	DNF (Pace)	DNF (pace)
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:21:27
31 Jan	Discovery Kenya Cross Country – Eldoret	8Km	4th	26:09

2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Delhi Half Marathon	Half marathon	2nd	1:08:35
30 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	2nd	2:27:36
20 June	Mattioni Olomouc Half Marathon	Half marathon	4th	1:09:25
17 May	World 10K – Bangalore	10Km	4th	32:19
26 Apr	Istanbul Half Marathon	Half marathon	2nd	1:08:23
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:24:03

Helah Kiprop won the Tokyo Marathon 2016 with the course record of 2:21:27 and finished second with 2:24:03 in 2015. Although she lost the race for the finish in the final straight on the track, Kiprop won a silver medal in the 2015 World Championships marathon in Beijing.

Kiprop started running European road races in 2005, and in 2009, Kiprop ran her first sub-70 minutes half marathon – 1:09:29 in Nice. She moved up to another level in 2011, when she improved half marathon personal best to 1:08:57 in Lisboa. In 2012 Kiprop improved half marathon personal best further to 1:08:26 at the Berlin Half marathon in April and then recorded 31:44 for the road 10km in June. She continued to improve in 2013, improving half marathon best to 1:07:39 in the RAK half marathon and then won the Berlin Half marathon with 1:07:54. Two weeks later in April she paced the London Marathon to the half-way point and then made her marathon debut in September's Berlin Marathon where she was fourth with 2:28:02, not impressive but quite respectable debut. Following year, in 2014, Kiprop improved her marathon best to 2:27:29 in Seoul in March and then further improved the best to 2:27:14 in the October's Frankfurt Marathon, culminating in 2:24:03 in the Tokyo Marathon 2015 where she improved her best by more than three minutes. Although she failed to improve her personal best in the 2015 World Championships, she won a silver medal. In the Tokyo Marathon 2016, Kiprop further improved her personal best from the Tokyo Marathon 2015 by two and a half minutes. Since February of 2016, Kiprop failed to improve at the marathon. She failed to finish in the Rio Olympics and finished seventh in both the 2017 London Marathon and the 2017 World Championships. However, she continued to run well at the half marathon distance. Since Kiprop improved her personal best for two years in a row in Tokyo, expectation for another personal best in Tokyo is high for Kiprop. In its eleven years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. Kiprop, the Tokyo Marathon 2016 Champion, can be the first to win the Tokyo Marathon twice.

2016年東京マラソンでは当時の大会記録となる2時間21分27秒で優勝し、2015年の東京マラソンでも2時間24分03秒で2位に入ったケニアのヘラー・キプロフは、ラストスパート合戦に敗れたとは言え、2015年世界選手権北京大会では見事銀メダルを獲得している。

2005年から欧州のロードレースを走り始めたキプロフは、2009年ニスーフマラソンで1時間09分29秒と初めて1時間10分の壁を破った。その後2011年のリスボンハーフマラソンでは1時間08分57秒、2012年ベルリンハーフマラソンでは1時間08分26秒、そして2013年RAKハーフマラソンでは現在のベストである1時間07分39秒と順調に記録を伸ばしている。2012年6月にはロードの10kmでも31分44秒の自己ベストを記録した。2013年4月のベルリンハーフマラソンでは1時間07分54秒で優勝し、2週間後、2013年ロンドンマラソンでは、ペースメーカーを務めた。その5カ月後にはベルリンマラソンで初マラソンに挑んでいる。2時間28分02秒で4位、と鮮烈なデビューとは言えないが、その後順調に記録を伸ばした。2014年3月のソウルマラソンで2時間27分29秒、10月のフランクフルトマラソンでは2時間27分14秒、そして2015年東京マラソンでは2時間24分03秒、と初マラソンから3大会連続でマラソンの自己ベストを更新している。特に東京では自己ベストを3分以上更新した。2015年世界選手権では自己ベストの連続更新は途絶えたが、銀メダルを獲得している。そして2016年東京マラソンでは前年の東京で記録した自己ベストを更に2分半も更新した。その後リオ五輪は途中棄権、2017年ロンドンマラソンと世界選手権ではともに7位、とマラソンの成績はぱっとしてないが、短い距離では好成績を連発している。2回連続で大幅に自己ベストを更新した東京で今回も自己ベスト更新が期待される。過去11回の東京マラソンでは、男女ともに2回優勝した選手はいない。2016年のチャンピオンであるキプロフが勝てば、東京マラソンで初めての複数回優勝者となる。

2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Cochin Half Marathon	Half marathon	1st	1:11:40
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	5th	2:27:14
14 Sept	Mattoni Usti Half Marathon	Half marathon	2nd	1:10:48
6 Sept	Birell Grand Prix – Praha	Half marathon	4th	32:33
14 June	Zwolle Half Marathon – Zwolle	Half marathon	1st	1:09:46
6 June	Oelder Sparkassen City Laug	10Km	1st	32:20
18 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	5th	33:19
16 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	1st	2:27:29
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	4th	1:08:36

2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	1st	1:11:54
29 Sept	Berlin Marathon	Marathon	4th	2:28:02
19 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	6th	32:26
21 Apr	London Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
7 Apr	Vattenfall Berliner Halbmarathon	Half marathon	1st	1:07:54
15 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	6th	1:07:39
13 Jan	Halve Marathon von Egmond	Half Marathon	1st	1:10:55

2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Tuskys Wareng Cross Country – Eldoret	8Km	4th	27:54
30 Sept	Delhi Half marathon	Half marathon	3rd	1:11:18
29 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	3rd	1:15:56
10 June	Zilveren Kruis Achmea Half – Zwolle	Half marathon	1st	1:09:41
3 June	Zwitsersloot Dakrun – Groesbeek	10Km	1st	31:44
27 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	1st	32:22
12 May	Goteborgsvarvet	Half marathon	4th	1:10:09
1 Apr	Berliner Halbmarathon	Half marathon	2nd	1:08:26

東京マラソン招待選手—海外女子

ATHLETES

No. 56

アンナ・ハーナー (ドイツ)

HAHNER, Anna (GER)



DOB : 20 Nov. 1989
AGE : 28
Height : 165cm
Weight : 48kg

Personal Bests

Half Marathon	73:26	-2014
Marathon	2:26:44	-2014

International Championships Highlights

Marathon
81st in 2016 Olympic Games

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		/33:45		2:28:32
2016		/33:55	74:03	2:30:35
2015		/33:58	75:14	2:30:50
2014		/34:14	73:35	2:26:44

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:28:32	Berlin	5th	24 Sept 2017
	2:45:32	Olympic Games – Rio de Janeiro	81st	14 Aug 2016
	2:30:35	Hannover	1st	10 Apr 2016
	2:30:50	Berlin	13th	27 Sept 2015
	2:38:42	Rio de Janeiro	2nd	26 July 2015
	2:30:50	Wien	5th	12 Apr 2015
Personal Best	2:26:44	Berlin	7th	28 Sept 2014
	2:28:59	Wien	1st	13 Apr 2014
	2:27:55	Frankfurt	8th	27 Oct 2013
	2:30:57	Berlin	8th	30 Sept 2012
	2:30:14	Dusseldorf	6th	29 Apr 2012

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Dec	North Shore – Auckland	5000m	2nd	17:04.46
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	5th	2:28:32
3 Sept	German 10K champ – Bad Liebenzell	10Km	2nd	33:45
19 Mar	Citylauf in Dresden	10Km	5th	35:57

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	81st	2:45:32
10 July	European Championships – Amsterdam	Half marathon	74th	1:18:41
28 May	ING Night Marathon – Luxembourg	Half marathon	1st	1:17:04
13 May	Adidas Boost Meeting – Herzogenaurach	10000m	DNF	DNF
10 Apr	HAIJ Marathon Hannover	Marathon	1st	2:30:35
20 Mar	Citylauf in Dresden	10Km	1st	33:55
14 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half marathon	9th	1:14:03
22 Jan	Capital Classic – Wellington	3000m	9th	9:38.80
1 Jan	Tauranga Twilight Meeting	3000m	3rd	9:49.65

2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Dec	Auckland Bays Night	5000m	5th	16:39.29
11 Oct	Bad Hersfelder Lollislauf half marathon	Half marathon	2nd	1:19:44
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	13th	2:30:19
20 Sept	Tubinger Erbe – Lauf	10Km	6th	36:33
23 Aug	Karnten Lauf Halbmarathon – Klagenfurt	Half marathon	6th	1:15:14
26 July	Maratona Caixa do Rio de Janeiro	Marathon	2nd	2:38:42
13 June	Internationaler Neusser Sommernachtslauf	10Km	1st	35:36
12 June	Oelder Sparkssen City Lauf	10Km	9th	35:10
12 Apr	Vienna City Marathon	Marathon	5th	2:30:50
22 Mar	Citylauf in Dresden	10Km	1st	33:58

Anna Hahner, who finished hand in hand with her twin sister Lisa in the Rio Olympic Marathon, was fifth in the 2017 Berlin Marathon. She was the top European in Berlin.

Anna made her marathon debut at the 2012 Dusseldorf Marathon and finished sixth with 2:30:14. Unfortunately, it was 15 seconds short of the time required to be selected for the London Olympic German marathon team. Although she failed to improve her marathon personal best in her next marathon, the 2012 Berlin Marathon, Anna did improve her marathon best to 2:27:55 in the 2013 Frankfurt Marathon. She was the top European in the race. Lisa also ran the Frankfurt Marathon, finishing 11th. In April of 2014, at the Vienna City Marathon, Anna cracked 2:30 again, and in September of the same year, she improved her marathon best to 2:26:44 when she finished seventh one place behind Kayoko Fukushi in Berlin. It was her first marathon personal best in a year. Anna ran three marathons in 2015, but failed to crack 2:30 each time. However, in the Olympic year of 2016, the twin ran the Hannover Marathon, where Anna was first and Lisa was fifth. They were both selected to represent Germany in the Rio Olympic Games. Unfortunately, sisters finished 81st and 82nd with 2:45 clocking, the slowest time of their career. They were criticized by some quarter for not doing their best at the Olympic Games. A year after the Olympics, at the 2017 Berlin Marathon, Anna cracked 2:30 for the fourth time with 2:28:32. Note that Anna cracked 2:30 in the 2014 Vienna City Marathon and then followed it up with the personal best in the Berlin Marathon five month later. Since she ran well in the 2017 Berlin Marathon, could she possibly follow it up with another personal best in Tokyo?

リオ五輪のマラソンで双子の姉妹リサと手をつないでフィニッシュラインを駆け抜けたドイツのアンナ・ハーナーは、2017年ベルリンマラソンでは欧州勢で最上位となる5位に入っている。

2012年のデュッセルドルフマラソンでマラソンに初挑戦したアンナは、2時間30分14秒で6位に入ったが、ロンドン五輪選考タイムとして設定された2時間30分にはわずかに届かず五輪代表の座を逃してしまっただけでなく、2012年ベルリンマラソンでは自己ベストを更新できなかったが、2013年フランクフルトマラソンでは2時間27分55秒の自己ベストで欧州勢最上位となる8位に入った。このレースはリサと初めて同じマラソンを走った大会でもあり、リサは11位だった。翌2014年の4月にはウイーンで再び2時間30分を切り、9月のベルリンマラソンでは約1年ぶりの自己ベストとなる2時間26分44秒で福士加代子に次ぐ7位に入っている。2015年には3回マラソンを走ったが一度も2時間30分を切ることはできなかった。しかし、五輪イヤーとなった2016年には姉妹でハンノーバーマラソンを走り、優勝したアンナは5位のリサとともに五輪代表に選ばれた。しかし残念ながらリオでは2人とも2時間45分台の人生最悪のマラソンタイムで81位と82位に終わった。「ベストを尽くさなかった」と姉妹を批判する人もいたという。しかし、アンナは2017年ベルリンマラソンで4度目の2時間30分切りとなる2時間28分32秒を記録した。2014年にはウイーンで2時間30分を切り、5カ月後のベルリンで自己ベストを記録している。その流れで、好調だったベルリンマラソンから5カ月後の東京で自己ベストの走りが予想される。

2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Dec	Peurbacher Raiffeisen Silvesterlauf	5.1Km	9th	16:57
12 Oct	Bad Hersfelder Lollislauf Half Marathon	Half marathon	2nd	1:16:13
28 Sept	Berlin Marathon	Marathon	7th	2:26:44
21 Sept	Tubingen ERBE – Lauf	10Km	4th	36:01
24 Aug	Karnten Lauf Halbmarathon – Klagenfurt	Half marathon	3rd	1:13:35
29 June	Standlauf Munchen	Half marathon	1st	1:15:16
14 June	Schweizer Frauenlauf 5k – Bern	5Km	4th	16:45
6 June	Oelder Sparkassen City Lauf	10Km	7th	34:14
19 Apr	Int'l Paderborner Osterlauf	10Km	9th	34:20
13 Apr	Vienna City Marathon – Wien	Marathon	1st	2:28:59

Tokyo Marathon Invited Athletes – International WOMEN

No. 57

エイミー・クラッグ (アメリカ)

CRAGG, Amy (USA)



DOB : 21 Jan. 1984
AGE : 34
Height : 162cm
Weight : 45kg

▶ Personal Bests

10000m	31:10.69	-2012
Half Marathon	1:08:27	-2017
Marathon	2:27:03	-2011,2014

▶ International Championships Highlights

5000m	
15th in 2011 World Championships 10000m	
11th in 2012 Olympic Games	
Half marathon	
33rd in 2009 World Half Marathon Championships	
World Cross Country Championships	
62nd in 2008, 25th in 2010	
Marathon	
3rd in 2017 World Championships; 9th in 2016 Olympics	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		31:17.20	1:08:27	2:27:18
2016			1:09:50	2:28:20
2015	15:30.43	32:03.95	1:12:04	
2014	15:25.94	32:18.81		2:27:03
2013	15:09.59	32:31.28		2:42:50
2012	15:59.05	31:10.69		2:27:17
2011	15:14.31		1:11:22	2:27:03
2010	16:39.85	32:28.77	1:11:19	
2009	15:43.99	32:56.20	1:13:20	
2008	15:47.62	32:18.72		
2007	15:50.19	32:30.37		

▶ Marathon career (AWMM is indicated in BOLD)

	Time	Race	Place	Date
	2:27:18	World Championships – London	3rd	6 Aug 2017
	2:28:25	Olympic Games – Rio de Janeiro	9th	14 Aug 2016
	2:28:20	US Olympic Games – Los Angeles	1st	13 Feb 2016
	DNF	Boston	DNF	20 Apr 2015
Personal Best	2:27:03	Chicago	5th	12 Oct 2014
	2:42:50	New York	19th	3 Nov 2013
	2:27:17	USOT – Houston	4th	14 Jan 2012
Personal Best	2:27:03	Los Angeles	2nd	20 Mar 2011

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships – London	Marathon	3rd	2:27:18
5 May	Payton Jordan Cardinal Invitational – Palo Alto	10000m	2nd	31:17.20
20 Mar	NYC Half	Half Marathon	5th	1:09:38
5 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:08:27

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	9th	2:28:25
26 June	BAA 10K – Boston	10Km	3rd	31:31
5 June	Rock n Roll San Diego Marathon & Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:09:50
13 Feb	USA Olympic Trials – Los Angeles	Marathon	1st	2:28:20

▶ 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Dec	Rock n Roll San Antonio Marathon & Half Marathon	Half marathon	4th	1:12:42
4 Oct	Twin Cities Marathon & 10 Mile – St Paul	10 Miles	14th	55:14
7 Sept	New Haven Road Race	20Km	14th	1:11:22
16 Aug	Falmouth Road Race – Falmouth	7 Miles	5th	37:53
25 June	USA T&F Champ – Eugene	10000m	4th	32:03.95
13 June	Boston Twilight Meet #4 – Waltham	5000m	5r2	15:30.43
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
15 Mar	Gate River Run (US 15K Champ) – Jacksonville	15Km	1st	50:18
18 Jan	Rock n Roll Arizona Half marathon	Half marathon	1st	1:12:04

After competing in track events at the global championships in 2011, 2012 and 2013, Amy Cragg represented the US at the marathon in the 2016 Olympic Games. Following year, in the 2017 World Championships marathon, Cragg finished third with the finishing time equal to that of second place finisher.

For Cragg (formerly Hastings), who won the 5000m in the 2005 NCAA Indoor Championships, 2011 was a turning point of her running career. In 2011, Cragg improved 5000m personal best by nearly 30 seconds and finished second in the US national championships. She qualified for the World Championships and finished 14th. Following year, in 2012, Cragg improved her 10000m best by more than a minute and won the US Olympic Trials. She ran in the Olympics for the first time and finished 11th. Another year later, in 2013, after finishing 14th at 10000m, Cragg decided to concentrate at the marathon for the future championships. Incidentally, in 2009 Cragg ran in the World Half Marathon Championships, but was dismal 31st in the race. Cragg made her marathon debut in Los Angeles and finished second with 2:27:03, which still stands as her personal best. However, in 2012, at the US Olympic Trials, Cragg was fourth and thus missed making the US Olympic marathon team. Later, in the 2014 Chicago Marathon, Cragg matched her personal best she recorded in her debut marathon. Cragg won the 2016 US Olympic Trials Marathon and ran in the Olympic Marathon in Rio. Unfortunately, she was only ninth. However, in the following year, in the World Championships, Cragg finally won the global championships medal. Incidentally Amy's husband, Alistair Cragg is also an elite runner, who finished 12th at 5000m in the 2004 Olympics as well as the 2011 World Championships.

Although her marathon personal best is relatively modest 2:27, Cragg's 10000m best is quite impressive 31:10.69. Last May, Cragg recorded 31:17.20 for the 10000m, second fastest time of her career. Considering these 10000m time, Cragg have much faster marathon in her. Since Cragg improved her half marathon personal best by more than a minute to 1:08:27 last year in the Kagawa Marugame Half Marathon, Cragg ought to be able to run much faster marathon.

2011年、2012年、そして2013年とトラック種目でグローバル選手権に出場した米国のエイミー・クラッグ(旧姓ヘースティングス)は、2016年五輪ではマラソンに出場している。そして翌2017年世界選手権でもマラソンに出場して、2位と同タイムで3位に入り銅メダルを獲得したのである。

2005年全米大学室内選手権の5000mで優勝したクラッグにとって転機のは2011年だった。その年5000mの自己ベストを30秒近くも縮めたクラッグは、全米選手権で2位となり、世界選手権に出場して14位に入ったのである。翌2012年には10000mで1分以上自己ベストを越えた全米五輪選考会で優勝した。初めての五輪に出場し、11位に入っている。翌2013年の世界選手権でも10000mに出場したが14位に終わったクラッグは、これからはマラソンでグローバル選手権を目指すと言っている。ちなみに2009年にはハーフマラソンにも進出、世界ハーフマラソン選手権に出場したが、31位と振るわなかった。2011年にはマラソンにも進出、初マラソンでは今も自己ベストである2時間00分03秒で2位に入っている。2012年にはマラソンの全米五輪選考会に出場したが4位に終わり五輪出場を逃した。その後2014年のシカゴマラソンでは初マラソンでの記録に並ぶ2時間27分03秒を再び記録した。クラッグは2016年の全米五輪選考会のマラソンで優勝して念願の五輪でマラソン出場を果たした。しかし残念ながらリオでは9位と入賞を逃している。しかし翌年の世界選手権では世界大会で初めてメダルを獲得したのである。ちなみにエイミーの夫は2004年五輪と2011年世界選手権の5000mで12位のアリステア・クラッグである。

マラソンの自己ベストは2時間27分台、と少し物足りないクラッグだが、10000mのベストは31分10秒69で、昨年の5月に31分17秒20の自己2番目のタイムを記録しているのでも、もっと速いマラソンのタイムが出せるはずである。昨年は香川丸亀ハーフマラソンで1時間08分27秒、と1分以上も自己ベストを更新しているのだ、マラソンでも自己ベストが期待されているのだ。

▶ 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	5th	2:27:03
1 Sept	New Haven Road Race	20Km	2nd	1:08:54
26 July	Quad-City Times Bix 7	7 miles	7th	38:27
4 July	Peachtree Road	10Km	1st	32:16
25 June	USATF Track and Field Championships – Sacramento	10000m	3rd	32:18.81
14 June	New York Mini 10K	10Km	6th	32:33
5 June	Adrian Martinez Classic – Concord	5000m	1st	15:25.94
24 May	Westfield Flat Fast 5K	5Km	2nd	15:20
19 Apr	BAA 5K	5Km	10th	15:45
15 Mar	Gate river run 15k – Jacksonville	15Km	19th	51:57

▶ 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	New York City Marathon	Marathon	19th	2:42:50
11 Aug	World Championships – Moskva	10000m	14th	32:51.19
27 July	Gert Rasschaert Memorial – Ninove	5000m	9mx	15:10.23
6 July	Meeting Areva – Paris	5000m	13th	15:28.79
23 June	USA Athletics Championships – Des Moines	5000m	DNF	DNF
20 June	USA Athletics Championships – Des Moines	10000m	4th	32:31.28
8 June	Boston Twilight Meet #4 – Waltham	5000m	12r3	15:09.59
17 May	USATF High Performance – Eagle Rock	5000m	4th	15:17.35
28 Apr	Payton Jordan Cardinal Invitational – Palo Alto	5000m	13r1	15:44.93
30 Mar	Westfield Flat Fast 5K	5Km	2nd	15:32
16 Mar	St Patrick's Road Race 10K – Holyoke	10Km	1st	33:32

▶ 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Yokohama Women's Marathon	Marathon	DNF	DNF
3 Aug	Olympic Games – London	10000m	11th	31:10.69
25 June	US Olympic Trials – Eugene	5000m	9h2	15:59.05
22 June	US Olympic Trials – Eugene	10000m	1st	31:58.36
2 June	Prefontaine Classic – Eugene	3000m	8th	8:58.21
29 Apr	Payton Jordan Cardinal Invitational – Palo Alto	10000m	2nd	31:19.87
14 Jan	US Olympic Trials – Houston	Marathon	4th	2:27:17

東京マラソン招待選手—海外女子

ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Athletes – International WOMEN

No. 58

メセレト・デファー (エチオピア)

DEFAR, Meseret (KEN)



DOB : 19 Nov. 1983
AGE : 34
Height : 155cm
Weight : 42kg

▶Personal Bests

5000m	14:12.88	-2008
10000m	29:59.20	-2009
Half Marathon	66:09	-2013

▶International Championships Highlights

3000m	2nd in 1999 World Youth Champ; 1st in 2002 World Junior Champ; 1st in 2004, 2006, 2008 & 2010 World Indoor Champ; 2nd in 2012 & 2016, 3rd in 2003 World Indoor
5000m	2nd in 2000 World Junior Champ; 1st in 2002 World Junior Champ; 1st in 2004 & 2012 Olympic Games; 2nd in 2008 Olympic Games; 1st in 2007 & 2013 World Champ; 2nd in 2005, 3rd in 2009 & 2011 World Champ
10000m	5th in 2009 World Championships

▶Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2017		/31:14	1:08:46	
2016	15:06.96			
2015				
2013	14:26.90	30:08.06	1:06:09	

▶2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Sept	Rock n Roll Philadelphia Half Marathon	Half marathon	1st	1:08:46
5 Aug	Beach to Beacon 10K – Cape Elizabeth	10Km	3rd	31:14

▶2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 June	Adidas Boost Boston Games	5000m	1st	15:06.96
3 Apr	Carlsbad 5000	5Km	1st	15:02
20 Mar	World Indoor Championships – Portland	3000m	2nd	8:54.26
14 Feb	New Balance Indoor GP – Boston	3000m	1st	8:30.83

▶2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Dec	's-Heerenberg	15Km	1st	50:04

▶2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Sept	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	2nd	1:06:09
29 Aug	Weltklasse in Zurich	5000m	1st	14:32.83
22 Aug	DN Galan – Stockholm	3000m	1st	8:30.29
17 Aug	World Championships – Moskva	5000m	1st	14:50.19
14 Aug	World Championships – Moskva	5000m	1h2	15:22.94
27 June	Sollentuna GP (Folksam GP)	10000m	1st	30:08.06
13 June	Bislett Games – Oslo	5000m	1st	14:26.90
18 May	Shanghai Golden GP	5000m	2nd	14:47.76
24 Feb	Mardi Gras Half Marathon – New Orleans	Half marathon	1st	1:07:25
2 Feb	Weltklasse in Karlsruhe	3000m	1st	8:35.28
5 Jan	Great Edinburgh Cross Country	3Km	2nd	9:51

Meseret Defar, who won the Olympic twice and the World Championships twice, will be making highly anticipated marathon debut in Tokyo.

Defar won the silver medal at 3000m in the 1999 World Youth Championship as well as 5000m in the 2000 World Junior Championships. Two years later in the 2002 World Junior Championships, Defar won both 3000m and 5000m. Thus began Defar's great track career. First Defar won gold in the 2003 All Africa Games. In five World Championships and three Olympic Games, from the 2004 Olympics to the 2013 World Championships, Defar always won a medal. Four of them are gold medals. At 3000m in the World Indoor Championships, Defar won four consecutive gold medals from 2004. She set 5000m world records in 2006 and 2007, and 10000m world record in 2009. In 2009, Defar ventured into indoor 5000m and recorded 29:59.20, fourth fastest time in history at the time. In 2010 she ventured into the half marathon and recorded 1:07:45. Three years later in 2013, Defar improved her half marathon best to 1:06:09, time faster than the Japanese national record. Starting in 2014 Defar went to maternity leave, and came back to compete in late 2015. In March of 2016, Defar won a silver medal at 3000m in the World Indoor Championships. Then in 2017, Defar recorded 1:08:46 for the half marathon. Slowly but surely, Defar is returning to the world class form. Tirunesh Dibaba, who is considered to be a great rival to Defar since 2002, ventured into half marathon in 2012. Tirunesh, who recorded 1:06:56 for the half marathon in 2013, made her marathon debut in the 2014 London Marathon. Tirunesh was third but her time was quite impressive 2:20:35, which was third fastest marathon debut time in history at the time. Since Tirunesh's personal bests from the 5000m to the half marathon are similar to those of Defar, similar time for the marathon is also expected. Can Defar surpass Tirunesh's marathon debut time in Tokyo?

五輪の5000mで2回、そして世界選手権の5000mでも2回優勝しているエチオピアのメセレト・デファーが、満を持して東京で初マラソンに挑戦する。

1999年世界ユース選手権の3000mで銀メダルを獲得したデファーは、翌2000年の世界ジュニア選手権の5000mでも銀メダル。その2年後の2002年の世界ジュニア選手権では3000mと5000mの両種目で金メダルを獲得している。そこからデファーの快進撃が始まったのだ。2003年オールアフリカゲームズでは5000mで金メダルを得た。そして2004年の五輪から2013年の世界選手権まで5回の世界選手権と3回の五輪では必ずメダルを獲ってきたのである。金メダルも4個獲得している。世界室内選手権の3000mでも2004年から4連勝を成し遂げている。2006年と2007年には5000mの世界記録、2009年には室内の5000mでも世界記録も樹立した。2009年には本格的に10000mに参戦、29分59秒20の当時歴代4位のタイムをたたきだしている。そして2010年には本格的にハーフマラソンに進出し、1時間07分45秒を記録した。3年後の2013年には自己ベストを日本記録より遥かに速い1時間06分09秒まで伸ばしている。2014年には産休に入ったデファーは、2015年の末に競技にカムバック、2016年3月には世界室内選手権の3000mで銀メダルを獲得している。そして2017年にはハーフマラソンで1時間08分46秒を記録して少しずつではあるが産休前のレベルに戻りつつある。2002年からデファーのライバルとして多くの名勝負を繰り広げたエチオピアのティルネシュ・ティババは2012年にハーフマラソンに進出している。2013年に1時間06分56秒を記録したティルネシュは、2014年のロンドンマラソンで初マラソンに挑戦した。3位に終わったが、2時間20分35秒と初マラソンのタイムとしては当時歴代3位の好タイムを記録したのである。5000mからハーフマラソンまで自己ベストがティルネシュのベストと同レベルであるデファーの初マラソンには、ティルネシュと同レベルのタイムが期待される。東京では永遠のライバルであるティルネシュの初マラソンでの記録を越えることができるだろうか？

ペースメーカー

ATHLETES

Pacemakers

※年齢は大会当日(平成30年2月25日)のものとなります。/ ※Age as of February 25, 2018

ペースメーカー(男子レース)

Pacemakers for MEN

Pace
1

サイモン・チェプロト (ケニア)

CHEPROT, Simon (KEN)

Personal Best

オスティアハーフ Ostia Half, Rome 59:20 (2013)

生年月日 / Date of Birth : 18 Feb. 1990
年齢・性別 / Age・Sex : 28・男子 Men
身長 / Height : 186cm
体重 / Weight : 59kg

Pace
2

ノア・キゲン (ケニア)

KIGEN, Noah (KEN)

Personal Best

フェンローハーフ Venlo Half 1:00:25 (2017)

生年月日 / Date of Birth : 12 Jun. 1989
年齢・性別 / Age・Sex : 28・男子 Men
身長 / Height :
体重 / Weight :

Pace
3

コスマス・ビレチ (ケニア)

BIRECH, Cosmas (KEN)

Personal Best

アイントホーフエン Eindhoven 2:08:45 (2017)

生年月日 / Date of Birth : 21 Mar. 1986
年齢・性別 / Age・Sex : 31・男子 Men
身長 / Height : 173cm
体重 / Weight : 63kg

Pace
4

アーネスト・ヌゲノ (ケニア)

NGENO, Ernest (KEN)

Personal Best

慶州国際 Gyeongju 2:07:49 (2016)

生年月日 / Date of Birth : 20 May. 1995
年齢・性別 / Age・Sex : 22・男子 Men
身長 / Height : 164cm
体重 / Weight : 51kg

Pace
11

メラク・アベラ (エチオピア/福岡・黒崎播磨)

ABERA, Melaku (ETH)

Personal Best

別府大分毎日 Beppu 2:09:27 (2016)

生年月日 / Date of Birth : 20 Apr. 1994
年齢・性別 / Age・Sex : 23・男子 Men
身長 / Height : 174cm
体重 / Weight : 58kg

Pace
12

サイラス・ジュイ (ケニア/セブスポーツ)

NJUI, Cyrus (KEN)

Personal Best

東京 Tokyo 2:09:10 (2011)

生年月日 / Date of Birth : 11 Feb. 1986
年齢・性別 / Age・Sex : 32・男子 Men
身長 / Height : 171cm
体重 / Weight : 52kg

ペースメーカー(女子レース)

Pacemakers for WOMEN

Pace
21

西山 容平 (徳島・大塚製薬)

NISHIYAMA, Yohei (JPN)

Personal Best

別府大分毎日 Oita 2:20:27 (2013)

生年月日 / Date of Birth : 18 Apr. 1988
年齢・性別 / Age・Sex : 29・男子 Men
身長 / Height : 168cm
体重 / Weight : 55kg

Pace
23

山川 雄大 (徳島・大塚製薬)

YAMAKAWA, Yudai (JPN)

Personal Best

延岡西日本 Nobeoka 2:14:28 (2014)

生年月日 / Date of Birth : 27 May. 1990
年齢・性別 / Age・Sex : 27・男子 Men
身長 / Height : 164cm
体重 / Weight : 55kg

Pace
22

野田 一貴 (徳島・大塚製薬)

NODA, Kazuki (JPN)

Personal Best

実業団ハーフ Yamaguchi/Half 1:04:16 (2017)

生年月日 / Date of Birth : 6 Dec. 1990
年齢・性別 / Age・Sex : 27・男子 Men
身長 / Height : 170cm
体重 / Weight : 55kg

Pace
24

上村 和生 (徳島・大塚製薬)

UEMURA, Kazuki (JPN)

Personal Best

実業団ハーフ Yamaguchi/Half 1:02:58 (2017)

生年月日 / Date of Birth : 13 Jan. 1994
年齢・性別 / Age・Sex : 24・男子 Men
身長 / Height : 170cm
体重 / Weight : 55kg

RUN as ONE - Tokyo Marathon

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon



全国の大会と一緒に、マラソンを盛り上げていきます

Promoting a Nationwide Marathon Movement Together with Marathon Races Throughout Japan

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「Run as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加するランナーの皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外のランナーを対象とした準エリート（国外）を設け、海外からもより高いレベルのランナーが東京マラソンに集まることを期待しています。そして、学生マラソンの競技力向上、未来の日本陸上界を担うランナー発掘を目的とし学生ランナーにも準エリート（学生）を設け、世界レベルの体験の場を提供しています。

“Wild Card Award”の表彰について

準エリートの上位選手には、「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 “Wild Card Award”」が授与されます。この表彰を通じて、走力の高いランナーや競技志向の市民ランナーからの注目を集め、マラソンへの関心向上や、次世代ランナーのチャレンジを応援していきます。



RUN as ONE - Tokyo Marathonネーミングについてマラソンムーブメントが一層盛り上がっていくように、全国のランナー、大会を支える人々や観衆がひとつになるようにとの願いが込められています。

The Run as One - Tokyo Marathon program was introduced at Tokyo Marathon 2015 as a way to contribute to the nationwide surge in marathon interest and link up with other marathon races held throughout the country. This program aims to offer runners the chance to participate in the Tokyo Marathon and to experience racing at the world's top level, improve Japan's athletic capabilities and further increase the number of marathon fans. Starting from Tokyo Marathon 2016, the Semi-Elite (Overseas) category, has been newly established for runners from other countries; this category is expected to attract superior athletes from around the world to join in the Tokyo Marathon. In addition, university student runners now have the opportunity of experiencing world-class competition with the establishment of the Semi-Elite (Students) category, which aims to not only foster the athletic capabilities of student marathon runners, but also help discover Japan's future runners and athletes.

About the Wild Card Award

Top-placing athletes in the Semi-Elite categories will be awarded with the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 “Wild Card Award”. This award will attract attention from both casual and competition-oriented runners alike, and will support increased interest in marathons and endeavors by runners of next generation.



About the Program Name

This name arises from a deeply held desire to see all marathon races, runners, volunteers and spectators throughout Japan come together and be united as “ONE”.

RUN as ONE - Tokyo Marathon

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon

「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」実施概要

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 Program Information

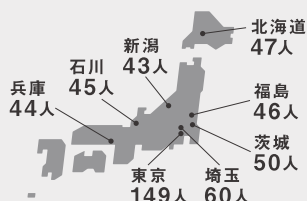
「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」出場対象 RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 Eligibility

準エリート Semi-Elite Athletes

国内

国内在住者(国籍は問わない)で、提携する各都道府県陸上競技協会・提携大会が推薦する日本陸上競技連盟(該当陸協)に登録しているランナー(各都道府県から50人以内)。

2017大会 居住地別参加者数(上位8県)



Japan

Residents of Japan (any nationality) recommended by affiliated track and field associations or associated meets, and registered with the Japan Association of Athletics Federations (up to 50 participants from each prefecture).

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

マラソン Marathon	男子 Men	2:55:00 以内	女子 Women	3:40:00 以内
30km	男子 Men	2:00:00 以内	女子 Women	2:30:00 以内
ハーフ Harf	男子 Men	1:21:00 以内	女子 Women	1:45:00 以内
10km	男子 Men	35:00 以内	女子 Women	40:00 以内

学生

2017年度 日本学生陸上競技連合に登録をしている学生。

- ①第20回日本学生ハーフマラソン選手権大会及び第20回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会出場の内、4年生を中心に20~30名程度。
- ②地区学連を通じ日本学連に推薦:10名程度。
- ③日本学連強化委員会の推薦:10名程度。

Students

Student registered with Inter-University Athletics Union of Japan,

1. 20-30 students centering on college seniors who participated in the 20th All-Japan Inter-University Half Marathon Championship or the 20th All-Japan Inter-University Ladies' Half Marathon Championship.
2. 10 students recommended to the Inter-University Athletic Union by district athletics unions.
3. 10 students recommended by the High Performance Committee of the Inter-University Athletics Union.

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

ハーフ Harf	男子 Men	1:05:00 以内
	女子 Women	1:15:00 以内

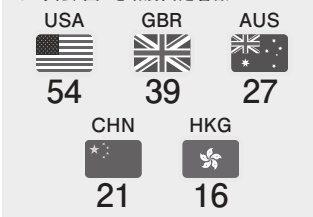
国外

国外在住者(国籍は問わない)で、2016年、2017年に実施された下記対象レースで基準タイムをクリアし、記録を証明するための公式記録(リザルト)を提出できるランナー。(300人程度)

【対象レース】

- ①IAAFのゴールド・シルバー・ブロンズラベルの大会。
 - ②AIMS 公認大会。
- ※提出後東京マラソン財団にて厳正なる選考を行い、当落を通知。

2017大会 国・地域別出走者数(上位5位のみ)



Overseas

Overseas residents (any nationality) who exceed the qualifying time set in the following Qualifying Races held in 2016 and 2017 and are able to submit an official result to certify their record (up to 300 participants).

【Qualifying Races】

- (1) IAAF Gold, Silver and Bronze Label races;
- (2) AIMS-certified races

* The Tokyo Marathon Foundation performs a strict and fair selection of runners, and provides notification of selection results.

エントリー基準タイム Qualifying Times

マラソン Marathon	男子 Men	2:21:01-2:45:00
	女子 Women	2:52:01-3:30:00

一般 General Runners

国内の各提携大会で2016年11月-2017年10月に出走実績があり、各提携大会から抽選などで選出されたランナー。
※提携大会は一定の条件を満たす大会を公募。

Runners who participated in any of the local races affiliated in this program between Nov. 1, 2016 and Oct. 31, 2017, and selected by the races in drawing, etc. *Affiliated races are selected from among those that fulfill all specified requirements.

RUN as ONE - Tokyo Marathon

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 提携一覧

準エリート提携大会・提携陸上競技協会 (56大会・10提携陸協)

都道府県	大会名 / 陸協名
北海道	函館マラソン
青森	青森陸上競技協会
岩手	一関国際ハーフマラソン大会
宮城	仙台国際ハーフマラソン大会
秋田	田沢湖マラソン
山形	高畠ロードレース 酒田つや姫ハーフマラソン大会
福島	猪苗代湖ハーフマラソン 円谷幸吉メモリアルマラソン大会
茨城	勝田全国マラソン つくばマラソン
栃木	大田原マラソン 高根沢町元気あっぷハーフマラソン 大会兼距離走大会
群馬	ぐんまマラソン
埼玉	上尾シティマラソン・ 上尾シティハーフマラソン ふかやシティハーフマラソン
千葉	佐倉朝日健康マラソン 千葉県民マラソン
東京	青梅マラソン大会 府中多摩川マラソン

都道府県	大会名 / 陸協名
東京	板橋 City マラソン 江東シーサイドマラソン大会 いたばりパークサイドハーフマラソン大会 世田谷 246 ハーフマラソン 立川シティハーフマラソン 足立フレンドリーマラソン 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン 東京トライアルハーフマラソン
山梨	山梨陸上競技協会
新潟	新潟県マラソン選手権大会・ しばた女子マラソン競走大会 新潟シティマラソン
富山	カーター記念黒部名水マラソン 富山マラソン
石川	金沢ロードレース 金沢百万石ロードレース
福井	福井陸上競技協会
岐阜	岐阜陸上競技協会
三重	中日三重お伊勢さんマラソン
滋賀	あいの土山マラソン
京都	京都陸上競技協会

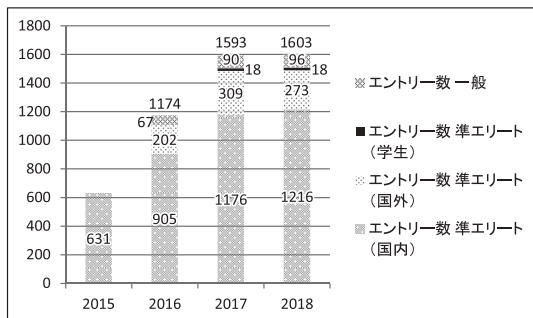
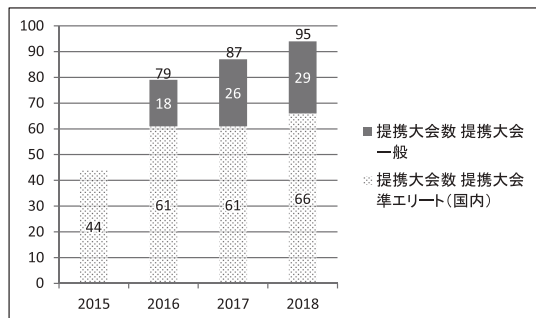
都道府県	大会名 / 陸協名
大阪	大阪陸上競技協会
兵庫	神戸マラソン
奈良	奈良陸上競技協会
和歌山	和歌浦ベイマラソン with ジャズ 紀州口熊野マラソン
鳥取	鳥取マラソン
島根	島根陸上競技協会
岡山	おかやまマラソン
広島	ヒロシマ MIKAN マラソン
山口	防府読売マラソン 下関海響マラソン
徳島	とくしまマラソン
香川	香川丸亀国際ハーフマラソン
愛媛	愛媛マラソン
高知	高知龍馬マラソン
佐賀	さが桜マラソン 伊万里ハーフマラソン
長崎	雲仙小浜SPAリゾートマラソン
熊本	熊本陸上競技協会
大分	大分陸上競技協会
宮崎	青島太平洋マラソン
鹿児島	鹿児島マラソン

一般提携大会 (29大会)

都道府県	大会名
北海道	旭川ハーフマラソン 札幌マラソン
岩手	イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会 宮古サーモン・ハーフマラソン大会
秋田	山田記念ロードレース大会
山形	白鷹若鮎マラソン大会
茨城	坂東市いわい将門ハーフマラソン大会 かずみがうらマラソン兼国際盲人マラソン
群馬	前橋・渋川シティマラソン 伊勢崎シティマラソン 榛名湖マラソン

都道府県	大会名
埼玉	小江戸川越ハーフマラソン
東京	ハイテクハーフマラソン 江東シーサイドマラソン大会 かつしかふれあい RUN フェスタ 東京トライアルハーフマラソン
静岡	しまだ大井川マラソン in リパティ
長野	上田古戦場ハーフマラソン
新潟	柏崎マラソン 白根ハーフマラソン
富山	魚津しんきろうマラソン
京都	舞鶴赤れんがハーフマラソン

都道府県	大会名
岡山	おかやまマラソン
島根	萩・石見空港マラソン全国大会
福岡	ゆほほシーサイドハーフマラソン
大分	仏の里くにさき・とみくじマラソン大会
宮崎	延岡西日本マラソン
鹿児島	出水ツルマラソン
沖縄	おきなわマラソン





TOKYO
MARATHON
2018

■車いすマラソン Wheelchair Marathon

車いす招待選手
Invited Wheelchair Athletes



ヘルメット用
For Helmet



車いすエリート競技者
Elite Wheelchair Athletes



車いす一般
General Wheelchair Participants



■車いす10km 10km Wheelchair Race

車いす
Wheelchair



ヘルメット用
For Helmet



ナンバーカードはレーサー後部、ヘルメット前方、レーサーフレーム左右に着用。
Number cards are put on the front of the helmet, both sides of the racer frame, as well as the back of the racer.

WHEELCHAIR ATHLETES

車いす選手紹介

エリートレース展望／エリート選手リスト 080
Preview of Elite Race / Elite Athletes List

エリートレース募集要項 081
Elite Race Information

レース競技規則 082
Competition Rules

海外招待選手 男子 084
International Invited Athletes MEN

国内招待選手 男子 087
Japanese Invited Athletes MEN

海外招待選手 女子 090
International Invited Athletes WOMEN

国内招待選手 女子 092
Japanese Invited Athletes WOMEN

車いすエリートレース展望

WHEELCHAIR ATHLETES

Preview of Elite Wheelchair Race

東京マラソン車いすレースディレクター
Tokyo Marathon Wheelchair Race Director

副島正純
Masazumi Soejima



昨年の2017大会は新しいコースになり、記録が出ることをイメージしてました。

しかし、初めてのコースということもあり、選手たちはためらって、駆け引きが入り、男子が1時間28分01秒、女子が1時間43分27秒とタイムは伸びませんでした。

大きな上り下りが少なく、車いすマラソンとしては仕掛けどころが難しいイメージの東京マラソン。

フィニッシュ手前の丸の内通りの石畳は思った以上に長くって跳ね上がり、こぎにくく、そして行幸通りへの最終コーナーが勝負どころとなりました。2017大会では、男子が6人、女子は3人がフィニッシュまで競り合いました。

そして、新コースとなって2回目となる今年は集団から逃げ切る、新たな展開を誰かがつくることを期待して選手招聘をしました。

海外からは、男子が絶対的な強さを持つマルセル・フグ(SUI)をはじめ、クート・フェンリー(AUS)、エルンスト・バンダイク(RSA)、ジョシュア・ジョージ(USA)、ラファエル・ヒメネス(SPA)、女子は昨年の優勝者アマンダ・マグローリー(USA)、マヌエラ・シャー(SUI)、タチアナ・マクファーデン(USA)、スザンナ・スカロニ(USA)と、世界ランキングの上位選手を招待しました。

国内からは、男子がディフェンディングチャンピオンの渡辺勝、鈴木朋樹、吉田竜太、山本浩之、西田宗城、女子は中山和美、喜納翼を招待選手として挑みます。

昨年走った選手、今年初めて走る選手、新たな攻めのレースプランで世界記録を狙ってもらいたいです。

丸の内へ最初に帰ってくるのは誰なのか？誰がフィニッシュテープを切るのか？

今年もスタートからフィニッシュまで、車いす選手の熱い走りへ、応援をよろしくお願致します。

Because of the characteristics of the new course adapted for the 2017 edition of the race, I was imagining a faster winning time. However, perhaps because the course was new, the athletes were reluctant to push the pace and thus the winning time for the men's race was relatively sluggish 1:28:01 while the winning time for the women's race was also slow 1:43:27.

Due to the lack of excessive undulation in the new Tokyo Marathon course, it may have been hard for the athletes to find the spot to make their move during the race. The final stretch of the race on Marunouchi Naka-dori Street gave trouble to athletes because the street is long and uphill and is covered with cobblestones, which makes hard to push the rims. Thus the race was decided over the final turn on to the Gyoko-dori Avenue.

In 2017 the men's race came down to six men going for the win, while the women's race came down to three women competing for the top spot on the podium.

This is the second year with the new course, and invited athletes were selected in hope that someone will make a big move during the race to make the race more exciting.

Top elite athletes around the world are invited to this year's Tokyo Marathon. The men's field from abroad is headed by Marcel Hug (SUI), overwhelming favorite. He will be joined by Kurt Fearnley (AUS), Ernest Van Dyk (RSA), Joshua George (USA) and Rafael Jimenez (ESP). The women's field includes Amanda McGrory (USA), the defending champion, Manuela Schar (SUI), Tatyana McFadden (USA) and Susannah Scaroni (USA). Japanese athletes on the men's side include Sho Watanabe, the defending champion, Tomoki Suzuki, Ryota Yoshida, Hiroyuki Yamamoto and Hiroki Nishida. On the women's side Kazumi Nakayama and Tsubasa Kina will challenge the world's best.

It is hoped that athletes, who competed last year as well as those who is making the Tokyo Marathon debut, will employ new race plan to go after the world record.

Who will be the first to come into Marunouchi district? Who will cross the finish line first?

The race will be very exciting from the start to the finish, so please come out and show your support for the athletes.

車いすエリート選手リスト (男子) Elite Wheelchair Athletes List (Men)

No.	氏名	Name	国/登録陸協名 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB
1001	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	32	1:18:04	2017 ポストン 1:18:04
1002	エルンスト・バンダイク	VAN DYK, Ernst	RSA	南アフリカ	44	1:18:04	2017 ポストン 1:18:04
1003	クート・フェンリー	FEARNLEY, Kurt	AUS	オーストラリア	36	1:26:00	2016 東京 1:18:51
1004	ジョシュア・ジョージ	GEORGE, Joshua	USA	アメリカ	33	1:21:47	2017 ポストン 1:21:47
1005	ラファエル・ヒメネス	JIMENEZ, Rafael	SPA	スペイン	39	1:22:09	2017 ポストン 1:22:09
1006	サイモン・ローソン	LAWSON, Simon	GBR	イギリス	35	1:25:06	2017 ポストン 1:25:06
1007	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	福岡		51	1:19:32	2017 ポストン 1:19:32
1008	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	バカラバシフィック	33	1:20:28	2017 ポストン 1:20:28
1009	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	36	1:23:18	2017 ポストン 1:23:18
1010	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	千葉	トヨタ自動車	23	1:26:03	2016 大分国際 1:26:00
1011	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	凸版印刷	26	1:26:22	2017 ソウル国際 1:26:22
1021	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	ヤフー株式会社	43	1:23:07	2017 ポストン 1:20:52
1022	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオ SOEJIMA	47	1:26:02	2016 東京 1:18:50
1023	ジョシュア・キャンディ	CASSIDY, Joshua	CAN	カナダ	33	1:26:03	2017 ポストン 1:18:25
1024	久保 恒造	KUBO, Kozo	北海道	日立ソリューションズ	36	1:27:42	2017 ソウル国際 1:23:24
1025	ピエール・フェルバンク	FAIRBANK, Pierre	FRA	フランス	46	1:28:52	2017 ニューヨーク 1:28:52
1026	ハインツ・フライ	FREL, Heinz	SUI	スイス	60	1:28:58	2016 大分 1:20:14
1027	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツーカー	39	1:30:40	2016 大分国際 1:30:40
1028	廣道 純	HIROMICHI, Jun	大分	プーマジャパン	44	1:37:27	2017 東京 1:23:23
1029	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi	大分	ホンダアスリート	44	1:39:16	2017 ソウル国際 1:30:55
1030	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リーフラス	45	1:41:43	2016 大分国際 1:22:17
1031	西 勇輝	NISHI, Yuki	東京	野村不動産パートナーズ	24	1:44:41	2017 東京 1:44:41
1032	佐藤 健	SATO, Ken	埼玉	コロニアスポーツウェア	34	1:45:01	2016 大分国際 1:45:01
1033	武村 浩生	TAKEMURA, Koki	福岡	ヤフー	30	1:45:45	2017 ソウル中央 1:45:45
1034	西原 宏明	NISHIHARA, Hiroaki	京都	京都 TFC	37	1:47:15	2017 東京 1:39:27

車いすエリート選手 (女子) Elite Wheelchair Athletes (Women)

No.	氏名	Name	国/登録陸協名 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB
1101	マヌエラ・シャー	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	33	1:28:17	2017 ポストン 1:28:17
1102	アマンダ・マグローリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	31	1:33:13	2017 ポストン 1:33:13
1103	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	26	1:33:15	2017 ポストン 1:33:15
1104	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	28	1:35:05	2017 ポストン 1:35:05
1105	喜納 翼	KINA, Tsubasa	沖縄	タイヤランド沖縄	27	1:46:11	2017 東京 1:44:56
1106	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	神奈川	アクセンチュア	34	1:46:14	2017 東京 1:46:14

東京マラソン2018車いすエリートレース募集要項

WHEELCHAIR ATHLETES

Wheelchair Elite Race Information

※大会名称などその他の情報▶ P6

特別協賛	東京メトロ
日程	2018年2月25日(日) 9:05 スタート
コース	東京マラソンコース(日本陸上競技連盟・IAAF / AIMS 公認コース) 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行き通り
参加資格	(1)次の①・②・③の条件を満たす競技者 ①大会当日(2018年2月25日)現在満19歳以上の者 ②2017年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2018年World Para Athletics登録予定者で大会当日までに登録を完了し、World Para Athletics国際クラス(T53・T54)を所有している者 ③World Para Athletics公認大会で、2015年2月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者 (2)日本パラ陸上競技連盟が推薦し、大会が招待する国内・国外の競技者
対象クラス	T53/T54(World Para Athletics国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
競技規則	2016-2017 World Para Athletics競技規則(大会開催日に適用される最新のWorld Para Athletics競技規則)及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手にWorld Para Athletics競技規則の広告に関する規程が適用される。
定員	男女計30人(招待選手含む)
参加料	10,800円※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
参加申込	(1)期間 2017年12月11日(月)から2018年1月9日(火)17:00 必着 (2)方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2018@tokyo42195.orgへ「車いすエリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出場者決定表	1月25日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。 「東京マラソン2017車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞金	1位 1,000,000円、2位 500,000円、3位 300,000円、4位 100,000円、5位 80,000円、6位 60,000円、7位 40,000円、8位 20,000円 世界記録 1,000,000円(男女1位のみ) 日本記録 500,000円(男女国内1位のみ) 大会記録 200,000円(男女1位のみ) ※賞金対象は、車いすエリートレースの参加者。 ※金額はいずれも税込み。
選手受付	2月24日(土) 13:00～16:00 京王プラザホテル 2月25日(日) 6:30～7:00 // ※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。
テクニカルミーティング	※希望者のみ 2月24日(土) 17:00～京王プラザホテル
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
その他	(1)主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 (2)主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 (3)競技者が大会参加中に被った傷害または疾病に対しては、応急処置まで行う。 (4)ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 (5)TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例(TUE)」の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(http://www.playtruejapan.org/)を確認すること。 (6)未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ①本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf からダウンロード出来る。 ②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 (7)大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (8)賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 (9)本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

東京マラソン2018車いすレース競技規則

WHEELCHAIR ATHLETES

1	本大会は、2018-2019 World Para Athletics* 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。												
2	全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。												
3	競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。												
4	本大会では、性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。												
5	競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。												
6	競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。												
7	競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。												
8	競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。												
9	競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。												
10	競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。												
11	競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなくてはならない。												
12	クラスについては、下記の国際クラス分け表による。												
13	本大会では、ドーピング検査を実施する。												
14	<p>関門の制限時間を次のとおり設ける。</p> <table border="0"> <tr> <td>5. 6km地点</td> <td>20分00秒</td> </tr> <tr> <td>9. 9km地点</td> <td>35分00秒※</td> </tr> <tr> <td>14. 6km地点</td> <td>45分00秒</td> </tr> <tr> <td>30. 1km地点</td> <td>1時間35分00秒</td> </tr> <tr> <td>39. 8km地点</td> <td>2時間00分00秒</td> </tr> <tr> <td>フィニッシュ地点</td> <td>2時間10分00秒</td> </tr> </table> <p>※ 9. 9kmは、車いす10Kmレース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行できない。</p>	5. 6km地点	20分00秒	9. 9km地点	35分00秒※	14. 6km地点	45分00秒	30. 1km地点	1時間35分00秒	39. 8km地点	2時間00分00秒	フィニッシュ地点	2時間10分00秒
5. 6km地点	20分00秒												
9. 9km地点	35分00秒※												
14. 6km地点	45分00秒												
30. 1km地点	1時間35分00秒												
39. 8km地点	2時間00分00秒												
フィニッシュ地点	2時間10分00秒												
15	<p>給水所を次の通り設ける。</p> <p>5km、7km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30km、32km、35km、38km、40km地点付近</p>												
16	<p>車いすについては、次のとおりとする。</p> <p>(1) 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。</p> <p>(2) 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、また2つの後輪の車軸を結んだ幅より広く突き出ているはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。</p> <p>(3) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。</p> <p>(4) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んで、後輪70cm・前輪50cmを超えてはならない。</p> <p>(5) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。</p> <p>(6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。</p> <p>(7) ミラーの使用を禁止する。</p> <p>(8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。</p> <p>(9) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。</p> <p>(10) フェアリングの使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。</p> <p>(11) 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。</p> <p>(12) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。</p>												

国際クラス分け表

T53	このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がなため体幹は膝から離れて起きる。駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベルT1-7と同等の活動制限がある。
T54	<p>このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。</p> <p>車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベルT8-S4レベルと同等の活動制限がある。</p>

(※) 上記は、World Para Athletics Classification Rules and Regulations 2016.1.4 改定版【日本語翻訳版】から抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
<https://jaafd.org/sports/basic-knowledge#rule>

1	This marathon will be held in compliance with the World Para Athletics Rules and Regulations for 2018-2019*.												
2	All participating athletes must follow World Para Athletics Rules and Regulations regarding advertising and displays on clothes and wheelchairs during World Para Athletics Recognized Competitions.												
3	Athletes must follow the designated lanes in the course from start to finish.												
4	Drafting behind an athlete from gender within a distance of 5m or less is prohibited.												
5	Any athletes who intentionally interfere with, or touch other athletes during the race will be disqualified.												
6	Wearing a helmet is required.												
7	Only the race officials are permitted to assist an athlete in case of crash or tumble during the race. Athletes will be disqualified if he/she is assisted in any manner influential to the better race result.												
8	Only the race officials are allowed to assist the repair of wheels and wheelchairs during the race.												
9	Athletes must retire immediately from the race when so ordered by the medical officials or the race officials.												
10	Athletes must obey the directions of the race officials and police officers.												
11	Athletes must ensure that no part of their lower limbs touch the ground or track during the event.												
12	Classification: Please refer to the CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES below.												
13	Doping Control will be conducted at Tokyo Marathon 2017.												
14	<p>Athletes must reach the following checkpoints within the given times:</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>5.6km checkpoint</td> <td>20 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>9.9km checkpoint</td> <td>35 min 00 sec*</td> </tr> <tr> <td>14.6km checkpoint</td> <td>45 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>30.1km checkpoint</td> <td>1 hour 35 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>39.8km checkpoint</td> <td>2 hour 00 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>Finish</td> <td>2 hour 10 min 00 sec</td> </tr> </table> <p>*9.9km checkpoint is Finish of wheelchair 10km race If any athletes fail to arrive at any checkpoint in time, he / she will be forcibly picked up.</p>	5.6km checkpoint	20 min 00 sec	9.9km checkpoint	35 min 00 sec*	14.6km checkpoint	45 min 00 sec	30.1km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec	39.8km checkpoint	2 hour 00 min 00 sec	Finish	2 hour 10 min 00 sec
5.6km checkpoint	20 min 00 sec												
9.9km checkpoint	35 min 00 sec*												
14.6km checkpoint	45 min 00 sec												
30.1km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec												
39.8km checkpoint	2 hour 00 min 00 sec												
Finish	2 hour 10 min 00 sec												
15	<p>Drinks will be provided at the following points. 5km, 7km, 10km, 12km, 15km, 17km, 22km, 25km, 27km, 30km, 32km, 35km, 38km, 40km</p>												
16	<p>Regulations for wheelchairs are as follows:</p> <p>(1)At World Para Athletics Competitions the wheelchair shall have two(2) large wheels and one(1) small wheel In other Recognized Competitions the wheelchair may have two(2) large wheels and a maximum of two(2) small wheels. In all competitions the small wheel(s) must be at the front of the chair.</p> <p>(2)Wheelchair Dimensions. No part of the main body(defined as the vertical plane of the back edge and wheels including the seat) of the wheelchair may extend forwards beyond the hub of the front wheel and be wider than the inside of the hubs of the two rear wheels. The maximum height from the ground of the main body of the wheelchair shall be 50 cm.</p> <p>(3)No part of the wheelchair may protrude behind the vertical plane of the back edge of the rear tyres.</p> <p>(4)Wheel Dimensions The maximum diameter of the large wheel including the inflated tire shall not exceed 70 cm. The maximum diameter of the small wheel including the inflated tire shall not exceed 50 cm.</p> <p>(5)Only one plain, round, push-rims allowed for each large wheel.</p> <p>(6)No mechanical gears or levers are allowed to propel the wheelchair.</p> <p>(7)The use of mirrors is not permitted in wheelchair track or road races.</p> <p>(8)Only hand operated, mechanical steering devices are allowed.</p> <p>(9)The athlete must be able to turn the front wheel(s) manually both to the left and to the right.</p> <p>(10)The use of fairings or similar devices specifically designed to improve the aerodynamic performance of the athlete in the wheelchair are not permitted.</p> <p>(11)Wheelchairs will be measured and inspected in the Call Room and once inspected must not be taken from the competition area before the start of the event. Wheelchairs can be re-examined by the officials before or after the event.</p> <p>(12)It is the responsibility of the athlete to ensure that no part of their lower limbs can fall from their wheelchair to the ground or track during the event.</p>												

CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES

T53	<p>•These athletes will have normal arm muscle power with no abdominal or lower spinal muscle activity. Use different techniques to compensate for lack of abdominal musculature including lying horizontal. In general when acceleration occurs, the trunk rises off the legs due to a lack of abdominal muscles to hold the trunk down; there is no active downward movement of the trunk to assist with propulsion. Usually have to interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T1-7</p>
T54	<p>•These athletes will have normal arm muscle power with a range of trunk muscle power extending from partial trunk control to normal trunk control. Athletes who compete in this group may have significant leg muscle power. These athletes have reasonable to normal trunk control which allows them to hold their trunk down when the propulsion force is applied to the push rim. Usually do not interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Can shift direction of the wheelchair by sitting up and applying a trunk rotational force to the wheelchair. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T8-S4. Athletes competing in this class must meet one or more of the MDC presented in Section 2.1.4 (limb deficiency), 2.1.5 (impaired PROM) and 2.1.6 (impaired muscle power) or 2.1.7 (leg length difference).</p>

* For further information, please refer to the following World Para Athletics website.
<https://www.paralympic.org/athletics/classification/rules-and-regulations>

東京マラソン車いす招待選手—海外男子

WHEELCHAIR ATHLETES

No.
1001

マルセル・フグ (スイス)

HUG, Marcel (SUI)



プロフィール/PROFILE

DOB : 16 Jan 1986
AGE : 32

▶ Career Highlights

Gold in 2016 Rio Paralympics at Marathon & 800m
Won Chicago (2016, 2017), Berlin (2011, 2012, 2016, 2017),
Won New York City (2013, 2016, 2017)
Won London (2014, 2016), Boston (2015, 2016, 2017)

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:18:04	Boston Marathon	1	2017

生まれつき二分脊椎症で歩くことができなかったマルセル・フグは10歳ごろから車いすレースに参加するようになった。「初めてのレースの年齢別クラスで優勝したことが、その後のスポーツ人生の基礎を作った」と自身の人生を振り返る。フグの最初の大きな国際レースは2004年アテネパラリンピックだった。800mと1500mで銅メダルを得た。4年後の2008年北京パラリンピックではメダルを逃したが、2012年ロンドンパラリンピックでは800mとマラソンで銀メダルを獲得。「究極の目標はパラリンピックで金メダルを取ること」と語っていたフグの夢はリオパラリンピックで実現した。マラソンと800mでついに金メダルに輝いたのである。2016年は、ボストン、ロンドン、シカゴ、ベルリン、そしてニューヨークシティ、と東京以外のアボット・ワールドマラソンメジャーズの5大会で優勝。2017年は東京とロンドンで2位だった以外はボストン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティの4大会を制覇している。未だ東京では優勝経験がないが、今回の東京で優勝すれば全てのアボット・ワールドマラソンメジャーズ大会で最低でも1回は優勝することになる。

Born with spina bifida Marcel Hug was unable to walk from the birth. Hug started to race on the wheelchair as 10 years old. Hug recalls that winning the age group in his first wheelchair race inspired him and builds his base for the future of his sports. His first big international race was at the 2004 Athina Paralympics. Hug won bronze medals at both 800m and 1500m. Although Hug failed to medal at the 2008 Beijing Paralympics, four years later in the 2012 London Paralympics he won silver medals at both 800m and the marathon. Hug who said, "My ultimate goal was to win the gold medal in the Paralympics," finally realized his goal in the 2016 Rio de Janeiro Paralympics. Hug won gold medals in both 800m and the marathon. In 2016 Hug won five Abbott World Marathon Majors races in Boston, London, Berlin, Chicago and New York City Marathons. In 2017, Hug was second in Tokyo and London, but won Boston, Berlin, Chicago and New York City. He has yet to win the Tokyo Marathon and thus if he wins Tokyo this year, he has a distinction of winning all the Abbott World Marathon Majors races at least once.

No.
1002

エルンスト・バンダイク (南アフリカ)

VAN DYK, Ernst (RSA)



プロフィール/PROFILE

DOB : 4 Apr 1973
AGE : 44

▶ Career Highlights

Won Boston marathon ten times (2001-2006, 2008-2010, 2014)
Won Chicago Marathon (2013), New York City Marathon (2005, 2015)

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:18:04	Boston Marathon	2	2017

ボストンマラソンでは2001年から2006年、2008年から2010年、そして2014年と10回も優勝しているエルンスト・バンダイクは2005年のニューヨークシティマラソンとパリマラソン、そして2015年のニューヨークシティマラソンでも栄冠をつかんでいる。生まれつき脚がないエルンストだが、両親の勧めで最初は水泳を、その後は車いすの競技を始める。1992年のバルセロナパラリンピックでは両種目に参加したエルンストだったが、その後は車いす競技に集中することになる。2000年のシドニーパラリンピックでは400mで銅メダルを、4年後の2004年アテネパラリンピックでは800mと1500mで銀メダルを獲得。そして2008年北京パラリンピックでは車いすマラソンで銅メダルを得ている。リオパラリンピックでは60kmのロードレースを制しているバンダイクは、パラリンピックの大使も務め、パラスポーツの器具を作る会社を経営している。

Ten-time Boston Marathon Champion, having won from 2001 to 2006, 2008 to 2010 and 2014, Ernst van Dyk also won the 2005 & 2015 New York City marathon as well as the 2005 Paris Marathon. He was born with congenital absence of both legs in South Africa. Encouraged by his parents, Van Dyk competed first in swimming and then wheelchair events. He competed in both events in the 1992 Barcelona Paralympics. Thereafter Van Dyk concentrated in wheelchair events. He won bronze medal at 400m in the 2000 Sydney Paralympics; he won the silver at both 800m and 1500m in the 2004 Athina Paralympics. In 2008 Beijing Paralympics, he won bronze in the wheelchair marathon. In the 2016 Paralympics, he won 60km road race H5. He is an Ambassador for the Paralympics and also owns a company that manufactures equipment of Para sports.

No.
1003**カート・フェンリー** (オーストラリア)

FEARNLEY, Kurt (AUS)

**プロフィール/ PROFILE**

DOB : 23 Mar 1981

AGE : 36

▶ **Career Highlights**

Gold at 2004 Paralympic in 5000m & Marathon, 2008 Paralympic Marathon
Gold at 2006 IPC World Championships in 800m, 5000m and Marathon
Gold at 2011 IPC World Championships in Marathon
Gold at 2010 Commonwealth Games in 1500m
Won 2007, 2008, 2009 & 2015 Chicago Marathon; won 2016 Tokyo Marathon
Won 2006, 2007, 2008, 2009 & 2014 New York City Marathon
Won 2009 & 2013 London Marathon,

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:18:51	Boston Marathon	2	2011

仙骨の形成不全のまま誕生したカート・フェンリーの命は、一週間持たない、と医者から宣告された。子宮内での発育不全で腰椎と仙骨の一部が欠けていて、脚で体重を支えられない状態で生まれてきたのだ。しかし、彼はあらゆるスポーツに手を染めることになる。フェンリーが初めてメダルを獲得した陸上競技の種目は高跳びだった。そして14歳の時、車いすレースに参加するようになったフェンリーは、2000年シドニーパラリンピックに出場し800mで銀メダルを獲得した。その4年後の2004年アテネパラリンピックでは5000mとマラソンで金メダルに輝いている。彼はニューヨークシティマラソンを5回（2006年から2009年そして2014年）、シカゴマラソンも4回（2007年から2009年、そして2011年）、そしてロンドンマラソンを2回（2009年、2013年）制している。2016年の東京マラソンでも優勝したフェンリーは、2017年のロンドンマラソンで3位、同年のシカゴマラソンで2位に入っている。今年は海外選手として初めてとなる東京マラソンの複数回優勝を狙う。

Kurt Fearnley was born with sacral agenesis and doctors didn't believe he would live more than a week. Because of his development problem during his mother's pregnancy, he is missing part of lumbar and sacra, and thus his legs aren't strong enough to carry his weight. Nevertheless he took part in all sports. Fearnley won his first athletics medal in the high jump. He took up wheelchair racing at the age of 14, and won silver medal at 800m in the 2000 Sydney Paralympics. Four years later he won gold medals in the 5000m and marathon in the 2004 Athina Paralympics. Fearnley won the New York City Marathon five-times (2006-2009, 2014), Chicago Marathon four times (2007-2009, 2011), and London twice (2009, 2013). Fearnley won the Tokyo Marathon in 2016, finished third in the 2017 London Marathon and second in the 2017 Chicago Marathon. In Tokyo, he could be the first non-Japanese to win the Tokyo Marathon wheelchair event more than once.

No.
1004**ジョシュア・ジョージ** (アメリカ)

GEORGE, Joshua (USA)

**プロフィール/ PROFILE**

DOB : 18 Mar 1984

AGE : 33

▶ **Career Highlights**

Won Chicago Marathon four times (2003, 2004, 2006 and 2014)
Won Chicago Marathon (2013), New York City Marathon (2005, 2015)
Gold in 2015 IPC World Championships Marathon

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:21:47	Boston Marathon	6	2017

4歳の時、12階の窓から落下したジョシュア・ジョージだったが、命は取り留めた。車いす生活を余儀されるようになったが、奇跡的に脳、上半身、そして内臓は無事だった。下半身不随にもかかわらず、両親はジョシュアにできる限り普通の生活を送らせようという心を決め、彼はあらゆるスポーツに手を染めることになる。ジョシュアは準地元であるシカゴマラソンで4回優勝し、2004年のパラリンピックでは100mと400mで銅メダルを獲得している。その4年後の2008年のパラリンピックでは100mで金メダルに、800mで銀メダルに輝いた。2006年にIPC世界選手権では100m、200m、400mそして800mで金メダルに輝いている。2013年のIPC世界選手権でも800mで金メダルに、そしてその2年後の2015年IPC世界選手権ではマラソンで金メダルを得たのだ。彼は人々に勇気と自信を与えるために講演活動も積極的に行っている。2017年には東京マラソンで5位、そしてロンドンマラソンでは8位入賞を果たしているジョージは、今年の東京マラソンでは昨年より上の順位を狙えるだろうか？

Joshua George survived the fall from a twelfth story window when he was four years old. Miraculously there was no damage to his brain, vital organs or upper body. Unfortunately he became wheelchair bound. However, his parents were determined that George will have full and active normal life. George started to participate in all kinds of sports. George won the Chicago Marathon in four-times. He participated in the 2004 Paralympics, winning bronze medals in 100m and 400m. Four years later in the 2008 Paralympics George won gold medal in 100m and silver in 800m. At the 2006 IPC World Championships, he won gold medals at 100m, 200m, 400m and 800m. He also won gold medal at 800m in the 2013 IPC World Championships, and two years later won gold in the marathon in the 2015 IPC World Championships. Josh also works as a motivational speaker. In the 2017 George was fifth in the Tokyo Marathon and eighth in the London Marathon. Can George do better than last year in Tokyo?

東京マラソン車いす招待選手—海外男子

WHEELCHAIR ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – International MEN

No. 1005 ラファエル・ヒメネス (スペイン)

JIMENEZ, Rafael (SPA)



プロフィール/PROFILE
 DOB : 23 Feb 1979
 AGE : 39

▶ Career Highlights

3rd in 2012 Berlin Marathon; 5th in 2011 Boston Marathon
 3rd in 2010 & 2012 Chicago Marathon; 8th in 2009 New York City Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:22:09	Boston Marathon	8	2017

2002年に自転車事故で脊髄を損傷したラファエル・ヒメネスは、翌2003年には車いす競技の選手となった。そしてその年の6月には初めて競技大会に参加している。スペイン人として初めて車いすマラソンで1時間25分を切ったヒメネスは、2008年北京パラリンピックのマラソンでは11位、2016年リオパラリンピックのマラソンでは9位に入っている。ヒメネスは2011年にボストンマラソンで5位、2012年にベルリンマラソンで3位、そして2010年と2012年にシカゴマラソンで3位入賞、とアボット・ワールドマラソンメジャーズでは何度も好成績を残している。2017年はロンドンとシカゴマラソンで5位、ニューヨークシティマラソンで7位、と昨年も上位に顔を出した。しかし、アボット・ワールドマラソンメジャーズの大会ではいまだ2位以上が一度もない。東京マラソンではその壁を打ち破れるだろうか？

Rafael Jimenez injured his spine in a bicycle accident in 2002, but in the following year he started to compete in the wheelchair event. In June of 2003, he competed in his first wheelchair competition. Jimenez, who was the first Spaniard to crack 1:25 for the wheelchair marathon, was 11th in 2008 Beijing Paralympics, 9th in the 2016 Rio Paralympics. Jimenez was 5th in the 2011 Boston Marathon, 3rd in the 2012 Berlin Marathon, and 3rd in both 2010 and 2012 Chicago Marathon. He has done well at the Abbott World Marathon Majors events. In 2017, he was fifth in both London and Chicago Marathon, and 7th in the New York City Marathon, and thus continued to do well in the Abbott World Marathon Majors races. However, he has yet to finish in top two spot at the Abbott World Marathon Majors races. Can he do better in Tokyo?

No. 1006 サイモン・ローソン (イギリス)

LAWSON, Simon (GBR)



プロフィール/PROFILE
 DOB : 7 June 1982
 AGE : 35

▶ Career Highlights

10th in 2015 & 2016 London Marathon; 5th in 2015 & 6th in Berlin Marathon
 9th in 2015 & 8th in 2016 Chicago Marathon; 6th in 2016 New York Marathon
 14th in 2016 Paralympics marathon
 10th in 2015 IPC World Championships marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:25:06	Boston Marathon	13	2017

有名なオートバイレーサーであるスティーブ・ローソンの息子で、自身もオートバイレーサーのジュニアチャンピオンに輝いたサイモン・ローソンは、2001年にモトクロス事故で脊椎を損傷してしまった。トレーニングもできなくなり、落ち込んでいた時期を乗り越えて、車いすレースにその燃えたぎる競争心をぶつけるようになった。オートバイの整備士として生計を立てながら、車いすレーサーとして順調に成長を続け、2011年ロンドンマラソンに初参戦し12位に入った。ローソンは5年連続でマラソンの自己ベストを更新している。2014年に記録した1時間32分33秒を2015年シカゴマラソンで1時間30分58秒まで伸ばし、2016年にはソウルで1時間29分39秒。そして2017年ボストンマラソンでは、1時間25分06秒と大幅に更新したのだ。2012年ロンドンパラリンピックには出場できなかったが、2015年IPC世界選手権ではマラソンで10位、そして2016年リオパラリンピックのマラソンで14位に入っている。2016年にはロンドンマラソンで10位、ベルリンマラソンで6位、シカゴマラソンで8位、そしてニューヨークシティマラソンで6位、と4大会でトップ10入りを果たした。翌2017年はベルリンマラソンで8位、シカゴマラソンで11位、そしてニューヨークシティマラソンで11位と健闘しているが、2018年には更に上を目指したい。

A son of famous motorcycle racer Steve Lawson Simon Lawson, himself a junior champion in the sports, injured his spine at the motocross accident in 2001. Unable to train or race for a while, Lawson came back with a vengeance to compete in the wheelchair racing. Making living as a motor cycle mechanic, Lawson starts to excel as a wheelchair racer and finished 12th in the 2011 London Marathon. Lawson improved his personal best for five straight years. A personal best of 1:32:33 recorded in 2014 was improved to 1:30:58 in the 2015 Chicago Marathon, and then in 2016, he further improved his best to 1:29:39 in Seoul. Finally in the 2017 Boston Marathon, Lawson slashed more than four minutes from his personal best to 1:25:06. Lawson was 14th in the 2012 London Paralympic, 10th in the 2015 IPC World Championships, and 14th in the 2016 Rio Paralympics. In 2016, he was 10th in the London Marathon, 6th in the Berlin Marathon, 8th in the Chicago Marathon and 6th in the New York City Marathon. In the following year, he was 8th in the Berlin Marathon, 11th in the Chicago Marathon and 11th in the New York City Marathon. They were good performance but not as good as performances in 2016. He can do better in 2018.

東京マラソン車いす招待選手—国内男子

WHEELCHAIR ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – Japanese MEN

No. 1007 **山本 浩之** (福岡)
YAMAMOTO, Hiroyuki (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 31 May 1966
AGE : 51

▶ **Career Highlights**

6th in 2008 Beijing Paralympics Marathon
1st in 2010, 2012, 2014 Tokyo Marathon
1st in 2013 Boston Marathon; 3rd in 2013 Berlin Marathon

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:19:32	Boston Marathon	3	2017

20歳の時、オートバイの事故で車いす生活を余儀なくされた山本浩之は、退院すると車いすバスケットボールを始めた。約10年間バスケットボール選手を続けた後、車いすマラソンに転向した山本は、2007年に大分国際車いすマラソンで2位に入り、その翌年の2008年北京パラリンピックでは1位からわずか5秒遅れの1時間23分22秒で6位と結果を出している。その後大分車いすマラソンでは2007年、2009年、2012年そして2013年に2位（日本人1位）と好成績を続け、東京マラソンは2010年に初優勝している。翌2011年は3位、2013年は2位に終わっているが、2012年と2014年にも優勝している。東京では3回優勝しているが、連覇はいまだない。連覇が掛かった2015年は7位に沈んだ。山本は2016年大分国際車いすマラソンでは日本人として10年ぶりの優勝を成し遂げている。2017年は東京マラソンで8位、ロンドンマラソンで9位に終わっているが、ボストンマラソンでは3位入賞を成し遂げている。副島正純レースディレクターは東京で5回優勝している。山本が今回優勝すれば4回目となり、副島の記録にひとつ近づく。

Confined to the wheelchair after the motorcycle accident when he was 20 years old, he took up wheelchair basketball soon after released from the hospital. After 10 years playing wheelchair basketball, Yamamoto ventured into wheelchair racing. In his first major international competition, the 2007 Oita International Wheelchair Marathon, Yamamoto was second (first Japanese). Following year, he was sixth in the 2008 Beijing Paralympics marathon with 1:23:22, only five seconds behind the winner. Another year later he again finished second (first Japanese) in the 2009 Oita International Wheelchair Marathon. He also finished second (first Japanese) in the 2012 and 2013 edition. In 2010 Yamamoto won the Tokyo Marathon for the first time. Although he was third in 2011 and second in 2013, Yamamoto won the 2012 and 2014 editions of the Tokyo Marathon. So Yamamoto has won the Tokyo marathon three times, in 2010, 2012 and 2014, but never in consecutive years. In 2015, with two consecutive victories on the line, Yamamoto finished only seventh. In 2016 Yamamoto finally won the Oita International Wheelchair Marathon; it was first victory by Japanese in 10 years. In 2017, he was eighth in the Tokyo Marathon, ninth in the London Marathon and third in the Boston Marathon. Soejima, a wheelchair race director for the Tokyo Marathon won five times in Tokyo. If Yamamoto wins this year, he will be one step closer to Soejima on the number of victories.

No. 1008 **西田 宗城** (大阪・バカラバシフィック)
NISHIDA, Hiroki (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 11 Mar 1984
AGE : 33

▶ **Career Highlights**

3rd in 2016 Berlin Marathon; 5th in 2017 Boston Marathon
4th in 2014 Tokyo Marathon
6th in 2015, 2016 Tokyo Marathon 6th in 2016 London Marathon

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:20:28	Boston Marathon	5	2017

小学生の頃から野球を続けてきた西田宗城は、大学3年生の時、交通事故で車いす生活を余儀なくされた。その頃テレビで見た「ごっつい腕の人が車いすに乗って猛スピードで駆け抜ける映像」を見て一目惚れした、ときかけを振り返る。2006年から車いす陸上競技に参加するようになり、2013年IPC陸上競技世界選手権ではマラソンで10位、そして2015年大会では17位に入っている。しかし、リオパラリンピックの選考会となった2016年の東京マラソンでは6位でパラリンピック代表を逃した。その後2016年のロンドンマラソンでも6位、そして同年ベルリンマラソンではフグそしてバンダイクと大接戦を演じ、優勝したフグからわずか2秒遅れの3位入賞を果たしている。2017年東京マラソンでは7位。4月のボストンマラソンでは5位だったが、自己ベストを更新している。9月のベルリンマラソンでは6位だった。西田の東京マラソンでの最高順位は2014年の4位である。今年はその順位を上回るのだろうか？

Until he was injured in the auto accident as a collegiate junior and confined to the wheelchair, Hiroki Nishida played baseball. After being confined to the wheelchair, Nishida watched the wheelchair race on the TV, and was totally impressed with "the image of the men with huge biceps flying thru the streets with incredible speed." Nishida thus fell in love with the sports. He started to compete in the wheelchair races starting 2006. In the 2013 IPC World Athletics Championships, Nishida was 10th at the Marathon. In 2015, he was 17th. In the 2016 Tokyo Marathon, qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics, Nishida was only sixth and thus missed making the team. Later in the 2016 London Marathon, Nishida was sixth again. However, in the 2016 Berlin Marathon, Nishida battled all the way to the end with Marcel Hug and Ernst Van Dyck and finished third only two seconds behind the winner, Hug. Nishida was seventh in the Tokyo Marathon 2017. Although he was on fifth in the Boston Marathon, Nishida improved his personal best. In the 2017 Berlin Marathon, Nishida was sixth. Nishida's best finish at the Tokyo Marathon was fourth in 2014. Can he do better this year?

東京マラソン車いす招待選手—国内男子

WHEELCHAIR ATHLETES

No.
1009

吉田 竜太 (東京・SUS)

YOSHIDA, Ryota (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 28 Sept 1981
AGE : 36

▶ Career Highlights

3rd in 2015, 4th in 2017 Tokyo Marathon
4th in 2016, 3rd in 2017 Berlin Marathon
11th in 2015 IPC World Championships

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:23:18	Boston Marathon	11	2017

オートバイ事故で脊髄を損傷し、車いすでの生活になった吉田竜太は、その後車いすマラソンで頭角を現すようになる。2013年には競技活動に専念できる環境を求めSUS株式会社に入社した。2015年4月に行われたIPC世界選手権のマラソンでは、1時間35分35秒で11位に、5月のソウル国際車いすマラソンでは、1時間27分38秒の自己ベストで4位に入っている。10月のシカゴマラソンでは14位、11月の大分国際車いすマラソンでは10キロ過ぎに先頭集団から引き離され1時間32分10秒で8位に終わった。しかし、12月のホノルルマラソンでは副島に次ぎ1時間33分29秒で2位と躍進。東京マラソンでは2015年に3位、そして2017年には4位と好記録を続けている。2017年のボストンマラソンでは11位だったが、自己ベストを更新。2017年ベルリンマラソンで3位、シカゴマラソンでは8位に入っており、今年の東京マラソンでは過去最高の成績である3位以上を目指す。

Injured his spinal cord in a motorcycle accident, Ryota Yoshida became wheelchair bound. However, later Yoshida start to excel at the wheelchair marathons. In 2013, in pursuit of ideal environment to concentrate on the competitions, Yoshida joined SUS Corporation. In April at the 2015 IPC World Championships Marathon, Yoshida was 11th with 1:35:35. In May at the Seoul International Wheelchair Marathon he was fourth in his personal best of 1:27:38. In October, he was 14th at the Chicago Marathon. In the Oita International Wheelchair Marathon Yoshida lost contact with the leader after 10km and finished eighth with 1:32:10. In the Honolulu Marathon in December, Yoshida finished second to Soejima with 1:33:29. In the Tokyo Marathon Yoshida has done well - third in 2015 and 4th in 2017. In the 2017 Boston Marathon he was only 11th, but Yoshida improved his personal best. Also in 2017, Yoshida was 3rd in the Berlin Marathon and 8th in the Chicago Marathon. For Yoshida top two spots will be his best placing in Tokyo.

No.
1010

鈴木 朋樹 (千葉・トヨタ自動車)

SUZUKI, Tomoki (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 14 June 1994
AGE : 23

▶ Career Highlights

2nd in 2015, 5th in 2016 and 3rd in 2017 Tokyo Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:26:03	Oita	2	2016

生後間もない8カ月の時、交通事故で脊髄を損傷した鈴木朋樹は、物心ついたときから車いすの生活だった。小学5年生の時、2012年パラリンピック車いすマラソン5位の花岡伸和と出会い、本格的に車いすレースに参加するようになる。2015年東京マラソンで、初マラソンに挑み、1時間30分23秒で2位に入ったのだ。10月のIPC世界選手権では、5000mでは22位に入っているが、800mでも、そして1500mでも決勝に進めなかった。しかし彼のレースでの果敢な闘志は高く評価されている。2度目のマラソンとなった2015年11月の大分国際車いすマラソンでは最初から積極的に飛ばしたが、1時間36分16秒で9位に終わった。12月の日産カップハーフマラソンでは2015年、2016年と2連勝している。しかし、リオデジャネイロパラリンピック代表選考レースだった2016年の東京マラソンは5位で代表から漏れた。翌2017年の東京マラソンでは3位、そして2015年には2位に入っている鈴木にないのは優勝だけである。

Soon after his birth, eight month old Tomoki Suzuki injured his spinal cord in the traffic accident, and thus became wheelchair bound. When he was in fifth grade, Suzuki met with Nobukazu Hanaoka, who was fifth at the wheelchair marathon in the 2012 Paralympics, and he started to compete seriously in the wheelchair races. Suzuki made his marathon debut in the Tokyo Marathon 2015 and finished second with 1:30:23. In October, Suzuki competed at the IPC World Championships and finished 22nd at 5000m, but failed to advance to the final in both 800m and 1500m. However, his aggressive racing style was highly praised. In his second marathon, Oita International Wheelchair Marathon in November, Suzuki started the race in quite an aggressive pace, but faded in the later part of the race to finish ninth with 1:36:16. Suzuki twice won the December's Nissan Cup, half marathon race, in 2015 and 2016. He was fifth in the Tokyo Marathon 2016, the qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics Marathon, and thus missed making the team. Suzuki was third in the Tokyo Marathon 2017 and second in 2015 and thus only a victory at the Tokyo Marathon is missing from his resume.

No.
1011**渡辺 勝** (福岡・凸版印刷)

WATANABE, Sho (JPN)

**プロフィール/ PROFILE**

DOB : 23 Nov 1991

AGE : 26

▶ **Career Highlights**

9th in 2016, 1st in 2017 Tokyo Marathon

4th in 2017 Chicago Marathon; 3rd in 2017 New York City Marathon

8th in 2013 IPC World Championships

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:26:22	Seoul	2	2017

2011年、19歳の時に交通事故に遭い、車いすの生活になった渡辺勝は、入院中に車いす陸上を勧められた。最初はあまり興味を持ってなかったが、「初めて車いすレースで坂道を下った時、そのスピード感にはまってしまった」と話す。それから2年後の2013年、IPC世界選手権に出場し、10000mで銀メダル、マラソンで8位入賞を果たした。翌年の2014年アジアパラ大会では、車いすの改良が裏目に出てメダルなしに結果に。2015年IPC世界選手権ではマラソンに出場せず、5000mで15位に終わった。翌年のリオパラリンピックでは代表に漏れたが、世界を驚かせたのが2017年の東京マラソンである。2016年にボストンマラソン、ロンドンマラソン、ベルリンマラソン、シカゴマラソンそしてニューヨークシティマラソンを制したマルセル・フグと死闘を演じ、最後のスプリントで競り勝ったのだ。その後、2017年シカゴマラソンで4位、ニューヨークシティマラソンでは3位に入っている。「(マラソン)で世界一になりたいのではなく、世界一になる」と意気込む渡辺は、今年の東京マラソンでは2007年、2008年、2009年に3連覇を成し遂げた副島レースディレクター以来となる連覇を目指す。

When he was 19 years old in 2011, Sho Watanabe was in a traffic accident and became wheelchair bound. While still in hospital, he was persuaded to compete in the wheelchair events. Initially, he was not interested. However, "when I went down the slope with a wheelchair for the first time, I was hooked with its speed," explained Watanabe. Two years later in 2013, Watanabe competed in the IPC World Championships and won a silver medal at 10000m and finished eighth in the marathon. Next year in the Asian Paralympics, adjustment to his wheelchair backfired and thus he failed to win a medal. In the 2015 IPC World Championships, he was 15th at 5000m, but did not compete at the marathon. He failed to qualify for the Rio Paralympics in 2016, but shocked everyone in the Tokyo Marathon 2017. Watanabe battled all the way to the finish line with Marcel Hug, who won the Boston, London, Berlin, Chicago and New York City Marathons in 2016, and defeated Hug in the final sprint. Later in the year, Watanabe was 4th in the Chicago Marathon, 3rd in the New York City Marathon. "I say, I will be the world best, not I want to be the world best," explains Watanabe. If Sho Watanabe successfully defends the Tokyo Marathon title he will be the first to do so since Soejima wheelchair race director won the Tokyo Marathon from 2007 to 2009.

東京マラソン車いす招待選手—海外女子

WHEELCHAIR ATHLETES

No. 1101 マヌエラ・シャー (スイス)

SCHAR, Manuela (SUI)



プロフィール/PROFILE

DOB : 5 Dec 1984
AGE : 33

▶ Career Highlights

Won 2016 & 2017 Berlin Marathon, 2017 Boston Marathon, 2017 London Marathon & 2017 New York City Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:28:17	Boston Marathon	1	2017

1984年にスイスで生まれ、育ったマヌエラ・シャーは1993年の事故で脊髄を損傷し、その後車いすスポーツに参加するようになった。2004年アテネパラリンピックでは100mで銅メダル、200mで銀メダルを獲得した。その4年後の2008年北京パラリンピックでは200mで銅メダルを得ている。主に車いすスプリント種目の選手として国際大会に参加していたが、2013年のIPC陸上競技世界選手権大会で5000mとマラソンにも参加し、マラソンでは金メダルに輝いた。それだけではない。400m、800m、そして5000mの3種目では銀メダルを手にしたのである。2016年にはロンドン、ボストン、シカゴ、そしてニューヨークシティマラソンで、マクファーデンに次いで2位になったが、マクファーデンが出場していないベルリンマラソンでは優勝している。2016年リオパラリンピックでは400m、800mそして1500mに出場した。その彼女の才能が大きく開いたのは2017年。ボストン、ロンドン、ベルリン、そしてニューヨークシティマラソンで優勝したのである。そして2017年は2位に終わった東京マラソンに今年は絶好調で挑む。

Born in Switzerland in 1984, Manuel Schar injured her spinal cord in the accident in 1993. Later she started to compete in the wheelchair sports. In the 2004 Athens Paralympics she won a bronze medal at 100m and a silver medal at 200m. Four years later in the 2008 Beijing Paralympics she won a bronze medal in 200m. Although she competed as a sprinter in the major international races until then, in the 2013 IPC World Athletics Championships, she competed in both 5000m and the marathon. She won the gold medal in the marathon as well as silver medals in 400m, 800m and 5000m. In 2016 Schar finished second to McFadden in London Boston, Chicago and New York City Marathons, but won the Berlin Marathon where McFadden did not compete. In the Rio Paralympics, she competed at 400m, 800m and 1500m. Her time finally came in 2017. She won Boston, London, Berlin and New York City Marathons. She will now attempt to win the Tokyo Marathon where she finished second in 2017.

No. 1102 アマンダ・マグロリー (アメリカ)

McGRORY, Amanda (USA)



プロフィール/PROFILE

DOB : 9 June 1986
AGE : 31

▶ Career Highlights

Won 2008 Beijing Paralympic 5000m
Won 2006 IPC World Championships & 2011 IPC World Championships 800m
Won 2006, 2011 New York Marathon
Won 2009, 2011 London Marathon
Won 2010 Chicago Marathon
Won 2011, 2012 Paris Marathon
Won 2017 Tokyo Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:33:13	Boston Marathon	2	2017

5歳の時、アマンダ・マグロリーの人生は暗転した。アレルギー治療の注射から横断性脊髄炎を発症して下半身不随になってしまったのである。車いすに束縛される生活になったが、ここから彼女の活動的な生活への追及が始まった。10歳の時、両親が彼女を車いすスポーツのプログラムに登録し、彼女の車いすレースのキャリアがスタートしたのである。最初、彼女は自分のことをスプリンターだと思っていた。しかし、彼女のパフォーマンスを見ていた元マラソンチャンピオンのスコット・ホーロンベックは、アマンダがマラソンに適していると感じていたのである。彼は正しかった。2006年IPC世界選手権では800mで優勝したが、同じ年のニューヨークシティマラソンでも優勝している。2008年には北京パラリンピックの5000mで優勝した。2009年にはロンドンマラソンを、2011年にはロンドンとニューヨークシティマラソンを制した。2011年と2012年のパリマラソンと2010年シカゴマラソンでも優勝している。2017年の7月には世界パラ選手権の1500mと5000mで銀メダル、そして800mで銅メダルを得た。10月にはシカゴマラソンで2位、そして11月にはニューヨークシティマラソンで3位に入っている。昨年の東京マラソンを僅差で制したアマンダは東京で連覇を狙う。

At the age of five, Amanda McGrory was diagnosed with transverse myelitis, leaving her paralyzed from the waist down. Wheelchair bound, Amanda's quest to find ways to be active started. At the age of 10, her parents enrolled her in a wheelchair sports program, and thus began her career in wheelchair racing. Initially, she thought herself as a sprinter. However, former marathon champion Scot Hollonbeck disagreed. Hollonbeck thought McGrory would be a good marathoner. Hollonbeck turned out to be correct. She won the 800m in the 2006 IPC World Championships, but also won the 2006 New York Marathon. In 2008 Paralympics she won the 5000m. In 2009, she won the London Marathon. In 2011 McGrory won both the London Marathon and New York Marathon. She also won 2011 and 2012 Paris Marathon as well as 2010 Chicago Marathon. In July of 2017, McGrory won silver medal at both 1500m and 5000m and bronze medal at 800 in the World Para Athletics Championships. In October, McGrory was second in the Chicago Marathon and in November, she was third in the New York City Marathon. McGrory will try to defend the Tokyo Marathon title she narrowly won in 2017.

No.
1103**スザンナ・スカロニ (アメリカ)**

SCARONI, Susannah (USA)

**プロフィール/ PROFILE**

DOB : 16 May 1991
AGE : 26

▶ Career Highlights

3rd in 2014 & 2015 Boston Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:33:17	Boston Marathon	3	2017

2012年ロンドンパラリンピックでマラソン8位入賞を果たしたスザンナ・スカロニは、高校時代、車いすレースと車いすバスケットの選手だった。その頃、パフォーマンスの向上には身体を絞ることが不可欠と考えていたが、ノーベル賞を2回受賞したジョン・バーディーが長年教授を勤めていた名門イリノイ大学ウルバナキャンパーン校で栄養学を専攻したことで考えが変わった、と話す。エリート選手にとって一番重要なのは、ブランド名のサプリを摂取することでも、カロリーを詳しく計算することでもなく、栄養溢れる本物の食べ物の摂取することだという結論に達したという。2014年ロンドンマラソンでは4位、2014、2015年のボストンマラソンでは3位、2012年シカゴマラソンで2位、2016年ニューヨークシティマラソンで4位に入った。リオパラリンピックマラソンでは7位だったが1位からはわずか2秒遅れだった。2017年は東京マラソンとボストンマラソンで3位に入っているが、大きなレースでの優勝はまだない。

Susannah Scaroni, who finished eighth at the marathon in the 2012 London Paralympics, competed in the wheelchair racing as well as wheelchair basketball in high school. In her high school days, Scaroni thought it is important to be extremely thin to be fast. However, after majoring in dietetics in the prestigious University of Illinois at Urbana-Champaign, where two-time Nobel Prize winner John Bardeen taught for many years, Scaroni realized that she was wrong. She came to a conclusion that it is more important to eat wholesome foods than to count calories and load one-self with brand-name supplements. Scaroni was fourth in the 2014 London Marathon, third in the 2014 and 2015 Boston Marathon, second in the 2012 Chicago Marathon, and fourth in the 2016 New York City Marathon. In the Rio Paralympic marathon, she was seventh but only two seconds behind the winner. In 2017 she was third in the Tokyo Marathon as well as the Boston Marathon, but, she is yet to win a major race.

No.
1104**タチアナ・マクファーデン (アメリカ)**

MCFADDEN, Tatyana (USA)

**プロフィール/ PROFILE**

DOB : 21 Apr 1989
AGE : 28

▶ Career Highlights

Won 2009, 2012 - 2017 Chicago Marathon

Won 2010, 2013 - 2016 New York Marathon

Won 2011, 2013 - 2016 London Marathon

Won 2013 - 2016 Boston Marathon

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:35:06	Boston Marathon	4	2017

ソビエトのレニングラード（現在のサンクト・ペテルブルグ）で生まれたタチアナ・マクファーデンは、先天性の脊椎捻転で下半身麻痺だったため、生みの母に孤児院に捨てられた。孤児院で高価な車いすを与えられるはずもなく、タチアナは最初の6年間這って移動することを余儀なくされた。

タチアナにとって、米国保険局の身体障害者理事のデボラ・マクファーデンとの出会いが大きな転機になった。彼女に連れられてボルチモアに引っ越し、8歳から車いすレースに参加するようになった。2004年パラリンピックでは銀と銅メダル、4年後には3個の銀メダルを獲得している。2009年までは短距離種目だけに参加していたが、その後車いすマラソンに参加するようになり、ボストン、シカゴ、ニューヨーク、ロンドンマラソンなどで何度も優勝した。2013年IPC世界選手権では100mから5000mまで全ての種目で6個の金メダルを獲得した。同じ年にはボストン、ロンドン、シカゴ、そしてニューヨークと、初めて4大会を全て制した選手となった。2014年には母国ロシアのソチで開かれた冬季パラリンピックにも参加している。その後も車いすマラソンで大活躍しながら、2012年パラリンピックでは400mから1500m、そしてリオでは400mから5000mまでの全種目で優勝している。血液の病気で2017年の前半は棒に振ってしまったが、7月にロンドンで行われた2017年世界パラ陸上選手権では200m、400m、800m、そして1500mの4種目を制し、10月のシカゴマラソンでも優勝している。しかしニューヨークシティマラソンではシャーに敗れ2位に甘んじた。2016年2位に終わった東京マラソンは、彼女が優勝していない唯一のメジャー大会である。今回こそ優勝したい。

Born in Leningrad Soviet Union with spina bifida, McFadden was paralyzed from the waist down. Her mother abandoned her in an orphanage, and since orphanage could not afford a wheelchair, she walked on her hands for the first six years of her life. Turning point of her life came when she met Deborah McFadden, a commissioner of disabilities for the US Health Department. McFadden was adopted by Deborah McFadden, and moved to Baltimore. McFadden began racing at the age of eight. She won two medals in the 2004 Paralympics and three silver medals four years later. McFadden who was competing exclusively in the sprint events until 2009 ventured into the marathon, and won the Boston, Chicago, New York, and London marathons many times. In 2014 McFadden also competed in the Sochi Paralympic Games. While excelling at the marathon distance McFadden won all events from 400m to 1500m in 2012 and 400m to 5000m in the 2016 Paralympics. McFadden could not compete in the first half of 2017 due to illness, but in July at the 2017 World Para Athletics Championships, she won 200m, 400m, 800m and 1500m. She won the 2017 Chicago Marathon but was second in the New York City Marathon. The Tokyo Marathon is the only Abbott World Marathon Majors race she is yet to win, having finished second in 2016. She will be looking for the only victory missing from her resume.

東京マラソン車いす招待選手—国内女子

WHEELCHAIR ATHLETES

Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – Japanese WOMEN

No.
1105

嘉納 翼 (沖縄・タイヤランド沖縄)

KINA, Tsubasa (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 18 May 1990

AGE : 27

▶ **Career Highlights**

5th in 2017 Tokyo Marathon;
won 2016 Oita International wheelchair marathon

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:44:56	Oita	1	2016

バスケットボールの選手だった嘉納翼は、120kgのバーベルを使っての筋力トレーニング中にバーベルの下敷きになり、車いすが必要な生活を余儀なくさるようになった。最初はトラック種目で競技を始めた嘉納だったが、2016年に大分国際車いすマラソン大会で初マラソンに挑んだ。結果は1時間44分56秒で優勝。「最高の結果に終わってよかった。声援が大きくて、周りに支えられたレースでした」と喜んだ。2017年には東京マラソンで5位に入っている。ロンドンマラソンにもエントリーしたがスタートはしなかった。しかし8月のはまなす車いすマラソンのハーフマラソンの部では52分23秒で優勝、全体でも11位に入った。9月の鳥取さわやか車いすマラソン大会でも51分52秒で優勝した。

Tsubasa Kina, who was a basketball player, injured herself during the strength training. A 120kg barbell fell on her, and thus she was confined to a wheelchair. She started as wheelchair track athlete, but in 2016 she ventured into the marathon in the Oita International Wheelchair Marathon, and won the event with 1:44:56. "I was happy with the best possible result. Very loud cheering really helped me," said Kina after the race. In 2017 she was fifth in the Tokyo Marathon. She also entered the London Marathon, but failed to start. However, she won the half marathon division in the Hamanasu Wheelchair Marathon with 52:23 in August; she was eleventh over all in the race. Then in September, she won the half marathon in Tottori Sawayaka Wheelchair Marathon with 51:52.

No.
1106

中山 和美 (神奈川・アクセンチュア)

NAKAYAMA, Kazumi (JPN)



プロフィール/ PROFILE

DOB : 22 June 1983

AGE : 34

▶ **Career Highlights**

2nd in 2014 Nagoya Women's Marathon & Second in 2012, 2013, 2014 Tokyo Marathon
3rd in 2016 Tokyo Marathon

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名/Race	順位/Place	年/Year
1:46:14	Tokyo Marathon	6	2017

学生時代はバスケット部のキャプテンを務め、卒業後はホテル勤務を経て全日空のキャビンアテンダントになった中山和美は、その1年後の2007年、脊髄梗塞を発症し、両下肢麻痺となった。リハビリ中に医師に勧められて、車いす陸上を始めた。2013年にはIPC陸上競技世界選手権で100m、200m、400mの3種目に出場、100mで4位入賞を果たした。翌2014年にはアジアパラリンピックに出場し、200mと400mで銀メダルを得ている。100mから800mまで4種目の日本記録保持者の中山は、800mを最も得意としている。リオパラリンピックでは400m、800m、及び1500mの3種目に出場したが、全て予選敗退に終わってしまった。しかし、2017年世界パラリンピック選手権では200m、400m、800m、そして1500mに出場、400mで6位入賞を果たした。2014年名古屋ウィメンズホールチェアマラソンで2位と躍進。東京マラソンでは、2012年、2013年、2014年に2位、2016年には3位、そして2017年は6位に入っている。昨年は東京マラソンと鳥取さわやか車いすマラソンで嘉納に遅れをとった中山、今度こそ勝ちたい。

Kazumi Nakayama, who was the captain of her school basketball team, worked in a hotel after graduation but later joined ANA as a flight attendant. One year later, in 2007, she suffered from spinal cord infarction, and thus lost control of her lower limbs. During the rehabilitation, with the recommendation by a doctor, she started to compete in wheelchair racing. In 2013 Nakayama competed at 100m, 200m and 400m in the IPC World Athletics Championships and finished fourth at 100m. A year later in the 2014 Asian Paralympics, she won silver medals at 200m and 400m. Nakayama holds national records from four events from 100m to 800m, but her best event is 800m. In the 2016 Rio de Janeiro Paralympics, she competed at 400m, 800m and 1500m, but failed to qualify for the final in all three events. However, in the 2017 World Para Athletics Championships, she competed in 200m, 400m, 800m, and 1500m, and was sixth in the 400m. Nakayama was second in the 2014 Nagoya Women's Marathon. In the Tokyo Marathon, Nakayama was second in 2012, 2013, and 2014, third in 2016 and sixth in 2017. Last year, Kina finished ahead of her in the Tokyo Marathon as well as Tottori Sawayaka Wheelchair Marathon. Tokyo will be Nakayama's race of redemption.



大会記録 Course Records

マラソン Marathon



男子	ウィルソン・キプサング(ケニア)	2:03:58
Men	KIPSANG, Wilson (KEN)	(2017大会)



女子	サラ・チェプチルチル(ケニア)	2:19:47
Women	CHEPCHIRCHIR, Sarah (KEN)	(2017大会)

車いすマラソン Wheelchair Marathon



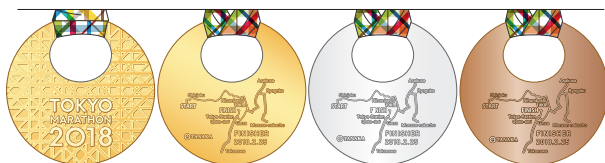
男子	クート・フェンリー(オーストラリア)	1:26:00
Men	FEARNLEY, Kurt (AUS)	(2016大会)



女子	土田 和歌子(日本)	1:41:04
Women	TSUCHIDA, Wakako (JPN)	(2016大会)

表彰メダル Awards Medals

Tokyo Marathon 2018



RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 Wild Card Award



Next Generation Athlete Award 2018



STATISTICS & RESULTS

リザルツ

世界歴代パフォーマンストップ50 All-Time Top 50 World Marathon Performances	096
日本歴代パフォーマンストップ50 All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances	098
アボット・ワールドマラソンメジャース歴代トップ50 Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50	100
世界主要マラソン大会結果 Results of World's Primary Marathons	102
日本国内パフォーマンストップ25 Japan All Comers Top 25 Marathon Performances	104
東京マラソンパフォーマンストップ25 All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances	105
東京マラソン大会結果 Tokyo Marathon Results	106

世界歴代パフォーマンスストップ50 男子

STATISTICS & RESULTS

All-Time Top 50 World Marathon Performances MEN

★ 2018 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2018

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地	
1	2:02:57	1 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28	Berlin	
2	2:03:02	2 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011.04.18	Boston	
3	2:03:03	3 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016.09.25	Berlin	
4	2:03:05	4 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2016.04.24	London	
5	2:03:06	5 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011.04.18	Boston	
6	2:03:13	6 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28	Berlin	
★	6	2:03:13	6 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサンク	KEN	2016.09.25	Berlin
8	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013.09.29	Berlin	
9	2:03:32	KIPCHOGE, Eliud			2017.09.24	Berlin	
10	2:03:38	8 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25	Berlin	
11	2:03:42	KIPSANG, Wilson			2011.10.30	Frankfurt	
12	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013.10.13	Chicago	
13	2:03:46	9 ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017.09.24	Berlin	
14	2:03:51	10 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016.04.24	London	
15	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013.10.13	Chicago	
16	2:03:58	KIPSANG, Wilson			2017.02.26	Tokyo	
17	2:03:59	11 GEBRSELESSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28	Berlin	
18	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015.09.27	Berlin	
18	2:04:00	12 GEREMEW, Mosinet	モジネット・ゲレミュエ	ETH	2018.01.26	Dubai	
20	2:04:02	13 GEBRESILASE, Leul	レウル・ゲブレシラセ	ETH	2018.01.26	Dubai	
21	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013.09.29	Berlin	
22	2:04:06	14 TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2018.01.26	Dubai	
22	2:04:06	14 MENGSTU, Asefa	アセファ・メングストゥ	ETH	2018.01.26	Dubai	
24	2:04:08	16 LEMMA, Sisay	シサイ・レマ	ETH	2018.01.26	Dubai	
25	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud			2014.10.12	Chicago	
25	2:04:11	TOLA, Tamirat		ETH	2017.01.20	Dubai	
27	2:04:15	MUTAI, Geoffrey			2012.09.30	Berlin	
27	2:04:15	17 LEGESE, Birhanu	ビルハヌ・レゲセ	ETH	2018.01.26	Dubai	
29	2:04:16	KIMETTO, Dennis			2012.09.30	Berlin	
30	2:04:23	18 ABSHERO, Ayele	アエレ・アブシェロ	ETH	2012.01.27	Dubai	
★	31	2:04:24	19 ABERA, Tesfaye	テスファエ・アベラ	ETH	2016.01.22	Dubai
32	2:04:26	GEBRSELESSIE, Haile			2007.09.30	Berlin	
33	2:04:27	20 KIBET, Duncan	ダンカン・キベト	KEN	2009.04.05	Rotterdam	
33	2:04:27	20 KWAMBAI, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2009.04.05	Rotterdam	
35	2:04:28	22 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12	Chicago	
36	2:04:29	KIPSANG, Wilson			2014.04.13	London	
★	37	2:04:32	23 MEKONNEN, Tsegaye	ツェガエ・メコネン	ETH	2014.01.24	Dubai
★	37	2:04:32	23 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12	Chicago
39	2:04:33	25 BERHANU, Lemi	レミ・ベルハヌ	ETH	2016.01.22	Dubai	
40	2:04:38	26 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07	Chicago	
41	2:04:40	MUTAI, Emmanuel			2011.04.17	London	
42	2:04:42	KIPCHOGE, Eliud			2015.04.26	London	
43	2:04:44	KIPSANG, Wilson			2012.04.22	London	
43	2:04:44	27 TURA, Seifu	セイフ・トゥラ	ETH	2018.01.26	Dubai	
45	2:04:45	28 DESISA, Lelisa	レリサ・デシサ	ETH	2013.01.25	Dubai	
46	2:04:46	MEKONNEN, Tsegaye			2016.01.22	Dubai	
47	2:04:47	KIPSANG, Wilson			2015.04.26	London	
48	2:04:48	MAKAU, Patrick			2010.04.11	Rotterdam	
48	2:04:48	29 TSEGAY, Yemane	イエマネ・ツェガエ	KEN	2012.04.15	Rotterdam	
48	2:04:48	29 SHIFERAW, Berhanu	ベルハヌ・シフェラウ	KEN	2013.01.25	Dubai	

ボストンマラソンの記録は2004年以降は非公認
Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

世界歴代パフォーマンスストップ50 女子

STATISTICS & RESULTS

All-Time Top 50 World Marathon Performances WOMEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地	
1	2:15:25	1	RADCLIFFE, Paula	ポーラ・ラドクリフ	GBR	2003.04.13	London
2	2:17:01	2	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017.04.23	London
3	2:17:18		RADCLIFFE, Paula			2002.10.13	Chicago
4	2:17:42		RADCLIFFE, Paula			2005.04.17	London
5	2:17:56	3	DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017.04.23	London
6	2:18:31		DIBABA, Tirunesh			2017.10.08	Chicago
7	2:18:37		KEITANY, Mary			2012.04.22	London
8	2:18:47	4	NDEREBA, Catherine	キャサリン・ヌデレバ	KEN	2001.10.07	Chicago
9	2:18:56		RADCLIFFE, Paula			2002.04.14	London
10	2:18:58	5	GELANA, Tiki	ティキ・グラナ	ETH	2012.04.15	Rotterdam
11	2:19:12	6	NOGUCHI, Mizuki	野口 みずき	JPN	2005.09.25	Berlin
12	2:19:17	7	DEREJE BEKELE, Roza	ロザ・デレジェ・ベケレ	ETH	2018.01.26	Dubai
13	2:19:19	8	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
14	2:19:19		KEITANY, Mary			2011.04.17	London
15	2:19:25	9	CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2015.09.27	Berlin
16	2:19:26		NDEREBA, Catherine			2002.10.13	Chicago
17	2:19:30	10	TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2018.01.26	Dubai
18	2:19:31	11	MERGIA, Aselefech	アセレフェチ・メルギア	ETH	2012.01.27	Dubai
19	2:19:34	12	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	2012.01.27	Dubai
20	2:19:36	13	KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
21	2:19:36	13	MELESE, Yebgual	エブルグアル・メレーゼ	ETH	2018.01.26	Dubai
22	2:19:39	15	SUN, Yingjie	孫 英傑	CHN	2003.10.19	Beijing
23	2:19:41	16	SHIBUI, Yoko	渋井 陽子	JPN	2004.09.26	Berlin
24	2:19:41	16	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2016.01.22	Dubai
25	2:19:44	18	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
26	2:19:46	19	TAKAHASHI, Naoko	高橋 尚子	JPN	2001.09.30	Berlin
27	2:19:47	20	CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェpchilチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
28	2:19:50	21	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
29	2:19:51	22	ZHOU, Chunxiu	周 春秀	CHN	2006.03.12	Seoul
30	2:19:52	23	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2012.01.27	Dubai
31	2:19:52		DIBABA, Mare			2015.01.03	Xiamen
32	2:19:53	24	DEGEFA DEBELE, Worknesh	デベレ・デゲファ	ETH	2018.01.26	Dubai
33	2:19:55		NDEREBA, Catherine			2003.04.13	London
34	2:19:57	25	JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013.10.13	Chicago
35	2:19:59	26	DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014.04.21	Boston
36	2:20:02		MERGIA, Aselefech			2015.01.23	Dubai
37	2:20:03		CHERONO, Gladys			2015.01.23	Dubai
38	2:20:13	27	TESFAY, Haftamnesh	ハフトムネッシュ・テスファイエ	ETH	2018.01.26	Dubai
39	2:20:14	28	JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
40	2:20:15		JEPTOO, Priscah			2013.04.21	London
41	2:20:18		TSEGAYE, Tirfi			2014.09.28	Berlin
42	2:20:21		KIPLAGAT, Edna			2014.04.13	London
43	2:20:21		KABUU, Lucy			2015.01.23	Dubai
44	2:20:22	29	KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2017.10.08	Chicago
45	2:20:23		CHERONO, Gladys			2017.09.24	Berlin
46	2:20:24		KIPLAGAT, Florence			2014.04.13	London
47	2:20:27	30	TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014.09.28	Berlin
48	2:20:30	31	BEKELE, Bezunesh	ベズネッシュ・ベケレ	ETH	2012.01.27	Dubai
49	2:20:30	31	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012.09.30	Berlin
50	2:20:33		KEBEDE, Aberu			2012.01.27	Dubai

ボストンマラソンの記録は2004年以降は非公認
Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

日本歴代パフォーマンスストップ50 男子

STATISTICS & RESULTS

All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances MEN

★ 2018 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2018

Performance Time	記録	Name	名前	Company/Team	所属	Date	日付	Race Name	大会名
1	2:06:16	1	高岡 寿成	TAKAOKA, Toshinari	カネボウ	2002.10.13		シカゴ	
2	2:06:51	2	藤田 敦史	FUJITA, Atsushi	富士通	2000.12.03		福岡国際	
3	2:06:57	3	犬伏 孝行	INUBUSHI, Takayuki	大塚製薬	1999.09.26		ベルリン	
4	2:07:13	4	佐藤 敦之	SATO, Atsushi	中国電力	2007.12.02		福岡国際	
5	2:07:19	5	大迫 傑	OSAKO, Suguru	Nike ORPJT	2017.12.03		福岡国際	
6	2:07:35	6	児玉 泰介	KODAMA, Taisuke	旭化成	1986.10.19		北京	
7	2:07:39	7	今井 正人	IMAI, Masato	トヨタ自動車九州	2015.02.22		東京	
8	2:07:40	8	谷口 浩美	TANIGUCHI, Hiromi	旭化成	1988.10.16		北京	
9	2:07:41		高岡 寿成		カネボウ	2005.02.13		東京国際	
10	2:07:48	9	藤原 新	FUJIWARA, Arata	東京陸協	2012.02.26		東京	
11	2:07:50		高岡 寿成		カネボウ	2004.10.10		シカゴ	
12	2:07:52	10	油谷 繁	ABURAYA, Shigeru	中国電力	2001.03.04		びわ湖毎日	
12	2:07:52	10	国近 友昭	KUNICHIKA, Tomoaki	エスビー食品	2003.12.07		福岡国際	
14	2:07:55	12	諏訪 利成	SUWA, Toshinari	日清食品	2003.12.07		福岡国際	
15	2:07:57	13	伊藤 国光	ITO, Kunimitsu	カネボウ	1986.10.19		北京	
16	2:07:59	14	森下 由輝	MORISHITA, Yoshiteru	旭化成	2001.03.04		びわ湖毎日	
16	2:07:59		高岡 寿成		カネボウ	2003.12.07		福岡国際	
18	2:08:00	15	前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	九電工	2013.02.24		東京	
19	2:08:05	16	三木 弘	MIKI, Hiroshi	旭化成	1999.02.14		東京国際	
20	2:08:07	17	早田 俊幸	HAYATA, Toshiyuki	アラコ	1997.12.07		福岡	
21	2:08:09	18	松村 康平	MATSUMURA, Kohei	三菱重工長崎	2014.02.23		東京	
22	2:08:12	19	藤原 正和	FUJIWARA, Masakazu	中 大	2003.03.02		びわ湖毎日	
23	2:08:14	20	川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	埼玉県庁	2013.03.17		ソウル国際	
24	2:08:15	21	中山 竹通	NAKAYAMA, Takeyuki	ダイエー	1985.04.14		ワールドカップ	
24	2:08:15		川内 優輝		埼玉県庁	2013.02.03		別府大分毎日	
25	2:08:16		犬伏 孝行		大塚製薬	2000.02.13		東京国際	
27	2:08:18	22	小島 忠幸	OJIMA, Tadayuki	旭化成	2004.03.07		びわ湖毎日	
27	2:08:18		中山 竹通		ダイエー	1987.12.06		福岡国際	
28	2:08:21		中山 竹通		ダイエー	1986.10.05		アジア大会	
★	2:08:22	23	井上 大仁	INOUE, Hiroto	MHPS	2017.02.26		東京	
30	2:08:24	24	堀端 宏行	HORIBATA, Hiroyuki	旭化成	2012.12.02		福岡国際	
32	2:08:27	25	瀬古 利彦	SEKO, Toshihiko	エスビー食品	1986.10.26		シカゴ	
33	2:08:28	26	清水 康次	SHIMIZU, Koji	NTT西日本	2003.03.02		びわ湖毎日	
34	2:08:35	27	武井 隆次	TAKEI, Ryuji	エスビー食品	2002.03.03		びわ湖毎日	
34	2:08:35	27	中本 健太郎	NAKAMOTO, Kentaro	安川電機	2013.02.03		別府大分毎日	
35	2:08:36	29	大崎 悟史	OSAKI, Satoshi	NTT西日本	2008.03.02		びわ湖毎日	
35	2:08:36		佐藤 敦之		中国電力	2004.03.07		びわ湖毎日	
38	2:08:37	30	尾方 剛	OGATA, Tsuyoshi	中国電力	2003.12.07		福岡国際	
38	2:08:37		川内 優輝		埼玉陸協	2011.02.27		東京	
40	2:08:38		前田 和浩		九電工	2012.02.26		東京	
40	2:08:38		瀬古 利彦		エスビー食品	1983.02.13		東京国際	
42	2:08:40		藤原 新		JR東日本	2008.02.17		東京	
43	2:08:43	31	小島 宗幸	OJIMA, Muneyuki	旭化成	1998.03.01		びわ湖毎日	
43	2:08:43		中山 竹通		ダイエー	1986.02.09		東京国際	
45	2:08:44	32	山本 亮	YAMAMOTO, Ryo	佐川急便	2012.03.04		びわ湖毎日	
45	2:08:45	33	西田 隆維	NISHIDA, Takayuki	エスビー食品	2001.02.04		別府大分毎日	
47	2:08:46		小島 宗幸		旭化成	1999.04.18		ロッテルダム	
47	2:08:46		大崎 悟史		NTT大阪	2004.02.08		東京国際	
49	2:08:47	34	佐保 希	SAHO, Nozomi	旭化成	1997.12.07		福岡国際	
50	2:08:48	35	佐藤 信之	SATO, Nobuyuki	旭化成	1998.12.06		福岡国際	
50	2:08:48		小島 忠幸		旭化成	2003.12.07		福岡国際	

※ 2018 年 1 月 31 日現在 / As of January 31, 2018

日本歴代パフォーマンスストップ50 女子

STATISTICS & RESULTS

All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances WOMEN

Performance Time 記録	Name 名前	Company/Team 所属	Date 日付	Race Name 大会名
1 2:19:12	1 野口 みずき NOGUCHI, Mizuki	グローバリー	2005.09.25	ベルリン
2 2:19:41	2 渋井 陽子 SHIBUI, Yoko	三井住友海上	2004.09.26	ベルリン
3 2:19:46	3 高橋 尚子 TAKAHASHI, Naoko	積水化学	2001.09.30	ベルリン
4 2:21:18	野口 みずき	グローバリー	2003.01.26	大阪国際女子
5 2:21:22	渋井 陽子	三井住友海上	2002.10.13	シカゴ
6 2:21:36	4 安藤 友香 ANDO, Yuka	スズキ浜松AC	2017.03.12	名古屋ウィメンズ
7 2:21:37	野口 みずき	シスメックス	2007.11.18	東京国際女子
8 2:21:45	5 千葉 真子 CHIBA, Masako	豊田自動織機	2003.01.26	大阪国際女子
9 2:21:49	高橋 尚子	積水化学	2002.09.29	ベルリン
10 2:21:51	6 坂本 直子 SAKAMOTO, Naoko	天満屋	2003.01.26	大阪国際女子
11 2:22:12	7 山口 衛里 YAMAGUCHI, Eri	天満屋	1999.11.21	東京国際女子
12 2:22:17	8 福士 加代子 FUKUSHI, Kayoko	ワコール	2016.01.31	大阪国際女子
13 2:22:19	高橋 尚子	積水化学	2000.03.12	名古屋国際女子
14 2:22:44	9 松田 瑞生 MATSUDA, Mizuki	ダイハツ	2018.01.26	大阪国際女子
15 2:22:46	10 土佐 礼子 TOSA, Reiko	三井住友海上	2002.04.14	ロンドン
16 2:22:48	11 前田 彩里 MAEDA, Sairi	ダイハツ	2015.03.08	名古屋ウィメンズ
17 2:22:56	12 弘山 晴美 HIROYAMA, Harumi	資生堂	2000.01.30	大阪国際女子
18 2:23:11	渋井 陽子	三井海上	2001.01.28	大阪国際女子
19 2:23:14	高橋 尚子	積水化学	2000.09.24	シドニーオリンピック
20 2:23:19	13 田中 智美 TANAKA, Tomomi	第一生命	2016.03.13	名古屋ウィメンズ
21 2:23:20	14 小原 怜 OHARA, Rei	天満屋	2016.03.13	名古屋ウィメンズ
22 2:23:23	15 重友 梨佐 SHIGETOMO, Risa	天満屋	2012.01.29	大阪国際女子
23 2:23:26	弘山 晴美	資生堂	2006.03.12	名古屋国際女子
24 2:23:26	16 大南 博美 OMINAMI, Hiromi	UFJ銀行	2004.09.26	ベルリン
25 2:23:30	17 小崎 まり OZAKI, Mari	ノーリツ	2003.01.26	大阪国際女子
26 2:23:30	17 尾崎 好美 OZAKI, Yoshimi	第一生命	2008.11.16	東京国際女子
27 2:23:34	19 木崎 良子 KIZAKI, Ryoko	ダイハツ	2013.03.10	名古屋ウィメンズ
28 2:23:42	渋井 陽子	三井住友海上	2009.01.25	大阪国際女子
29 2:23:43	20 大南 敬美 OMINAMI, Takami	UFJ銀行	2002.04.21	ロッテルダム
30 2:23:47	21 清田 真央 KIYOTA, Mao	スズキ浜松AC	2017.03.12	名古屋ウィメンズ
31 2:23:48	22 原 裕美子 HARA, Yumiko	京セラ	2007.01.28	大阪国際女子
32 2:23:48	22 前田 穂南 MAEDA, Honami	天満屋	2018.01.26	大阪国際女子
33 2:23:56	尾崎 好美	第一生命	2011.02.20	横浜国際女子
34 2:23:57	土佐 礼子	三井住友海上	2004.03.14	名古屋国際女子
35 2:23:58	渋井 陽子	三井住友海上	2006.03.12	名古屋国際女子
36 2:23:59	小崎 まり	ノーリツ	2005.01.30	大阪国際女子
37 2:24:05	野口 みずき	シスメックス	2013.03.10	名古屋ウィメンズ
38 2:24:09	24 赤羽 有紀子 AKABA, Yukiko	ホクレン	2011.04.17	ロンドン
39 2:24:14	尾崎 好美	第一生命	2012.03.11	名古屋ウィメンズ
40 2:24:14	野口 みずき	グローバリー	2003.08.31	世界選手権(パリ)
41 2:24:19	原 裕美子	京セラ	2005.03.13	名古屋国際女子
42 2:24:20	原 裕美子	京セラ	2005.08.14	世界選手権(ヘルシンキ)
43 2:24:21	福士 加代子	ワコール	2013.01.27	大阪国際女子
44 2:24:22	重友 梨佐	天満屋	2017.01.29	大阪国際女子
45 2:24:25	25 大島(田中) めぐみ OSHIMA, Megumi	しまむら	2005.03.13	名古屋国際女子
46 2:24:25	福士 加代子	ワコール	2015.10.11	シカゴ
47 2:24:27	26 加納 由理 KANO, Yuri	SWAC	2008.11.16	東京国際女子
48 2:24:28	27 中里 麗美 NAKAZATO, Remi	ダイハツ	2012.03.11	名古屋ウィメンズ
49 2:24:29	中里 麗美	ダイハツ	2011.02.20	横浜国際女子
50 2:24:32	清田 真央	スズキ浜松AC	2016.03.13	名古屋ウィメンズ

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 男子

STATISTICS & RESULTS

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 MEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:02:57	1 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28	Berlin
2	2:03:02	2 MUTAI, Geoffrey	ジヨフリー・ムタイ	KEN	2011.04.18	Boston
3	2:03:03	3 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016.09.25	Berlin
4	2:03:05	4 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2016.04.24	London
5	2:03:06	5 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011.04.18	Boston
6	2:03:13	6 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28	Berlin
6	2:03:13	6 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016.09.25	Berlin
8	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013.09.29	Berlin
9	2:03:32	KIPCHOGE, Eliud			2017.09.24	Berlin
10	2:03:38	8 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25	Berlin
11	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013.10.13	Chicago
12	2:03:46	9 ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017.09.24	Berlin
13	2:03:51	10 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016.04.24	London
14	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013.10.13	Chicago
15	2:03:58	KIPSANG, Wilson			2017.02.26	Tokyo
16	2:03:59	11 GEBRESELESSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28	Berlin
17	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015.09.27	Berlin
18	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013.09.29	Berlin
19	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud			2014.10.12	Chicago
20	2:04:15	MUTAI, Geoffrey			2012.09.30	Berlin
21	2:04:16	KIMETTO, Dennis			2012.09.30	Berlin
22	2:04:26	GEBRESELESSIE, Haile			2007.09.30	Berlin
23	2:04:28	12 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12	Chicago
24	2:04:29	KIPSANG, Wilson			2014.04.13	London
25	2:04:32	13 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12	Chicago
26	2:04:38	14 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07	Chicago
27	2:04:40	MUTAI, Emmanuel			2011.04.17	London
28	2:04:42	KIPCHOGE, Eliud			2015.04.26	London
29	2:04:44	KIPSANG, Wilson			2012.04.22	London
30	2:04:47	KIPSANG, Wilson			2015.04.26	London
31	2:04:52	15 LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012.10.07	Chicago
32	2:04:53	16 GEBREMARIAM, Gebregziabher	ゲブレグジャベル・ゲブレマリアム	ETH	2011.04.18	Boston
33	2:04:55	BIWOTT, Stanley			2014.04.13	London
34	2:04:58	17 HALL, Ryan	ライアン・ホール	USA	2011.04.18	Boston
35	2:05:06	MUTAI, Geoffrey			2011.11.06	New York
36	2:05:08	MAKAU, Patrick			2010.09.26	Berlin
37	2:05:10	18 WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	2009.04.26	London
37	2:05:10	MUTAI, Geoffrey			2010.09.26	Berlin
39	2:05:15	19 LEL, Martin	マーティン・レル	KEN	2008.04.13	London
40	2:05:16	KITWARA, Sammy			2013.10.13	Chicago
41	2:05:19	KEBEDE, Tsegaye			2010.04.25	London
42	2:05:20	KEBEDE, Tsegaye			2009.04.26	London
43	2:05:21	20 KIPTANUI, Eliud	エリウド・キプタヌイ	KEN	2015.09.27	Berlin
44	2:05:24	WANJIRU, Samuel			2008.04.13	London
45	2:05:25	21 WORKU, Bazu	バズ・ウォルク	ETH	2010.09.26	Berlin
46	2:05:27	22 GHARIB, Jaouad	ジャウアド・ガリブ	MAR	2009.04.26	London
46	2:05:27	22 REGASSA, Tilahun	ティラウン・レガサ	ETH	2012.10.07	Chicago
48	2:05:30	24 GOMRI, Abderrahim	アブデラヒム・グムリ	MAR	2008.04.13	London
49	2:05:31	25 CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	2016.09.25	Berlin
50	2:05:36	26 KWAMBAI, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2008.09.28	Berlin

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 女子

STATISTICS & RESULTS

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 WOMEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:17:01	1 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017.04.23	London
2	2:17:56	2 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017.04.23	London
3	2:18:31	DIBABA, Tirunesh		ETH	2017.10.08	Chicago
4	2:18:37	KEITANY, Mary		KEN	2012.04.22	London
5	2:19:19	3 MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
5	2:19:19	KEITANY, Mary			2011.04.17	London
7	2:19:25	4 CHERONO, Gladys	グラティス・チェロノ	KEN	2015.09.27	Berlin
8	2:19:36	5 KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
9	2:19:44	6 KIPLAGAT, Florence	フロレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
10	2:19:47	7 CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
11	2:19:50	8 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
12	2:19:57	9 JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013.10.13	Chicago
13	2:19:59	10 DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014.04.21	Boston
14	2:20:14	11 JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
15	2:20:15	JEPTOO, Priscah			2013.04.21	London
16	2:20:18	12 TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2014.09.28	Berlin
17	2:20:21	KIPLAGAT, Edna			2014.04.13	London
18	2:20:22	13 KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2017.10.08	Chicago
19	2:20:23	CHERONO, Gladys			2017.09.24	Berlin
20	2:20:24	KIPLAGAT, Florence			2014.04.13	London
21	2:20:27	14 TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014.09.28	Berlin
22	2:20:30	15 KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012.09.30	Berlin
23	2:20:35	DIBABA, Tirunesh			2014.04.13	London
23	2:20:35	16 DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2014.04.21	Boston
25	2:20:38	17 ZHOU, Chanxiu	周 春秀	CHN	2007.04.22	London
26	2:20:41	18 SUMUGONG, Jemima	ジェミマ・スムゴング	KEN	2014.04.21	Boston
26	2:20:41	18 AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH	2017.09.24	Berlin
28	2:20:42	20 ADERE, Berhane	ベルハネ・アテレ	ETH	2006.10.22	Chicago
29	2:20:45	KEBEDE, Aberu			2016.09.25	Berlin
30	2:20:46	KIPLAGAT, Edna			2011.04.17	London
31	2:20:47	21 BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006.10.22	Chicago
32	2:20:48	SUMUGONG, Jemima			2013.10.13	Chicago
32	2:20:48	KEBEDE, Aberu			2015.09.27	Berlin
34	2:20:53	22 AIYABEI, Valary	バレリー・アイヤベイ	KEN	2017.09.24	Berlin
35	2:20:57	KIPLAGAT, Florence			2012.04.22	London
35	2:20:57	23 HASAY, Jordan	ジョーダン・ハセイ	USA	2017.10.08	Chicago
37	2:21:13	KIPLAGAT, Florence			2013.09.29	Berlin
38	2:21:14	24 FLANAGAN, Shalane	シャレーン・フラナガン	USA	2014.09.28	Berlin
39	2:21:19	TSEGAYE, Tirfi			2012.09.30	Berlin
39	2:21:19	25 DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2017.02.26	Tokyo
41	2:21:27	26 KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN	2016.02.28	Tokyo
42	2:21:28	27 MELKAMU, Meselech	メセレク・メルカム	ETH	2014.04.21	Boston
43	2:21:29	28 PETROVA, Lyudmila	リュドミラ・ペトロワ	RUS	2006.04.23	London
44	2:21:31	29 TAFA, Askale	アスカレ・タファ	ETH	2008.09.28	Berlin
45	2:21:32	KIPLAGAT, Edna			2013.04.21	London
45	2:21:32	KIPLAGAT, Florence			2016.10.09	Chicago
47	2:21:34	30 WAMI, Gete	ゲテ・ワミ	ETH	2006.09.24	Berlin
48	2:21:42	TADESE, Feyse			2014.04.13	London
49	2:21:45	WAMI, Gete			2007.04.22	London
50	2:21:46	31 CHEPKEMEI, Susan	スーザン・チェプケメイ	KEN	2006.04.23	London

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

世界主要マラソン大会 結果

STATISTICS & RESULTS

2017年3月~2018年1月 / March, 2017 - January, 2018

パリ / Paris 2017. 04.09

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ポール・ロンヤンガタ	LONYANGATA, Paul	KEN ケニア	2:06:10
	2	スティーブン・チェボグト	CHEBOGUT, Stephen	KEN ケニア	2:06:57
	3	ソロモン・イエゴ	YEGO, Solomon	KEN ケニア	2:07:12
女子 Women	1	ピュリティ・リオノリポ	RIONORIPO, Purity	KEN ケニア	2:20:55
	2	アグネス・バルノシオ	BARSOSIO, Agnes	KEN ケニア	2:20:59
	3	フロメナ・チェイエチ・ダニエル	CHEYECH, Daniel Flomena	KEN ケニア	2:21:22

ボストン / Boston (AbbottWMM) 2017. 04.17

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ジョフリー・キルイ	KIRUI, Geoffrey	KEN ケニア	2:09:37
	2	ゲーリン・ラップ	RUPP, Galen	USA アメリカ	2:09:58
	3	大迫 傑	OSAKO, Suguru	JPN 日本	2:10:28
女子 Women	1	エドナ・キブラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN ケニア	2:21:52
	2	ローズ・チェリモ	CHELIMO, Rose	BRN バーレーン	2:22:51
	3	ジョーダン・ハセイ	HASAY, Jordan	USA アメリカ	2:23:00

ロンドン / London (AbbottWMM) 2017. 04.23

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ダニエル・ワンジル	WANJIRU, Daniel	KEN ケニア	2:05:48
	2	ケネニサ・ベケレ	BEKELE, Kenenisa	ETH エチオピア	2:05:57
	3	ピダン・カロキ	KAROKI, Bedan	KEN ケニア	2:07:41
女子 Women	1	メアリー・ケイタニー	KEITANY, Mary	KEN ケニア	2:17:01
	2	ティルネッシュ・ディババ	DIBABA, Tirunesh	ETH エチオピア	2:17:56
	3	アセレフェチ・メルギア	MERGIA, Aselefech	ETH エチオピア	2:23:08

IAAF ワールドチャンピオンシップ / IAAF World Championships - London 2017. 08.06

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ジョフリー・キルイ	KIRUI, Geoffrey	KEN ケニア	2:08:27
	2	タミラト・トラ	TOLA, Tamirat	ETH エチオピア	2:09:49
	3	アルフォンス・シambu	SIMBU, Alphonse	TAN タンザニア	2:09:51
女子 Women	1	ローズ・チェリモ	CHELIMO, Rose	BRN バーレーン	2:27:11
	2	エドナ・キブラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN ケニア	2:27:18
	3	エイミー・クラッグ	CRAGG, Amy	USA アメリカ	2:27:18

ベルリン / Berlin (AbbottWMM) 2017. 09.24

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キプチョゲ	KIPCHOGE, Eliud	KEN ケニア	2:03:32
	2	グイ・アドラ	ADOLA, Guye	ETH エチオピア	2:03:46
	3	モシネット・ゲレメウ	GEREMEW, Mosinet	ETH エチオピア	2:06:12
女子 Women	1	グラディス・チェロノ	CHERONO, Gladys	KEN ケニア	2:20:23
	2	ルティ・アガ	AGA, Ruti	ETH エチオピア	2:20:41
	3	バラリー・アイヤベイ	AIYABEI, Valary	KEN ケニア	2:20:53

シカゴ / Chicago (AbbottWMM) 2017. 10.08

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ゲーリン・ラップ	RUPP, Galen	USA アメリカ	2:09:20
	2	アベル・キルイ	KIRUI, Abel	KEN ケニア	2:09:48
	3	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:10:23
女子 Women	1	ティルネッシュ・ディババ	DIBABA, Tirunesh	ETH エチオピア	2:18:31
	2	ブリジット・コスゲイ	KOSGEI, Brigid	KEN ケニア	2:20:22
	3	ジョーダン・ハセイ	HASAY, Jordan	USA アメリカ	2:20:57

Results of World's Primary Marathons

ニューヨークシティ / New York City (AbbottWMM) 2017. 11.05

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ジョフリー・カムウォロル	KAMWOROR, Geoffrey	KEN ケニア	2:10:53
	2	ウィルソン・キブサング	KIPSANG, Wilson	KEN ケニア	2:10:56
	3	レリサ・デシサ	DESISA, Lelisa	ETH エチオピア	2:11:32
女子 Women	1	シャレーン・フラナガン	FLANAGAN, Shalane	USA アメリカ	2:26:53
	2	メアリー・ケイタニー	KEITANY, Mary	KEN ケニア	2:27:54
	3	マミトゥ・ダスカ	DASKA, Mamitu	ETH エチオピア	2:28:08

ドバイ / Dubai 2019. 01.26

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	モシネト・ゲレメウ	GEREMEW, Mosinet	ETH エチオピア	2:04:00
	2	レウル・ゲブレシラセ	GEBRESILASE, Leul	ETH エチオピア	2:04:02
	3	タミラト・トラ	TOLA, Tamirat	ETH エチオピア	2:04:06
女子 Women	1	ロザ・デレジェ・ベケレ	DEREJE BEKELE, Roza	ETH エチオピア	2:19:17
	2	フェイセ・タデセ	TADESE, Feyse	ETH エチオピア	2:19:30
	3	エブルグアル・メレーゼ	MELESE, Yebrgual	ETH エチオピア	2:19:36

[Japan] びわ湖毎日 / Lake Biwa Mainichi 2017. 03.05

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エゼキエル・チェビイ	CHEBII, Ezekiel	KEN ケニア	2:09:06
	2	ビンセント・キブルト	KIPRUTO, Vincent	KEN ケニア	2:09:15
	3	ソロモン・ムタイ	MUTAII, Solomon	UGA ウガンダ	2:09:59

[Japan] 名古屋ウィメンズ / Nagoya Women's 2017. 03.12

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ユニス・キルフ	KIRWA, Eunice	BRN パーレーン	2:21:17
	2	安藤 友香	ANDO, Yuka	JPN/ スズキ	2:21:36
	3	清田 真央	MAO, Kiyota	JPN/ スズキ	2:23:47

[Japan] 北海道 / Hokkaido 2017. 08.27

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	村澤 明伸	MURASAWA, Akinobu	JPN/ 日清食品	2:14:48
	2	吉村 大輝	YOSHIMURA, Taiki	JPN/ 旭化成	2:15:04
	3	福田 穰	FUKUDA, Jo	JPN/ 西鉄	2:15:11
女子 Women	1	前田 穂南	MAEDA, Honami	JPN/ 天満屋	2:28:48
	2	野上 恵子	NOGAMI, Keiko	JPN/18銀行	2:30:11
	3	田中 葉絵	TANAKA, Hanae	JPN/ 第一生命	2:32:16

[Japan] さいたま国際 / Saitama International 2017. 11.12

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	フロメナ・チェイエチ・ダニエル	CHEYECH DANIEL, Flomena	KEN ケニア	2:28:39*
	2	シタエ・ハブテベグレ	HABTEBEGREL, Shitaye	BRN パーレーン	2:28:42*
	3	ベケレッチ・ダバ	DABA, Bekelech	ETH エチオピア	2:30:06

* short course

[Japan] 福岡国際 / Fukuoka International 2017. 12.03

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ソンドレ・モーエン	MOEN, Sondre	NOR ノルウェー	2:05:48
	2	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:07:10
	3	大迫 傑	OSAKO, Suguru	JPN/Nike ORPJT	2:07:19

[Japan] 大阪国際女子 / Osaka International Women's 2018. 01.28

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	松田 瑞生	MATSUDA, Mizuki	JPN/ ダイハツ	2:22:44
	2	前田 穂南	MAEDA, Honami	JPN/ 天満屋	2:23:48
	3	安藤 友香	ANDO, Yuka	JPN/ スズキ	2:27:37

日本国内 パフォーマンスストップ25

STATISTICS & RESULTS

Japan All Comers Top 25 Marathon Performances

男子 Men

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Place 順位	Venue 開催地	Date 日付	
1	2:03:58	1	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キブサンク	KEN	1	Tokyo	2017.02.26
2	2:05:18	2	KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	1	Fukuoka	2009.12.06
3	2:05:42	3	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	1	Tokyo	2014.02.23
4	2:05:48	4	MOEN, Sondre Nordstad	ソンドレノールスタッド・モーエン	NOR	1	Fukuoka	2017.12.03
5	2:05:51	5	KIPKETER, Gideon	ギデオオン・キブケテル	KEN	2	Tokyo	2017.02.26
6	2:05:57	6	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2	Tokyo	2014.02.23
7	2:06:00	7	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	1	Tokyo	2015.02.22
8	2:06:10		KEBEDE, Tsegaye			1	Fukuoka	2008.12.07
9	2:06:13		KIPSANG, Wilson			1	Otsu (Lake Biwa)	2011.03.06
10	2:06:25		CHUMBA, Dickson			3	Tokyo	2017.02.26
11	2:06:30	8	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	3	Tokyo	2014.02.23
12	2:06:33	9	THYS, Gert	ゲルト・タイス	RSA	1	Tokyo	1999.02.14
12	2:06:33	9	KIPROTICH, Stephen	スティーブン・キプロティチ	UGA	2	Tokyo	2015.02.22
14	2:06:34		CHUMBA, Dickson			3	Tokyo	2015.02.22
15	2:06:39	11	WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	1	Fukuoka	2007.12.02
16	2:06:42	12	CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	4	Tokyo	2017.02.26
17	2:06:50	13	EJIGU, Deriba	デリバ・エジグ	ETH	2	Fukuoka	2007.12.02
17	2:06:50	13	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	1	Tokyo	2013.02.24
19	2:06:51	15	FUJITA, Atsushi	藤田 敦史	JPN	1	Fukuoka	2000.12.03
20	2:06:52	16	GBERSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	1	Fukuoka	2006.12.03
21	2:06:56	17	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	1	Tokyo	2016.02.28
22	2:06:58	18	GITAU, Joseph	ジョセフ・ギタウ	KEN	1	Fukuoka	2012.12.02
22	2:06:58	18	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN	2	Tokyo	2013.02.24
22	2:06:58		KIPYEGO, Michael			4	Tokyo	2012.01.27
25	2:07:04	20	NDUNGU, Samuel	サムエル・ドゥング	KEN	1	Otsu (Lake Biwa)	2012.03.04

女子 Women

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Place 順位	Venue 開催地	Date 日付	
1	2:19:47	1	CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	1	Tokyo	2017.02.26
2	2:21:17	2	KIRWA, Eunice	ユニス・キルワ	BRN	1	Nagoya	2017.03.12
3	2:21:18	3	NOGUCHI, Mizuki	野口 みずき	JPN	1	Osaka	2003.01.26
4	2:21:19	4	DIBABA, Berhane	ベルハネ・ティババ	ETH	2	Tokyo	2017.02.26
5	2:21:27	5	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロプ	KEN	1	Tokyo	2016.02.28
6	2:21:36	6	ANDO, Yuka	安藤 友香	JPN	2	Nagoya	2017.03.12
7	2:21:37		NOGUCHI, Mizuki			1	Tokyo	2007.11.18
8	2:21:45	7	CHIBA, Masako	千葉 真子	JPN	2	Osaka	2003.01.26
9	2:21:51	8	SAKAMOTO, Naoko	坂本 直子	JPN	3	Osaka	2003.01.26
9	2:21:51	8	GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH	2	Tokyo	2016.02.28
11	2:22:08		KIRWA, Eunice			1	Nagoya	2015.03.08
12	2:22:12	10	YAMAGUCHI, Eri	山口 衛里	JPN	1	Tokyo	1999.11.21
13	2:22:17	11	FUKUSHI, Kayoko	福士 加代子	JPN	1	Osaka	2016.01.31
14	2:22:19	12	TAKAHASHI, Naoko	高橋 尚子	JPN	1	Nagoya	2000.03.12
15	2:22:22	13	KIPLAGAT, Lornah	ローナ・キブラガト	KEN	4	Osaka	2003.01.26
16	2:22:23	14	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	1	Tokyo	2014.02.23
17	2:22:30		DIBABA, Berhane			2	Tokyo	2014.02.23
18	2:22:36	15	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	3	Tokyo	2016.02.28
19	2:22:40		KIRWA, Eunice			1	Nagoya	2016.03.13
20	2:22:44	16	MATSUDA, Mizuki	松田 瑞生	JPN	1	Osaka	2018.01.26
21	2:22:48	17	MAEDA, Sairi	前田 彩里	JPN	2	Nagoya	2015.03.08
22	2:22:54	18	SIMON, Lidia	リディア・シモン	ROM	1	Osaka	2000.01.30
23	2:22:56	19	HIROYAMA, Harumi	弘山 晴美	JPN	2	Osaka	2000.01.30
23	2:22:56	19	PROKOPCUKA, Jelena	エレナ・プロコプツカ	LAT	1	Osaka	2005.01.30
25	2:23:01	21	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	4	Tokyo	2016.02.28

※ 2018年1月31日現在 / As of January 31, 2018

東京マラソン パフォーマンスストップ25

STATISTICS & RESULTS

All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances

男子 Men

Performance Time	記録	Name	名前	Nation	国	Place	順位	Date	日付
1	2:03:58	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサンク	KEN		1		2017.02.26	
2	2:05:42	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN		1		2014.02.23	
3	2:05:51	KIPKETER, Gideon	ギデオオン・キプケテル	KEN		2		2017.02.26	
4	2:05:57	TOLA, Tadese	タダセ・トラ	ETH		2		2014.02.23	
5	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH		1		2015.02.22	
6	2:06:25	CHUMBA, Dickson				3		2017.02.26	
7	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN		3		2014.02.23	
8	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	スティープン・キプロティチ	UGA		2		2015.02.22	
9	2:06:34	CHUMBA, Dickson				3		2015.02.22	
10	2:06:42	CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN		4		2017.02.26	
11	2:06:50	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN		1		2013.02.24	
12	2:06:56	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH		1		2016.02.28	
13	2:06:58	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN		2		2013.02.24	
14	2:06:58	KIPYEGO, Michael				4		2014.02.23	
15	2:07:05	SOME, Peter	ピーター・ソメ	KEN		5		2014.02.23	
16	2:07:20	DECHASA, Shumi	シュミ・デチャサ	BRN		4		2015.02.22	
17	2:07:22	SOME, Peter				5		2015.02.22	
18	2:07:23	ROTHLIN, Viktor	ビクトル・ロスリン	SUI		1		2008.02.17	
19	2:07:25	GENETI, Markos	マルコス・ゲネティ	ETH		6		2015.02.22	
20	2:07:33	KIPYEGO, Bernard	バーナード・キピエゴ	KEN		2		2016.02.28	
21	2:07:34	CHUMBA, Dickson				3		2016.02.28	
22	2:07:35	MEKONNEN, Hailu	ハイル・メコネン	ETH		1		2011.02.27	
23	2:07:37	KIPYEGO, Michael				1		2012.02.26	
24	2:07:37	KIPSANG, Geoffrey	ジョフリー・キプサンク	KEN		6		2014.02.23	
25	2:07:39	IMAI, Masato	今井 正人	JPN		7		2015.02.22	
26	2:07:39	LAGAT, Alfars	アルフェルス・ラガト	KEN		5		2017.02.26	

女子 Women

Performance Time	記録	Name	名前	Nation	国	Place	順位	Date	日付
1	2:19:47	CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN		1		2017.02.26	
2	2:21:19	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH		2		2017.02.26	
3	2:21:27	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN		1		2016.02.28	
4	2:21:51	GOBENA, Amame	アマネ・ゴベナ	ETH		2		2016.02.28	
5	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH		1		2014.02.23	
6	2:22:30	DIBABA, Birhane				2		2014.02.23	
7	2:22:36	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キプラガト	KEN		3		2016.02.28	
8	2:23:01	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH		4		2016.02.28	
9	2:23:09	GOBENA, Amame				3		2017.02.26	
10	2:23:15	DIBABA, Birhane				1		2015.02.22	
11	2:23:16	DIBABA, Birhane				5		2016.02.28	
12	2:24:03	KIPROP, Helah				2		2015.02.22	
13	2:24:16	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN		3		2014.02.23	
14	2:24:26	GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH		3		2015.02.22	
15	2:24:35	ROTICH, Caroline	キャロライン・ロティチ	KEN		4		2014.02.23	
16	2:25:04	DEMISE, Shure	シュレ・デミセ	ETH		6		2016.02.28	
17	2:25:28	HABTAMU, Atsede	アツェデ・ハプタム	ETH		1		2012.02.26	
18	2:25:34	KEBEDE, Aberu				1		2013.02.24	
19	2:25:38	NASUKAWA, Mizuho	那須川 瑞穂	JPN		1		2009.03.22	
20	2:25:50	DIDO, Ashete	アシェテ・ティド	ETH		7		2016.02.28	
21	2:26:00	ESAYIAS, Yeshi	イエシ・イセイアス	ETH		2		2012.02.26	
22	2:26:01	ESAYIAS, Yeshi				2		2013.02.24	
23	2:26:02	KIROP, Helena	ヘレナ・キロップ	KEN		3		2012.02.26	
24	2:26:03	RONO, Janet	ジャネット・ロノ	KEN		5		2014.02.23	
25	2:26:08	OKUBO, Eri	大久保 絵里	JPN		4		2012.02.26	

※ 2017年大会終了時 / As of Tokyo Marathon 2017

東京マラソン2017 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ウィルソン・キプサンブ	KIPSANG, Wilson	KEN	ケニア	2:03:58	CR
2	ギデオン・キプケテル	KIPKETER, Gideon	KEN	ケニア	2:05:51	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:06:25	
4	エバンス・チェベト	CHEBET, Evans	KEN	ケニア	2:06:42	
5	アルフェルス・ラガト	LAGAT, Alfars	KEN	ケニア	2:07:39	
6	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN	ケニア	2:08:10	
7	ヨハネス・ゲブレゲルギシュ	GHEBREGERGISH, Yohanes	ERI	エリトリア	2:08:14	
8	井上 大仁	INOUE, Hiroto	JPN	長崎・MHPS	2:08:22	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	サラ・チェブチルチル	CHEPCHIRCHIR, Sarah	KEN	ケニア	2:19:47	CR
2	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:21:19	CR
3	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH	エチオピア	2:23:09	
4	藤本 彩夏	FUJIMOTO, Ayaka	JPN	鹿児島・京セラ	2:27:08	
5	マルタ・レマ	LEMA, Marta	ETH	エチオピア	2:27:37	
6	サラ・ホール	HALL, Sara	USA	アメリカ	2:28:26	
7	中野 円花	NAKANO, Madoka	JPN	兵庫・ノーリツ	2:33:00	
8	高山 琴海	TAKAYAMA, Kotomi	JPN	兵庫・シスメックス	2:34:44	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	渡辺 勝	WATANABE, Sho	JPN	福岡・TOPPAN	1:28:01	
2	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	1:28:01	
3	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN	千葉・関東バラ陸協	1:28:02	
4	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京・SUS	1:28:03	
5	ジョシュア・ジョージ	GEORGE, Joshua	USA	アメリカ	1:28:03	
6	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・ヤフー	1:28:03	
7	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪・バカラパシフィック	1:28:12	
8	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:28:23	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	アマンダ・マグロリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	1:43:27	
2	マニエラ・シャー	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	1:43:27	
3	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	1:43:29	
4	鄒 麗紅	ZOU, Lihong	CHN	中華人民共和国	1:44:28	
5	喜納 翼	KINA, Tsubasa	JPN	沖縄・沖縄県身体障害者陸協	1:46:11	
6	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川・アクセンチュア	1:46:14	

▶マラソン準エリート男子 Marathon : Semi - Elite (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	近藤 秀一	KONDO, Shuichi	JPN	静岡・東京大学	2:14:13	
2	柴田 拓真	SHIBATA, Takuma	JPN	北海道・平成国際大学	2:15:02	
3	甲斐 大貴	KAI, Hiroki	JPN	千葉・順天堂大学	2:18:17	

▶マラソン準エリート女子 Marathon : Semi - Elite (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	白石 莉理	SHIRAIISHI, Riri	JPN	大阪・大阪芸術大学	2:43:19	
2	小柳 由香	KOYANAGI, Yuka	JPN	長崎・長崎ランニングアカデミー	2:44:28	
3	Rochelle Maree Rodgers	RODGERS, Rochelle Maree	AUS	オーストラリア	2:44:35	

Tokyo Marathon 2017 Results

▶ 10km ジュニア & ユース男子 10km : Junior&Youth (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	吉田 健太	YOSHIDA, Kenta	JPN	茨城	0:33:22	
2	中嶋 貴哉	NAKASHIMA, Takaya	JPN	岩手	0:33:23	
3	吉岡 拓哉	YOSHIOKA, Takuya	JPN	千葉	0:33:24	

▶ 10km ジュニア & ユース女子 10km : Junior&Youth (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小林 茉海	KOBAYASHI, Mami	JPN	千葉	0:37:03	
2	小幡 美貴	OBATA, Miki	JPN	千葉	0:38:07	
3	平賀 奏美	HIRAGA, Kanami	JPN	東京	0:38:20	

▶ 10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	佐野 純一郎	SANO, Junichiro	JPN	京都	0:23:55	
2	田口 勉	TAGUCHI, Tsutomu	JPN	埼玉	0:28:48	
3	初海 達也	HATSUUMI, Tatsuya	JPN	神奈川	0:30:29	

▶ 10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	武川 泰幸	MUKAWA, Yasuyuki	JPN	北海道	0:39:23	
2	菊池 儀	KIKUCHI, Takashi	JPN	埼玉	0:44:49	
3	三國 文敬	MIKINI, Fuminori	JPN	東京	0:44:52	

▶ 10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	金野 由美子	KONNO, Yumiko	JPN	東京	0:46:05	
2	多田 佳美	TADA, Yoshimi	JPN	埼玉	0:51:52	
3	八田 冴子	HATTA, Saeko	JPN	東京	0:57:39	

▶ 10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	大橋 哲	OHASHI, Tetsu	JPN	神奈川	0:38:00	
2	小島 弘暉	KOJIMA, Hiroki	JPN	埼玉	0:38:18	
3	萩原 和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN	東京	0:39:47	

▶ 10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	高橋 由香里	TAKAHASHI, Yukari	JPN	愛知	0:47:45	
2	黒澤 沙織	KUROSAWA, Saori	JPN	東京	0:48:56	
3	篠塚 葉月	SHINOTSUKA, Hazuki	JPN	茨城	0:59:27	

▶ 10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	遠田 祐貴	TOODA, Yuuki	JPN	新潟	0:38:02	
2	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN	兵庫	0:42:38	
3	平山 経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN	神奈川	0:45:27	

▶ 10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ベッカーマン 直美	BECKERMAN, Naomi	JPN	神奈川	0:53:09	
2	大久保 八恵	OHKUBO, Yae	JPN	東京	1:01:41	
3	シュ セイ	ZHU, Jing	JPN	東京	1:06:41	

東京マラソン2016 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	フェイサ・リレサ	LILESA, Feyisa	ETH	エチオピア	2:06:56	
2	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN	ケニア	2:07:33	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:07:34	
4	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:07:46	
5	アベル・キルイ	KIRUI, Abel	KEN	ケニア	2:08:06	
6	エリウド・キプタヌイ	KIPTANUI, Eliud	KEN	ケニア	2:08:55	
7	エマニュエル・ムタイ	MUTAI, Emmanuel	KEN	ケニア	2:10:23	
8	高宮 祐樹	TAKAMIYA, Yuki	JPN	東京・ヤクルト	2:10:57	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ヘラー・キプロブ	KIPROP, Helah	KEN	ケニア	2:21:27	CR
2	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH	エチオピア	2:21:51	CR
3	エドナ・キプラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN	ケニア	2:22:36	
4	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	エチオピア	2:23:01	
5	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:23:16	
6	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH	エチオピア	2:25:04	
7	アシェテ・ディド	DIDO, Ashete	ETH	エチオピア	2:25:50	
8	マヤ・ノイエンシュワンダー	NEUENSCHWANDER, Maja	SUI	スイス	2:27:36	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	クート・フェンリー	FEARNLEY, Kurt	AUS	オーストラリア	1:26:00	CR
2	エルンスト・バンダイク	VAN DYK, Ernst	RSA	南アフリカ	1:26:01	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・ヤフー	1:26:01	
4	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎・ソシオ SOEJIMA	1:26:02	
5	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN	千葉・関東パラ陸協	1:26:11	
6	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪・ハカラバシフィック	1:26:43	
7	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:29:13	
8	久保 恒造	KUBO, Kozo	JPN	北海道・日立ソリューションズ	1:31:25	

※ IPC 公認レース (2016 大会以降) での記録を CR 対象としています。
**Only IPC-sanctioned race records from 2016 onward qualify as Course Records.

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・八千代工業	1:41:04	CR ★
2	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	1:41:14	
3	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川・アクセンチュア	1:56:58	
4	アマンダ・マグリオー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	2:10:55	

★ = 9年連続優勝 / 9-time winner

※ IPC 公認レース (2016 大会以降) での記録を CR 対象としています。
**Only IPC-sanctioned race records from 2016 onward qualify as Course Records.

▶マラソン準エリート男子 Marathon : Semi - Elite (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	橋本 峻	HASHIMOTO, Ryo	JPN	大分・青山学院大学	2:14:38	
2	西山 凌平	NISHIYAMA, Ryouhei	JPN	三重・神奈川大学	2:15:42	
3	渡邊 利典	WATANABE, Toshinori	JPN	宮城・青山学院大学	2:16:01	

▶マラソン準エリート女子 Marathon : Semi - Elite (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ルース・シャーロット・クロフト	CROFT, Ruth Charlotte	NZL	ニュージーランド	2:40:59	
2	加藤 美紀	KATO, Miki	JPN	東京・東京陸協	2:48:33	
3	三浦 可奈美	MIURA, Kanami	JPN	東京・東京陸協	2:52:05	

Tokyo Marathon 2016 Results

▶10kmジュニア& ユース男子 10km : Junior&Youth (Men)

10km : Net Time

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	藤井 優吾 FUJII, Yugo	JPN 東京	34:07	
2	早坂 拓人 HAYASAKA, Takuto	JPN 宮城	34:28	
3	玉應 希築 TAMAO, Kizuki	JPN 福島	34:49	

▶10kmジュニア& ユース女子 10km : Junior&Youth (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	門間 由来 MOMMA, Yura	JPN 宮城	38:39	
2	平賀 祥子 HIRAGA, Shoko	JPN 千葉	38:47	
3	矢澤 紀咲 YAZAWA, Kie	JPN 宮城	39:11	

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤 友祈 SATO, Tomoki	JPN 静岡	24:33	
2	嶋崎 康介 SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 東京	28:01	
3	櫻井 雄太 SAKURAI, Yuuta	JPN 東京	36:33	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	安川 祐里香 YASUKAWA, Yurika	JPN 神奈川	27:04	
2	山口 晴加 YAMAGUCHI, Haruka	JPN 東京	34:02	

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:01	
2	舟橋 剛二 FUNABASHI, Kouji	JPN 静岡	44:30	
3	吉田 英世 YOSHIDA, Hideyo	JPN 茨城	46:17	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 東京	49:01	
2	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	51:38	
3	宮島 敬子 MIYAJIMA, Keiko	JPN 東京	1:14:03	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小島 弘暉 KOJIMA, Hiroki	JPN 埼玉	39:24	
2	大橋 哲 OHASHI, Tetsu	JPN 神奈川	41:18	
3	渡辺 峻佑 WATANABE, Ryosuke	JPN 東京	42:21	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	澤 麻衣子 SAWA, Maiko	JPN 滋賀	43:15	
2	藤本 絵里子 FUJIMOTO, Eriko	JPN 東京	55:04	
3	大脇 真悠 OWAKI, Mayu	JPN 埼玉	1:05:34	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:11	
2	吉川 秀志 YOSHIKAWA, Hideshi	JPN 東京	50:14	
3	長田 雅孝 OSADA, Masataka	JPN 静岡	50:30	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 東京	48:20	
2	桑原 あゆみ KUWABARA, Ayumi	JPN 東京	53:50	
3	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	56:34	

東京マラソン2015 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	エンデショー・ネゲセ	NEGESSE, Endeshaw	ETH	エチオピア	2:06:00	
2	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:06:33	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:06:34	
4	シュミ・デチャサ	DECHASA, Shumi	BRN	バーレーン	2:07:20	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	ケニア	2:07:22	
6	マルコス・ゲネティ	GENETI, Markos	ETH	エチオピア	2:07:25	
7	今井 正人	IMAI, Masato	JPN	福岡・トヨタ自動車九州	2:07:39	
8	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegay	ETH	エチオピア	2:07:58	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:23:15	
2	ヘラー・キプロブ	KIPROP, Helah	KEN	ケニア	2:24:03	
3	ティキ・ゲラナ	GELANA, Tiki	ETH	エチオピア	2:24:26	
4	カプッチ・チェビエゴ	CHEPYEGO, Kaptich	KEN	福岡・九電工	2:26:43	
5	チェイエチ・ダニエル	DANIEL, Cheyech	KEN	ケニア	2:26:54	
6	イエシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH	エチオピア	2:30:15	
7	扇 まどか	OGI, Madoka	JPN	長崎・十八銀行	2:30:25	
8	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS	ロシア	2:34:21	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:30:23	
2	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN	千葉	1:30:36	
3	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:30:36	
4	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎	1:32:06	
5	久保 恒造	KUBO, Kozo	JPN	北海道	1:32:10	
6	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:33:23	
7	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:37:01	
8	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	JPN	大阪	1:40:38	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・八千代工業	1:46:30	★

★ = 8年連続優勝 / 8-time winner

▶マラソン準エリート男子 Marathon : Semi - Elite (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	猪浦 舜	INOUE, Shun	JPN	埼玉・駒澤大学	2:17:54	
2	松本 匠	MATSUMOTO, Takumi	JPN	徳島	2:22:17	
3	片山 弘之	KATAYAMA, Hiroyuki	JPN	徳島・徳島市陸協	2:22:22	

▶マラソン準エリート女子 Marathon : Semi - Elite (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	大和田 啓実	OOWADA, Hiromi	JPN	東京	2:46:39	
2	酒見 範子	SAKEMI, Noriko	JPN	佐賀	2:50:55	
3	桑原 絵理	KUWAHARA, Eri	JPN	福島	2:51:13	

Tokyo Marathon 2015 Results

▶10kmジュニア& ユース男子 10km : Junior&Youth (Men)

10km : Net Time

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤 亜星	SATO, Asei	JPN	宮城	32:53	
2	佐藤 忠俊	SATO, Tadatoshi	JPN	福島	33:02	
3	石井 海	ISHII, Kai	JPN	宮城	33:07	

▶10kmジュニア& ユース女子 10km : Junior&Youth (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	原田 紗枝	HARADA, Sae	JPN	千葉	37:14	
2	榊原 遥	SAKAKIBARA, Haruka	JPN	宮城	37:27	
3	中原 奈美	NAKAHARA, Nami	JPN	福島	37:56	

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	嶋崎 康介	SHIMAZAKI, Kosuke	JPN	東京	27:07	
2	松尾 充浩	MATSUO, Mitsuhiro	JPN	大阪	35:21	
3	櫻井 雄太	SAKURAI, Yuuta	JPN	東京	36:13	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN	新潟	41:38	
2	吉田 英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN	茨城	48:28	
3	安藤 久志	ANDO, Hisashi	JPN	岡山	52:36	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	近藤 寛子	KONDO, Hiroko	JPN	滋賀	47:18	
2	金野 由美子	KONNO, Yumiko	JPN	東京	47:20	
3	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN	埼玉	51:19	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	萩原 和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN	東京	40:27	
2	大橋 哲	OHASHI, Tetsu	JPN	神奈川	41:34	
3	新垣 正範	SHINGAKI, Masanori	JPN	沖縄	41:56	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	村上 あゆみ	MURAKAMI, Ayumi	JPN	東京	45:06	
2	濱村 幸子	HAMAMURA, Sachiko	JPN	東京	51:42	
3	大脇 真悠	OWAKI, Mayu	JPN	埼玉	55:55	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN	兵庫	42:51	
2	奥村 公朗	OKUMURA, Kimio	JPN	愛知	44:53	
3	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN	神奈川	47:35	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN	東京	53:31	
2	桑原 あゆみ	KUWABARA, Ayumi	JPN	東京	56:45	
3	猪坂 徳子	INOSAKA, Noriko	JPN	兵庫	57:29	

東京マラソン2014 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:05:42	CR
2	タデセ・トラ	TOLA, Tadese	ETH	エチオピア	2:05:57	CR
3	サミー・キトワラ	KITWARA, Sammy	KEN	ケニア	2:06:30	CR
4	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN	ケニア	2:06:58	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	ケニア	2:07:05	
6	ジョフリー・キプサング	KIPSANG, Geoffrey	KEN	ケニア	2:07:37	
7	デレサ・チムサ	CHIMSA, Deressa	ETH	エチオピア	2:07:40	
8	松村 康平	MATSUMURA, Kohei	JPN	長崎・三菱重工長崎	2:08:09	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ティルフィ・ツェガエ	TSEGAYE, Tirfi	ETH	エチオピア	2:22:23	CR
2	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:22:30	CR
3	ルーシー・カブー	KABUU, Lucy	KEN	ケニア	2:24:16	CR
4	キャロライン・ロティチ	ROTICH, Caroline	KEN	ケニア	2:24:35	CR
5	ジャネット・ロノ	RONO, Janet	KEN	ケニア	2:26:03	
6	アルピナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS	ロシア	2:28:18	
7	伊藤 舞	ITO, Mai	JPN	徳島・大塚製薬	2:28:36	
8	新宅 里香	SHINTAKU, Rika	JPN	埼玉・しまむら	2:31:15	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:30:43	
2	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	長崎・シーズアスリート	1:30:44	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:34:45	
4	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN	大阪	1:34:46	
5	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:38:55	
6	Senbeta James	SENBETA, James	USA	アメリカ	1:39:01	
7	西原 宏明	NISHIHARA, Hiroaki	JPN	京都	1:39:27	
8	高原 圭司	TAKAHARA, Keiji	JPN	岡山	1:44:24	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ	1:48:08	★
2	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN	神奈川	2:04:05	
3	高崎 瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN	東京	2:07:35	

★ = 7年連続優勝 / 7-time winner

▶10kmU-18 男子 10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	黒田 雄紀	KURODA, Yuki	JPN	神奈川	32:41	
2	水口 敬斗	MIZUGUCHI, Keito	JPN	福島	33:22	
3	酒井 洋輔	SAKAI, Yosuke	JPN	福島	33:25	

▶10kmU-18 女子 10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	千葉 悠里奈	CHIBA, Yurina	JPN	宮城	37:31	
2	室田 知美	MUROTA, Tomomi	JPN	福島	37:57	
3	工藤 茉莉	KUDO, Machiko	JPN	宮城	38:11	

Tokyo Marathon 2014 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

10km : Net Time

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	弘岡 正樹 HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	26:40	
2	佐藤 友祈 SATO, Tomoki	JPN 静岡	29:13	
3	初海 達也 HATSUUMI, Tatsuya	JPN 神奈川	31:10	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:18	
2	内田 勝久 UCHIDA, Katsuhisa	JPN 東京	50:30	
3	船橋 勝 FUNABASHI, Masaru	JPN 東京	54:30	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	青木 洋子 AOKI, Yoko	JPN 東京	51:11	
2	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	51:27	
3	石井 喜美江 ISHII, Kimie	JPN 東京	53:17	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小磯 夏樹 KOISO, Natsuki	JPN 東京	35:25	
2	矢島 一也 YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川	37:23	
3	齋藤 新樹 SAITO, Araki	JPN 東京	41:34	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	44:35	
2	濱村 幸子 HAMAMURA, Sachiko	JPN 東京	51:44	
3	岩附 千陽 IWATSUKI, Chiharu	JPN 埼玉	56:25	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:05	
2	佐藤 良憲 SATO, Yoshinori	JPN 東京	43:01	
3	平山 経政 HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	44:53	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ベッカーマン 直美 BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	50:09	
2	山本 恵子 YAMAMOTO, Keiko	JPN 兵庫	55:58	
3	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	57:22	

東京マラソン2013 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	デニス・キメット KIMETTO, Dennis	KEN ケニア	2:06:50	CR
2	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:06:58	CR
3	バーナード・キピエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:53	
4	前田 和浩 MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:08:00	
5	ジェームズ・クワンバイ KWAMBAI, James	KEN ケニア	2:08:02	
6	ギルバート・キルワ KIRWA, Gilbert	KEN ケニア	2:08:17	
7	フェイス・ベケレ BEKELE, Feyisa	ETH エチオピア	2:09:05	
8	ディノ・セフィル SEFIR, Dino	ETH エチオピア	2:09:13	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	アベル・ケベデ KEBEDE, Aberu	ETH エチオピア	2:25:34	
2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:01	
3	イリーナ・ミキテンコ MIKITENKO, Irina	GER ドイツ	2:26:41	
4	アルピナ・マヨロワ MAYOROVA, Albina	RUS ロシア	2:26:51	
5	尾崎 好美 OZAKI, Yoshimi	JPN 東京・第一生命	2:28:30	
6	ヘラリア・ジョアンネス JOHANNES, Helalia	NAM ナミビア	2:29:20	
7	吉川 美香 YOSHIKAWA, Mika	JPN 神奈川・パナソニック	2:30:20	
8	ナスタシア・スタラボイタワ STARAVOITAVA, Nastassia	BLR ベラルーシ	2:30:45	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・シーズアスリート	1:27:53	
2	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:07	
3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・エイベックス・マーケティング	1:34:42	
4	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:37:56	
5	島田 一彦 SHIMADA, Kazuhiko	JPN 茨城	1:38:36	
6	西田 宗城 NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:40:07	
7	吉野 誠二 YOSHINO, Seiji	JPN 兵庫	1:44:00	
8	真下 和也 MASHITA, Kazuya	JPN 京都	1:48:28	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:29	★
2	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川	1:52:14	

★ = 6年連続優勝 / 6-time winner

▶10kmU-18 男子 10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	藤 飛翔 FUJI, Tsubasa	JPN 福島	34:34	
2	根本 夏生 NEMOTO, Natsuo	JPN 福島	36:06	
3	小川 広 OGAWA, Hiro	JPN 福島	36:31	

▶10kmU-18 女子 10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	胡口 奈穂 KOGUCHI, Nao	JPN 福島	42:21	
2	柿沼 美羽 KAKINUMA, Miu	JPN 福島	43:01	
3	猪狩 美咲 IGARI, Misaki	JPN 福島	43:21	

Tokyo Marathon 2013 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuihiro	JPN 神奈川	26:22	☆
2	初海 達也 HATSUUMI, Tatsuya	JPN 神奈川	30:05	
3	佐藤 友祈 SATO, Tomoki	JPN 静岡	30:59	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	兼子 未希 KANEKO, Miki	JPN 東京	34:06	

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	44:34	
2	吉田 英世 YOSHIDA, Hideyo	JPN 茨城	51:10	
3	菊池 儀 KIKUCHI, Takashi	JPN 埼玉	51:28	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	55:19	
2	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	57:16	
3	石井 喜美江 ISHII, Kimie	JPN 東京	1:01:06	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	渡辺 峻佑 WATANABE, Ryosuke	JPN 東京	42:40	
2	中島 健太 NAKAJIMA, Kenta	JPN 神奈川	45:35	
3	鈴木 恭平 SUZUKI, Kyohei	JPN 東京	46:19	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	樋口 敦子 HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟	51:06	
2	宮地 菜摘 MIYAJI, Natsumi	JPN 埼玉	1:01:33	
3	大脇 真悠 OWAKI, Mayu	JPN 埼玉	1:03:41	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	星川 望 HOSHIKAWA, Nozomu	JPN 東京	51:46	
2	和地 孝三 WACHI, Kozo	JPN 東京	53:12	
3	楠 修次 KUSU, Nobuji	JPN 東京	53:38	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	55:14	☆
2	柳下 利子 YAGISHITA, Toshiko	JPN 神奈川	1:07:25	
3	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	1:09:25	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

東京マラソン2012 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:07:37	
2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・東京陸協	2:07:48	
3	スティーブン・キプロティチ KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:07:50	
4	ハイレ・ゲブレシラシエ GEBRESELASSIE, Haile	ETH エチオピア	2:08:17	
5	ピクトル・ロスリン ROTHLIN, Viktor	SUI スイス	2:08:32	
6	前田 和浩 MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:08:38	
7	松宮 隆行 MATSUMIYA, Takayuki	JPN 東京・コニカミノルタ	2:09:28	
8	ハイル・メコネン MEKONNEN, Hailu	ETH エチオピア	2:09:59	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	アツエテ・ハブタム HABTAMU, Atsede	ETH エチオピア	2:25:28	CR
2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:00	
3	ヘレナ・キロップ KIROP, Helena	KEN ケニア	2:26:02	
4	大久保 絵里 OKUBO, Eri	JPN 東京・SWAC	2:26:08	
5	タチアナ・アルヒポバ ARKHIPOVA, Tatiana	RUS ロシア	2:26:46	
6	リシャン・ドゥラ DULA, Lishan	BRN バーレーン	2:28:22	
7	イエルサレム・クマ KUMA, Eyerusalem	ETH エチオピア	2:28:36	
8	カテリナ・ステツェンコ STETSENKO, Kateryna	UKR ウクライナ	2:28:38	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:26	
2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・チームサンディスク	1:29:31	
3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:30:37	
4	廣道 純 HIROMICHI, Jun	JPN 大分	1:31:38	
5	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:32:48	
6	西田 宗城 NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:34:51	
7	塩田 清高 SHIOTA, Kiyotaka	JPN 埼玉	1:41:33	
8	橋爪 淳 HASHIZUME, Atsushi	JPN 神奈川	1:48:52	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:31	★
2	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川	1:58:43	
3	高崎 瑞貴 TAKASAKI, Mizuki	JPN 東京	2:13:32	

★ = 5年連続優勝 / 5-time winner

▶10kmU-18 男子 10km : U-18 (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	齋藤 将輝 SAITO, Masaki	JPN 福島	33:43	
2	佐久間 祥 SAKUMA, Sho	JPN 福島	33:54	
3	中川 大誠 NAKAGAWA, Taisei	JPN 福島	34:42	

▶10kmU-18 女子 10km : U-18 (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	嶋原 優子 SHIGIHARA, Yuko	JPN 福島	41:34	
2	矢野 汐織 YANO, Shiori	JPN 福島	41:47	
3	大久保 七海 OKUBO, Nanami	JPN 福島	42:05	

Tokyo Marathon 2012 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:59	
2	弘岡 正樹 HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	27:41	
3	関口 武志 SEKIGUCHI, Takeshi	JPN 東京	35:00	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	重田 雅敏 SHIGETA, Masatoshi	JPN 東京	53:02	
2	栄 聡一郎 SAKAE, Soichiro	JPN 神奈川	54:24	
3	舟橋 剛二 FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	56:34	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	58:23	
2	細川 早苗 HOSOKAWA, Sanae	JPN 東京	1:07:53	
3	吉村 瞳 YOSHIMURA, Hitomi	JPN 東京	1:08:08	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	佐藤 嵩仁 SATO, Takahito	JPN 神奈川	41:43	
2	小磯 夏樹 KOISO, Natsuki	JPN 東京	43:24	
3	川邊 正弥 KAWABE, Masaya	JPN 東京	44:30	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	田口 恵 TAGUCHI, Megumi	JPN 東京	1:02:34	
2	吉川 美保 YOSHIKAWA, Miho	JPN 東京	1:04:58	
3	鈴木 梢 SUZUKI, Kozue	JPN 東京	1:05:58	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	46:12	
2	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城	51:32	
3	谷村 多晶 TANIMURA, Kazuaki	JPN 東京	52:30	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	54:52	
2	乾 麻理子 INUJ, Mariko	JPN 東京	1:05:43	
3	大久保 八恵 OKUBO, Yae	JPN 東京	1:12:26	

東京マラソン2011 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ハイル・メコネン	MEKONNEN, Hailu	ETH	エチオピア	2:07:35	
2	ポール・ビウォット	BIWOTT, Paul	KEN	ケニア	2:08:17	
3	川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN	埼玉・埼玉陸協	2:08:37	
4	尾田 賢典	ODA, Yoshinori	JPN	愛知・トヨタ自動車	2:09:03	
5	サイラス・ジュエイ	NJUI, Cyrus	JPN	茨城・日立電線	2:09:10	
6	フェリックス・リモ	LIMO, Felix	KEN	ケニア	2:10:50	
7	幸田 高明	KODA, Takaaki	JPN	宮崎・旭化成	2:11:08	
8	サリム・キブサング	KIPSANG, Salim	KEN	ケニア	2:11:25	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	樋口 紀子	HIGUCHI, Noriko	JPN	京都・ワコール	2:28:49	
2	タチアナ・ペトロワ	PETROVA, Tatiana	RUS	ロシア	2:28:56	
3	渋井 陽子	SHIBUI, Yoko	JPN	東京・三井住友海上	2:29:03	
4	勝又 美咲	KATSUMATA, Misaki	JPN	東京・第一生命	2:31:10	
5	鈴木 澄子	SUZUKI, Sumiko	JPN	北海道・ホクレン	2:32:02	
6	山崎 里菜	YAMAZAKI, Rina	JPN	神奈川・バナソニック	2:32:51	
7	宮崎 翔子	MIYAZAKI, Syoko	JPN	千葉・豊田自動織機	2:33:10	
8	平田 裕美	HIRATA, Yumi	JPN	東京・資生堂	2:33:14	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	福岡・C's Athlete	1:25:38	CR
2	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡	1:26:13	CR
3	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN	福岡	1:30:17	
4	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	JPN	東京	1:32:55	
5	廣道 純	HIROMICHI, Jun	JPN	大分	1:32:56	
6	Brett Mcarthur	MCARTHUR, Brett	AUS	オーストラリア	1:32:57	
7	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	JPN	大阪	1:32:57	
8	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN	東京	1:32:58	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・サノフィ・アベンティス	1:40:08	CR ★

★ = 4年連続優勝 / 4-time winner

▶10km 一般男子 10km (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	三野 貴史	MINO, Takashi	JPN	千葉	32:18	
2	Germain Jacq	JACQ, Germain	FRA	フランス	33:40	
3	島本 涼平	SHIMAMOTO, Ryohei	JPN	東京	34:28	

▶10km 一般女子 10km (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	伊豫田 歩	IYOTA, Ayumi	JPN	茨城	43:38	
2	Pui yan chow	CHOW, Pui Yan	HKG	香港	43:50	
3	鈴木 亜希	SUZUKI, Aki	JPN	東京	44:53	

Tokyo Marathon 2011 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城	24:29	CR
2	野村 寛 NOMURA, Hiroshi	JPN 茨城	26:32	
3	弘岡 正樹 HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	28:14	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	八木 陽平 YAGI, Yohei	JPN 東京	46:35	
2	佐野 一貴 SANO, Kazuki	JPN 東京	49:10	
3	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	50:27	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	52:26	CR
2	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 大阪	1:05:44	
3	石井 喜美江 ISHII, Kimie	JPN 東京	1:06:28	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	高田 泰志 TAKADA, Taishi	JPN 埼玉	37:20	CR
2	小磯 夏樹 KOISO, Natsuki	JPN 東京	37:25	
3	柴山 幸樹 SHIBAYAMA, Kouki	JPN 神奈川	37:42	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	45:37	CR
2	澤 麻衣子 SAWA, Maiko	JPN 滋賀	47:29	
3	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	48:38	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	守屋 英海 MORIYA, Hidemi	JPN 東京	44:04	
2	平山 経政 HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	47:39	
3	小泉 武嗣 KOIZUMI, Takeshi	JPN 高知	51:19	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	1:01:49	
2	大久保 八恵 OKUBO, Yae	JPN 東京	1:23:00	
3	坂本 美里 SAKAMOTO, Misato	JPN 山梨	1:29:07	

東京マラソン2010 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	藤原 正和 FUJIWARA, Masakazu	JPN 埼玉・Honda	2:12:19	
2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR東日本	2:12:34	
3	佐藤 敦之 SATO, Atsushi	JPN 広島・中国電力	2:12:35	
4	川内 優輝 KAWAUCHI, Yuki	JPN 埼玉・埼玉陸協	2:12:36	
5	足立 知弥 ADACHI, Tomoya	JPN 宮崎・旭化成	2:12:46	
6	ジョセフ・ムフニキ MUWANIKI, Joseph	KEN 東京・ユニカミノルタ	2:12:53	
7	ラシド・キスリ KISRI, Rachid	MAR モロッコ	2:12:59	
8	幸田 高明 KODA, Takaaki	JPN 宮崎・旭化成	2:13:04	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	アレフティナ・ビクティミロワ BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:34:39	
2	ロベ・グタ GUTA, Robe	ETH エチオピア	2:36:29	
3	ヌタ・オラル OLARU, Nuta	ROU ルーマニア	2:36:42	
4	河野 真己 KOUNO, Maki	JPN 東京・AC・KITA	2:39:01	
5	楊 静 (ヤン・ジン) YANG, Jing	CHN 中国	2:41:04	
6	佐藤 由美 SATO, Yumi	JPN 東京・資生堂	2:43:01	
7	花堂 若菜 HANADOU, Wakana	JPN 鹿児島・南九州畜産興業	2:44:03	
8	ジュリア・モンビ MUMBI, Julia	KEN 千葉・ユニバーサルエンターテインメント	2:45:11	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:35:19	
2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:40:07	
3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:40:20	
4	花岡 伸和 HANAOKA, Nobukazu	JPN 千葉・オーエックス	1:44:55	
5	渡辺 習輔 WATANABE, Shusuke	JPN 大分・ホンダアスリート	1:54:44	
6	小林 大 KOBAYASHI, Masaru	JPN 三重・ASSA T C	2:01:59	
7	小林 宏 KOBAYASHI, Hiroshi	JPN 神奈川・横浜ストラーダ	2:08:12	
8	沢 晃一 SAWA, Koichi	JPN 神奈川・ラ・ストラーダ	2:10:25	

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:53:01	★

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner

▶10km 一般男子 10km (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	本橋 佑哉 MOTOHASHI, Yuya	JPN 千葉・我孫子消防	33:51	
2	北 重治 KITA, Shigeharu	JPN 神奈川・ハートブレイク	33:52	
3	久保田 和也 KUBOTA, Kazuya	JPN 茨城・タナカ	36:04	

▶10km 一般女子 10km (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	矢藤 尚美 YATO, Naomi	JPN 静岡・N-R C	44:34	
2	Lynne Odonnell ODONNELL, Lynne	USA JAAF BOWERMAN	45:03	
3	北爪 佑美 KITAZUME, Yumi	JPN 東京・亀有中学校	47:19	

Tokyo Marathon 2010 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	川口 幸治 KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	28:29	
2	田中 誠治 TANAKA, Seiji	JPN 山梨・テルメタ	30:23	
3	田口 勉 TAGUCHI, Tsutomu	JPN 埼玉	31:08	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

No entry

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	舟橋 剛二 FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	46:41	
2	八木 陽平 YAGI, Yohei	JPN 東京・J BMA	47:23	
3	佐野 一貴 SANO, Kazuki	JPN 東京・伴伴クラブ	49:34	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	斎藤 玉貴 SAITO, Tamaki	JPN 山形・バンバンクラブ	55:12	CR
2	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉・アキレス	55:34	CR
3	武田 光代 TAKEDA, Mitsuyo	JPN 千葉	1:01:46	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	矢島 一也 YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川・小田原養護同窓	37:27	CR
2	小林 慶哉 KOBAYASHI, Keiya	JPN 埼玉・埼玉障害者陸協	38:57	
3	佐藤 嵩仁 SATO, Takahito	JPN 神奈川・横浜ウインズ	40:49	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	47:30	CR ★
2	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉・A W R T	47:38	CR
3	浅倉 香 ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・横浜ウインズ	52:51	

★ = 4年連続優勝 / 4-time winner

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	45:41	☆
2	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・和城産業	48:47	
3	平山 経政 HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	50:22	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	近藤 千津子 KONDO, Chizuko	JPN 東京	1:12:47	
2	乾 麻理子 INUJI, Mariko	JPN 東京	1:13:46	

東京マラソン2009 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	サリム・キプサンク KIPSANG, Salim	KEN ケニア	2:10:27	
2	前田 和浩 MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:11:01	
3	高橋 謙介 TAKAHASHI, Kensuke	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:11:25	
4	サミー・コリル KORIR, Sammy	KEN ケニア	2:11:57	
5	大島 健太 OSHIMA, Kenta	JPN 東京・日清食品グループ	2:12:54	
6	佐藤 智之 SATO, Tomoyuki	JPN 宮崎・旭化成	2:13:12	
7	ドミトロ・バラノフスキー BARANOVSKYY, Dmytro	UKR ウクライナ	2:13:27	
8	アスナケ・ロロ RORO, Asnake	ETH エチオピア	2:13:40	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	那須川 瑞穂 NASUKAWA, Mizuho	JPN 千葉・アルゼ	2:25:38	CR
2	佐伯 由香里 SAHAKU, Yukari	JPN 千葉・アルゼ	2:28:55	CR
3	土佐 礼子 TOSA, Reiko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:19	CR
4	アレフティナ・ビクティミロワ BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:29:33	CR
5	シタイエ・ゲメチュ GEMECHU, Shitaye	ETH エチオピア	2:29:59	
6	嶋原 清子 SHIMAHARA, Kiyoko	JPN 東京・SWAC	2:31:57	
7	大南 博美 OMINAMI, Hiromi	JPN 愛知・トヨタ車体	2:32:11	
8	ルミニツァ・タルボシュ TALPOS, Luminita	ROU ルーマニア	2:32:22	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:33:11	★
2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:37:28	
3	廣道 純 HIROMICHI, Jun	JPN 大分・TDKラムダ	1:42:33	
4	島田 一彦 SHIMADA, Kazuhiko	JPN 茨城	1:42:46	
5	田中 秀夫 TANAKA, Hideo	JPN 山口・山口県庁	1:42:51	
6	塩田 清高 SHIOTA, Kiyotaka	JPN 埼玉・チームイケイケ	1:46:35	
7	渡邊 敏貴 WATANABE, Toshiki	JPN 東京・関東身障陸協	1:49:31	
8	橋爪 淳 HASHIZUME, Atsushi	JPN 神奈川・横浜ストラーダ	1:53:36	

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:46:31	☆

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 一般男子 10km (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山本 伸幸 YAMAMOTO, Nobuyuki	JPN 石川・鹿島A.C	33:38	
2	新井 拓也 ARAI, Takuya	JPN 埼玉・坂鶴消防	34:19	
3	中嶋 聡 NAKAJIMA, Satoshi	JPN 東京・錦城学園高校	35:15	

▶10km 一般女子 10km (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	渡辺 美保 WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	37:36	☆
2	渡邊 洋香 WATANABE, Hiroka	JPN 東京・錦城学園高校	43:18	
3	北村 知恵 KITAMURA, Chie	JPN 東京	47:22	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

Tokyo Marathon 2009 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城・チームはまだ	25:36	
2	野村 寛 NOMURA, Hiroshi	JPN 茨城・茨城WRC	27:38	
3	川口 幸治 KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	27:58	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	高嵯 瑞貴 TAKASAKI, Mizuki	JPN 神奈川	29:07	
2	緑川 まり子 MIDORIKAWA, Mariko	JPN 東京	31:49	

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川・SWAC	44:30	CR ☆
2	八木 陽平 YAGI, Yohei	JPN 東京・JBMA	45:08	CR
3	小林 正一 KOBAYASHI, Masakazu	JPN 神奈川・木曜ランナーズ	47:27	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	仁茂田 ルリ子 NIMODA, Ruriko	JPN 東京・パンバンクлуб	57:24	CR
2	小笠原 さゆり OGASAWARA, Sayuri	JPN 東京・パンバンクлуб	57:31	CR
3	武田 光代 TAKEDA, Mitsuyo	JPN 千葉・JBMA	1:00:23	CR

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	38:41	CR ☆
2	齋藤 新樹 SAITO, Araki	JPN 東京	41:18	
3	松浦 亮輝 MATSUURA, Ryoki	JPN 東京・UNO AC	42:32	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC	49:18	★
2	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉・SOさいたま	49:50	
3	浅倉 香 ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・横浜ウインズ	54:10	

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川 ホールディング	43:41	CR
2	守屋 英海 MORIYA, Hidemi	JPN 東京	48:16	
3	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	49:47	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	田結庄 彩知 TAINOSHO, Sachi	JPN 東京	1:17:31	
2	中山 菜都美 NAKAYAMA, Natsumi	JPN 静岡	1:28:26	

東京マラソン2008 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ピクトル・ロスリン	ROTHLIN, Victor	SUI	スイス	2:07:23	CR
2	藤原 新	FUJIWARA, Arata	JPN	東京・JR 東日本	2:08:40	CR
3	ジュリアス・ギタヒ	GITAH, Julius	KEN	東京・日清食品	2:08:57	CR
4	諏訪 利成	SUWA, Toshinari	JPN	東京・日清食品	2:09:16	CR
5	入船 敏	IRIFUNE, Satoshi	JPN	東京・カネボウ	2:09:40	CR
6	梅木 蔵雄	UMEKI, Kurao	JPN	広島・中国電力	2:11:00	
7	小林 誠治	KOBAYASHI, Seiji	JPN	長崎・三菱重工長崎	2:11:02	
8	高塚 和利	TAKATSUKA, Kazutoshi	JPN	茨城・小森コーポレーション	2:11:15	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	クラウドティア・ドレハー	DREHER, Claudia	GER	ドイツ	2:35:35	
2	水谷 理紗	MIZUTANI, Risa	JPN	茨城・筑波大学	2:48:59	
3	加瀬沢 好美	KASEZAWA, Yoshimi	JPN	神奈川・秦野運動公園	2:51:18	
4	山内 美根子	YAMAUCHI, Mineko	JPN	東京・セカンドウィンド AC	2:52:02	
5	田辺 ミヨ	TANABE, Miyo	JPN	千葉・AC KITA	2:52:07	
6	石田 裕子	ISHIDA, Yuko	JPN	岐阜・関体協	2:53:02	
7	塚本 恭子	TSUKAMOTO, Yasuko	JPN	東京・東京陸協	2:53:53	
8	ウ ワンリン	Wan-Ling, Wu	TPE	台湾	2:54:11	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN	福岡・C's Athlete	1:27:15	CR ☆
2	花岡 伸和	HANAOKA, Nobukazu	JPN	千葉	1:29:42	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN	福岡・SUNDISK	1:32:46	
4	田中 秀夫	TANAKA, Hideo	JPN	山口・山口県庁	1:44:24	
5	山本 哲雄	YAMAMOTO, Tetsuo	JPN	茨城・茨城WRC	1:45:23	
6	小林 宏	KOBAYASHI, Hiroshi	JPN	神奈川・横浜ストラダ	1:45:27	
7	繁野 道秋	SHIGENO, Michiaki	JPN	新潟	1:47:03	
8	沢 晃一	SAWA, Koichi	JPN	神奈川・ラ・ストラダ	1:54:42	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN	東京・ヒューマントラスト	1:45:19	CR

▶10km 一般男子 10km (Men)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	伴 卓磨	BAN, Takuma	JPN	東京・モントブラン	33:28	
2	小川 晃平	OGAWA, Kohei	JPN	東京・錦城学園高校	34:04	
3	久保田 和也	KUBOTA, Kazuya	JPN	茨城・タナカ	35:03	

▶10km 一般女子 10km (Women)

Place 順位	Name	氏名	Nation	国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	渡辺 美保	WATANABE, Miho	JPN	東京・順天高校	35:36	CR
2	柳生 麻衣	YAGYU, Mai	JPN	東京・順天高校	38:49	
3	谷川 真理	TANIGAWA, Mari	JPN	東京・アミノバイタル AC	38:59	

Tokyo Marathon 2008 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	松浦 辰雄 MATSUURA, Tatsuo	JPN 福島 福島身障陸連	24:33	CR ☆
2	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	26:00	CR
3	尾澤 清二 OZAWA, Seiji	JPN 埼玉	28:53	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	八巻 智美 YAMAKI, Tomomi	JPN 福島・FALD	28:28	CR
2	竹下 いづみ TAKESHITA, Izumi	JPN 神奈川・ラ・ストラダ	28:35	CR
3	田中 照代 TANAKA, Teruyo	JPN 愛知・アームサイクリ	30:54	

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	45:34	CR
2	小林 正一 KOBAYASHI, Masakazu	JPN 神奈川・木曜ランナーズ	45:38	CR
3	舟橋 剛二 FUNABASHI, Koji	JPN 静岡・静岡県庁	45:42	CR

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	今泉 晶子 IMAZUMI, Akiko	JPN 東京	1:00:32	CR
2	坂下 左代子 SAKASHITA, Sayoko	JPN 千葉・JDやじろペー	1:06:28	
3	早川 美奈子 HAYAKAWA, Minako	JPN 埼玉・パンパンクラブ	1:10:52	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:18	
2	鈴木 大樹 SUZUKI, Hiroki	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:34	
3	村田 龍太 MURATA, Ryuta	JPN 東京	41:04	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC松戸	49:28	☆
2	浅倉 香 ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・高等養護OB	53:23	
3	樋口 敦子 HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟・SON・新潟	55:54	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	51:26	
2	名塚 菊夫 NAZUKA, Kikuo	JPN 群馬・前橋清陵高校	51:48	
3	楠 修次 KUSU, Nobuji	JPN 東京・三鷹市役所	55:47	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	大内 敦子 OUCHI, Atsuko	JPN 埼玉	1:13:30	
2	増田 美紀 MASUDA, Miki	JPN 千葉	1:24:15	
3	中山 菜都美 NAKAYAMA, Natsumi	JPN 静岡	1:30:16	

東京マラソン2007 大会結果

STATISTICS & RESULTS

▶マラソン男子 Marathon (Men)

CR : Course Record

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	ダニエル・ジェンガ NJENGA, Daniel	KEN ヤクルト	2:09:45	
2	佐藤 智之 SATO, Tomoyuki	JPN 旭化成	2:11:22	
3	入船 敏 IRIFUNE, Satoshi	JPN カネボウ	2:12:44	
4	林 昌史 HAYASHI, Masashi	JPN ヤクルト	2:15:28	
5	徳本 一善 TOKUMOTO, Kazuyoshi	JPN 日清食品	2:15:55	
6	バンデルレイ・デリマ DE LIMA, Vanderlei	BRA ブラジル	2:16:08	
7	小林 誠治 KOBAYASHI, Seiji	JPN 三菱重工長崎	2:17:13	
8	板山 学 ITAYAMA, Manabu	JPN 日清食品	2:17:29	

▶マラソン女子 Marathon (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	新谷 仁美 JPN 豊田自動織機	JPN	2:31:01	
2	谷川 真理 JPN アミノバイタル AC	JPN	2:49:54	
3	田中 光 JPN 旭化成東京 JC	JPN	2:50:02	
4	レノン・マイアナ GBR チーム RTN	GBR	2:52:04	
5	有森 裕子 JPN リクルート	JPN	2:52:45	
6	須田 由美子 JPN 日立市陸協	JPN	2:55:31	
7	阿部 三千代 JPN eA 東京	JPN	2:56:14	
8	石川 純子 JPN チームミスノ	JPN	2:56:20	

▶車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	副島 正純 JPN シーズアスリート	JPN	1:32:21	
2	廣道 純 JPN TDK ラムダ	JPN	1:37:45	
3	洞ノ上 浩太 JPN SUN DISK	JPN	1:43:12	
4	樋口 政幸 JPN 茨城 WRC	JPN	1:50:27	
6	植田 一弥 JPN マウントフジ RC	JPN	1:53:46	
7	渡邊 敏貴 JPN ラ・ストラダ	JPN	1:55:19	
8	永易 久和 JPN ラ・ストラダ	JPN	1:56:31	

▶10km 一般男子 10km (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	西郷 祐一郎 JPN 千葉	JPN	33:14	
2	藤代 和敏 JPN 八王子藤森走友会	JPN	34:12	
3	松沢 玲央 JPN	JPN	34:21	

▶10km 一般女子 10km (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	グレッタ・トラスコット AUS オーストラリア	AUS	37:46	
2	渡辺 美保 JPN 順天高校	JPN	38:00	
3	山本 沙樹 JPN 順天高校	JPN	38:07	

Tokyo Marathon 2007 Results

▶10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	松浦 辰雄	JPN 福島身障陸連	26:23	
2	吉川 博史	JPN 埼玉 WRC	27:28	
3	須藤 健一	JPN 千葉 WRC	28:11	

▶10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	藤田 道子	JPN 宮城車いす MC	29:23	
2	八巻 智美	JPN FALD	29:24	
3	竹下 いづみ		32:56	

▶10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	石井 勝己	JPN 植村整形外科	49:47	
2	亀井 健二	JPN J・B・M・A	53:19	
3	千葉 健一	JPN 盲人マラソン協会	53:52	

▶10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	坂下 左代子	JPN JD やじろペー	1:04:53	
2	星加 理絵	JPN バンバンクラブ	1:13:02	
3	今泉 晶子		1:17:55	

▶10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	大久保 健史	JPN 葛飾養護 OB	39:18	
2	左奈田 浩彰	JPN 横浜ウィンズ	39:41	
3	今野 雄太	JPN 横浜ウィンズ	40:09	

▶10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	山中 のぞみ	JPN MJRC 松戸	49:12	
2	鈴木 梢	JPN 田無養護 OB	1:05:46	
3	高橋 董	JPN 武蔵台養護学校	1:09:04	

▶10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	守屋 英海	JPN 東京	46:10	
2	石井 裕己	JPN 日本移植者協議会	47:56	
3	小堤 進	JPN 和城産業	50:18	

▶10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place 順位	Name 氏名	Nation 国 or 所属	Time タイム	Remarks 備考
1	石川 友子	JPN 神奈川	1:09:48	
2	小西 尚子		1:20:06	
3	小島 綾	JPN 日本移植者協議会	1:21:34	



大会関係者ウェア / Staff Wears

Competition Officials (審判員)



MEDICAL



VOLUNTEER



TEAM SAFETY



RUNNING POLICE



Race Officials



COURSE & OPERATIONS

コース・運営

通過予想時刻 Pace Chart	132
コース高低差 Course Elevation	133
ペース早見表 Pace Guide	134
收容関門 Cut-Off Checkpoints	135
医療救護体制 Medical Aid Systems	136
給水所／救護所 Aid Stations / Medical Stations	138
警備体制 Safe & Secure	139
レース中の大会中止に備えて In Case the Race is Discontinued	140

通過予想時刻(1km毎)

スタート/車いす ● 9:05 マラソン・10km ● 9:10

COURSE & OPERATIONS

Pace Chart

km	車いす先頭 Lead Wheelchair	車いす最後尾 Rearmost Wheelchair	ランナー先頭 Lead Runner	ランナー最後尾 Rearmost Runner	地点	住所
0.0	9:05:00	9:05:00	9:10:00	9:30:00	都庁第一庁舎前	新宿区西新宿2-8-1
1.0	9:07:02	9:08:05	9:12:56	9:40:43	新宿大ガード西交差点手前	新宿区西新宿1-3-1
2.0	9:09:05	9:11:10	9:15:53	9:51:26	新宿やわらぎビル前	新宿区新宿5-6-1
3.0	9:11:07	9:14:15	9:18:49	10:02:09	新淵らーめんこぼやし前	新宿区住吉町3-2
4.0	9:13:09	9:17:19	9:21:45	10:12:51	「防衛省前」バス停前	新宿区市谷本村町5-1
5.0	9:15:12	9:20:24	9:24:41	10:23:34	神楽ビル前	新宿区市谷田町3-12
6.0	9:17:14	9:23:29	9:27:38	10:32:47	ワイモパイル飯田橋前	千代田区飯田橋4-8-14
7.0	9:19:16	9:26:34	9:30:34	10:39:46	専修大学前	千代田区神田神保町3-12
8.0	9:21:18	9:29:39	9:33:30	10:46:45	セブン-イレブン神田小川町2丁目店前	千代田区神田小川町2-2-8
9.0	9:23:21	9:32:44	9:36:26	10:53:43	ナカタ文具店前	千代田区鍛冶町2-3-3
10.0	9:25:23	9:35:49	9:39:23	11:00:51	コレド日本橋前	中央区日本橋1-4-1
11.0	9:27:25	9:38:53	9:42:19	11:09:22	銀杏八幡宮前	中央区日本橋蛸殻町1-7-7
12.0	9:29:28	9:41:58	9:45:15	11:17:52	エスエス製菓前	中央区日本橋浜町2-12-4
13.0	9:31:30	9:45:03	9:48:12	11:26:23	「ささやフルーツ」前	台東区浅草橋1-9-11
14.0	9:33:32	9:48:08	9:51:08	11:34:27	厩橋交差点手前「セブン-イレブン」	台東区蔵前3-13-12
15.0	9:35:34	9:51:13	9:54:04	11:43:55	アルメックスビル	台東区雷門2-19-17
16.0	9:37:37	9:54:18	9:57:00	11:53:44	KONCENT (コンセント) 前	台東区蔵前2-4-5
17.0	9:39:39	9:57:23	9:59:57	12:03:32	竹山紙工所前	墨田区石原1-14-2
18.0	9:41:41	10:00:27	10:02:53	12:13:42	千歳三丁目交差点	墨田区立川1-3
19.0	9:43:44	10:03:32	10:05:49	12:23:08	豊田プロセス芸芸社前	江東区白河1-1-4
20.0	9:45:46	10:06:37	10:08:46	12:32:30	セブン-イレブン江東門前仲町前	江東区門前仲町2-6-1
20.504	9:46:48	10:07:55	10:10:14	12:36:42	富岡八幡宮折り返し(イシイの甘栗前)	江東区富岡1-22-7
21.0	9:47:48	10:09:42	10:11:42	12:40:50	門前仲町交番前	江東区門前仲町1-7
21.0975	9:48:00	10:10:00	10:11:59	12:41:39	中間点(城北信用金庫深川支店前)	江東区門前仲町1-13-9
22.0	9:49:51	10:12:47	10:14:38	12:49:10	清澄庭園前バス停手前	江東区清澄3-3-16
23.0	9:51:53	10:15:52	10:17:34	12:57:30	とんかつ屋 BUTAN 前	墨田区千歳3-5-9
24.0	9:53:55	10:18:57	10:20:31	13:05:50	横網町公園前交差点先	墨田区横網2-3
25.0	9:55:58	10:22:01	10:23:27	13:14:10	RESIDIA 浅草橋前	台東区蔵前1-5-5
26.0	9:58:00	10:25:06	10:26:23	13:22:33	IKEGAMI BLDG 前	中央区東日本橋2-2-2
27.0	10:00:02	10:28:11	10:29:19	13:30:20	永福屋ビル前	中央区日本橋蛸殻町2-14-3
28.0	10:02:04	10:31:16	10:32:16	13:38:18	内藤証券前	中央区日本橋兜町13-2
29.0	10:04:07	10:34:21	10:35:12	13:46:15	東邦銀行・東京支店前	中央区京橋1-6-1
30.0	10:06:09	10:37:26	10:38:08	13:54:12	銀座中央ビル前	中央区銀座4-3
31.0	10:08:11	10:40:31	10:41:05	14:03:47	NTT日比谷ビル前	千代田区内幸町1-1-6
32.0	10:10:14	10:43:35	10:44:01	14:13:32	浜ゴムビル前	港区新橋5-36
33.0	10:12:16	10:46:40	10:46:57	14:23:18	芝公園グランド前交差点	港区芝公園2-7
34.0	10:14:18	10:49:45	10:49:53	14:03:03	コージーコーナー田町店前	港区芝5-34-6 新田町ビル
35.0	10:16:21	10:52:50	10:52:50	14:45:14	NPC 泉岳寺第2パーキング前	港区高輪2-20
35.781	10:17:56	10:54:47	10:55:07	14:51:23	高輪折り返し	港区高輪3-24-18
36.0	10:18:23	10:55:55	10:55:46	14:58:01	「高輪北町」バス停前	港区高輪2-13-8
37.0	10:20:25	10:59:00	10:58:42	15:10:49	御田八幡ビル前	港区三田3-7
38.0	10:22:27	11:02:05	11:01:39	15:23:36	日本電気前	港区芝5-7-1
39.0	10:24:30	11:05:09	11:04:35	15:36:00	Le Pain Quotidien 前	港区芝公園3-3
40.0	10:26:32	11:08:14	11:07:31	15:48:00	CJビルディング前	港区西新橋2-7-4
41.0	10:28:34	11:11:19	11:10:27	16:00:00	日比谷交差点手前交番前	千代田区日比谷公園1
42.0	10:30:37	11:14:24	11:13:24	16:08:22	郵船ビルディング前	千代田区丸の内2-3-2
42.195	10:31:00	11:15:00	11:13:58	16:10:00	和田倉門交差点	千代田区丸の内1-2

〈タイム算出方法の説明〉

- 1) 車いす先頭は2016大会記録を、ランナー先頭は2017大会記録をオープンペースにして算出。
- 2) 車いす最後尾は制限時間(2時間10分)をオープンペースに。
- 3) ランナー最後尾はスタート20分後(9:30)にスタートラインを通過し、各関門間を関門閉鎖時刻を元にオープンペースに。

コース高低差

COURSE & OPERATIONS

Course Elevation

公認の条件 ①スタートとフィニッシュの2点間の直線距離は、そのレースの全距離の50%以下とする。
②スタートとフィニッシュの2点間標高の減少は、1000分の1kmを超えない。

地点名 Location	最寄の住所 Nearest Address	距離 km	標高 m	高低差 elevation
Tokyo Metropolitan Gov. Bldg. No.1	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku 2-8-1	0.0	40.2	0.0
The crossing of Shinjuku daigaado WEST	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku 1-3-1	1.0	33.5	6.7
Shinjuku Yawaragi Bldg.	Shinjuku-ku Shinjuku 5-6-1	2.0	32.3	7.9
Niigata Ramen Kobayashi	Shinjuku-ku Sumiyoshicho 3-2	3.0	19.5	20.7
Bus stop at 「Bōei-shō mae」 Ministry of Defense	Shinjuku-ku Ichigayahommuracho 5-1	4.0	13.7	26.5
Kagura Bldg.	Shinjuku-ku Ichigayatamachi 3-12	5.0	10.2	30.0
Y! mobile Iidabashi	Chiyoda-ku Iidabashi 4-8-14	6.0	4.4	35.8
Senshu University	Chiyoda-ku Kandajimbocho 3-12	7.0	3.3	36.9
Seven-Eleven Kandaogawamachi 2-chome	Chiyoda-ku Kandaogawamachi 2-2-8	8.0	5.4	34.8
Nakata Bungten	Chiyoda-ku Kajicho 2-3-3	9.0	4.5	35.7
COREDO Nihonbashi	Chuo-ku Nihombashi 1-4-1	10.0	3.9	36.3
Icho Hachimangu	Chuo-ku Nihombashikakigaracho 1-7-7	11.0	2.1	38.1
SS PHARMACEUTICAL	Chuo-ku Nihombashiamacho 2-12-4	12.0	2.2	38.0
「Sasaya fruit」	Taito-ku Asakusabashi 1-9-11	13.0	3.8	36.4
The crossing of Umayabashi 「Seven-Eleven」	Taito-ku Kuramae 3-13-12	14.0	3.7	36.5
ALMEX Bldg.	Taito-ku Kaminarimon 2-19-17	15.0	3.6	36.6
KONCENT	Taito-ku Kuramae 2-4-5	16.0	3.0	37.2
Takeyama Shikousyo	Sumidaku-Ishiwara 1-14-2	17.0	0.7	39.5
The crossing of Chtose 3-chome	Sumidaku-Tatekawa 1-3	18.0	1.0	39.2
Toyota process kougeisya	Koto-ku Shirakawa 1-1-4	19.0	0.6	39.6
Seven-Eleven Koto Monzennakacho	Koto-ku Monzennakacho 2-6-1	20.0	0.6	39.6
Turning point of Tomioka Hachimangu Shrine (Ishii no Amaguri)	Koto-ku Tomioka 1-22-7	20.504	0.1	40.1
Monzennakacho Police box	Koto-ku Monzennakacho 1-7	21.0	0.6	39.6
Halfway Poin (JOHOKU SHINKIN BANK Fukagawa Branch Office)	Koto-ku Monzennakacho 1-13-9	21.0975	0.6	39.6
Bus stop at Kiyosumi Koenmae	Koto-ku Kiyosumi 3-3-16	22.0	0.7	39.5
Tonkatsuya BUTAN	Sumida-ku Chitose 3-5-9	23.0	1.1	39.1
The crossing of Yokoamicho Koenmae	Sumida-ku Yokoami 2-3	24.0	0.5	39.7
RESIDIA Asakusabashi	Taito-ku Kuramae 1-5-5	25.0	2.4	37.8
IKEGAMI BLDG	Chuo-ku Higashinimbashi 2-2-2	26.0	2.9	37.3
Eifukuya Bldg.	Chuo-ku Nihombashikakigaracho 2-14-3	27.0	1.8	38.4
NAITO Securities	Chuo-ku Nihombashikabutocho 13-2	28.0	2.4	37.8
Tohobank Tokyo Branch Office	Chuo-ku Kyobashi 1-6-1	29.0	4.0	36.2
Ginza Chuo Bldg.	Chuo-ku Ginza 4-3	30.0	3.9	36.3
NTT Hibiya Bldg.	Chiyoda-ku Uchisaiwaicho 1-1-6	31.0	2.8	37.4
Hamagomu Bldg.	Minato-ku Shimbashi 5-36	32.0	3.9	36.3
The crossing of Shiba Park Ground	Minato-ku Shibakoen 2-7	33.0	3.4	36.8
Cozy Corner Tamachi	Minato-ku Shiba 5-34-6	34.0	3.9	36.3
NPC Sengakuji Parking 2	Minato-ku Takanawa 2-20	35.0	3.9	36.3
Turning point of Takanawa	Minato-ku Takanawa 3-24-18	35.781	4.9	35.3
Bus stop at 「Takanawakitamachi」	Minato-ku Takanawa 2-13-8	36.0	4.1	36.1
Mita Hachiman Bldg.	Minato-ku Mita 3-7	37.0	5.1	35.1
NEC	Minato-ku Shiba 5-7-1	38.0	3.4	36.8
Le Pain Quotidien	Minato-ku Shibakoen 3-3	39.0	3.8	36.4
CJ Building	Minato-ku Nishishimbashi 2-7-4	40.0	3.6	36.6
The crossing of Hibiya (In front of Police Box)	Chiyoda-ku Hibiyakoen 1	41.0	2.1	38.1
Yusen Building	Chiyoda-ku Marunouchi 2-3-2	42.0	3.0	37.2
The crossing of Wadakura-mon Gate	Chiyoda-ku Marunouchi 1-2	42.195	3.0	37.2

ペース早見表

COURSE & OPERATIONS

Pace Guide

マラソン Marathon

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km
2:50	14:10	28:20	42:30	56:40	59:47	1:10:50	1:25:00	1:39:10	1:53:20	1:59:33
2:51	14:15	28:30	42:45	57:00	1:00:08	1:11:15	1:25:30	1:39:45	1:54:00	2:00:15
2:52	14:20	28:40	43:00	57:20	1:00:29	1:11:40	1:26:00	1:40:20	1:54:40	2:00:58
2:53	14:25	28:50	43:15	57:40	1:00:50	1:12:05	1:26:30	1:40:55	1:55:20	2:01:40
2:54	14:30	29:00	43:30	58:00	1:01:11	1:12:30	1:27:00	1:41:30	1:56:00	2:02:22
2:55	14:35	29:10	43:45	58:20	1:01:32	1:12:55	1:27:30	1:42:05	1:56:40	2:03:04
2:56	14:40	29:20	44:00	58:40	1:01:53	1:13:20	1:28:00	1:42:40	1:57:20	2:03:46
2:57	14:45	29:30	44:15	59:00	1:02:14	1:13:45	1:28:30	1:43:15	1:58:00	2:04:29
2:58	14:50	29:40	44:30	59:20	1:02:35	1:14:10	1:29:00	1:43:50	1:58:40	2:05:11
2:59	14:55	29:50	44:45	59:40	1:02:56	1:14:35	1:29:30	1:44:25	1:59:20	2:05:53
3:00	15:00	30:00	45:00	1:00:00	1:03:18	1:15:00	1:30:00	1:45:00	2:00:00	2:06:35
3:01	15:05	30:10	45:15	1:00:20	1:03:39	1:15:25	1:30:30	1:45:35	2:00:40	2:07:17
3:02	15:10	30:20	45:30	1:00:40	1:04:00	1:15:50	1:31:00	1:46:10	2:01:20	2:07:59
3:03	15:15	30:30	45:45	1:01:00	1:04:21	1:16:15	1:31:30	1:46:45	2:02:00	2:08:42
3:04	15:20	30:40	46:00	1:01:20	1:04:42	1:16:40	1:32:00	1:47:20	2:02:40	2:09:24
3:05	15:25	30:50	46:15	1:01:40	1:05:03	1:17:05	1:32:30	1:47:55	2:03:20	2:10:06
3:06	15:30	31:00	46:30	1:02:00	1:05:24	1:17:30	1:33:00	1:48:30	2:04:00	2:10:48
3:07	15:35	31:10	46:45	1:02:20	1:05:45	1:17:55	1:33:30	1:49:05	2:04:40	2:11:30
3:08	15:40	31:20	47:00	1:02:40	1:06:06	1:18:20	1:34:00	1:49:40	2:05:20	2:12:13
3:09	15:45	31:30	47:15	1:03:00	1:06:27	1:18:45	1:34:30	1:50:15	2:06:00	2:12:55
3:10	15:50	31:40	47:30	1:03:20	1:06:49	1:19:10	1:35:00	1:50:50	2:06:40	2:13:37
3:15	16:15	32:30	48:45	1:05:00	1:08:34	1:21:15	1:37:30	1:53:45	2:10:00	2:17:08
3:20	16:40	33:20	50:00	1:06:40	1:10:20	1:23:20	1:40:00	1:56:40	2:13:20	2:20:39
3:25	17:05	34:10	51:15	1:08:20	1:12:05	1:25:25	1:42:30	1:59:35	2:16:40	2:24:10
3:30	17:30	35:00	52:30	1:10:00	1:13:50	1:27:30	1:45:00	2:02:30	2:20:00	2:27:41
3:35	17:55	35:50	53:45	1:11:40	1:15:36	1:29:35	1:47:30	2:05:25	2:23:20	2:31:12
3:40	18:20	36:40	55:00	1:13:20	1:17:21	1:31:40	1:50:00	2:08:20	2:26:40	2:34:43
3:45	18:45	37:30	56:15	1:15:00	1:19:07	1:33:45	1:52:30	2:11:15	2:30:00	2:38:14
3:50	19:10	38:20	57:30	1:16:40	1:20:52	1:35:50	1:55:00	2:14:10	2:33:20	2:41:45

●2:02:57

○2:06:16

▲2:15:25

△2:19:12

車いすマラソン Wheelchair

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km
1:50	9:10	18:20	27:30	36:40	38:41	45:50	55:00	1:04:10	1:13:20	1:17:21
1:51	9:15	18:30	27:45	37:00	39:02	46:15	55:30	1:04:45	1:14:00	1:18:04
1:52	9:20	18:40	28:00	37:20	39:23	46:40	56:00	1:05:20	1:14:40	1:18:46
1:53	9:25	18:50	28:15	37:40	39:44	47:05	56:30	1:05:55	1:15:20	1:19:28
1:54	9:30	19:01	28:31	38:02	40:07	47:32	57:03	1:06:33	1:16:04	1:20:14
1:55	9:35	19:10	28:45	38:20	40:26	47:55	57:30	1:07:05	1:16:40	1:20:52
2:00	10:00	20:00	30:00	40:00	42:12	50:00	1:00:00	1:10:00	1:20:00	1:24:23
2:05	10:25	20:50	31:15	41:40	43:57	52:05	1:02:30	1:12:55	1:23:20	1:27:54
2:10	10:50	21:40	32:30	43:20	45:43	54:10	1:05:00	1:15:50	1:26:40	1:31:25
2:15	11:15	22:30	33:45	45:00	47:28	56:15	1:07:30	1:18:45	1:30:00	1:34:56
2:20	11:38	23:15	34:53	46:30	49:04	58:08	1:09:46	1:21:23	1:33:01	1:38:07
2:25	12:05	24:10	36:15	48:20	50:59	1:00:25	1:12:30	1:24:35	1:36:40	1:41:58
2:30	12:30	25:00	37:30	50:00	52:45	1:02:30	1:15:00	1:27:30	1:40:00	1:45:29
2:35	12:55	25:50	38:45	51:40	54:30	1:04:35	1:17:30	1:30:25	1:43:20	1:49:00
2:40	13:20	26:40	40:00	53:20	56:16	1:06:40	1:20:00	1:33:20	1:46:40	1:52:31
2:45	13:45	27:30	41:15	55:00	58:01	1:08:45	1:22:30	1:36:15	1:50:00	1:56:02

●1:20:14

○1:20:52

▲1:38:07

●男子世界記録ペース Men's World Record
▲女子世界記録ペース Women's World Record

○男子日本記録ペース Men's Japanese National Record
△女子日本記録ペース Women's Japanese National Record

収容関門

COURSE & OPERATIONS

Cut-Off Checkpoints

- 交通・警備、競技運営上、下記の地点で収容関門閉鎖を行います。収容関門閉鎖後は競技を続けることはできません。閉鎖時刻後、コース上に残っているランナーは審判員の指示に従って、次の収容関門地点で収容バスに乗車するか、最後尾の収容バスに乗車します。
- 閉鎖時刻前でも、審判員が明らかに閉鎖時刻までに到達できないと判断した場合は、競技中止を指示することがあります。
- Due to traffic and security restrictions as well as operational reasons, race course will be closed at the following points. Running will not be allowed after the checkpoint is closed. Runners on the course after closing will be required to follow the instructions of race judges and move promptly to sidewalks to board either a sweep bus at the next checkpoint or the final sweep bus behind the very last runner.
- Runners who are still on the race course, but are not likely to finish before the allotted time, may be ordered to stop by the race judges even before the designated time limit.

収容関門 Checkpoint	場所 Location	マラソン閉鎖時刻 Closing time for Marathon	車いす閉鎖時刻 Closing time for wheelchairs
5.6km	飯田橋セントラルプラザ前 In front of Iidabashi Central Plaza bldg	10:30 (1hr 20min)	9:25 (20min)
9.9km	日本橋南詰 Nihombashi Minamizume	11:00 (1hr 50min)	9:40 (35min)
14.6km	駒形橋西詰交差点 The crossing of Komagatabashi Nishizume	11:40 (2hrs 30min)	9:50 (45min)
19.7km	深川一丁目交差点 The crossing of Fukagawa 1-chome	12:30 (3hrs 20min)	—
25.7km	浅草橋交差点 The crossing of Asakusabashi	13:20 (4hrs 10min)	—
30.1km	数寄屋橋交差点 The crossing of Sukiyabashi	13:55 (4hrs 45min)	10:40 (1hr 35min)
34.2km	札ノ辻交差点 The crossing of Fudanotsuji	14:35 (5hrs 25min)	—
39.8km	新橋四丁目交差点 The crossing of Shimbashi 4-chome	15:45 (6hrs 35min)	11:05 (2hrs)
42.195km (Finish)	東京駅前・行幸通り Tokyo Station / Gyoko-dori Ave.	16:10 (7hrs 00min)	11:15 (2hrs 10min)

※ 閉鎖時刻の()内はスタートからの経過時間
 ※ Time in parentheses is lap time from start.

競技途中で棄権する場合

収容関門以外で途中棄権する場合は、コース上の「審判員(グレーのスタッフウェア)」に途中棄権することを申告します。

- ① 直近の収容関門まで行き、収容バスに乗車します。
- ② 最後尾の収容バスに乗車します。スタートの際に預けた手荷物は、フィニッシュ会場で受け取れます。

In case of retiring dropping out

If dropping out at points other than check points, please report to the judge (the grey staff jackets) and choose any of the following two alternatives to proceed to the finish line (Nihombashi for 10km Race and Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. for Marathon).

- ① Go to the nearest check point and board the sweep bus.
- ② Board the sweep bus behind the last runner.

Upon arrival at the finish line location, pick up your belongings checked at the start line.

医療救護体制

COURSE & OPERATIONS

東京マラソンでは、世界一安全なマラソン大会を目指し、出場されるランナーはもちろん、沿道で応援される方や大会に関わる医療専門ボランティア、スタッフの安全・安心を第一に考えた体制作りを行っています。

🏥 医療救護体制とAEDの配備

東京マラソン医療救護スタッフは医師、看護師、救急救命士、トレーナー、医療専門ボランティアで構成され、それぞれが救護所、救護車、モバイル隊、BLS隊、ランドクターの役割に分かれて活動します。また、コース上にはAEDを配備しています。



〈医療スタッフ / Medical Staffs〉

役割	AEDの台数	概要
救護所・医務室	24台	スタートからフィニッシュまでコース全域に、前半は約5km おき、後半は2～3km おきに計23カ所の救護所・医務室があります。救護所には医師、看護師、トレーナーが常駐しており、ランナー等の怪我や病気に対応します。また、救急車や救護車も待機しています。 ※複数台設置する救護所含む
BLS隊	40台	コース沿道でコース中盤までは1km ごと、37 隊、フィニッシュエリアに3 隊でAEDやその他の応急手当が可能な資器材を持ち、待機しています。BLS隊は配置された場所の近くで怪我人や病人が発生した場合に、すぐに駆けつけ、医師などの医療スタッフや、救急車が到着するまでの間、応急手当を行います。
BLSサポート隊	AEDは持たない	救護所とBLS隊の間約500m 付近を最低2人以上1組の31 隊でサポートします。
モバイル隊	24台	救急救命士が2人1組となり、コース上を24隊に分かれて、マウンテンバイク(自転車)に乗り、AEDやバッグバルブマスク、バイタルサイン測定機等、応急処置を行うための資器材を持ち、巡回します。緊急事態の際はいち早く駆け付け、心肺蘇生法や応急処置を行います。
ランドクター	AEDは持たない	医師が一定の間隔とペースで走りながら、ランナーの突発事故に対して、周囲の医療スタッフと協力して救命処置を行います。

医療救護に関する数字の詳細 → P18

AED：自動体外式除細動器
BLS：一次救命処置

🏥 東京マラソンメディカル情報 ～完走メダルを目指して～

トレーニング情報	スポーツ栄養情報	体調管理	アンチ・ドーピング	救急救命情報
----------	----------	------	-----------	--------

www.marathon.tokyo/runner/medical/

🏥 普通救命講習会開催実績

2011年度	財団会議室 / 各約70人(計4回)
2012年度	味の素スタジアム / 約100人, 財団会議室/各約70人で4回, 東京ビッグサイト / 約1,000人(計6回)
2013年度	東京ビッグサイト / 約1,500人
2014年度	東京ビッグサイト / 約1,000人
2015年度	東京ビッグサイト / 約1,000人
2016年度	すみだ産業会館 / 約1,000人
2017年度	東京ビッグサイト / 約600人



bystander:
救急現場に居合わせた人
(発見者、同伴者等)

The committee for handling medical aid systems of the Tokyo Marathon is trying to organize the safest marathon in the world for the participants, spectators as well as volunteers and staff.

Deployment of AEDs

In Tokyo Marathon the Tokyo Marathon medical aid staff consist of medical doctors, nurses, paramedics, trainers and medical volunteers. They pursue their respective activities assigned to each team: teams at aid stations, medical vehicles, Running Doctors, bike teams, and BLS teams. AED are deployed as follows:



〈AED Bike Teams〉

Functions	Number of AEDs	General Outline
Medical Stations	24	Total of 17 first aid stations - every 5km in the first half and every 2-3km in the second half along the course. Medical doctors, nurses and trainers are stationed in the first medical stations, and they will respond to runners' injuries and illness. Furthermore, ambulances and other medical vehicles are on standby. ※ More than one AED are implemented at some stations
BLS Teams	40	Every km along the course in the first half of the course 37 teams and 3 teams at the finish, carrying AEDs and other emergency first aid equipment, are on standby. In case of injuries or illness, the nearest BLS team will come straight to the scene and give first aid before the arrival of medical doctors, paramedics and ambulances.
BLS Support Teams	No AED	31 teams of at least two persons are on patrol, covering the locations between medical stations and BLS teams (about 500m from medical stations)
AED Bike Teams	24	24 teams, consisting of two paramedics, are on patrol on bikes with AED and other first aid medical equipment, such as bag valve mask and vital sign indicators. In case of emergency, the staff will come straight to the scene and give first aid and CPR (cardio-pulmonary resuscitation).
Running Doctor	No AED	In case of emergency, Running Doctors work with the medical staff to give first aid assistance. They are running at the certain pace with regular intervals along the course.

For details → P19

AED : Automated External Defibrillator
BLS : Basic Life Support

Past First Aid Seminars (Venue/Number of Participants)

FY 2011	Tokyo Marathon Foundation's conference room/ Approx.70 participants each (4 times)
FY 2012	Ajinomoto Stadium/ Approx. 100 participants; Tokyo Marathon Foundation's conference room/ Approx. 70 participants per seminar (4 times) ; Tokyo Big Sight/Approx. 1,000 participants
FY 2013	Tokyo Big Sight/ Approximately 1,500 participants
FY 2014	Tokyo Big Sight/ Approx. 1,000 participants
FY 2015	Tokyo Big Sight/ Approx. 1,000 participants
FY 2016	Sumida Sangyou Kaikan (Sumida City)/ Approx. 1,000 participants
FY 2017	Tokyo Big Sight/ Approx. 600 participants



〈First Aid Seminar held on January 13, 2018〉

給水所 / 救護所

COURSE & OPERATIONS

Aid Stations / Medical Stations

給水所 Aid Stations

給水所 Aid Station	飲食物 Item	水 Water	スポーツ ドリンク Sports drink	バナナ Banana	みかん Mandarin Oranges	トマト Tomato	梅干 Umeboshi	ぶどう糖 Glucose sugar drops	チョコ Chocolate	塩飴 Salt Candy	その他 Others
1	5km	●	●								
2	7km	●									
3	10km	●	●								
4	12km	●									
5	15km	●	●								
6	17km	●		●		●				●	
7	20km	●	●								
8	22km	●			●						カロリーメイトゼリー Calorie Mate JELLY ようかん Sweet bean jelly
9	25km	●	●								
10	27km	●			●	●	●	●			パン Bread
11	30km	●	●								
12	32km	●		●		●			●	●	
13	35km	●	●								
14	38km	●		●	●	●	●	●	●		
15	40km	●	●								

救護所 Medical Stations

名称	Name	設置場所	Location
A	スタート救護所	東京都庁第二本庁舎2F入口	Tokyo Metropolitan Gov. Bldg. No.2, 2F entrance
B	5km救護所	軽子坂MNビル前	Karukozaka MN Bldg.
C	10km救護所	日本橋西川ビル横道路上	Next to Nihombashi Nishikawa Bldg.
D	10kmフィニッシュ救護所	コングレスクエア日本橋前	CongresSquare Nihonbashi
E	15km救護所	駒形橋交差点	The crossing of Komagatabashi
F	20km救護所	深川一丁目交差点	The crossing of Fukagawa 1-chome
G	22km救護所	清澄庭園公園広場	Kiyosumi Garden park area
H	24km救護所	同愛記念病院駐車場	Doai Memorial Hospital Parking
I	26km救護所	浅草橋(京葉道路起点道路上)	Keiyo road traffic orgin, Asakusabashi
J	28km救護所	花王本社ビル横	Head Office of Kao Corporation
K	30km救護所	数寄屋橋交差点	The crossing of Sukiyabashi
L	32km救護所	新橋4丁目交差点東	The crossing of Shimbashi 4-chome EAST
M	34km救護所	バンダイナムコ未来研究所付近 (住友不動産三田ビル)	BANDAI NAMCO Mirai-Kenkyusho (Sumitomo Mita Bldg.)
N	36km救護所	シティハイツ桂坂内	Katsurazaka Public Apartment
O	38km救護所	東京都障害者福祉会館前	Persons with Disabilities Welfare Center
P	40km救護所	新橋4丁目交差点西	The crossing of Shimbashi 4-chome WEST
Q	フィニッシュ救護所	フィニッシュ地点	Finish Area
R	馬場先門救護所	Babasaki Gate Medical Station	馬場先門 Babasaki Gate
S	日比谷公園救護所	Hibiya Park Medical Station	日比谷公園 Hibiya Park
T	大手町救護所	Otemachi Medical Station	東京海上日動ビルディング新館横 Tokio Marine Holdings Bldg. Annex
U	サンケイプラザ救護所	Sankei Plaza Medical Station	大手町サンケイプラザ3F Otemachi Sankei Plaza 3F
V	鍛冶橋救護所	Kajibashi Medical Station	鍛冶橋駐車場内 Kajibashi Parking
W	京橋医務室	Kyobashi Medical Office	東京コンベンションホール内 Tokyo Convention Hall

※コースマップ詳細 → P2-3 / For Course Map detail → P2-3

SAFE & SECURE

東京マラソンでは、大会に参加するランナー・ボランティア・応援する皆さんなど多くの方々に警備対策のご理解・ご協力を呼びかけ、「SAFE&SECURE」と称し、誰もが安心して参加できる『世界一安全・安心なマラソン大会』を目指した運営に努めています。皆様のご協力をお願いします。

The Tokyo Marathon asks for the cooperation of our runners, volunteers and spectators in understanding and supporting our security measures. We have titled our safety enhancement project "SAFE&SECURE" and is striving to ensure that the marathon is the safest marathon in the world and the one which everyone can feel secure taking part in.

未然防止に向けた広報・意識啓発 PR and awareness-raising aimed at security incident prevention

ランナーとボランティアへ「安全・安心な大会」へ導いていただく活動へのご協力をお願いし、セキュリティリストバンドの配布・着用や大会ウェブサイトなどによる未然防止啓発活動を行います。

The Tokyo Marathon is requesting that the Tokyo Marathon runners and volunteers cooperate in activities aimed at ensuring the marathon is a safe and secure one. Activities will include the wearing of wristbands and awareness-raising via the official website.



【セキュリティリストバンド】 security wristband

警備・セキュリティ等の強化 Security enhancement measures

●監視体制の強化

拠点中心であった監視体制をコース沿道へ拡大
監視カメラを増設(2017大会:86台→2018大会:133台)
看板式カメラの設置数増加
本部監視センターに加え、移動式監視センターの設置(日比谷公園)

●Reinforcing the surveillance system

Expand the coverage of surveillance to the entire course, rather than the just covering the headquarters and major locations.
Increased installation of security cameras (2017 – 86 cameras → 2018 – 133 cameras)
Increased installation of Clip Cameras.
In addition to the monitoring center at the headquarters, implement the mobile monitoring center at Hibiya Park

●車両の突入対策

車両によるテロ事案等への対応
コース沿道や拠点への車両突入防止資機材の設置



車両突入防止用バリア
Vehicle barrier against intruding vehicles

●Measures against intruding vehicles

Protection against terrors of intruding vehicles, etc.
Deployment of vehicle barriers along the course and at major locations

●東京マラソン EXPO 2018のランナー受付でランナー全員の顔写真撮影・登録

不正出走防止などの安全対策に活用

●Taking and registering face photos of all runners upon Number Card pick-up at the Tokyo Marathon EXPO 2018

Utilizing the registered information for security measures like preventing falsifying entries, etc.

危機管理講習会 Crisis Management Seminar

平成30年1月28日(日) 警視庁丸の内警察署と連携して、大会関係者、VOLUNTAINER 会員等を対象に、不測の事態に備えた心構えを習得することを目指し、東京マラソン2018に向けた危機管理講習会を実施。

In the course of preparation for Tokyo Marathon 2018, the crisis management seminar will be held in cooperation with the Marunouchi Police Station. This seminar is intended to help respective people involved in the race operations, including the race officials and VOLUNTAINER members, to get prepared for unexpected contingencies.



〈危機管理講習会 / Crisis Management Seminar〉

レース中の大会中止に備えて

COURSE & OPERATIONS

東京都内において震度5強以上の地震が発生した場合、大会は中止となります。またコース付近で大規模な事件・事故が発生した場合には、大会主催者の判断により、大会は中止となります。混乱を避け、ランナーの皆さまの安全を確保するために、下記の内容をあらかじめ必ずお読みいただき、より安全な大会運営にご協力をお願いいたします。

The race will be discontinued if an upper 5 or greater-level earthquake (in the Japanese seismic intensity scale) strikes Tokyo Area. The race will also be discontinued based on the organizer's decision when a large-scale accident or other emergencies occur near the race course. To avoid confusion and to ensure your safety, please read the information below before you come to the event. Your cooperation in making the event safer and more secure would be greatly appreciated.

レース中の持ち物について Items to carry during the race

ランナーの方はできる限り、以下の持ち物を携帯してレースにご参加ください。

Runners are strongly encouraged to carry the items below during the race.



スマートフォン、または携帯電話
(緊急時の連絡手段、情報収集手段)

Smartphone or mobile phone
(a means of making contact and gathering information in an emergency)

Public transportation IC card (for returning home)



交通系ICカード
(帰宅時の交通手段)

Cash/credit card necessary for transportation
(to get home)



大会中止時には、手荷物の輸送手段や返却スタッフの確保が困難となることが予測され、**手荷物の返却ができない場合がございます。**後日、ご登録いただいている住所にお送りいたしますので、ご了承のほどよろしくお願いたします。

When the race is discontinued, it may not be possible to return your baggage to you due to expected difficulties in delivering your baggage and in securing staff to assist with pick-up. Please be aware that if this happens, the organizer will send your baggage to the address you registered with us at a later date.

正確な情報収集のために For the organizer to gather accurate information

お手持ちのスマートフォンや携帯電話を通じて、緊急時の安否確認をさせていただきます。

In the event of an emergency, the organizer will ascertain your safety through your smartphone or mobile phone.



東京マラソン 安否確認システム Tokyo Marathon Safety confirmation system

大会主催者よりメールでご案内するURLより、事前登録をお願いいたします。
Register for the system in advance from the URL given on the email sent by organizers.

緊急時の
利用イメージ

How the system
works in an
emergency



スマートフォン、
または携帯電話
Smartphone or
mobile phone



自動通知

Automated notification

状況報告

Report

安否/位置情報/コメント

Safety status/location
information/comments



主催者
Organizer



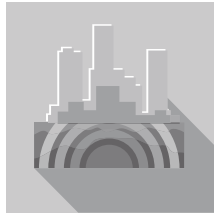
重要なお知らせ
Important notice

全国瞬時警報システム(Jアラート)により、弾道ミサイル発射に関する警報が流れた際には、大会スタッフの指示に従って、慌てずに落ち着いて行動してください。大勢のランナーが走るコース上で急に立ち止まったり、進路を変えることは大変危険です。

If the Japanese Government's nationwide warning system J-Alert sends an alarm related to ballistic missile launches, follow the staff's instructions. Do not panic; act calmly. It is extremely dangerous to suddenly stop or change directions on the race course, where there are many runners.

大会中止時のご帰宅までの流れ Returning home when the race has been discontinued

震度5強以上の震災、大規模な事件・事故の発生 An earthquake (upper 5 or greater in the Japanese seismic intensity scale), large-scale accident or other emergencies



震度5強以上の震災
Earthquake (Upper 5 or greater in the Japanese seismic intensity scale)



大規模な事件・事故の発生
Large-scale accident or other emergencies

大会続行・中止の決定 Decision to continue/discontinue the race



大会主催者の判断により、大会の続行・中止を決定します。
東京都内において震度5強以上の地震が発生した場合は、即、大会は中止となります。
Whether to continue or discontinue the race will be decided by the organizer.
If an upper 5 or greater-level earthquake (in the Japanese seismic intensity scale) strikes Tokyo, the race will be discontinued immediately.

大会スタッフによる走行停止のアナウンス Race officials give out the instructions to stop running



走行停止 Stop running

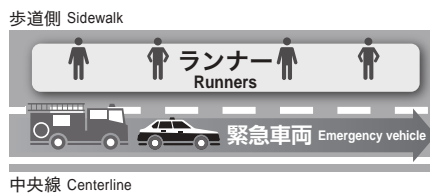
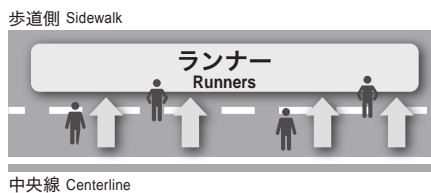


大会スタッフの指示に従い、周囲の状況に注意し、ゆっくりと止まってください。
Follow staff instructions. Mind your surroundings, and come to a stop slowly.

コース片側一車線で一時待機（周囲に危険がある場合は、避難） Wait on side of the street (take refuge elsewhere if in immediate danger)



- 走行中止後は、コース上の大会スタッフの指示に従い、行動してください。
- 大会スタッフの指示があるまでは、原則、その場で待機をお願いいたします。
- コース上は緊急車両が通行することがありますので、スタッフの指示に従って、道路片側によっていただくようご協力をお願いいたします。
- After you have stopped running, follow instructions of race officials on the course.
- As a general rule, remain where you are until race officials provide instructions.
- Emergency vehicles may pass through the course. Follow the instructions of race officials and wait at the side of the street.



周囲の安全が確認でき次第、ご帰宅 Return home after confirming safety of surroundings

- 大会スタッフの指示に従って、周囲の安全に注意しながら、ご帰宅を開始してください。
- ご帰宅が難しい方は、大会スタッフにご相談ください。近隣の退避場所等をご案内いたします。
- 各救護所に防寒具の用意があります。数に限りがございますが、必要な方はご利用ください。
- Follow instructions from staff and race officials returning home while minding your surroundings.
- Consult with staff if you cannot return home. You will be provided with information on evacuation shelters nearby.
- Each medical station has items to keep you warm. Supplies are limited in number, but feel free to use them if necessary.



関連イベント
RELATED EVENTS



関連イベント / Related Events



2月1日(木)～2月28日(水)
 コース沿道の商店街、協力施設ではコラボレーションイベントや様々な特典で歓迎します。また、大会前日には東京マラソンに出場する国外のランナー、その応援者を対象としたパレードを行います。
www.marathon.tokyo/events/week/

February 1-28
 Roadside arcades and support facilities along the course, will be collaborating to provide a healthy welcome with broad range of events and attractions. On the day before the race day (Saturday, February 24, 2018), the overseas runners who participate in Tokyo Marathon 2018, as well as their supporters, parade through the Marunouchi Naka-dori.
www.marathon.tokyo/en/events/week → P146-147



2月22日(木) 23日(金) 24日(土)
 11:00-21:00 (ランナー受付は20:30 まで)
 最終日は20:00 まで (ランナー受付は19:30 まで)
 東京ビッグサイト西展示棟
www.marathon.tokyo/events/expo

February 22-24
 22-23: 11:00 am-9:00 pm (Runner registration closes at 8:30 pm)
 24: 11:00 am-8:00 pm (Runner registration closes at 7:30 pm)
 Tokyo Big Sight West Hall
www.marathon.tokyo/en/events/expo/

→ P148-151



2月24日(土) 10:00-10:45
 臨海副都心シンボルプロムナード公園
www.marathon.tokyo/events/familyrun/

February 24 (10:00 am-10:45 am)
 Symbol Promenade Park
www.marathon.tokyo/en/events/familyrun/

→ P152



2月24日(土) 11:00-11:30
 臨海副都心シンボルプロムナード公園
www.marathon.tokyo/events/friendshiprun/

February 24 (11:00 am-11:30 am)
 Symbol Promenade Park
www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/

→ P153

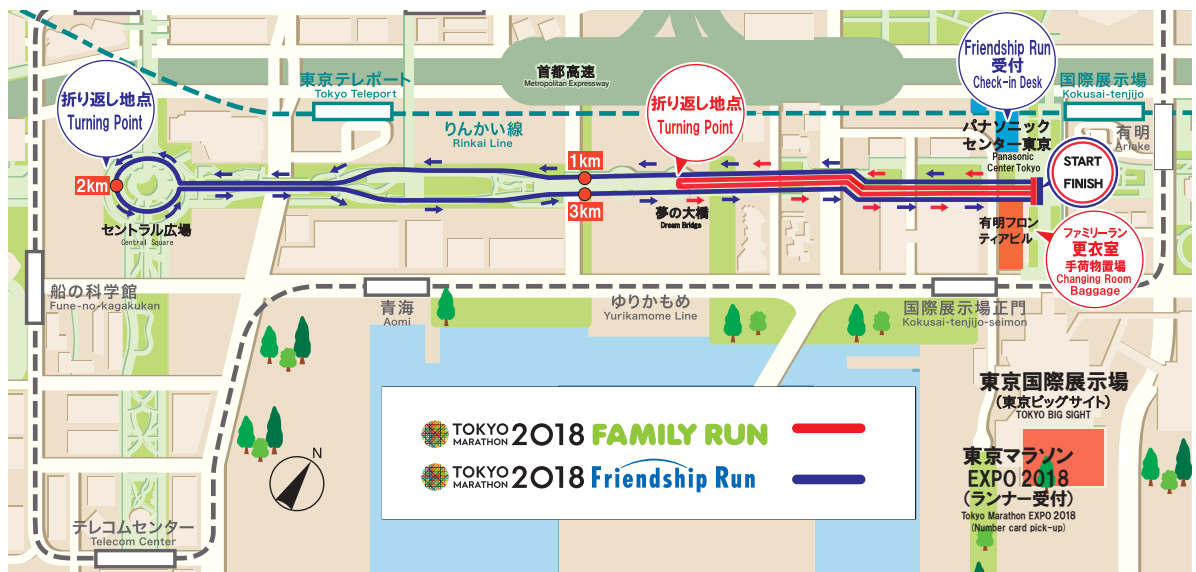
東京マラソン 2018 ランナー応援イベント **マラソン祭り**

2月25日(日)
 マラソン祭りのメイン会場は都立芝公園、
 その他のイベント会場はコース沿道。
www.tokyo42195festa.tokyo

February 25
 The main venue of MARATHON FESTA is Tokyo Metropolitan Shiba Park, and other venues are located along the course.
www.tokyo42195festa.tokyo

→ P154-157

ファミリーラン & フレンドシップラン コースマップ Family Run & Friendship Run Course Map



RELATED EVENTS

関連イベント

東京マラソンウィーク2018 146
Tokyo Marathon Week 2018

東京マラソンEXPO 2018 148
Tokyo Marathon EXPO 2018

東京マラソンファミリーラン2018 152
Tokyo Marathon Family Run 2018

東京マラソンフレンドシップラン2018 153
Tokyo Marathon Friendship Run 2018

東京マラソン2018 ランナー応援イベント マラソン祭り 154
MARATHON FESTA

東京マラソンウィーク2018

RELATED EVENTS



“東京がひとつになる日。”に向けて
For “The Day We Unite.”

東京マラソンウィークとは

東京マラソンが開催される2月を「東京マラソンウィーク」と題し東京中を東京マラソン一色にして大会を盛り上げていく企画です。

ランナーとして参加する人、ボランティアとして支える人、コース沿道で応援する人も「東京がひとつになる日。」に向けて、みんなで一緒に盛り上げていきましょう！コース沿道の商店街やランナーサポート施設、アンテナショップ等では、コラボレーションイベントや様々な特典でみなさんを歓迎します。

主なイベント

増上寺・浅草寺豆まき行事 2月3日(土)

増上寺(港区芝)・浅草寺(台東区浅草)で豆まき行事を開催。東京の冬の風情が感じられる、節分イベントです。東京マラソンの雰囲気を一足早く味わってみませんか。同日ランニングイベントも開催。



浅草商店連合会 浅草スタンプラリー 開催期間：2月19日(月)～2月25日(日)

浅草商店連合会加盟店全店舗にて、期間中、加盟店舗でお買い物をした3,000円分のレシート(合算分)と引き換えに抽選に参加できる。当選された方には豪華景品をプレゼント！
《抽選場所》六区セントラルスクエア1F(台東区浅草2-5-5)
《抽選時間》午前11時～午後5時

東京タワー特別ライトアップ 2月24日(土)17:30～22:00

東京マラソン2018の開催前日となる2月24日(土)の夜、東京タワーが東京マラソン2018のロゴカラーをイメージした特別ライトアップに輝きます。観光で東京に来ている方も、東京に住んでいる方も普段見られない東京タワーの特別ライトアップをお見逃しなく。



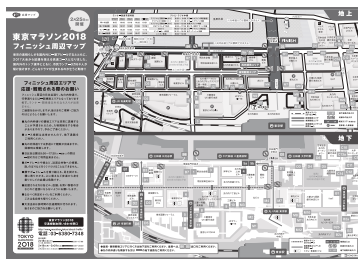
東京マラソンウィーク2018オフィシャルイベント フィニッシュエリアを見に行こう！丸の内仲通りイベント 2月24日(土)11:00～17:00(予定)

- (1)東京マラソンウィークパレード《時間》12:00～12:15
東京マラソンに出走するランナーと、その応援者が各国旗を振って参加し、東京マラソン2018を盛り上げるパレード。丸の内仲通り、コース沿道をご覧ください。
- (2)丸の内駅伝2018《時間》12:30～15:30(予定)
毎年恒例丸の内エリアの就業者向けランニングイベント。詳しくは「丸の内駅伝2018」のウェブサイトをご確認下さい。
URL: <https://www.marunouchi-event.com/ekiden2018/>
- (3)ステージイベント MARUNOUCHI LOUNGE《時間》13:00～(予定)
 - ・TOKYO FM トークショー
出演：chay・瀬古利彦
 - ・ダイヤモンドアスリート SPECIAL ステージ
 - ・東京タワー応援ステージ

What is Tokyo Marathon Week?

Scheduled for the weeks leading up to the Tokyo Marathon, Tokyo Marathon Week is a project designed to lift up spirits and bring together all of Tokyo in support of the Tokyo Marathon. Directed mainly at participating runners, volunteers providing various support, and spectators cheering on the runners along the course, its goal is to liven up the atmosphere around the event and excite people to make race day 'The Day We Unite.' Along the course, roadside arcades, runner support facilities and antenna shops will all be collaborating to provide a hearty welcome with a broad range of events and attractions.

応援マップ
MAP



缶バッジ
Button Badges



東京マラソンウィークマップ

毎年大好評の東京マラソンウィークマップ。今年もWeb上で見ることのできるデジタル版が登場！コース周辺のお得な情報が満載で試走の際にも便利です。



東京マラソン
ウィークマップへ
アクセス！



※画面はイメージです

Tokyo Marathon 2018 official event

Let's go see the Finish area! Marunouchi Naka-dori Event
Saturday, February 24, 2018 11:00 a.m. to 5:00 p.m.(tentative)

- (1)Tokyo Marathon Week Parade
The overseas runners who participate in Tokyo Marathon 2018, as well as their supporters, parade through the Marunouchi Naka-dori.
Time: 12:00 p.m. to 12:15 p.m.
- (2)Marunouchi Ekiden 2018
An annual running event for the office workers in Marunouchi area.
Time: 12:30 p.m. - 3:30 p.m.(tentative)
- (3)Stage events MARUNOUCHI LOUNGE
Time: 1:00 p.m. - (tentative)
 - ・TOKYO FM Talk Show
 - ・DIAMOND ATHLETE special stage
 - ・Tokyo Marathon Cheer Event by Tokyo Tower

東京マラソンウィーク 2018 協力施設

■ランナーサポート施設・クラブ RUNNERS SUPPORT/CLUB

アシックス原宿フラッグシップ/アシックスストア東京/小田急ハルクアシックスショップ新宿/アシックスステーションストア品川/アシックスコネクション東京/アシックスウィメンマロニエゲート銀座2/ジョグポート有明/半蔵門ランナーズサテライト JOGLIS/Run Pit by au SmartSports/ATR 半蔵門/MARUNOUCHI Bike&Run/BEAMS & WINDSSTATION GOLF & RUNNING/テン・オーバー・ナインランキューブ錦町/SPA 大手町/R-BODY PROJECT/ラフィネランニングスタイル神田店/ラフィネランニングスタイル日比谷店/寿湯/世界湯/みどり湯/大黒湯/大塚湯

■アンテナ ANTENNA SHOP

とっとり/おかやま新橋館/ぐんま総合情報センターぐんまちゃん家(ち)/北海道とさんごプラザ有楽町店/かごしま遊楽館/銀座熊本館/日本橋ふくしま館 MIDETTE/三重テラス/香川・愛媛せとうち旬彩館/奈良まほろば館/わかやま紀州館/銀座わしたショップ本店

■商店街・商業施設 SHOPPING/COMMERCE

大観音寺・韋駄天/東京タワー/コレド日本橋/ヴィクトリア本店/ヴィクトリアワードローブ/ヴィクトリアゴルフ御茶ノ水店/エルプレス御茶ノ水店/エルプレスバイク御茶ノ水店/ヴィクトリア新宿店/ヴィクトリア青山外苑前店/豪華カプセルホテル安心お宿プレミア新宿駅前店/豪華カプセルホテル安心お宿新橋店/豪華カプセルホテル安心お宿荻窪店/Hilton Tokyo Odaiba/オアシスサウナスタイル/天王洲郵船ビル NAGI/GINZA TANAKA 銀座本店/グランスタ・グランスタ丸の内/コレド日本橋

■カフェ・レストラン CAFE/RESTAURANT

築地すし好一和ーグランスタ丸の内店/ハートンホテル東品川 レストラン REGINA/東京ベイコート倶楽部レストランテ OZIO (オッツィオ)

■スペシャル SPECIAL

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合/浅草商店街連合会/丸の内エリア/靖国通り商店街連合会/東京スクエアガーデン



特典・サービス

オリジナル缶バッジを集めよう!

東京マラソンウィーク協力施設では東京マラソンウィークオリジナル缶バッジを配布しております。

缶バッジの種類は全部で6種類。

靖国通り・浅草・丸の内の地域限定デザインもあります。

★配布の缶バッジを持参して★

東京マラソンEXPO 2018内、東京マラソンウィークブースで素敵なグッズが当たる抽選会に参加しよう!



応援のかけ声企画

東京マラソンウィーク期間中、東京マラソンウィーク公式Twitterで、言われて頑張れる応援のかけ声公開&募集中。東京マラソンウィークマップの応援プロットからも簡単に投稿できます!「#東京マラソンウィーク #応援」をつけて投稿しよう。

東京マラソンウィークマップにアクセス!



応援のかけ声企画

東京マラソン当日に使える応援のかけ声を募集します。「#東京マラソンウィーク #応援」をつけてオリジナルな応援のかけ声を投稿しましょう。



応援して欲しいかけ声をTwitterでリクエスト!

言われて頑張れる応援のかけ声公開&募集中
「#東京マラソンウィーク #応援」をつけて投稿しよう。

マップ内の応援プロットから簡単に投稿できます!

東京マラソンウィーク



東京マラソンウィーク公式ウェブサイト
www.marathon.tokyo/events/week/

東京マラソンEXPO 2018

RELATED EVENTS

TOKYO MARATHON



「東京マラソン」に先立ち、東京ビッグサイト(有明)で毎年開催している「東京マラソン EXPO」。ナンバーカードをお渡ししてエントリーを行う3万6千人のランナーを含め、ランニング愛好者や健康志向の高い人たちなど、約11万人が来場します。東京マラソンを盛り上げるイベントとしてどなたでも入場無料でお楽しみいただけます。

The Tokyo Marathon EXPO, held at the Tokyo Big Sight (in Ariake), Approximately 110,000 visitors come to the event, including running enthusiasts, health conscious individuals, and more, as well as the 36,000 runners that come to pick up their number cards. As an event to bring and boost the excitement for the Tokyo Marathon, we invite one and all, free of charge, to come enjoy the EXPO.

「Running Life Style」の認知促進と新たな可能性の発見を目指す企業や団体が集結!

Numerous organizations and companies come together to raise awareness and discover new possibilities for the "Running Life Style."

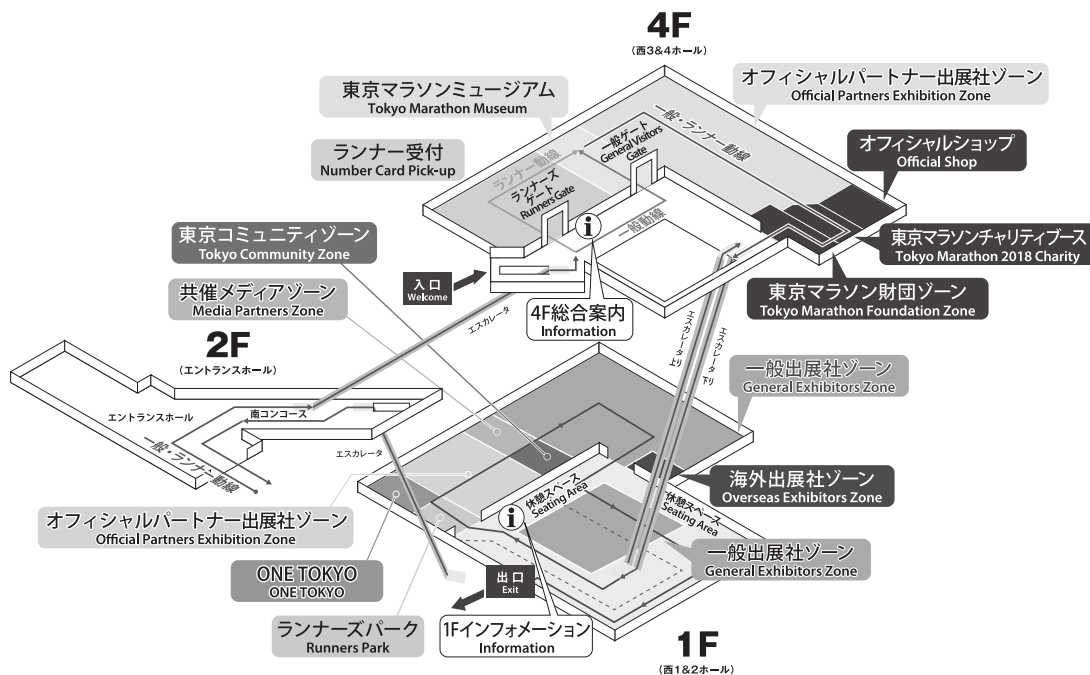
昨年に引き続き、東京マラソン EXPO 2018 も「Running Life Style」をテーマに「ランニングを通じて様々なライフスタイル」を紹介します。「Running×ファッション」「Running×ビューティ」「Running×旅行」「Running×フィットネス」「Running×ヘルスケア」「Running×音楽」など「Running Life Style」には無限の可能性がります。年齢、性別、国籍、職業、経験など関係なく楽しめる「Running Life Style」が EXPO に集まります。

With the ongoing theme of "Running Life Style," the Tokyo Marathon EXPO 2018 will be showcasing the infinite potentiality of an array of lifestyles Through Running, such as "Running x fashion," "Running x Beauty," "Running x Travel," "Running x Fitness," "Running x Healthcare," "Running x Music," and more. Take this opportunity to communicate the pleasures of "Running Life Style" regardless of age, gender, nationality, occupation or experience.

会場：東京ビッグサイト 西展示棟
入場無料 2018年2月22日(木) 23日(金) 24日(土)
 主催：一般財団法人 東京マラソン財団
 開催時間 11:00から21:00まで (ランナー受付は20:30まで)
 最終日は20:00まで (ランナー受付は19:30まで)

TOKYO BIG SIGHT West Exhibition Hall
admission free Feb. 22 (Thu), 23 (Fri), 24 (Sat), 2018.
 Organizer: Tokyo Marathon Foundation
 February 22 and 23: From 11am - 9pm (Runner registration closes at 8:30 pm)
 February 24: From 11am - 8pm (Runner registration closes at 7:30pm)

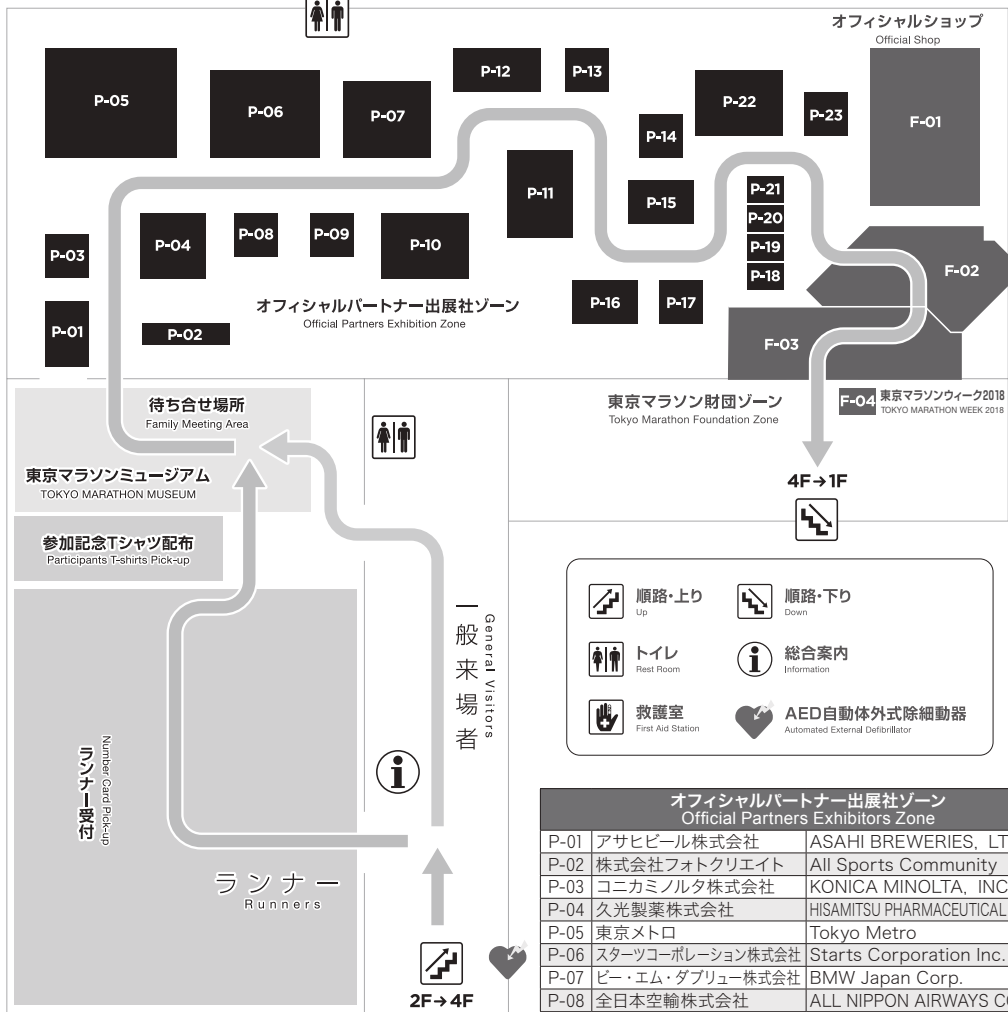
会場全体図 EXPO Area Map



出展ブース案内図
Exhibitor Guide

- **プレスツアー** << 2月22日(木) 9:15 ~ ※受付は9:00 ~>>
『プレスツアー』として、開催初日にメディア向けにEXPO会場内をご案内します。
- **オープニング** << 2月22日(木) 10:45 ~>>
4Fのランナー入口前にてEXPOのオープニングを行います。
- **Press Tour Feb. 22 (Thu.) Reception 9:00 a.m., Tour 9:15 a.m.**
The Press Tour is exclusively for the media prior to the opening of the EXPO.
- **EXPO Opening Ceremony Feb. 22 (Thu.) 10:45 a.m.**
To be held in front of the runners entrance on the 4th floor.

4F



東京マラソン2018チャリティ
TOKYO MARATHON 2018 Charity

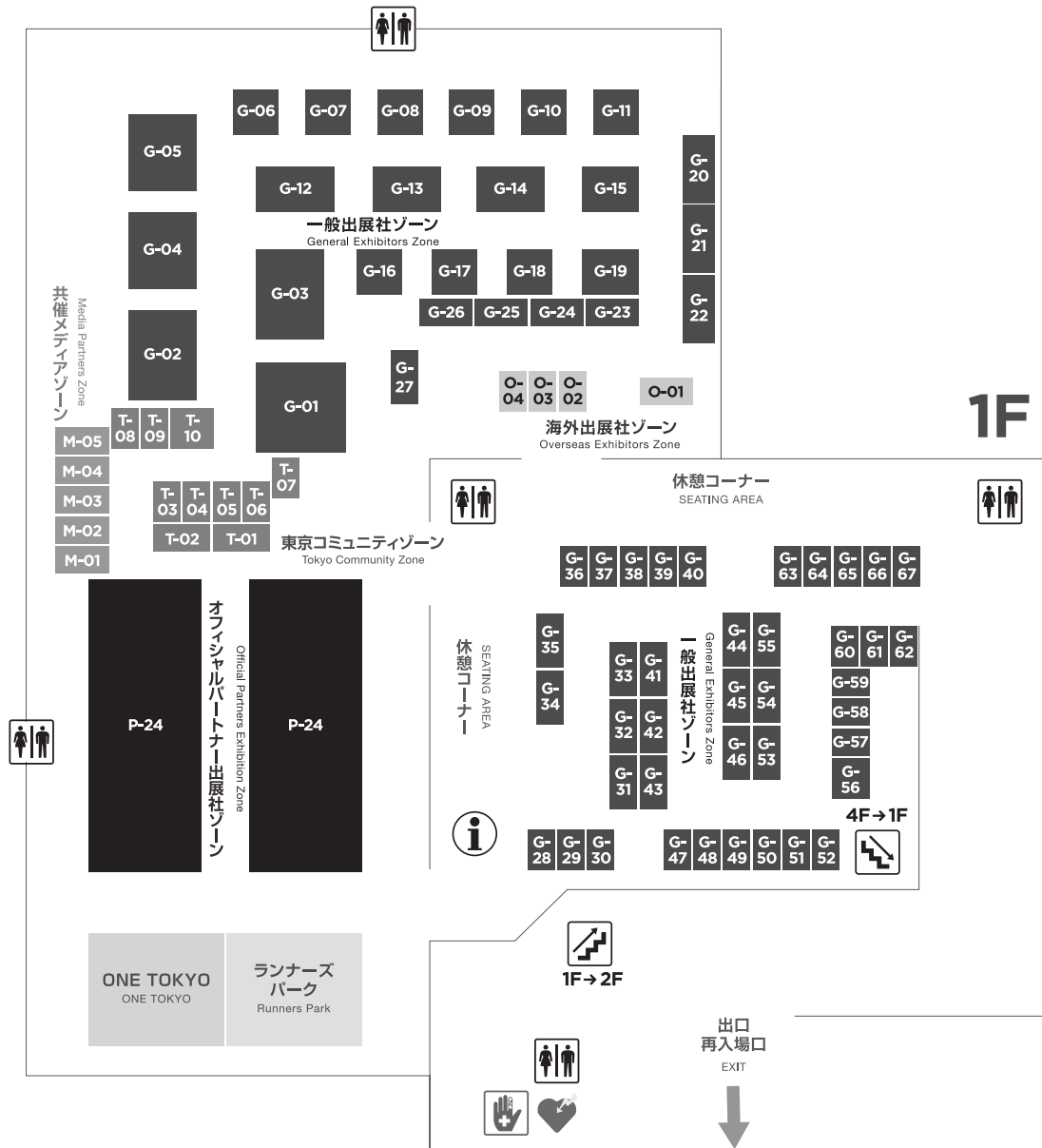
順路・上り Up	順路・下り Down
トイレ Rest Room	総合案内 Information
救護室 First Aid Station	AED自動体外式除細動器 Automated External Defibrillator

オフィシャルパートナー出展社ゾーン Official Partners Exhibitors Zone	
P-01	アサヒビール株式会社 ASahi Breweries, Ltd.
P-02	株式会社フォトクワイエット All Sports Community
P-03	コニカミノルタ株式会社 KONICA MINOLTA, INC.
P-04	久光製薬株式会社 HISAMITSU PHARMACEUTICAL CO., INC.
P-05	東京メトロ Tokyo Metro
P-06	スターツコーポレーション株式会社 Starts Corporation Inc.
P-07	ビー・エム・ダブリュー株式会社 BMW Japan Corp.
P-08	全日本空輸株式会社 ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.
P-09	セコム株式会社 SECOM CO., LTD.
P-10	アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc. American Express International, Inc.
P-11	大塚製薬株式会社 Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
P-12	セイコーホールディングス株式会社 SEIKO HOLDINGS CORPORATION
P-13	カゴメ株式会社 KAGOME CO., LTD.
P-14	資生堂ジャパン株式会社 SHISEIDO JAPAN
P-15	第一生命保険株式会社 The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited
P-16	近畿日本ツーリスト株式会社 KINTETSU INTERNATIONAL
P-17	大和証券グループ Daiwa Securities Group
P-18	日本光電 NIHON KOHDEN
P-19	EMTG 株式会社 EMTG Co., Ltd.
P-20	首都高速道路株式会社 Metropolitan Expressway Company Limited.
P-21	国士舘大学 Kokushikan University
P-22	山崎製パン株式会社 Yamazaki Baking Co., Ltd.
P-23	株式会社バンダイナムコエンターテインメント BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

東京マラソン財団ゾーン Tokyo Marathon Foundation Zone	
F-01	東京マラソン 2018 オフィシャルショップ TOKYO MARATHON 2018 OFFICIAL SHOP
F-02	東京マラソン 2018 チャリティ TOKYO MARATHON 2018 Charity
F-03	東京マラソン財団 Tokyo Marathon Foundation
F-04	東京マラソンウィーク 2018 TOKYO MARATHON WEEK 2018

東京マラソンEXPO 2018

RELATED EVENTS



オフィシャルパートナー 出展者ゾーン Official Partners Exhibitors Zone		
P-24	アシックスジャパン株式会社	ASICS Japan Corporation
東京コミュニティゾーン Tokyo Community Zone		
T-01	千代田区	Chiyoda City
T-02	東京観光情報センター	Tokyo Tourist Information Center
T-03	台東区	Taito-City
T-04	墨田区	SUMIDA CITY
T-05	江東区	KOTO CITY
T-06	港区観光協会	MINATO Travel & Tourism Association
T-07	東京都行政書士会	Gyoseishoshi Lawyers of Tokyo
T-08	NO LIMITS CHALLENGE	NO LIMITS CHALLENGE
T-09	新宿区・新宿観光振興協会	Shinjuku City / Shinjuku Convention&Visitors Bureau
T-10	一般社団法人 中央区観光協会	Chuo City Tourism Association
共催メディアゾーン Media Partners Zone		
M-01	東北・みやぎ復興マラソン2018 (フジテレビジョン/仙台放送)	TOHOKU-MYAGI REVIVE MARATHON 2018 (Fuji Television Network, Inc./Sendai Television Incorporated)
M-02	産経新聞社	THE SANKEI SHIMBUN
M-03	読売新聞社	THE YOMIURI SHIMBUN
M-04	日本テレビ	NIPPON TV
M-05	東京新聞	THE TOKYO SHIMBUN
一般出展者ゾーン General Exhibitors Zone		
G-1	NEUTRALWORKS.BY.GOLDWIN (THE NORTH FACE/C3FIT/DANSKIN/ SPEEDO/NEUTRALWORKS.TOKYO)	NEUTRALWORKS.BY.GOLDWIN (THE NORTH FACE/C3FIT/DANSKIN/SPEEDO/ NEUTRALWORKS.TOKYO)
G-2	(株)アルペン スポーツデポ	SPORTS DEPO
G-3	ファイテン株式会社	Phiten Co., Ltd.
G-4	RxL	RxL
G-5	オン	On
G-6	ピップ株式会社	PIP CO., LTD.
G-7	BODYMAKER	BODYMAKER
G-8	タビオ株式会社	TABIO Corporation
G-9	SUUNTO	SUUNTO
G-10	ボディプラスインターナショナル	BodyPlus International
G-11	株式会社マスターズアイプロテクションジャパン/ 株式会社エス・アイザックス商会	Masters Eye Protection Japan Ltd. / S.Isaacs & Co., Ltd.
G-12	ガーミンジャパン株式会社	GARMIN Japan
G-13	ザムスト	ZAMST
G-14	有限会社パワースポーツ	Power Sports Inc.
G-15	SAUCONY JAPAN	SAUCONY JAPAN
G-16	興和株式会社	KOWA COMPANY, LTD.
G-17	エプソン販売株式会社	Epson Sales Japan Corp
G-18	株式会社フィットコーポレーション	FITS Corporation
G-19	ヨネックス株式会社	YONEX CO., LTD.
G-20	RUN & TOKYO (東京ブランド)	RUN & TOKYO (TOKYO BRAND)
G-21	ラフィネ	Raffine
G-22	江崎グリコ株式会社 POWERPRODUCTION	EZAKI GLICO CO., LTD POWERPRODUCTION
G-23	SOMANIKS(ソマニクス) / 常葉大学	SOMANIKS / Tokoha University
G-24	味の素株式会社「アミノバイタル®」	AJINOMOTO CO., INC.
G-25	株式会社カナカ	KANEKA CORPORATION
G-26	小林製薬株式会社	Kobayashi Pharmaceutical Co., Ltd.
G-27	MEDIFOAM	MEDIFOAM
G-28	青梅マラソン	OHME MARATHON (THE OHME 30K & 10K ROAD RACE)
G-29	Airpeak	Airpeak
G-30	井村屋株式会社	imuraya co., ltd.
G-31	RUN PANDA!	RUN PANDA!
G-32	三井製糖株式会社	Mitsui Sugar Co.Ltd.
G-33	L-BALANCE EYES (株式会社 デューク)	L-BALANCE EYES (DUKE Co., Ltd.)
G-34	株式会社スポーツマリオ	SPORTS MARIO Co., Ltd.
G-35	株式会社ツインズ	TWINS CORPORATION
G-36	株式会社 COOLKNOT JAPAN	COOLKNOT JAPAN CO LTD
G-37	株式会社ケミカルジャパン	CHEMICAL JAPAN CO., LTD.
G-38	全国ご当地マラソン協議会	Japan national council of regional marathon-events
G-39	株式会社エイチ・アイ・エス	H.I.S.CO., LTD.
G-40	Tarzan	Tarzan
G-41	アスタリアル株式会社	AstaReal Co., Ltd.
G-42	ストップパ下痢止め	stoppa

一般出展者ゾーン General Exhibitors Zone		
G-43	アルコインターナショナル株式会社	ALCO INTERNATIONAL LTD.
G-44	MUSASHI	MUSASHI
G-45	ポラル・エレクトロ・ジャパン株式会社	POLAR
G-46	MEDALIST	MEDALIST
G-47	株式会社 dot	dot ltd.
G-48	大阪マラソン 2018	OSAKA MARATHON 2018
G-49	ほどげにくい靴紐 AMO グリップシューレース	AMO Grip Shoe Laces
G-50	TAKEYA FLASK (タケヤ化学工業 (株))	TAKEYA FLASK TAKEYA CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
G-51	マリOTTバケーションクラブ	Marriott Vacationclub International
G-52	株式会社トータルヘルスコンサルティング	Total Health Consulting Inc.
G-53	株式会社ジーオーエヌ / 鈴鹿かまぼこ株式会社	GON Co., Ltd. / Suzuhiko Co., Ltd.
G-54	パウアーファインド (パシフィックサプライ株式会社)	Bauerfeind AG (Pacific Supply CO., LTD.)
G-55	スポーツジューエン	SPORTS ZYUEN
G-56	塩熱サプリ (ミドリ安全株式会社)	ENNETSU-SAPURI (MIDORI ANZEN CO., LTD.)
G-57	ちばアクアラインマラソン 2018	CHIBA AQUALINE MARATHON2018
G-58	スポーツ化粧品 AthleteX	AthleteX
G-59	公益社団法人東京都不動産鑑定士協会	Tokyo Association of Real Estate Appraisers
G-60	おかやまマラソン	OKAYAMA MARATHON
G-61	白樺湖活性化協議会、 池の平ホテル&リゾート	SHIRAKABAKOKASSEIKAKYOGIKAI IkenotairaHotel&ResortsCorporation
G-62	協同乳業株式会社	Kyodo Milk Industry Co., Ltd.
G-63	朝日新聞出版	ASAHI SHIMBUN Publications inc
G-64	パルシステム生活協同組合連合会	Palsystem Consumers Cooperative Union
G-65	マルサンアイ株式会社	MARUSAN-AI Co., Ltd.
G-66	会津磐梯山・猪苗代湖合宿の 郷を創る協議会	The council to establish the best place of training camp around Mt. AizuBandai, Lake Inawashiro.
G-67	東京司法書士会	TOKYO SHIHO-SHOSHI LAWYER'S ASSOCIATION
海外出展者ゾーン Overseas Exhibitors Zone		
O-01	タイ国政府観光庁	TOURISM AUTHORITY OF THAILAND
O-02	BMW ベルリンマラソン	BMW BERLIN-MARATHON
O-03	INKnBURN	INKnBURN
O-04	Follow Your Passion	Follow Your Passion

東京マラソンファミリーラン2018

RELATED EVENTS

Tokyo Marathon Family Run 2018

FAMILY RUN TOKYO MARATHON 2018

親子でも楽しめる ファミリーラン!

小学生と保護者のペアが対象となる、約1.5kmのファンランイベントです。東京マラソンの前日に開催します。子どもたちに「走る喜び」や、本大会に向けた盛り上がりと一緒に「東京がひとつになる日。」を体験してもらい、スポーツの素晴らしさを知ってもらう機会として位置付けています。今回から車いす参加者を募集し、障がい者スポーツを盛り上げます。

名称：東京マラソンファミリーラン2018
 主催：一般財団法人東京マラソン財団
 共催：一般社団法人臨海副都心まちづくり協議会
 後援：東京臨海副都心グループ
 協賛：第一生命保険株式会社
 種目：ファンラン 約1.5km
 開催日時：2018年(平成30年)2月24日(土)
 9:30 開会式
 10:00 ファンランスタート
 10:45 ファンラン終了
 開催場所：臨海副都心シンボルプロムナード公園
 特設ランニングコース

定員：1,000組 2,000人
 参加対象者：
 子供と大人のペア(1組:保護者1人と小学生1人のペア)
 ※各学年とも30分以内で完走できるペア
 参加料：1組3,000円(税込)
www.marathon.tokyo/events/familyrun/



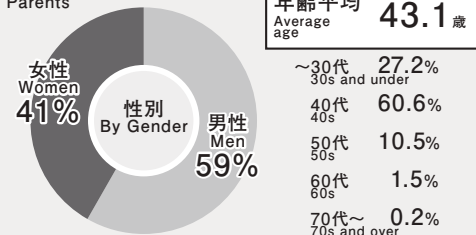
Family Run for Both Children and Their Parents!

The Tokyo Marathon Family Run is held on the day before the main event, enabling parents and young children to take part together. We think this is an ideal opportunity to show families just how exciting sports can be, by sharing the "Joy of Running" and boosting the mood for "The Day We Unite." with their kids. Wheelchair participants are also welcome this year to boost the disability sports.

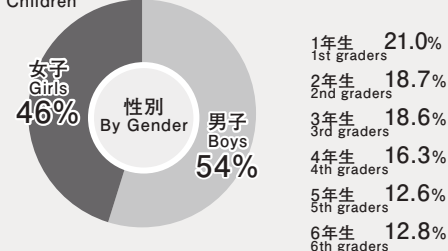
Race Name: Tokyo Marathon Family Run 2018
 Organizer: Tokyo Marathon Foundation
 Co-Organizer: Tokyo Waterfront City Association
 Supporting Organization: Tokyo Rinkai Fukutoshin Group
 Presenting Partner: The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited
 Event: Fun Run (About 1.5 km / 0.9 mile)
 Date & Time: Saturday, February 24, 2018
 9:30 am Opening ceremony
 10:00 am Fun Run start
 10:45 am Fun Run finish
 Event Venue: Symbol Promenade Park
 Maximum Number of Entrants: 1,000 pair 2,000 persons
 Eligibility: Parents and young children to take part together
 (1 pair: a parent and an elementary school student)
 Entry Fee: JPY 3,000
www.marathon.tokyo/en/events/familyrun/

ファミリーラン2017 参加者データ Family Run 2017 Event Data

保護者 Parents



子ども(小学生) Children



東京マラソンフレンドシップラン2018

RELATED EVENTS

Tokyo Marathon Friendship Run 2018

Friendship Run TOKYO MARATHON 2018

海外のランナーと交流できる ファンランも。

海外からお越しのランナーへのおもてなしと交流を目的としたファンランイベントです。東京マラソンの前日、湾岸エリア約4Kmのコースで開催します。日本の伝統文化の観賞や日本人ランナーとボランティアとのふれあいを体感していただきます。

名称：東京マラソンフレンドシップラン2018
 主催：一般財団法人東京マラソン財団
 共催：一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会
 後援：観光庁、東京臨海副都心グループ
 協賛：近畿日本ツーリスト株式会社
 協力：パナソニックセンター東京
 種目：ファンラン 約4km
 ※参加者へのおもてなし及びランナー同士の交流を目的としたランニングイベント。記録計測をする競走（レース）ではありません。
 開催日時：2018年2月24日（土）
 10:45 オープニングセレモニー
 11:00 ファンランスタート
 11:30 ファンラン終了
 開催場所：臨海副都心シンボルプロムナード公園
 特設ランニングコース
 定員：2,000人
 参加対象者：
 東京マラソン2018に出場予定の海外ランナー及びその同伴者のほか、国内外の一般申込者（ただし、6歳以上）
 参加料：3,000円（税込）

www.marathon.tokyo/events/friendshiprun/



Meet Runners from Other Countries at the Friendship Run!

Held the day before the Tokyo Marathon, the Tokyo Marathon Friendship Run 2018 is an event designed to welcome and promote exchanges with runners visiting from overseas. Participants will run the nearly 4 kilometer course through the Bayside area. Those taking part in the Friendship Run have the opportunity to experience traditional Japanese culture, and to interact with Japanese runner, volunteers.

Race Name: Tokyo Marathon Friendship Run 2018
 Organizer: Tokyo Marathon Foundation
 Co-Organizer: Tokyo Waterfront City Association
 Supporting Organizations: Japan Tourism Agency, Tokyo Rinkai Fukutoshin Group
 Presenting Partner: KINTETSU INTERNATIONAL
 Cooperation Organization: Panasonic Center Tokyo
 Event: Fun Run (About 4 km / 2.5 miles)

* This running event aims to provide the Japanese hospitality to runners and to interactions between overseas and Japanese runners.

* This event will not be timed.

Date & Time: Saturday, February 24, 2018
 10:45 am Opening ceremony
 11:00 am Fun Run start
 11:30 pm Fun Run finish

Event Venue: Special running course in Symbol Promenade Park
 Maximum Number of Entrants: 2,000 persons

Eligibility: Runners from overseas registered for Tokyo Marathon 2018 and their companions (friends and family), and general applicants from overseas and Japan *6 years old and over

Entry Fee: JPY 3,000

www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/

フレンドシップラン2017 参加者データ Friendship Run 2017 Event Data

開催日
2017年2月25日

気象 (10:30時点)
晴れ

参加者数
1,316人
(+観客人数1,500人)

国・地域別参加者数 (上位20位のみ) Number of entrants by nationality (top 20 countries)

HKG	USA	TPE	GBR	GER	CHN	AUS	SUI	FRA	INA
127	88	72	70	62	45	43	37	34	31
NED	MEX	MAS	CAN	BRA	DEN	IRL	SIN	THA	JPN
28	22	20	19	17	17	16	11	11	457

イベントガイド



Event Guide

36,000人のランナーが参加する東京マラソン2018の開催にあわせ、コース沿道等でランナーを応援する音楽演奏・ダンス・民俗芸能などのパフォーマンスや、メイン会場で展開する様々な

楽しいイベントにより大会を盛り上げる

“ランナー応援イベント”、それが「マラソン祭り」です。

そんな熱いイベントの見所をご紹介します。

会場に足を運んでイベントの熱気をぜひ体感してください。

With 36,000 runners participating in the Tokyo Marathon 2018, a variety of events, including performances of music, dance, and traditional folk art, will be held along the course and

at the main festival venue to cheer

on the runners as part of the Marathon Festa 2018.

Here we introduce some of the exciting events planned. We hope that you will come and experience the excitement yourself!

*Please note that all events will be held in Japanese.

ランナー応援イベント会場/Event Venues

2月25日(日)開催! Sunday, February 25 9:20~16:00



新宿/飯田橋エリア Shinjuku/Iidabashi Area

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 防衛省前
Ministry of Defense | 9:20 |
| | 新宿区市谷本村町5-1/5-1 Ichigaya Honmuracho, Shinjuku-ku | 10:10 |
| 2 | 東京区政会館前
Tokyo Kusei Kaikan Building | 9:30 |
| | 千代田区飯田橋3-5-1/3-5-1 Iidabashi, Chiyoda-ku | 10:30 |
| 3 | 住友不動産九段ビル前
Sumitomo Fudosan Kudan Building | 9:30 |
| | 千代田区九段北1-8-10/1-8-10 Kudan-Kita, Chiyoda-ku | 10:35 |
| 4 | 千代田ファーストビル西館前
Chiyoda First Building West Pavilion | 9:30 |
| | 千代田区西神田3-5-3/3-5-3 Nishi-Kanda, Chiyoda-ku | 10:35 |



神田/人形町エリア Kanda/Ningyocho Area

- | | | |
|----|--|-------|
| 5 | 岩波神保町ビル前
Iwanami Jimbocho Building | 9:35 |
| | 千代田区神田神保町2-1/2-1 Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku | 10:45 |
| 6 | NBF小川町ビルディング前
NBF Ogawamachi Building | 9:35 |
| | 千代田区神田小川町1-3-1/1-3-1 Kanda Ogawamachi, Chiyoda-ku | 10:50 |
| 7 | コレド日本橋前
COREDO Nihombashi | 9:40 |
| | 中央区日本橋1-4-1/1-4-1 Nihombashi, Chuo-ku | 11:00 |
| 8 | 中央区立茅場橋南児童遊園
Chuo-ku Kayabashi Minami-jidoyuen Park | 10:00 |
| | 中央区日本橋茅場町1-1-1/1-1-1 Nihombashi Kayabacho, Chuo-ku | 11:05 |
| 9 | ぺんてるビル前
Pentel Building | 9:40 |
| | 中央区日本橋小網町7-2/7-2 Nihombashi Koamicho, Chuo-ku | 11:05 |
| 10 | リガーレ日本橋人形町前
Legare Nihombashi Ningyocho Building | 9:40 |
| | 中央区日本橋人形町1-12-11/1-12-11 Nihombashi Ningyocho, Chuo-ku | 11:05 |



蔵前/浅草エリア Kuramae/Asakusa Area

- | | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 11 | 浅草雷門前
Asakusa Kaminarimon | 9:55 |
| | 台東区浅草1-3-1/1-3-1 Asakusa, Taito-ku | 11:40 |

都立芝公園 祭りメイン会場

Tokyo Metropolitan Shiba Park Special Festival Square 10:00~16:00

多彩なゲストが出演するステージをはじめ、さまざまなグルメを楽しめる飲食エリアやスポーツ体験コーナー、場内全体を巡っての謎解きなど、盛りだくさんの内容をお届けします! A range of entertaining activities await at the Main Festa Venue, including a food area where visitors can enjoy a variety of gourmet foods, an area with opportunities to try sports, games to participate in, and even on-stage events featuring various guests.



両国/深川エリア Ryogoku/Fukagawa Area

- | | | |
|----|--|-------|
| 12 | 富岡八幡宮前
Tomioka Hachimangu | 10:10 |
| | 江東区富岡1-20-3/1-20-3 Tomioka, Koto-ku | 12:30 |
| 13 | 江東区立油堀川公園
Koto-ku Aburahorigawa Park | 10:10 |
| | 江東区門前仲町1-20-1/1-20-1 Monzen-nakacho, Koto-ku | 12:35 |
| 14 | みずほ銀行本所支店前
Mizuho Bank Honjo Branch | 10:20 |
| | 墨田区両国4-31-11/4-31-11 Ryogoku, Sumida-ku | 13:00 |
| 15 | 第一ホテル両国前
Dai-ichi Hotel Ryogoku | 10:20 |
| | 墨田区横綱1-6-1/1-6-1 Yokoami, Sumida-ku | 13:00 |



日本橋/銀座エリア Nihombashi/Ginza Area

- | | | |
|----|--|-------|
| 16 | トルナレ日本橋浜町前
Tornare Nihombashi Hamacho Building | 10:35 |
| | 中央区日本橋浜町3-3-1/3-3-1 Nihombashi Hamacho, Chuo-ku | 13:30 |
| 17 | 首都高兜町駐車場前
Metropolitan Expressway Kabutocho Parking Lot | 10:50 |
| | 中央区日本橋兜町1-13/1-13 Nihombashi Kabutocho, Chuo-ku | 13:40 |
| 18 | 東京日本橋タワー前
Tokyo Nihombashi Tower | 10:35 |
| | 中央区日本橋2-7-1/2-7-1 Nihombashi, Chuo-ku | 13:40 |



芝/高輪/皇居エリア Shiba/Takanawa/Imperial Palace Area

- | | | |
|----|---|-------|
| 19 | NBF日比谷ビル前
NBF Hibiya Building | 10:45 |
| | 千代田区内幸町1-1-7/1-1-7 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku | 14:05 |
| 20 | 三菱自動車本社ショールーム前
Mitsubishi Motors Corporation Headquarters Showroom | 10:50 |
| | 港区芝5-33/5-33 Shiba, Minato-ku | 14:30 |
| 21 | 笹川記念会館前
Sasakawa Hall | 10:55 |
| | 港区三田3-12-12/3-12-12 Mita, Minato-ku | 14:40 |
| 22 | 住友不動産三田ツインビル西館前
Sumitomo Fudosan Mita Twin Building West Pavilion | 11:00 |
| | 港区三田3-5-27/3-5-27 Mita, Minato-ku | 15:10 |
| 23 | 港区立芝公園
Minato-ku Shiba Park | 11:00 |
| | 港区芝公園4-8/4-8 Shiba-koen, Minato-ku | 15:25 |
| 24 | 都立芝公園 祭りメイン会場 Main Festa Venue | 11:05 |
| | 港区芝公園3-2/3-2 Shiba-koen, Minato-ku | 15:35 |

*天候等によりイベントが中止または会場・内容・時間等が変更となる場合があります。*The event program and schedule are subject to change or cancellation due to inclement weather or other factors.



**出演者情報は
こちらをチェック!**
Check here for details
of the performances!

[www.tokyo42195festa.tokyo/
street_event/index.html](http://www.tokyo42195festa.tokyo/street_event/index.html)
(In Japanese)

スペシャルパスポート Special Passport
都内施設で使えるお得なスペシャルクーポン
Special coupons offering discounts at facilities in Tokyo
▶詳しくはマラソン祭り公式HPをご覧ください
For details, please see the following website www.tokyo42195festa.tokyo/

お問い合わせ先/Inquiries マラソン祭り事務局 / Marathon Festa office **03-6865-1959** (in Japanese)

公式HP/Official Website www.tokyo42195festa.tokyo (in Japanese)

公式Facebook/Official Facebook Page www.facebook.com/tokyo42195festa **マラソン祭り** **検索**

※交通規制が実施されます。詳しくは大会公式WEBサイトをご覧ください。 www.marathon.tokyo/about/traffic/
*Traffic restrictions will be in place along the course on marathon day. For information, please see the following website www.marathon.tokyo/about/traffic/

RELATED EVENTS



祭りメイン会場
Main Festa Venue

参加
無料
Free of charge

2018年2月25日(日)
February 25 (Sun)
10:00~16:00

都立芝公園 Tokyo Metropolitan Shiba Park

東京マラソンを観ながら、バラエティ豊かなステージプログラムやアクティビティ、美味しい故郷の味が楽しめます。マラソン祭りナビゲーターに「アップアップガールズ(仮)」が就任！ステージでのスペシャルミニライブの他、ステージを飛び出してレポートするなど会場全体で大活躍します！

There will be a wide range of stage events and activities, which you can enjoy while watching the marathon, as well as delicious local foods. Girl group "UPUPGIRLS kakko KARI" will hold a special mini live event on stage and then move around the festa venue to report on the events.



マラソン祭りナビゲーターの「アップアップガールズ(仮)」のスペシャルミニライブの他、クイズ大会やフジテレビ パラスポーツ応援プロジェクト PARA☆DO!とのコラボステージなど盛りだくさん！
Other than a special mini live event by the UPUPGIRLS kakko KARI, lots of events will be held such as a quiz show and a collaborative event with Fuji Television's parasports project "PARA☆DO!"

祭りステージ Festa Stage

バラエティブース Variety Booths

岩手県、宮城県、福島県などの特産品や郷土料理のほか、さまざまな温かい汁ものが大集合の「ほっこり汁まつり」を開催！心も体もポッカポカ！

Other than local delicacies and specialties from Iwate, Miyagi, Fukushima, and other prefectures, a "warm soup fair" will be held with a variety of stews and soups to choose from. Warm your body and soul!



アップアップガールズ(仮)

フジテレビパラスポーツ応援プロジェクト PARA☆DO!

MC
田中ウルヅエ 京
(メッソルレーニング
上野野士/ソウル五輪
シダコ前メタリスト)



アクティビティ Activities

マラソン謎解きまつり Marathon Riddle Festival

会場全体に隠されたマラソンに関する謎を解きあかし、ミッションをクリアしよう！全ての謎が解けた人には認定証をプレゼント！
Complete your mission by solving all the marathon riddles hidden throughout the area. Solve all the riddles and get a certificate.



スポーツ体験 Experience sports

子供から大人まで楽しめるボルダリングやポッチャの体験会を実施します！
Bouldering and boccea events will be held for people from children to adults to try and enjoy.



ポッチャ Boccea

ボルダリング Bouldering

※競技種目は変更になる場合がございます。・Sport events may be subject to change.

会場マップ Area Map



※各会場のプログラムは天候・出演者の都合により、変更・中止・中断になる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。 ※画像はイメージです。

・Please note that program contents and scheduled guests are subject to change and/or cancellation due to weather conditions or other factors. *Sample image

お問合せ先 Inquiries

マラソン祭り事務局 / Marathon Festa office TEL:03-6865-1958 (in Japanese)

マラソン祭り公式ホームページ / Official Website www.tokyo42195festa.tokyo (in Japanese)

ランナー応援イベント会場アクセスマップ

Event Venue Access Maps

<p>1 防衛省前 Ministry of Defense</p> <p>新宿区市谷本町5-1 最寄駅/市ヶ谷 9:20 10:10</p>	<p>2 東京区政会館前 Tokyo Kusei Kaikan Building</p> <p>千代田区飯田橋3-5-1 最寄駅/飯田橋 9:30 10:30</p>	<p>3 住友不動産九段ビル前 Sumitomo Fudosan Kudan Building</p> <p>千代田区九段北1-8-10 最寄駅/九段下 9:30 10:35</p>	<p>4 千代田ファーストビル西館前 Chiyoda First Building West Pavilion</p> <p>千代田区西神田3-5-3 最寄駅/神保町九段下 9:30 10:35</p>
<p>5 岩波神保町ビル前 Iwanami Jimbocho Building</p> <p>千代田区神田神保町2-1 最寄駅/神保町 9:35 10:45</p>	<p>6 NBF小川町ビルディング前 NBF Ogawamachi Building</p> <p>千代田区神田小川町1-3-1 最寄駅/小川町淡路町 9:35 10:50</p>	<p>7 コレド日本橋前 COREDO Nihonbashi</p> <p>中央区日本橋1-4-1 最寄駅/日本橋 9:40 11:00</p>	<p>8 中央区立茅場橋南児童遊園 Chuo-ku Kayabashi Minami-jidoyuen Park</p> <p>中央区日本橋茅場町1-1-1 最寄駅/茅場町 10:00 11:05</p>
<p>9 へんてるビル前 Pentel Building</p> <p>中央区日本橋小網町7-2 最寄駅/茅場町水天宮前 9:40 11:05</p>	<p>10 リガール日本橋人形町前 Legare Nihonbashi Ningyochou Building</p> <p>中央区日本橋人形町1-2-11 最寄駅/人形町水天宮前 9:40 11:05</p>	<p>11 浅草雷門前 Asakusa Kaminarimon</p> <p>台東区浅草1-3-1 最寄駅/浅草 9:55 11:40</p>	<p>12 富岡八幡宮前 Tomioka Hachimangu</p> <p>江東区富岡1-20-3 最寄駅/門前仲町 10:10 12:30</p>
<p>13 江東区立油堀川公園 Koto-ku Aburahorigawa Park</p> <p>江東区門前仲町1-20-1 最寄駅/門前仲町 10:10 12:35</p>	<p>14 みずほ銀行本所支店前 Mizuho Bank Honjo Branch</p> <p>墨田区両国4-31-11 最寄駅/両国 10:20 13:00</p>	<p>15 第一ホテル両国前 Dai-Ichi Hotel Ryogoku</p> <p>墨田区横綱1-6-1 最寄駅/両国 10:20 13:00</p>	<p>16 トルナーレ日本橋浜町前 Tornare Nihonbashi Hamacho Building</p> <p>中央区日本橋浜町3-3-1 最寄駅/水天宮前 10:35 13:30</p>
<p>17 首都高兜町駐車場前 Metropolitan Expressway Kabutocho Parking Lot</p> <p>中央区日本橋兜町1-13 最寄駅/日本橋茅場町 10:50 13:40</p>	<p>18 東京日本橋タワー前 Tokyo Nihombashi Tower</p> <p>中央区日本橋2-7-1 最寄駅/日本橋 10:35 13:40</p>	<p>19 NBF日比谷ビル前 NBF Hibiya Building</p> <p>千代田区内幸町1-1-7 最寄駅/日比谷 10:45 14:05</p>	<p>20 三菱自動車本社ショールーム前 Mitsubishi Motors Corporation Headquarters Showroom</p> <p>港区芝5-33 最寄駅/三田 10:50 14:30</p>
<p>21 笹川記念会館前 Sasakawa Hall</p> <p>港区三田3-12-12 最寄駅/三田 10:55 14:40</p>	<p>22 住友不動産三田ツインビル西館前 Sumitomo Fudosan Mita Twin Building West Pavilion</p> <p>港区三田3-5-27 最寄駅/三田 11:00 15:10</p>	<p>23 港区立芝公園 Minato-ku Shiba Park</p> <p>港区芝公園4-8 最寄駅/芝公園 11:00 15:25</p>	<p>24 都立芝公園 Tokyo Metropolitan Shiba Park</p> <p>港区芝公園3-2 最寄駅/御成門 11:05 15:35</p>

祭りメイン会場 Main Festa Venue



第10回を迎えた2016大会より起用。このロゴの異なる色の線のひとつひとつは、東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆のひとりひとりを表し、様々なストーリーが織り重なることでひとつの大きな感動を生み出す東京マラソンの大会コンセプト「東京がひとつになる日。」を表現しています。

東京がひとつになる日。



Being renewed at the 10th running of the Tokyo Marathon in 2016, each of the many colored lines of this new logo represents the many runners, volunteers and spectators participating in this exciting event and all their individual stories, woven together, to express the common theme, 'The Day We Unite.'

The Day We Unite.

走る喜び

世界のトップアスリートの間近に観て感動する。また、トップアスリートとともに走る市民ランナーも、個々の目標・目的を持って、唯一無二のマラソンというドラマのストーリーを完結する。36,000人全員が主役になる一日に。



Joy of Running

While it's inspiring to see world-leading athletes up close, recreational runners running alongside elite runners also create their own dramatic stories, and run the marathon in their own unique way according to their individual goals. It's the day when 36,000 people all get to play the lead role.

支える誇り

寒くてかじかんだ手で渡したバナナ、もらったランナーの喜んだ顔が嬉しかった。見ず知らずのランナーの頑張る姿をみて自然に手が伸びた。人と支え合う喜びが誇りへと変わる一日に。



Pride of Supporting

It feels great to see runners' faces light up as you pass them a banana with your hands numb from the cold. They may be complete strangers, but you can't help reaching out to people who are trying so hard. It's the day when the joy of helping other people changes into a sense of pride.

応援する楽しみ

家族の応援に来たのに、いつの間にか見ず知らずの人を応援していた。その懸命な姿に感動を覚える。足がふらつくランナーをいつの間にか声が枯れるまで応援する心の高揚を感じる一日に。



Delight of Cheering

You only came along to cheer on your family, but you eventually find yourself cheering on complete strangers as well. It's inspiring to see them trying their best. It's the day when emotions run high, as you cheer on flagging runners until you lose your voice.



TOKYO MARATHON FOUNDATION

一般財団法人東京マラソン財団

東京マラソン財団概要 Tokyo Marathon Foundation Corporate Profile	162
大会会長／役員名簿 Chairperson / Board Members	163
東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ VOLUNTAINER Tokyo Marathon Foundation Official Volunteer Club “VOLUNTAINER”	164
東京マラソン2018ボランティア Tokyo Marathon 2018 Volunteer	165
東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO ONE TOKYO	166
ジョグポート有明 JOGPORT ARIAKE	167
チャリティ事業 Charity Program	168
東京マラソン2018チャリティランナー Tokyo Marathon 2018 Charity Runner	169
スポーツレガシー事業 Sports Legacy Program	170
東京マラソン財団オフィシャルイベント Tokyo Marathon Foundation Official Events	171

東京マラソン財団 概要

TOKYO MARATHON FOUNDATION

Tokyo Marathon Foundation Profile

設立目的

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的とする。

Foundation Objectives

The main objective in the establishment of the Tokyo Marathon Foundation is to make the Tokyo Marathon an event of the world's highest standard through steady administration and the promotion of running sports for richer and healthier lifestyles.

概要

理事長	櫻井 孝次
副理事長	中野 英則
事務局長	棚田 和也
事業担当局長	
／レースディレクター	早野 忠昭
参与	山本 征悦
	藤本 和延
	戸部 節三
経営管理本部長	酒井 謙介
マーケティング本部長	加藤 智久
運営統括本部長補佐	新城 薫
設立	平成22年6月30日
設立者	東京都、 公益財団法人 日本陸上競技連盟
基本財産	8.8億円

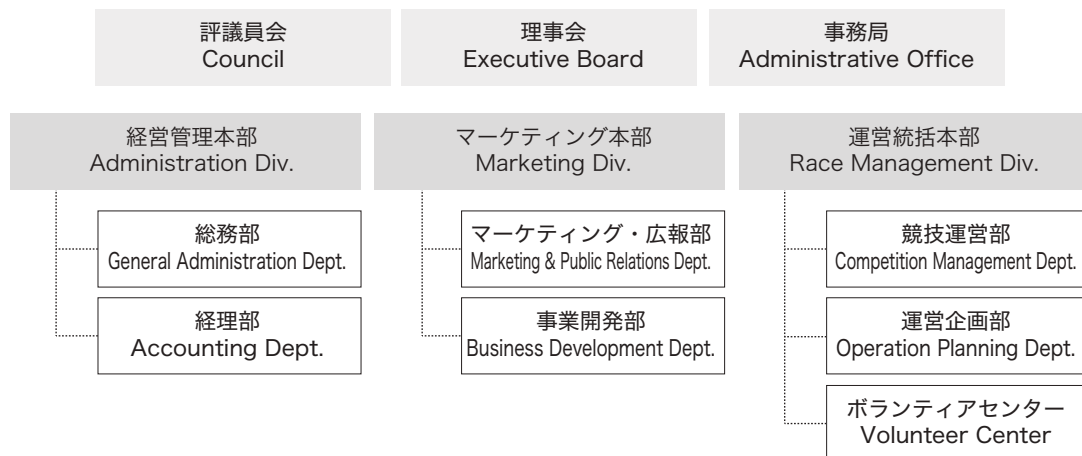
所在地：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7-26
有明フロンティアビルB棟8階
代表電話：TEL 03-5500-6677
www.marathon.tokyo/

Profile

President / CEO	Koji SAKURAI
Vice-President	Hidenori NAKANO
Director General / COO	Kazuya TANADA
Race Director / CSO	Tadaaki HAYANO
Advisors	Seietsu YAMAMOTO Kazunobu FUJIMOTO Setsuzo TOBE
Administration Div. Director	Kensuke SAKAI
Marketing Div. Director	Tomohisa KATO
Race Management Div. Deputy Director	Kaoru SHINJO
Date of Establishment	June 30, 2010
Founders	Tokyo Metropolitan Government, Japan Association of Athletics Federations
Total Assets	880 million JPY

Address : Ariake Frontier Building, Tower B, 8F, 3-7-26,
Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-0063, Japan
Tel : +81-3-5500-6677
www.marathon.tokyo/en/

組織図 / Organization



大会会長／役員名簿

TOKYO MARATHON FOUNDATION

Chairperson / Board Members

2018 大会会長 Chairperson

横川 浩 Hiroshi YOKOKAWA

最高顧問 Supreme Advisers

石原 慎太郎 Shintaro ISHIHARA

河野 洋平 Yohei KONO

名誉顧問 Honorary Adviser

帖佐 寛章 Hiroaki CHOSA

評議員 Council Members

猪熊 純子	Junko INOKUMA
遠藤 雅彦	Masahiko ENDO
多羅尾 光睦	Mitsuchika TARAO
塩見 清仁	Kiyohito SHIOMI
潮田 勉	Tsutomu USHIODA
友永 義治	Yoshiharu TOMONAGA
野田 健	Takeshi NODA
前島 伸行	Nobuyuki MAEJIMA

理事 Executive Board Members

理事長	櫻井 孝次	President / CEO	Koji SAKURAI
副理事長	中野 英則	Vice president	Hidenori NAKANO
理事	横山 英樹	Trustee	Hideki YOKOYAMA
	鳥田 浩平		Kohei TORITA
	小室 明子		Akiko KOMURO
	奈良部 瑞枝		Mizue NARABU
	小沼 博靖		Hiroyasu ONUMA
	鹿田 哲也		Tetsuya SHIKADA
	篠原 敏幸		Toshiyuki SHINOHARA
	根木 義則		Yoshinori NEKI
	古川 浩二		Kouji FURUKAWA
	尾縣 貢		Mitsugi OGATA
	清水 真		Makoto SHIMIZU
	鈴木 一弘		Kazuhiro SUZUKI
	山澤 文裕		Fumihiko YAMASAWA
	瀬古 利彦		Toshihiko SEKO
	風間 明		Akira KAZAMA
	大嶋 康弘		Yasuhiro OSHIMA
	下条 由紀子		Yukiko SHIMOJO
	田中 利雄		Toshio TANAKA
	中野 人志		Hitoshi NAKANO
	有澤 政雄		Masao ARISAWA
	平塚 和則		Kazunori HIRATSUKA
	友岡 新		Shin TOMOOKA
	青柳 正登		Masato AOYAGI
	黒川 岩人		Iwato KUROKAWA
	黒岩 直樹		Naoki KUROIWA
	大槻 高弘		Takahiro OTSUKI
	上田 裕子		Yuko UEDA
	武田 康弘		Yasuhiro TAKEDA
	ヨーロッパ		Yoko ZETTERLUND
	平 真		Shin TAIRA
	加賀美 秋彦		Akihiko KAGAMI
	新井 悟		Satoru ARAI
	鈴木 孝雄		Takao SUZUKI
	桑島 俊彦		Toshihiko KUWAJIMA
	金 哲彦		Tetsuhiko KIN

監事 Auditors

監事	中村 倫治	Rinji NAKAMURA
	曾根 真人	Masahito SONE

ボランティア

TOKYO MARATHON FOUNDATION

VOLUNTAINER

“ a VOLUNTEER is an ENTERTAINER ”

東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ

VOLUNTAINER (ボランティア)



VOLUNTAINER — The Official Tokyo Marathon Foundation Volunteer Club

東京マラソンのボランティアはスポーツボランティア文化を定着させ、笑顔とホスピタリティ溢れる活動は、大規模国際大会を彩る象徴的な存在となっています。

そんな活躍をしてきたボランティアならもっと何かができるはず。そして、経験したことが無い方にもスポーツボランティアの更なる素晴らしさを体験してほしい、という願いを込めて東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブVOLUNTAINERを2016年10月に設立しました。

設立以来、多くの熱意あるボランティアの皆さんと一緒に東京マラソンに限らず、様々な分野・地域でボランティア活動をしてきました。

東京マラソン2018からポイントプログラムも開始し、さらなる活動促進をしながら、今後予定されている大規模国際スポーツイベントに向けてボランティア精神の普及に努めてまいります。

The Tokyo Marathon's volunteers have become a symbolic presence at the event, establishing a culture of sports-related volunteer work with their hospitable smiles and activities adding color to this large-scale international marathon.

The “VOLUNTAINER” Tokyo Marathon Foundation Official Volunteer Club was established in October 2016 to provide opportunities to people to experience the joy of being a sports volunteer.

Since its inception, many passionate volunteers have provided volunteer work not only for the Tokyo Marathon, but also for the volunteering activities covering a wide range of fields and regions.

VOLUNTAINER will launch a points program starting with Tokyo Marathon 2018, and will work to further foster the spirit of volunteerism for future large-scale international sporting events all while promoting further volunteer activities.

内容

会員登録 (個人・チーム)

ボランティア・スキルアップ講習・リーダー研修エントリー
マイページでの履歴管理

情報提供 (メルマガ配信、SNS)

ポイントプログラム

ボランティア運営協力

Details

Member registration (individuals/teams)

Volunteer skill improvement course/leader training entry

Personal history management via MyPage

Updates (email newsletters, social network)

Points program

Volunteer operation assistance

【ボランティア運営協力について】 Volunteer operation assistance

協力内容

Activity details

ボランティア募集の告知、説明会・研修・イベント当日運営 など

Volunteer recruiting announcements, briefings and training, operation activities on event days, etc.

活動実績

Past Activities

分野、地域に限らず、スポーツボランティアに協力しています

VOLUNTAINER has provided assistance to other sports volunteers, regardless of sports field or region.



【東京ラグビーファンゾーン】

(主催：東京都)

TOKYO RUGBY FANZONE
(Organizer: City of Tokyo)



【館山わかしおトライアスロン大会】

(主催：千葉県館山市)

Tateyama Wakashio Triathlon
(Organizer: Tateyama City, Chiba Prefecture)



【オトナのスポーツテスト】

(主催：読売新聞)

Sports Test for Adults
(Organizer: Yomiuri Shimbun)

登録方法 Registration

www.voluntainer.jp

*東京マラソンのボランティアにエントリーするためには、VOLUNTAINERの登録が必須です

* Those wishing to be Tokyo Marathon volunteers are required to register on the “VOLUNTAINER” site.

VOLUNTEER

TOKYO MARATHON 2018

あなたの笑顔がTOKYOと世界のキズナになる。
Your smile unites the world

東京マラソンのボランティアには、これまでの11大会でのべ12万人の方が参加し、ランナーを励まし、大会を活気づけることで、東京マラソンの大きな礎を築いてきました。ランナーが安全に、そして持てる力を出し切れるようあらゆる場面でサポートしています。

Nearly 120,000 people have joined and taken part as volunteers in the eleven events held to date. They consistently provide a solid foundation for the Tokyo Marathon, cheering on runners and helping to liven up the entire event.

They provide essential support across the board, enabling runners to finish the race safely and meet their full potential.



ボランティア活動内容及び配置人数

配置活動場所 Assigned Area	EXPO	ファミリーラン/ フレンドシップラン Family Run/Friendship Run	ボランティア説明 会運営補助/ Volunteer Briefing Support	スタート START	10km フィニッシュ 10km FINISH	マラソンフィニッシュ MARATHON FINISH	コース COURSE
	東京ビッグサイト Tokyo Big Sight	臨海副都心 シンボルプロムナード公園 Symbol Promenade Park	東京ビッグサイト Tokyo Big Sight	東京都庁及び周辺 START Area	コンgresスクエア日本橋 CongresSquare Nihonbashi	大手町及び日比谷公園周辺 Otemachi & Hibiya Park Area	コース 42.195kmを 9つのブロックに分けて配置 9 Blocks on the Course
活動名 Activities	ランナー受付/ Runner Registration	ランナーサービス/ Runner Service コース管理/ Course Marshaling	誘導 / Usher ヘルプデスク/ Help Desk	手荷物 / Baggage 出発係 / Start Block Support 会場誘導 / Runners Marshaling 給水・給食 / Aid Station 車いすランナー対応 / Wheelchair Support インフォメーション / Information 駅改札誘導 / Station ticket gate 更衣室管理 / Changing room 入場ゲート / Entrance Gate	手荷物 / Baggage 会場誘導 / Runners Marshaling ランナーサービス / Runner Service インフォメーション / Information 車いすランナー対応 / Wheelchair Support 表彰式対応 / Award Ceremony	会場誘導 / Runners Marshaling 車いすランナー対応 / Wheelchair Support 手荷物 / Baggage ランナーサービス / Runner Service	給水・給食 / Aid Station コース整理 / Course Marshaling ランナーサポート / Runner Support 距離表示・振分看板 / On-Site Distance Markers
人数 Numbers	2,398	260	70	1,650	110	1,959	6,785
						合計 / Total	13,232

※ 4日間の延べ人数 / Gross total

※ 2017年12月20日現在 / As of December 20, 2017

※ EXPO、ファンランイベント、ボランティア説明会(運営補助)は当選予定人数を掲載 /

Numbers listed for EXPO, Family Run/Friendship Run Event, and Volunteer Briefing Support indicate the number of people planned for selection through random drawing.

※ 上表以外に、VOLUNTAINER NEW PROJECT リユースサポート及びクリーンサポートのボランティアを約200人配置予定 /

In addition to the assigned personnel indicated above, approximately 200 people will be assigned for VOLUNTAINER NEW PROJECT, which provides support for the Clothing Reuse and the Cleaning activities.

参加者データ (大会当日のみ) / Applicants Data

2017年12月20日現在 / As of December 20, 2017

年代	人数	割合	在住地域	人数	割合	職業	人数	割合	性別	人数	割合
10代	424	4.0%	関東	10,041	95.6%	会社員・公務員	5,980	56.9%	男性	4,491	42.8%
20代	1,018	9.7%	東海	120	1.1%	主婦	1,441	13.7%	女性	6,013	57.2%
30代	1,211	11.5%	近畿	88	0.8%	アルバイト・パート	896	8.5%	合計	10,504	100%
40代	2,830	26.9%	信越・北陸	94	0.9%	無職	604	5.8%			
50代	3,270	31.1%	東北	91	0.9%	自営業	549	5.2%			
60代	1,396	13.3%	北海道	25	0.2%	学生	676	6.4%			
70代	322	3.1%	九州	17	0.2%	その他	358	3.4%			
80代	32	0.3%	中国	14	0.1%				参加人数	人数	割合
90代	1	0.01%	四国	14	0.1%				初めて	732	39.7%
合計	10,504	100%	合計	10,504	100%	合計	10,504	100%	経験あり	1,111	60.3%
									合計	1,843	100%



ランニングを愛するすべての人へ「ともに走るよろこび」を。 Bringing the Joy of Running Together to Everyone Who Loves Running

ONE TOKYOとは、ランナーだけでなく東京マラソンのファン（応援者）を対象とした会員組織です。東京マラソンをはじめとするランニングイベントに関する各種情報提供の他、初心者から経験者までを対象とした各種ランニングイベントなどのサービス提供を行っています。様々な形でランニングスポーツに関わりたいたいというメンバーの方々に、ご満足いただける情報やサービスを提供し、ランニングカルチャーを一層盛り上げていきたいと考えています。

ONE TOKYO is a membership organization that caters to marathon fans (spectators) who cheer on the runners. ONE TOKYO not only provides a wide range of information about the Tokyo Marathon and other running events, but also offers such services as running clinics for runners, from beginners to those with more experience. By providing members interested in being involved in running sports with ample information and services, ONE TOKYO strives to promote a lively culture of running.

2017年11月現在の会員データ 2017年11月22日現在 Membership data as of November 22, 2017

クラブメンバー数 No. of Club Members		プレミアムメンバー数 No. of Premium Members		合計 Members in Total	
501,534人		31,180人		532,714人	
男性/Men 74.3%	女性/Women 25.7%	男性/Men 81.3%	女性/Women 18.7%	男性/Men 74.7%	女性/Women 25.3%



プレミアムメンバー（有料会員：年会費4,320円） Premium Membership (annual fee: ¥4,320)

東京マラソンの先行エントリー権（定員を超えたら抽選）、イベントの優先参加などの特典があります。

Special privileges include early entry to the Tokyo Marathon and priority participation in events.



クラブメンバー（無料会員） Club Membership (free)

東京マラソンの簡単エントリー、メルマガ受信等の特典があります。

This membership offers such benefits as easier sign-up for the Tokyo Marathon, email newsletters, etc.



ONE TOKYO APP

仲間と競い合いながらランニングを楽しむための東京マラソン財団公式ランニングアプリです。ONE TOKYO APPを利用した月間ポイントランキングやマンスリーバーチャルマラソン(MVM)などを実施。(iOS及びAndroidにて配信中。)

This is the official Tokyo Marathon Foundation app for runners to use and enjoy while competing or training with other runners. Using this app, you can participate in the monthly ranking system, as well as the ONE TOKYO Monthly Virtual Marathon! (Available on iOS and Android.)



ONE TOKYO

検索



www.onetokyo.org

※ONE TOKYOは、アシックスジャパン株式会社の協賛を受けて活動しています。
ONE TOKYO activities are organized in cooperation with ASICS Japan Corporation.



新たなランニングの聖地でENJOY! “湾岸RUN” Let's Get Out and Enjoy the "WANGAN RUN"!

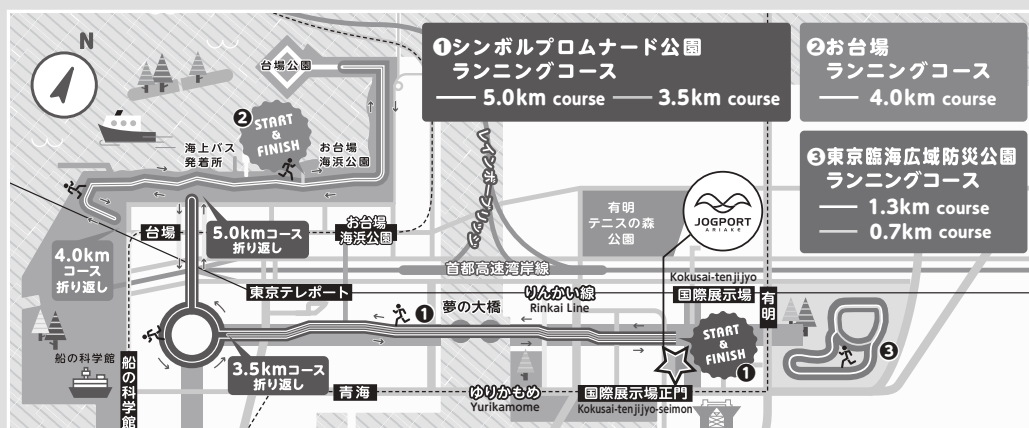
「I RUN TOKYO! 東京を走ろう。自分をもっと走らせよう。」仕事が始まる前や終わってから一汗。休日にも走ることのできるフレッシュ。そんな健康的なライフスタイルを楽しむ人たちのために、ランナーサポート施設『ジョグポート有明』をプロデュースしました。健康維持や増進、会員同士の交流、親睦を図りながらランニングライフを充実させていく場所として快適に利用されることを目指します。

“Let's run in Tokyo!” “Push yourself to run more!” JOGPORT ARIAKE is a runner support facility created in Tokyo's bayside area for people who enjoy healthy lifestyles, whether working up a good sweat jogging before or after work, or invigorating yourself with a run on your days off. Intended as a place to enrich your running life through health maintenance and promotion, JOGPORT ARIAKE vigorously promotes friendship and interaction among all its members.

コース紹介

The Courses

ジョグポート有明周辺には全長5kmの「シンボルプロムナード公園ランニングコース」や「東京臨海広域防災公園ランニングコース」などがあります。どのコースも道幅が広く、景観が素晴らしいコースです。週末になると、ランニング以外のイベントも開催され大いににぎわうランニングコースとなっております。



The courses include the Symbol Promenade Park Running Course, which covers a total distance of 5km, and the Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park Running Course. Both courses are spacious and offer a wealth of magnificent scenery. Events besides running are also held in this area on the weekends, and it can become quite full of visitors.



JOGPORT レンタルバイク
ジョグポート有明では1日500円でレンタルバイクサービスを行っております。
JOGPORT ARIAKE is offering rental bicycle service at ¥500 per day.



(1) 広く開放的なシンボルプロムナード公園ランニングコース
Symbol promenade park running course is famous for a wide and open space.



(2) シンボルプロムナード公園ランニングコースより望む富士山
A view with Mt. Fuji from the Symbol promenade park running course.

www.jogport.com

※ ジョグポート有明は、アシックスジャパン株式会社の協賛を受けて運営しています。
JOGPORT ARIAKE is operated in cooperation with ASICS Japan Corporation.

東京マラソン2018チャリティ事業

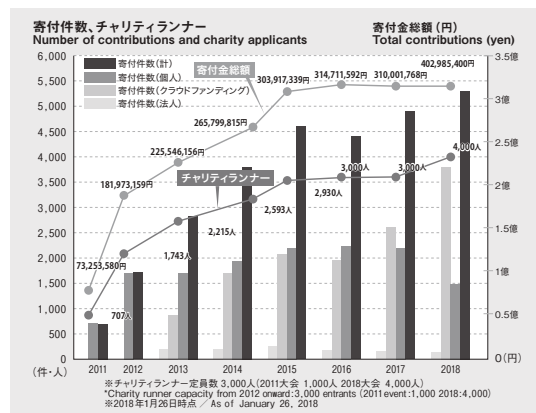
TOKYO MARATHON FOUNDATION

Tokyo Marathon 2018 Charity

CHARITY TOKYO MARATHON 2018

東京マラソンでは、チャリティを総称して「Run with Heart」と呼び、独自のスタイルを提案していきます。東京マラソンを走り・支え・応援して下さる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子供たちへのサポートといった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティは運営されています。

東京マラソンチャリティ事業は、各寄付先団体と一般財団法人東京マラソン財団が協働で運営しています。



走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。

Let's Convert Your Love
for Running into Someone's Happiness

The Tokyo Marathon Charity is collectively called "Run with Heart," and the Tokyo Marathon continues to pursue its unique style of charity program. The Tokyo Marathon Charity program helps provide more chances for those who support the Tokyo Marathon (either by running, volunteering or cheering) to think about social activities, (such as preserving the global environment, supporting refugees worldwide, supporting children suffering from intractable diseases, and promoting sports), which eventually "unites" the hearts of each and every person with society. The Tokyo Marathon manages this charity program with such hopes in mind.

The Tokyo Marathon Charity program is operated in cooperation with the recipient program charities and the Tokyo Marathon Foundation.

今大会のチャリティランナー申し込みは、2017年7月1日に開始し、早くも7月8日に4,000人の定員に達しました。申込者と一般からの寄付金の合計は現在402,985,400円となっています。2018年1月26日時点

Charity runner application for the Tokyo Marathon 2018 started on July 1, 2017 and reached its maximum number of 4,000 people on July 8. The total donations from applicants and the general public amounts to approximately ¥402,985,400 As of Jan. 26, 2018

【参加方法】

チャリティランナーになる

自分が選んだチャリティ事業に対し10万円以上の寄付をすることで、東京マラソン2018(平成30年2月25日)に出走することができます。寄付金は自ら拠出するか、クラウドファンディングを通じて支援を集める方法があります。

サポーターになる(寄付をする)

チャリティランナーや各事業のアンバサダーを通じて寄付をすることが可能です。東京マラソンチャリティの公式ウェブサイトから、クラウドファンディングで簡単に寄付ができます。一般ランナーとしての大会参加が決まった方でも寄付していただけます。

寄付金は平成30年3月31日17:00まで受付

クラウドファンディングとは...

チャリティランナーが東京マラソンチャリティの公式ウェブサイトを利用して、家族・友人・知人などにサポーターとしての協力・寄付金を募ることができるシステムです。

寄付先事業

協働する15のチャリティ事業(寄付先事業)の中からチャリティランナーのみならず自身が支援先を選択できるシステムです。寄付金は東京マラソン財団を通じて、各寄付先事業に届けられます。*ただし、寄付先事業は、自然災害や紛争、活動停止等の不測の事態により変更されることがあります。

【How to Participate】

Charity Runners

You can be a Charity Runner by raising donations of 100,000 yen or more. The charity runners will represent all supporters by running the Tokyo Marathon, carrying and spreading the message of goodwill embedded in every donation along with the objectives of the charity programs.

Supporters

You can be a supporter by making donations to your preferred recipient program to support their charitable activities.

Donations are accepted until March 31, 2018

Crowdfunding

This system (online system) involves charity runners asking for support from family, friends and acquaintances to support your preferred charity program

*This system is available only in Japanese

Charity Recipient Programs

This system enables donors to personally select the recipients of their donation from among 15 charity programs. Donations are distributed to each recipient by the Tokyo Marathon Foundation.

* Note that recipients may be changed due to unforeseen circumstances such as natural disasters, conflicts, or suspension of operation.

チャリティランナー

TOKYO MARATHON FOUNDATION

Charity Runners

TOKYO MARATHON 2018 CHARITY

東京マラソン2018を通じて10万円以上寄付をいただいた方の中でご希望者には、チャリティ活動をPRしていただくためにチャリティランナーとして参加していただきます(マラソンのみ先着4,000人まで)。寄付をしてチャリティランナーとして走る、寄付をした上でチャリティランナーに想いを託すなど、参加のカタチはさまざまです。

Among individuals donating 100,000 yen or more through Tokyo Marathon charity, those who wish to participate in the 2018 marathon can do so as charity runners (marathon only; up to 4,000 runners on a first-come, first-served basis), representing all supporters by running the Tokyo Marathon, carrying and spreading the message of goodwill.

※2018年1月26日現在 / As of January 26, 2018

	寄付先15事業別	Recipient Program	寄付金額/Donations(円/¥)
	一般財団法人 東京マラソン財団 スポーツレガシー事業	Tokyo Marathon Sports Legacy Program	39,619,000
	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン	Ronald McDonald House Charities Japan	73,027,400
	公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本	Special Olympics Nippon Foundation	39,601,000
	特定非営利活動法人 国連UNHCR協会	Japan Association for UNHCR (United Nations High Commissioner for Refugees)	39,035,000
	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	Japanese Para-Sports Association	29,533,000
	公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ	Solaputi Kids' Camp	20,071,000
	認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス	Family House	25,568,000
	認定特定非営利活動法人 育て上げネット	Sodateage Net	13,198,000
	公益財団法人 東京防災救急協会	Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association	13,423,000
	認定特定非営利活動法人 Teach For Japan	Teach For Japan	9,317,000
	認定特定非営利活動法人 カタリバ	Katariba	15,238,000
	公益財団法人 東京都農林水産振興財団	Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries	18,199,000
	公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン	Plan International Japan	13,351,000
	公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団	Tokyo Sport Benefits Corporation	12,690,000
	東日本大震災復興支援事業	Recovery Support for the Great East Japan Earthquake	41,115,000
Total:			402,985,400

www.runwithheart.jp

スポーツレガシー事業

TOKYO MARATHON FOUNDATION

Sports Legacy Program

SPORTS LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツの“レガシー”を生み出し、明るい未来へつなげていきます。
Leaving a Sports Legacy for a Brighter Future

スポーツレガシー事業とは

近年、スポーツへの期待が高まる中、スポーツそのものが持つチカラにも関心が高まっています。競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に「明るい未来へとつながるレガシー」を遺していきたい。そんな思いから「スポーツレガシー事業」は始まりました。「スポーツが後世に遺せるものは何か」について語り合い実践する場を提供することで、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

Sports Legacy Program

As more and more people become interested in sports, special attention has also focused on the power inherent in the sports themselves. The Sports Legacy Program was founded with the goal of leaving “a legacy for a brighter future” in 21st century Tokyo and Japan by making ‘sports’ a source of possibilities, whether competitive or recreational. By creating a place where the legacies left by sports to future generations can be discussed and acted upon, the aim of the Program is to contribute to a society where people can enjoy new lifestyles with sports at their core.

スポーツレガシー事業の4テーマ Four Themes of the Sports Legacy Program

スポーツレガシー事業では、4つのテーマ(夢、礎、広がり、力)を軸として活動しています。

The Sports Legacy Program is developing activities around four core themes: Dream, Environment, Expansion and Contribution.

スポーツの 夢 Sports Dream
強化育成(Enhancement and education)
アスリートの強化、ジュニアアスリート育成、キャリア支援
Training of athletes, fostering of juniorathletes and career support

ダイヤモンドアスリートプログラム Young Athlete Leadership Development Program

〈公益財団法人日本陸上競技連盟〉
世界を舞台にリーダーシップを発揮し、子どもたちの憧れとなるようなスター選手の育成をサポートしています。

〈Japan Association of Athletics Federations〉
Supports the fostering of star athletes who can show leadership on the world stage and inspire children to excellence.

スポーツの 広がり Sports Expansion
普及啓発(Public awareness promotion)
スポーツ大会の支援及び普及啓発
Support of sporting events and its public awareness promotion

キッズアスレティックス × 東京マラソンスタイル Kids Athletics × Tokyo Marathon Style

〈日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)〉
子どもたちのスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技への関心が高まるようサポートしています。

〈Institute of Kids Athletics, JAPAN (Kids Athletics JAPAN)〉
Providing support to build up foundational sports skills in children and raise children's interest in track and field events.

スポーツの 礎 Sports Environment
環境整備(Facility development)
スポーツ施設などの環境整備
Improvement and maintenance of sports facilities and related environments

ランニングコース整備 Running Course Maintenance

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。

Improving an environment for runners to freely enjoy running together with their friends.

スポーツの 力 Sports Contribution
社会貢献(Social Contribution)
スポーツイベント等を通じた社会的課題解決への取り組み
Efforts to help solve social issues through sporting events.

日本パラ陸上競技選手権大会 Japan Para Athletics Championships

一般財団法人日本パラ陸上競技連盟
日本パラ陸上競技選手権大会(2017年6月10日、11日開催)の運営をサポートしました。

〈Japan Para Athletics〉
Supporting the management of the Japan Para Athletics Championships (held on June 10 & 11, 2017)



2017年度実施プロジェクト Projects Scheduled for FY2017

東京マラソン2017チャリティの寄付金を使用
Use of Tokyo Marathon 2017 charity donations

30,237,470円(Yen)

寄付件数
Number of donations 274件

東京マラソン財団オフィシャルイベント

TOKYO MARATHON FOUNDATION

Tokyo Marathon Foundation Official Events



ランニングスポーツの普及振興を通じて、健康増進と豊かな生活の形成に寄与することを目的に実施しています。
Events produced with the aim of nurturing good health and enriching lifestyles through the promotion of the sport of running.

2017年5月14日 May 14, 2017

～シンボルプロムナード公園ランニングコース～

「有明・お台場リレーハーフマラソン」開催

副都心シンボルプロムナード公園特設ランニングコース

「はじめてランナー歓迎。みんなで走ると、ほら、楽しい！」をコンセプトに、親子ラン、リレーハーフマラソン、個人ハーフマラソンを実施。運営には東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAIRER」82人も協力。 ————— 参加832人

"Relay Half Marathon in ARIAKE & ODAIBA" Symbol Promenade Park Running Course

"Beginner runners! Come join us and let's have fun running together!"

Races of various categories (family run, relay half marathon, individual half marathon) were held to welcome all the beginner runners, with the support of 82 volunteer members of the Tokyo Marathon Foundation Official Club "VOLUNTAIRER." ————— 832 participants



2017年10月28日 October 28, 2017

『東京トライアルハーフマラソン』開催

木根川橋少年野球場、球技場

ペースセッターを配置し、参加者が目標タイムとするペースを実感することができるよう、自身の走力アップ、レベルアップにつながることを目的として実施。RUN as ONE -Tokyo Marathon 2018 (準エリート、一般)の大会と位置づけ、上位者各年代別男女1位を東京マラソン2018に26人を選出。 ————— 参加者1,766人

"Tokyo Trial Half Marathon"

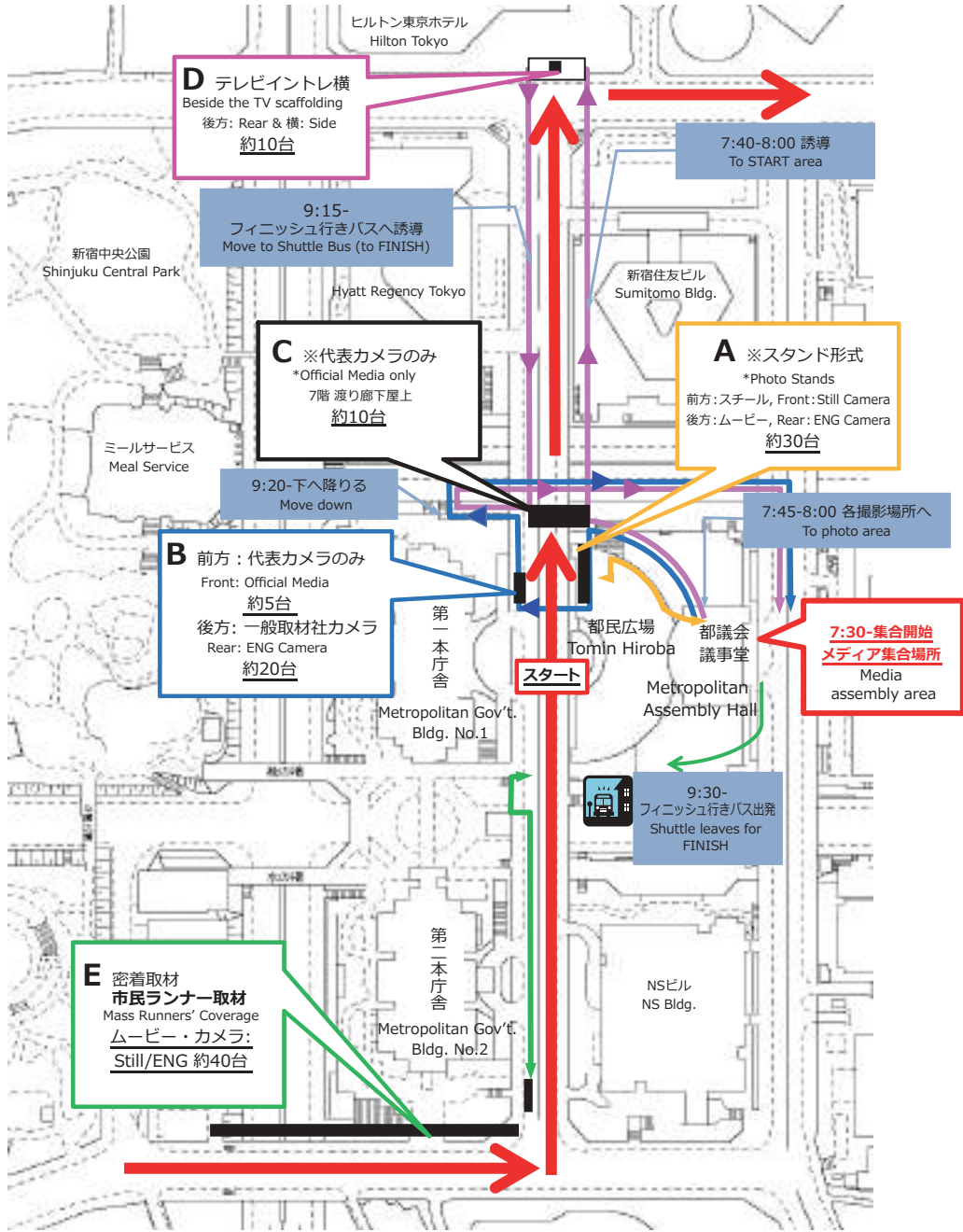
Tonegawabashi Tennis courts/Baseball field

With pace setters ensuring the runners to properly set their pace and target finish time, this event provided the runners an opportunity to improve their running skill and time. As one of the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018 (Semi-Elite, General) race, top male and female finishers of each age group were selected to run in Tokyo Marathon 2018. ————— 1,766 participants





START Area Map



メディア分類 Media Category	フジテレビ 中継局クルー Fuji TV Crew	フジテレビ ゲストランナー 伴走スタッフ Crew to follow the Fuji TV Runners	代表取材社 Media Pool	ムービー Video (ENG)	スチールカメラ Photographer	記者 Reporter	オフィシャル パートナー Official Partner
Credential Type	OFFICIAL BROADCASTER			MEDIA			OFFICIAL PARTNER
Bib Identification						ADカードのみ (撮影する場合は ビブスを着用) Credential only*	
	Pink	Pink	Orange	Yellow	Green		Blue

Bibs are required for those who use a camera.

MEDIA INFORMATION

取材案内

報道取材要領 176
Media Guidelines

10kmフィニッシュエリアマップ/ 表彰式エリアマップ 184
10km Finish Area Map/ Award Ceremony Area Map

フィニッシュエリアマップ 185
Finish Area Map

共通注意事項 (必ずお読みください)

- 1 本大会は、スタートの東京都庁からフィニッシュの東京駅・行幸通りまで、公道上で行われるレースとなるため、取材撮影エリアには制限がございます。大会が定めたメディアエリア以外での撮影は行えません。各エリアでは係員の指示に従ってください。但し、事前に相談や申請しているメディアについては、各所調整後、一部コース上での取材が可能です。
- 2 本取材で撮影された写真、映像につきましては、報道利用のみ(販売不可)となりますので、予めご了承ください。
- 3 スチールカメラ/テレビカメラは、各エリアで各社各1台となります。申請いただいた撮影場所は定員人数を超えた場合、抽選とさせていただきます。割当については、受付の際(ADカード、カメラマンビブス発行)にお知らせいたします。
- 4 取材希望場所により集合場所と誘導が異なりますので予めご確認ください。
- 5 車道、中央分離帯内、歩道橋、陸橋上での取材撮影はできません。
- 6 歩道での取材は、一般の通行の妨げとならないように厳重にご注意いただき、各エリア担当者、競技審判員、警察官の指示に従ってください。また、撮影エリア以外(観衆の中)で脚立などの機材を使用する場合は各社で事前に各所轄の警察署に道路使用許可申請を行ってください。
- 7 スタートエリア及びフィニッシュエリアは手荷物検査がございますので、ご協力をお願いいたします。
- 8 各エリアとも、専用の駐車場はありません。また大会当日は、交通規制が行われておりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。
- 9 コース及び会場周辺で無人航空機(ドローン等)の飛行はご遠慮ください。
- 10 レース後の会見は、マラソン男女1位、マラソン日本人男女1位、車いす男女1位の会見を予定しておりますが、会見とは別にインタビューを希望される選手については、幹事社(産経新聞社)にご連絡してください。
- 11 大会当日の結果発表及び選手の記録(速報)については、丸ビル7階ホール内のメディアセンターで配布いたします。(大会公式ウェブサイトでもご確認いただけます)
- 12 大会終了後は速やかにカメラマンビブスの返却をお願いいたします。
★返却場所 東京マラソン財団 マーケティング・広報部

◆ワイヤレスマイク使用について◆

A型使用の際は通常通り特ラ連機構へ申請のうえ運用してください。
新周波数帯(470MHz ~ 714MHz及び1.2GHz帯)使用の際はTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会へ申請のうえ運用してください。
B型、C型、D型は運用に制限はありませんが、混信等の場合は当事者同士で調整願います。

◆救護所の撮影について◆

各救護所内での取材や撮影は、一切禁止とさせていただきます。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆撮影エリアの許諾について◆

各撮影エリアにつきましては各所轄の警察署に申請中です。
現在掲載している撮影取材場所は変更になる場合がございますので、ご了承ください。
その他の撮影場所につきましては、マーケティング・広報部に企画申請し調整した後、別途所轄の警察署で、道路使用許可をお取りください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

大会開催可否については、大会当日朝5:00までに大会公式ウェブサイトにてお知らせします。

General Cautions (Please Read)

- 1** The marathon will start at the Tokyo Metropolitan Government Building and end on Gyoko-dori Ave. in front of Tokyo Station. The course will consist of city streets, so restrictions apply to where media coverage is possible. Please follow the instructions given by the staff in each area. A media pool system will be used for areas with coverage restrictions. Still cameras and television cameras other than Tokyo Marathon official cameras, cameras owned by the media pool, and cameras owned by Fuji Television cannot be used outside the defined media areas.
- 2** Please be aware that the photographs and videos produced during the course of coverage can only be used for news reporting (commercial use is prohibited).
- 3** Each company can use one still camera and one television camera in each area. If the number of applications for a filming location exceeds its capacity, random lot drawing will be used to determine which companies can perform coverage in that area. Companies will be informed of coverage area assignments at reception (when picking up the media credentials and camera operator bibs).
- 4** Assembly locations and location guidance may vary between coverage areas. Please confirm this information in advance.
- 5** Filming and photography are not permitted on streets, on medians, on pedestrian bridges, or on overpasses.
- 6** Coverage on sidewalks must be performed with care to avoid interrupting general pedestrian traffic. Follow the instructions of area staff, marathon judges, and the police. Submit a road usage permission application to the corresponding police department before performing coverage outside filming areas (within crowds) using equipment such as stepladders.
- 7** Please comply with bag inspections in the start and finish areas.
- 8** There are no media parking spaces in any areas. Traffic restrictions will be in place on the day of the marathon, so please do not come by automobile.
- 9** Do not operate unmanned aerial vehicles (drones, etc.) near the course or event site.
- 10** Following the marathon, press conferences will be held for the first place men and women winners, the first place Japanese men and women winners, and the first place men and women wheelchair marathon winners.
- 11** Marathon results and flash race reports will be distributed at the Media Center in the 7th floor hall of the Marunouchi Building. (They will also be available on the Tokyo Marathon official website)
- 12** Please promptly return camera operator bibs when the marathon ends.

◆ Wireless microphone use ◆

For Type A wireless microphones, submit an application in advance to the Specified Radio Microphone User's Federation as normal.
 For new frequency bands (470MHz to 714MHz and 1.2GHz) submit an application in advance to the TV White Space Usage System Operation Coordination Council.
 There are no restrictions regarding use of Type B, Type C, or Type D wireless microphones. In the event of signal congestion, etc., coordinate directly with other wireless microphone users.

◆ Photography and filming in medical areas ◆

All photography and filming is prohibited in medical areas.
 We appreciate your cooperation.

◆ Photography/filming area permission ◆

Applications have been submitted to police departments regarding corresponding filming and photography areas.
 Please be aware that the currently listed filming and photography areas are subject to change.
 For photography and/or filming in other areas, first submit a coverage plan to, and coordinate with, the Public Relations Dept., and then receive separate road usage permits from the appropriate police department(s). We appreciate your cooperation.

The final go/no-go announcement regarding a race start will be issued on the official marathon website at 5:00 a.m. on the race day.

テレビカメラ、ラジオの取材および放送権における注意事項

車道(コース上)を使用したコース内の取材は、フジテレビジョンとニッポン放送のみを原則とし、許可の出ている媒体以外はコース内での取材は出来ません。

また、レースの中継映像はタワー分岐で各局に分配します。**映像の使用はスポーツニュース協会の申し合わせに従って、フジテレビジョン系全国ネット9:00から11:50までのエリートマラソン中継終了後**となりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

◎テレビ中継 2月25日(日)

■地上波・フジテレビ中継

- 8:30 ~ 9:00 「東京マラソン 2018 エリートマラソン中継事前枠」(関東ローカル)
- 9:00 ~ 11:50 「東京マラソン 2018 エリートマラソン中継」(全国ネット)
- 12:00 ~ 13:00 「東京マラソン 2018 市民マラソン中継」(関東ローカル)

■BS放送・BSフジ

- 19:00 ~ 21:50 「東京マラソン 2018 エリートマラソン再放送」

■CS放送・フジテレビ TWO

- 9:00 ~ 16:30 「東京マラソン 2018 車いすマラソン & フルマラソン中継」

■インターネット放送

- 10:15 ~ 16:30 「東京マラソン 2018 全ランナーフィニッシュすべて見せます!」

◎ラジオ中継 2月25日(日)

■ニッポン放送

- 9:00 ~ 12:00 「ニッポン放送スポーツスペシャル 東京マラソン 2018 実況中継」

番組	素材	使用尺	
		3分以内	3分以上
ニュース番組 スポーツニュース番組 ※スポーツニュース協会登録番組	タワー分岐素材	・分岐後 24 時間以内は申請不要 ・それ以降は、中継局への申請、使用承認が必要・回数無制限 ・無料	・東京マラソン財団広報部、中継局への申請、使用許諾が必要
	独自取材映像	・東京マラソン財団広報部の事前取材許諾が必要・回数無制限 ・無料	
その他番組	タワー分岐素材	・東京マラソン財団広報部と中継局への申請、使用許諾が必要 ・使用料の有無を含め、使用条件は許諾内容に基づく	・東京マラソン財団広報部、中継局への申請、使用許諾が必要 ・原則有料
	独自取材映像	・東京マラソン財団広報部と中継局への事前取材許諾が必要 ・使用料の有無を含め、使用条件は許諾内容に基づく	

その他

- ※ 各社独自取材の映像を使用する場合でも財団広報部まで申請してください。東京マラソン財団からフジテレビへ取り次ぎます。
- ※ 大会中の映像、写真、記事、記録、申込者の氏名、年齢、住所(国名、都道府県名または市町村名)等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権及び肖像権は主催者に属します。
- ※ 有料使用については、1分以内 60,000 円、その後1秒あたり1,000 円を課金。
分岐映像以外を使用する場合のテクニカルコスト(蔵出し料、テープ代等)は実費負担。
ただし、有料使用について財団広報部が、大会のPRに貢献すると判断する場合は、料金応相談。

お問合せ先

東京マラソン財団 マーケティング・広報部

TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-5500-6678

Important Notes Regarding Television Cameras, Radio Coverage, and Broadcast Rights

As a general rule only Fuji Television and Nippon Broadcasting System may perform coverage on the road (the course) itself. Only companies which have received official permission can perform filming or photography on/inside the course itself. Race live video will be relayed at Tokyo Tower and distributed to each TV station.

In accordance with a request by the Sports News Association, race video may only be used after Fuji Television network stations have finished their live broadcast of the elite racers from 9:00 to 11:50.

◎ Television broadcast on February 25 (Sun)

- Terrestrial broadcast - Fuji Television broadcast (nationwide network)
 - 8:30 a.m. to 9:00 a.m. Program prior to Elite Race
 - 9:00 a.m. to 11:50 a.m. Tokyo Marathon 2018 Elite Race broadcast
 - 12:00 p.m. to 1:00 p.m. Tokyo Marathon 2018 Mass marathon broadcast
- BS broadcast - BS Fuji Television
 - 7:00 p.m. to 9:50 p.m. Tokyo Marathon 2018 Elite Race rebroadcast
- CS broadcast - Fuji Television TWO
 - 9:00 a.m. to 4:30 p.m. "Tokyo Marathon 2018 Live broadcast of all wheelchair marathon & marathon finishers"
- Internet broadcast
 - 10:15 a.m. to 4:30 p.m. "Tokyo Marathon 2018 Highlights"

◎ Radio broadcast on February 25 (Sun)

- Nippon Broadcasting System
 - 9:00 a.m. to 12:00 p.m. "Sports Special Tokyo Marathon 2018 Live"

Program	Material	Amount Used	
		3 Minutes	3 Minutes or More
News program Sports news program (Sports News Association registered program)	Relayed live coverage	No application necessary if used within 24 hours of its distribution. An application must be submitted to the host broadcaster and permission must be received when using it more than 24 hours after its distribution. No limit on number of uses. Free of charge.	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use.
	Own coverage	Coverage permission required in advance from Foundation's Public Relations Dept. No limit on number of uses. Free of charge.	
Other programs	Relayed live coverage	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use. Usage conditions, including whether or not usage fees apply, will be based on approval contents.	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use. Usage fees usually apply.
	Own coverage	Coverage permission required in advance from the Foundation's Public Relations dept. and the host broadcaster. Usage conditions, including whether or not usage fees apply, will be based on approval contents.	

Other

- * Applications must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. in order to use video or photographs taken on your own. The Tokyo Marathon Foundation will pass them to Fuji Television.
 - * The rights to show or print video, photographs, articles, records, applicants' names, applicants' ages, applicants' addresses (country names, prefecture names, and city/town/village names), etc., on television, in newspapers, in magazines, on the Internet, etc., and the associated portrait rights, belong to the organizer.
 - * A usage fee of 60,000 yen will apply for segments lasting up to one minute. An additional 1,000 yen usage fee will apply for each additional second.
- Actual technical costs (archive retrieval costs, tape costs, etc.) apply when using video other than the footage of relayed coverage. Costs may be negotiable when the Foundation's Public Relations Dept. finds that the use of paid materials would contribute to the marathon's PR efforts.

Inquiries

Public Relations Dept., Tokyo Marathon Foundation
TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-5500-6678

報道取材要領 抜粋—報道取材に関するお願い—

MEDIA INFORMATION

映像、写真について

1. 報道・大会告知(パブリシティ)での使用

報道または東京マラソンの概要、趣旨、活動などの告知(パブリシティ)を目的とした使用を希望される場合が該当します。申請には「プロパティ使用申請書」(媒体名・番組名・発売日・放送日等)及び企画書を提出してください。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

- (1) 東京マラソンに関する写真・映像は、主催者である財団に無断で撮影及び使用することはできません。
- (2) 事前に取材申請をした上で、大会当日に撮影された写真・映像を大会開催日より8日以内に報道利用する場合には、申請の必要はありません。大会開催日より9日以降に使用される場合は、別途申請が必要となります。
※共催メディアは除きます。
- (3) 財団が撮影した公式記録写真から、大会を象徴する代表的なカット(シーン)をまとめて提供しています。これらの中から使用する場合は、原則として使用料はかかりません(素材の送料等の実費は別途)。公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は、同社が別途定める使用料をお支払ください。
- (4) 写真・映像の二次使用、無断転載は禁止です。
- (5) 東京マラソンの映像に関しては、中継担当テレビ局のO.A.映像となります。使用の際は、実況とスーパーを消してご利用ください。
- (6) 参加者(ボランティアおよび応援等の方を含む)による写真・映像の撮影は、私的な利用に限り認めています。撮影された写真・映像は、私的利用の範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。

使用者	申請方法/規定	使用できるプロパティ	料金
報道機関 (共催メディア含む)	大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要。大会開催日より9日以降は、プロパティ申請書が必要。	写真	① 財団所有の写真・映像を使用する場合は無償。 ② 公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は有償。
		映像	

2. 報道・大会告知(パブリシティ)以外での使用

- (1) 報道機関による商業利用を目的としない使用
報道機関(新聞社・放送局・出版社・通信社等)により、出版物やWEBサイト、テレビ等のメディアで部分的に使用し、商業利用を目的としない場合に限りです。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

東京マラソンの写真・映像などを主體的に使用する場合、および東京マラソンの名称をタイトルやサブタイトルに使用する出版物、DVD、WEBサイト、アプリ等については、別途ライセンス契約が必要となり、ロイヤリティが発生します。

(下記に従って手続きを行ってください)

【写真使用料】消費税別(東京マラソン財団の素材)

	カット	1/2ページ	片1ページ	見開・表4	表1・カバー・帯
雑誌・新聞・フリーペーパー・社内報・機関誌	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
書籍	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
WEBマガジン(記事中使用)	30,000円				
テレビ放送	30,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を越える使用は、都度1カット換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等での販売する場合は、別途マーケティング・広報部へお問い合わせください。			

【写真使用料】消費税別(スポーツニュース協会規定とは別となります)

	60秒まで	以後毎秒	備考
テレビ放送 (ニュース、情報番組等)	60,000円	1,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を越える使用は、都度1カット換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等での販売する場合は、別途マーケティング・広報部へお問い合わせください。
WEBマガジン	60,000円	1,000円	

- (2) 商業利用を目的とする使用 ※大会オフィシャルパートナーの協賛権利に抵触しない場合に限りです。
商品の製造・販売、サービスの提供、販売促進(景品を含む)などへの使用を指し、別途ロイヤリティが発生します。
利用者については、報道機関、一般企業、団体を問いません。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

Filming and Photography

1. Use in news reporting and marathon publicity

Videos and photographs may only be used for news reporting/informational purposes or to provide publicity for the Tokyo Marathon, such as providing an overview of the marathon, explaining its intent, and reporting on marathon activities, etc. Submit a "Permission Request Form" (containing the name of the media/program name, release date/ broadcast date, etc.) and a written content plan.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

- (1) Photography and filming of the Tokyo Marathon requires the permission of the organizer, the Tokyo Marathon Foundation.
- (2) No separate application is necessary to use photographs or film taken on the day of the marathon provided that a media coverage application was submitted in advance, and the media coverage is performed within 8 days of the event. A separate application is required for the use of video or photographs 9 days or more after the event. * This does not apply to media partners.
- (3) The Foundation will supply a selection of official photographs and videos which depict representative scenes. As a general rule no usage fees apply to the use of these images or videos (separate material delivery fees, etc. will apply). Separate usage fees apply for the use of photographs or videos provided by official photograph and video service suppliers. These fees are specified by the respective service suppliers.
- (4) Secondary use and unauthorized reproduction of photographs and videos are prohibited.
- (5) The video broadcast on-air footage by television relay stations will be provided. Remove any narration and captions before using this video.
- (6) Filming and photography by participants (including volunteers and supporters, etc.) is only permitted for private use. Please be aware that video and photographs cannot be used except for private use.

User	Application Procedure / Rules	Usable Properties	Cost
Media organization (including our media partners)	No application necessary if a coverage application is submitted before the marathon and the property is used within 8 days of the marathon. A separate property usage application is required for the use of video or photographs 9 days or more after the event.	Photographs	(1) Free when using photographs / video owned by the Foundation.
		Video	(2) Fees apply for the use of photographs / videos provided by official photograph and video service

2. Use other than for news reporting and marathon publicity

- (1) Non-commercial use by news reporting organizations

Photographs and videos can be used in limited quantities by media organizations (newspapers, television stations, publishing companies, wire services, etc.) for non-commercial purposes only in media such as publications, on websites, and on television, etc.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

Separate licensing agreements are required for active use of Tokyo Marathon photographs, videos, etc., and for publications, DVDs, websites, and apps, etc., which use the Tokyo Marathon name in titles or subtitles. Royalty fees apply.

(Follow the respective instructions specified below.)

[Photograph usage fees] Sales tax not included (Tokyo Marathon Foundation materials)

	Single image	1/2page	Single page	Spread/ back cover	Dust cover / bellyband / front cover
Magazine / newspaper Free newspaper / Company newsletter / trade paper	30,000JPY	35,000JPY	50,000JPY	80,000JPY	100,000JPY
Book	30,000JPY	35,000JPY	50,000JPY	80,000JPY	100,000JPY
Website use in articles	30,000JPY				
Television broadcast	30,000JPY	<ul style="list-style-type: none"> · Includes simultaneous multi-wavelength rebroadcasting. · Includes up to two rebroadcasts within one year. · Additional fee equivalent to single photo for uses exceeding the above. · Please inquire with the Tokyo Marathon Foundation's Marketing and Public Relations Dept. regarding PPV, download sales, DVD sales, etc. 			

[Video usage fees] Sales tax not included (Separate Sports News Association regulations apply)

	Up to 60 seconds	Each additional second	Remarks
Television broadcast (news, information program, etc.)	60,000JPY	1,000JPY	<ul style="list-style-type: none"> · Includes simultaneous multi-wavelength rebroadcasting. · Includes up to two rebroadcasts within one year. · Additional fee equivalent to single photo for uses exceeding the above. · Please inquire with the Tokyo Marathon Foundation's Marketing and Public Relations Dept. regarding PPV, download sales, DVD sales, etc.
Website (use in articles)	60,000JPY	1,000JPY	

- (2) Commercial use * Only permitted for uses which do not infringe on Tokyo Marathon's official partner co-sponsorship rights. This refers to use in product manufacturing, sales, services, sales promotion (including prizes), etc. Separate royalty fees apply. This applies to all users, be they media organizations, general companies, or associations.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

メディアセンターについて Media Center

大会前（メディアオフィス）と大会当日（メディアセンター）の場所が異なりますのでご注意ください。
メディアセンターには記事及び写真配信のための LAN 環境（無線、有線）は用意しておりますが、数には限りがありますので、予めご了承ください。また、各種連絡事項等を掲示いたします。

2月22日(木)、23日(金)、24日(土) 東京ビッグサイト西展示棟 メディアオフィス

場 所 東京ビッグサイト 西展示棟 4F 西 3 ホール 商談室(1)横
住 所 東京都江東区有明 3-11-1
時 間 10:00 から 18:00 ※ただし最終日(2/24)は 16:00 まで
連 絡 TEL: 03-5530-1676 FAX: 03-5530-1677

2月25日(日) ※大会当日のみ 丸ビル 7 階ホール内 メディアセンター（兼選手会見）

場 所 丸ビル 7 階 丸ビルホール
住 所 東京都千代田区丸の内 2-4-1
時 間 8:00 から 18:00 まで
連 絡 TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-3217-7507 ※大会当日のみ

2月25日(日) ※大会当日のみ コンGRESクエア日本橋 10km フィニッシュ メディアルーム

場 所 コンGRESクエア日本橋内
住 所 東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル2階・3階
時 間 8:00 から 15:00
※リザルトは丸ビル内のメディアセンターのみでの配信です。

Please note that the location of the Media Office (before the race day) is not the same as that of the Media Center (on the race day).

There are Internet connections (wireless and wired) available in the Media Center for uploading articles and photographs, but please be aware that access is limited. Also, notices will be posted in the Media Center.

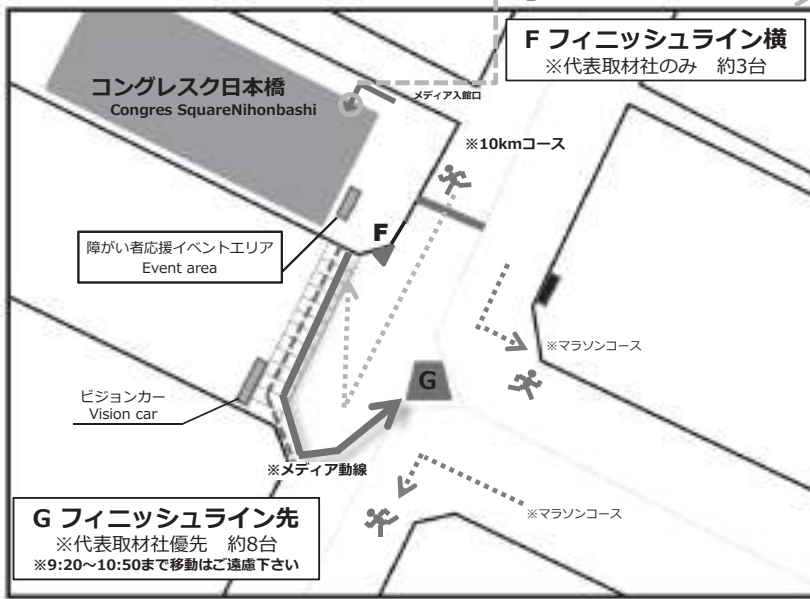
February 22 (Thu), 23 (Fri), 24 (Sat) Media Office, inside the Tokyo Big Sight West Hall

Location Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall 4F, West Hall 3, next to Business Discussion Room (1)
Time 10:00 a.m. to 6:00 p.m. * Closes at 4:00 p.m. on Saturday, February 24
Contact TEL: 03-5530-1676 FAX: 03-5530-1677

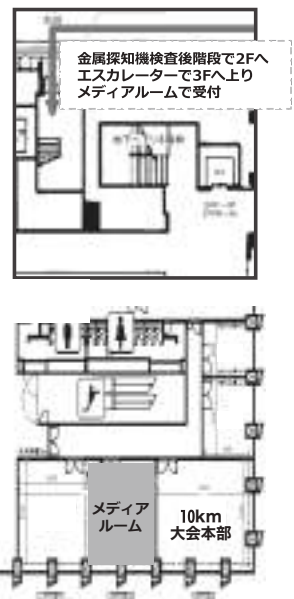
February 25 (Sun) *Race Day only Media Center, inside Marunouchi Building Hall

Location Marunouchi Building 7F, MARUBIRU Hall
* Press conferences following the marathon finish will be held at the Media Center stage.
Time 8:00 a.m. to 6:00 p.m.
Contact TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-3217-7507 * Race day only

10km Finish Area Map

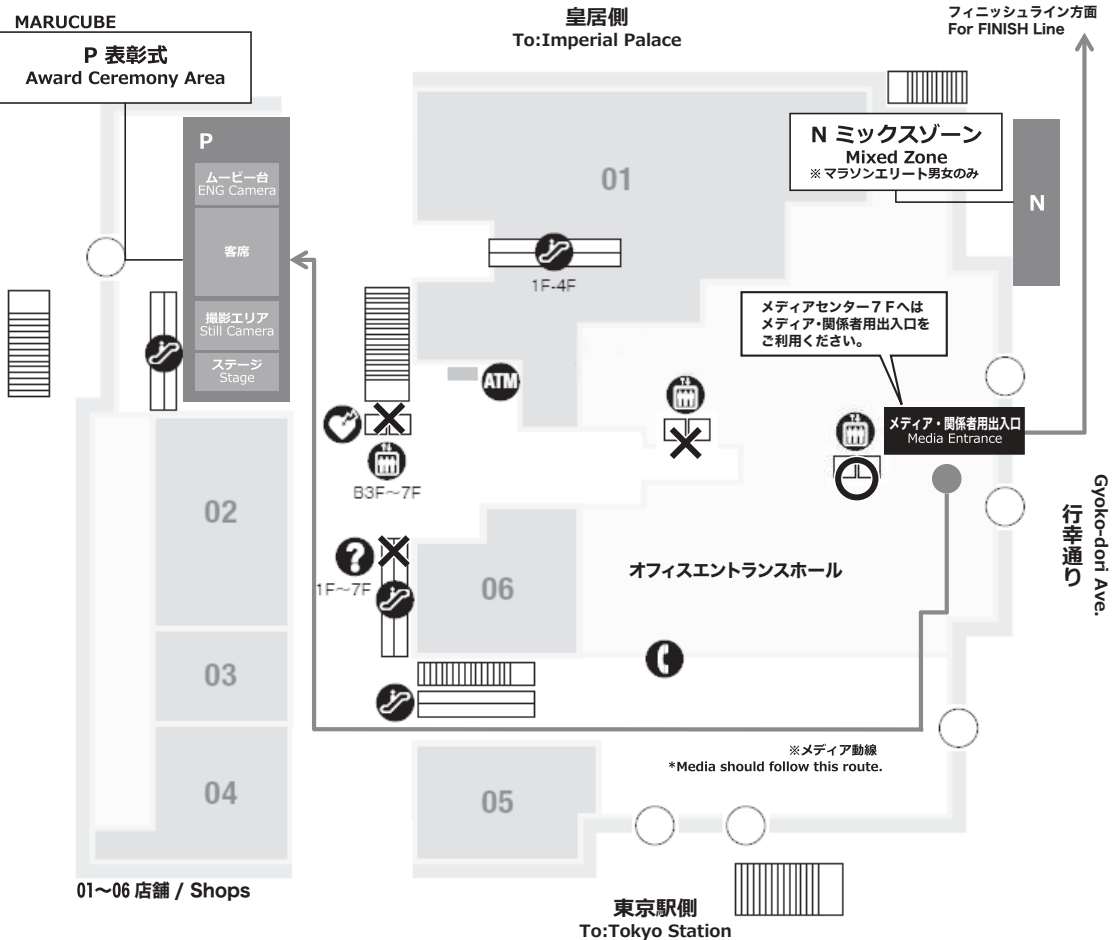


【拡大図】メディア入館方法



表彰式 Area Map

丸ビル1F「マルキューブ」 Award Ceremony @ Marunouchi Building 1F





丸ビル Marunouchi Bld.
 7F メディアセンター Media Center
 〇 選手会見 Elite Press Conference
 1F ミックスゾーン Mixed Zone
 ㊦ 表彰式 Awards Ceremony

FINISH

行幸通り Gyoko-dori Ave.

二重橋前 Nijubashimae

大手町 Otemachi

東京 Tokyo

有楽町 Yurakucho

Tokyo Marathon 2018 COURSE

銀座 Ginza

東銀座

霞ヶ関 Kasumigaseki

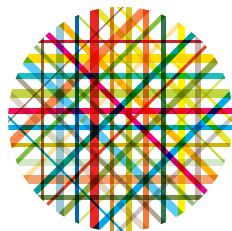
内幸町 Uchisaiwaicho

発行©東京マラソン財団
 無断転載禁ず
 Copyright
 ©TOKYO MARATHON
 FOUNDATION
 All rights reserved.

丸ビルから日比谷公園へのメディアルート

- 移動は地下道を利用ください。.....
 - メディアセンターのある丸ビル横M4から下り、日比谷公園A14から上がり、公園正面入口から入園ください。
 - 取材は決められたエリアMのみとなります。
- How to get to Hibiya Park from Marunouchi Building**
- * Please use underground passes.
 - * Please go down to underground from exit M4, next to the Marunouchi Building, and come out from exit A14, then proceed to the Hibiya Park entrance.
 - * Media coverage is only allowed in area M.





TOKYO
MARATHON
2018

THE DAY WE UNITE.

**M E D I A
G U I D E**